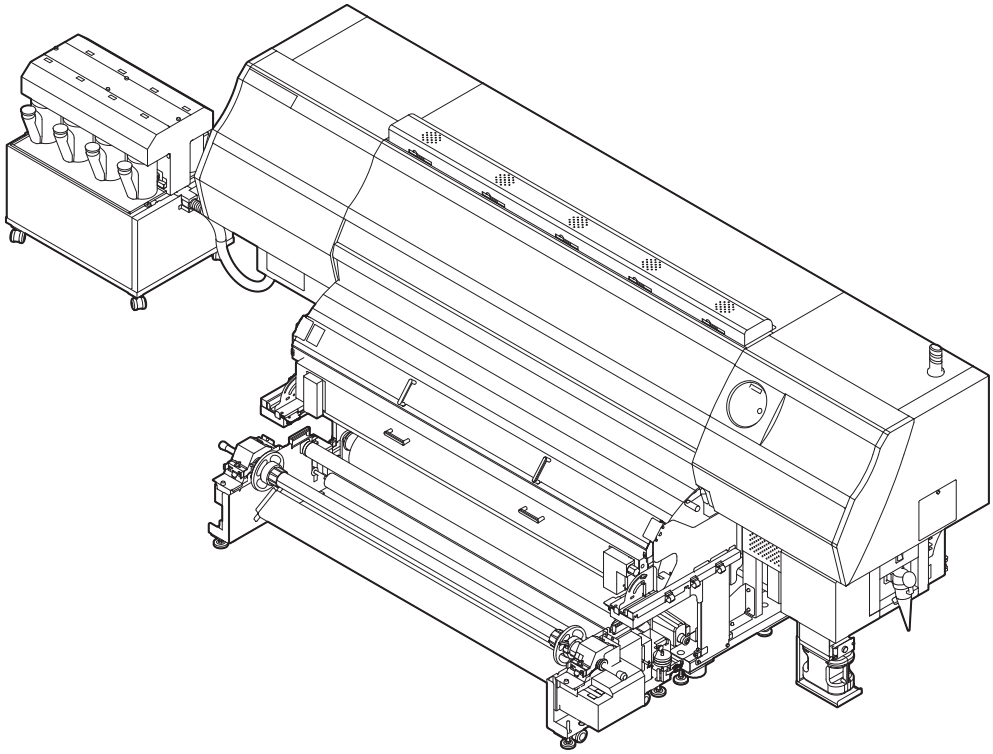
OPERATION MANUAL

Mimaki

UV INKJET PRINTER

UJV500-160

取扱説明書



株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D202485-18
Original instructions

目　次

ご注意 v
ご注意 v
おねがい v
電波障害自主規制 v
テレビ / ラジオの受信障害について v
はじめに vi
使用できるインクについて vi
取扱説明書について vi
安全にお使いいただくために vii
マーク表示について vii
安全インターロックについて xii

第 1 章　ご使用の前に

本機の設置について 1-2
設置場所について 1-2
使用環境温度について 1-2
装置の固定について 1-3
本機の移動 1-3
各部の名称とはたらきについて 1-4
装置前面 1-4
装置背面 / 側面 1-5
操作パネル 1-6
ヒーター 1-7
メディアセンサー 1-7
キャリッジ 1-8
カッターユニットとカット溝 1-8
表示灯 1-8
キャッピングステーション 1-9
ピンチローラーとフィードローラー 1-9
ケーブルを接続する 1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-10
電源ケーブルの接続について 1-11
インクを補充する 1-12
インクの廃棄について 1-18
インクボトル取り扱い上のご注意 1-19
メディアについて 1-20
使用可能メディアサイズ 1-20
メディア取り扱い上の注意 1-20

第 2 章　基本的な使い方

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-4
メディアをセットする 2-5
ヘッドギャップを設定する 2-5
メディアセットに関するご注意 2-6
ロールメディアをセットする 2-7
リーフメディアをセットする 2-25
原点を変更する場合は 2-27

ヒーターの準備をする 2-28
ヒーターの温度設定を変更する 2-28
ヒーターの温度を確認する 2-28
テストフィードをする 2-29
テストプリントをする 2-30
テストプリントを行う 2-31
ヘッドクリーニング 2-32
ヘッドクリーニングについて 2-32
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う 2-32
メディアの送りを設定する 2-34
フィード補正の設定 2-34
双方向プリントのドット位置を調整する 2-36
データをプリントする 2-38
プリントを開始する 2-38
プリントを中断する 2-39
受信したデータを消去する (データクリア) 2-39
プリント完了後の動作 2-39
メディアをカットする 2-41

第 3 章　便利な使い方

設定機能一覧表 3-2
ヒーターの設定をする 3-4
ロジカルシークの設定をする 3-5
マージンの設定をする 3-6
UV モードの設定をする 3-7
RIP で指定した光量を調整したい場合 3-7
本機で設定した光量でプリントしたい場合 3-8
パス間の縞を軽減する設定をする 3-13
MAPS 機能とは 3-13
MAPS1 機能を設定する 3-14
MAPS2 機能を設定する (4 色) 3-15
MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク) ..3-16
オートクリーニングの設定をする 3-18
ノズル面の清掃頻度を設定する 3-19
その他の設定 3-20
マシン設定 3-21
オートパワーオフの設定をする 3-23
クリダシ＆マキトリの設定をする 3-24
メディア残量表示の設定をする 3-25
ジコクの設定をする 3-27
タンイの設定をする 3-28
キーブザーの設定をする 3-29
言語の設定をする 3-30
メディアケンシュツの設定をする 3-31
乾燥フィードの設定をする 3-32
プリント間の余白を設定する 3-33
ネットワークの設定をする 3-34
イベントメール機能の設定 3-36
設定ロックの設定をする 3-46
インクチャージをする 3-48
設定した内容を初期状態に戻す 3-50
装置情報を確認する 3-51

装置の使用状況を確認する 3-51
装置のバージョン情報を確認する 3-52
本機の情報を表示する 3-53

第 4 章　お手入れ

日常のお手入れ 4-2
お手入れ上のご注意 4-2
メンテナンス洗浄液について 4-2
インクのメンテナンス 4-3
外装のお手入れ 4-3
ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 4-4
メディアセンサーの清掃 4-5
メディア押さえの清掃 4-5
キャッピングステーションのメンテナンス 4-6
ワイパーとキャップの清掃 4-6
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ) 4-10
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ) 4-11
ヘッド周辺の清掃 4-14
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-17
ヘッドノズルの洗浄 4-17
サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う 4-19
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-20
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする 4-23
オートメンテナンス機能 4-27
リフレッシュ間隔を設定する 4-27
クリーニング間隔を設定する 4-28
白インクの循環機能について 4-28
Y モーターの清掃 4-29
廃インクの廃棄 4-30
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-30
消耗品の交換 4-32
ワイパーを交換する 4-32
カッター刃の交換 4-33
ポストキュアランプの交換時期 4-35
インク吸収材の交換 4-37
キャリッジフィルターの交換 4-39
ミストフィルターの交換 4-41
吸気フィルターの交換 4-43
冷却水を補充する 4-45
冷却水を補充する 4-46

第 5 章　困ったときは

故障？と思う前に 5-2
電源が入らない 5-2
プリントできない 5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 5-3
[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない 5-3
画質不良が発生したときは 5-4
ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
インクボトルに異常が発生したら 5-5

サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら 5-6
圧力異常が発生したら 5-7
メディアが搬送時に波打つ場合 5-9
メッセージを表示するトラブル 5-10
ワーニングメッセージ 5-10
エラーメッセージ 5-14

第 6 章　付録

仕様 6-2
本体仕様 6-2
インク仕様 6-3
サプライ品リスト 6-4
インク種によるセットの違いについて 6-5
インクボトルのセット順 6-5
警告ラベルについて 6-6
お問い合わせシート 6-8

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

本機は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本機がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ UJV500-160 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「UJV500-160」は、UV インクでプリントする、高速・高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、UV インク (4 色 /4 色 + 白) があります。

- **4 色モデル**　：シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクボトルを 2 本ずつ使用
- **4 色 + 白モデル**　：シアン・マゼンタの各インクボトルを 2 本ずつ、イエロー・ブラックの各インクボトルを 1 本ずつおよびホワイトのインクボトルを 2 本使用

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ UJV500-160」（以後本機と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- UJV500-160 は、SGPR831-160 と同一機種です。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved.Copyright

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	内　　容
警 告	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
注 意	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
重 要!	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、⃠記号の中や近傍に図示しています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。具体的な指示内容がある場合は、●記号の中に図示しています。

使用上の警告

⚠ 警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 表示された電源仕様で使用してください。本機の電源電圧は、単相 AC200 ～ 240V 29A 以下です。(100V 系では、使用できません。)
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源ボタンをオフにして、その後必ずソケットをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本機やインクボトルの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。
- インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

- 本機に子供を近づけないでください。

- 本機の主電源スイッチの投入作業も、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。
- 点灯中や消灯直後は熱いので、LED UV 装置やポストキュアユニットには手を触れないでください。ヤケドの原因となります。

不凍液の取り扱い

- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。LED UV 冷却装置が故障する恐れがあります。
- 不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。また高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。
- 誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。
  ■おがくず、ウェス等に吸着させて、焼却炉で焼却する
  ■免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する
- 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。

- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

LED UV 装置 ・ ポストキュアユニットの取り扱い

- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。また紙や布を LED UV 装置やポストキュアユニットに近づけたり、覆ったりしないでください。火災の原因になります。
- 点灯中の LED UV 装置やポストキュアユニットは絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ず安全眼鏡を掛けてください。
- 紫外線（UV）を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因になります。
- LED UV 装置・ポストキュアユニットは、定格寿命内の交換をお勧めします。

本機の廃棄処分について

- 本機を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

⚠ 注　意

電源供給について

- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチはOFF にしないでください。

電源ケーブルについて

- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 極性付きのコンセントに接続してください。

メンテナンス上の注意

- 外部インク供給ユニットやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。
- インク、洗浄液を取り扱う場合は、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

ヒーターについて

- プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

インク・洗浄液の取り扱い

- インク、メンテナンス用洗浄液の取り扱い前に必ず安全データシート(SDS)をお読みください。
- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系 (川等)、生活排水 (トイレ、道路等) への漏洩流出を防いでください。

接地工事

- 本機は、感電事故防止のため接地工事が必要です。
- 接地工事は、C 種接地工事（特別第 3 種接地工事）を行ってください。

保護具着用

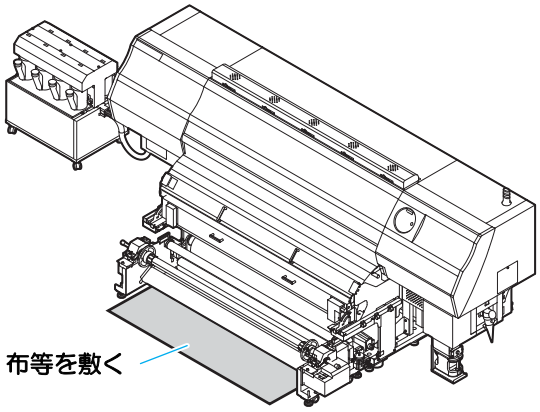
- 吸引ノズルのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。

不凍液について

- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。

紫外線について

- LED UV 装置およびポストキュアユニットから多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。
- 紫外線漏れにより、床が変色する可能性があります。
  紫外線カット用の布等を敷いてご使用ください。



- 紫外線の目への障害として、急性障害 (異物等、とう痛および涙が流れる等) と慢性障害 (白内障等) があります。本機を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。

⚠ 注　意

高温について

- LED UV 装置およびポストキュアユニットは、非常に高温になります。メンテナンスを行う時は、LED UV 装置およびポストキュアユニット消灯後十分温度が下がってから行ってください。
- 装置外装部で高温になっている部分があります。この高温部には、高温注意銘板が貼り付けてあります。高温注意銘板が貼ってある部分およびその付近は、触ると火傷の恐れがあります。触らないでください。
- 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。

LED UV 装置の注意

- LED UV 装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。）
- LED UV 装置の性能、寿命は UV 照射装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の LED UV 装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV 照射装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。

清掃について

- 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。
- 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでは無く、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。
- 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。
- 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。
- 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。

発火、　発煙について

- LED UV 装置およびポストキュアユニットの高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。また、LED UV 装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。

- 長年の使用で、安定器やその他使用部品についてゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性がある。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。
- 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。
- 本機は防爆タイプではありません。危険物雰囲気での使用は爆発等の危険があります。危険物雰囲気での使用を禁止します。
- 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。

ご注意とお願い

⚠ 警　告

インクボトルの取り扱い

- UJV500 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- UJV500　専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- UJV500　専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- ボトル内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- インクボトルは、冷暗所で保存してください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れる場合があります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクボトル・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください
- 自然水系 (川・湖等) や生活排水 (トイレ・洗面台・道路等) への廃棄はしないでください。

フロントカバーとレバーについて

- プリント中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいます。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの種類や特性に合わせて、プリントヒーターおよびポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
  紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
  また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

⚠ 警　告

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。
- プリントしないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッド周辺の清掃を実行してください。
- インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。
- キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。

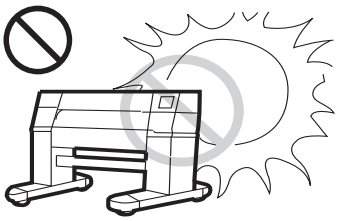
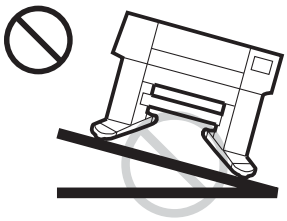
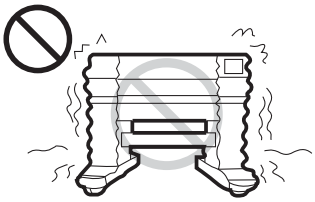
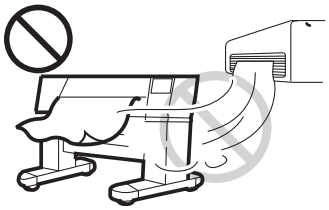
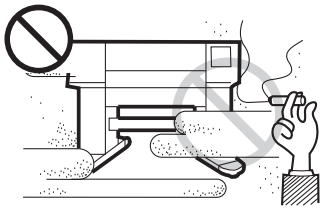
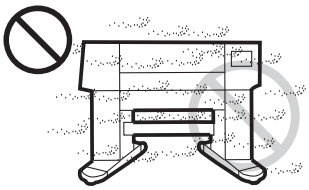
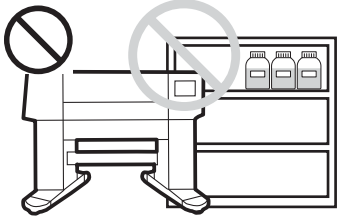
定期交換部品

- 本機には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

本機の廃棄処分について

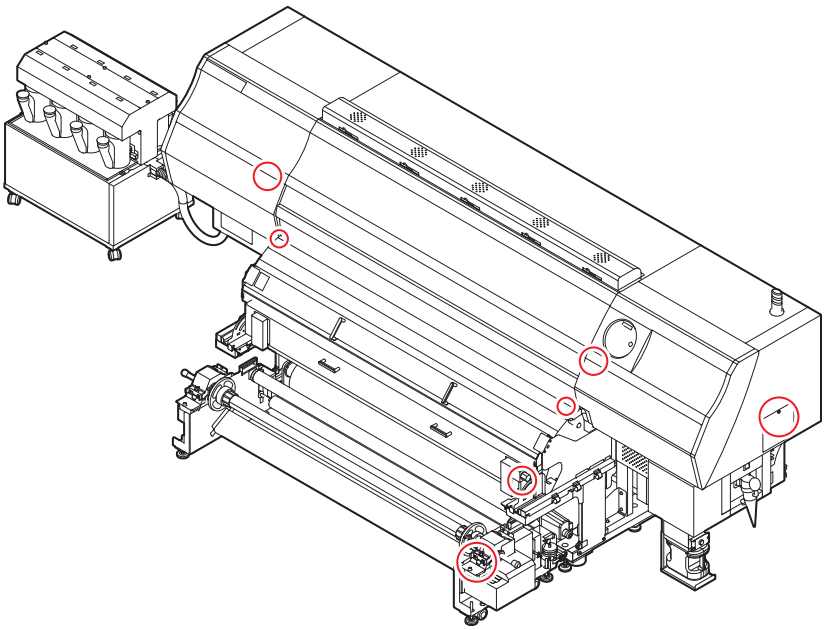
- 本機を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

設置上のご注意

⚠ 注　意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		•次の環境下でお使いください。 •使用環境： 20 ～ 30 °C (68°F ～ 86°F) 35 ～ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの 風が直接当たる場所	火を使う場所
		
埃が多い場所	周囲に化学薬品がある場所	
		

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)



第 1 章
ご使用の前に

この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の設置について 1-2
設置場所について 1-2
使用環境温度について 1-2
装置の固定について 1-3
本機の移動 1-3
各部の名称とはたらきについて 1-4
装置前面 1-4
装置背面 / 側面 1-5
操作パネル 1-6
ヒーター 1-7
メディアセンサー 1-7
キャリッジ 1-8
カッターユニットとカット溝 1-8
表示灯 1-8
キャッピングステーション 1-9
ピンチローラーとフィードローラー 1-9
ケーブルを接続する 1-10
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-10
電源ケーブルの接続について 1-11
インクを補充する 1-12
インクの廃棄について 1-18
インクボトル取り扱い上のご注意 1-19
メディアについて 1-20
使用可能メディアサイズ 1-20
メディア取り扱い上の注意 1-20

本機の設置について

設置場所について

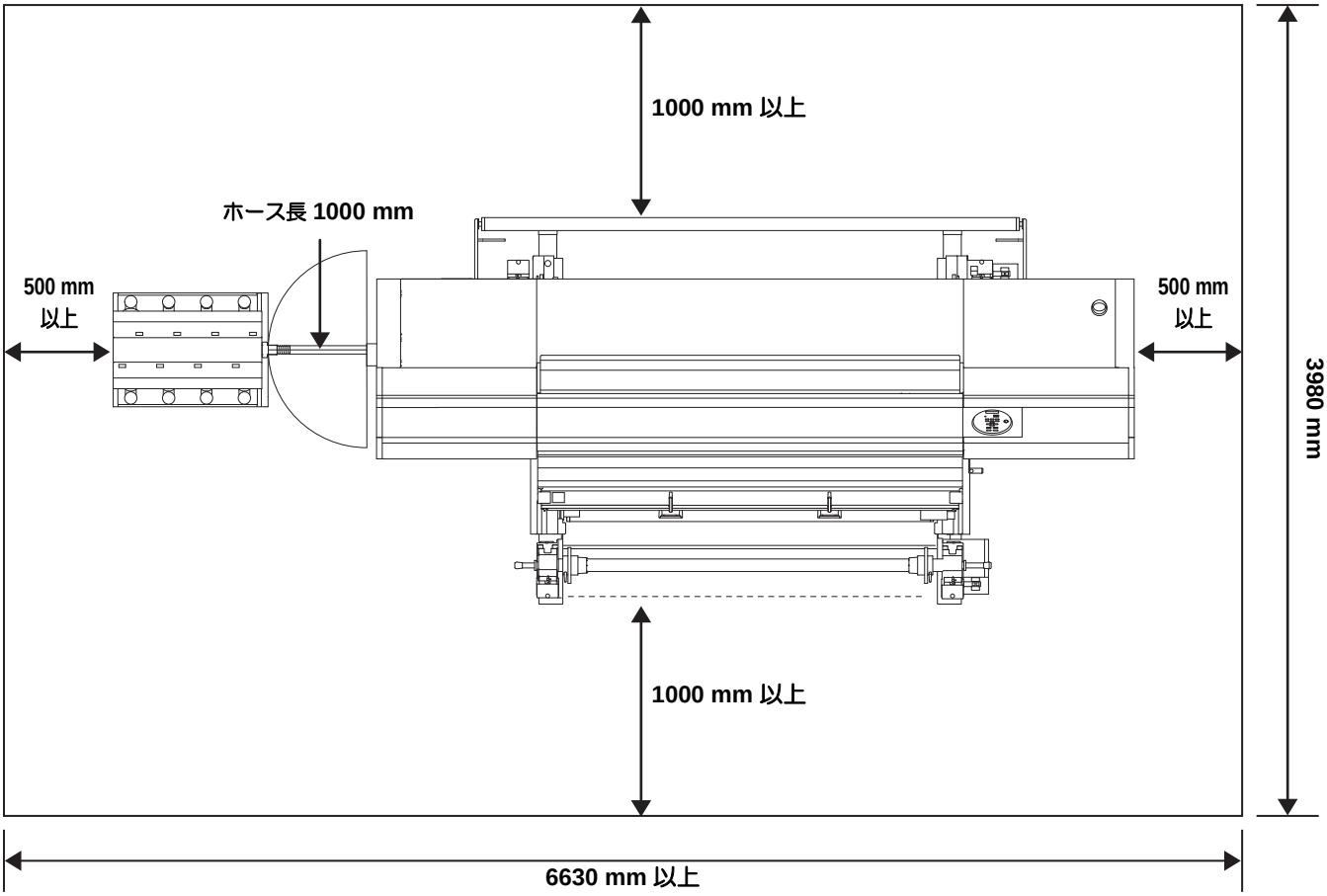
本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機　　種	横　　幅	奥行き	高　　さ	全体重量
UJV500-160	3850mm	1930mm *1	1700mm	800kg
外部インク供給ユニット	780mm	570mm	830mm	30kg

*1. VTTS が装着されている場合

注 意

- 窓際付近など本機に強い光が当たる環境の場合、カーテンを設置して本機に強い光が当たらないようにしてください。



注 意

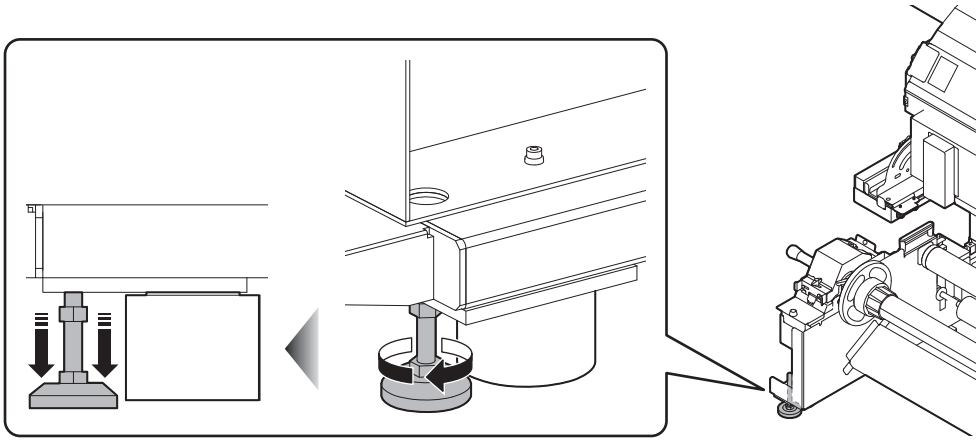
- お客様が通常、写真定着材を使用されている場合、写真定着材の蒸気が充満している部屋には本機を設置しないでください。写真定着材が充満した部屋に本機を設置すると、ヘッドに付着したインクが固まり、ヘッドクリーニングを何度も行っても改善しない画質不良や、ノズル詰まりの原因になります。
- 写真定着材の他にも、酸性蒸気（酢酸や塩酸等）の発生している環境下に本機を放置しても同様の現象が発生します。
- 金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類）を含むものが充満した環境では、マシンを使用しないでください。また、そのような環境からインク、メンテナンスキット類、マシンを隔離してください。ノズル詰まりの原因になります。

使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20 ～ 30 ℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

装置の固定について

本機の脚には、装置を固定するためのレベルフットが付いています。
本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。
レベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



- 付属の鉄製 (灰色) の床板をレベルフットと床の間に敷いてください。本機の重量を支えるために、床板の使用をお勧めします。

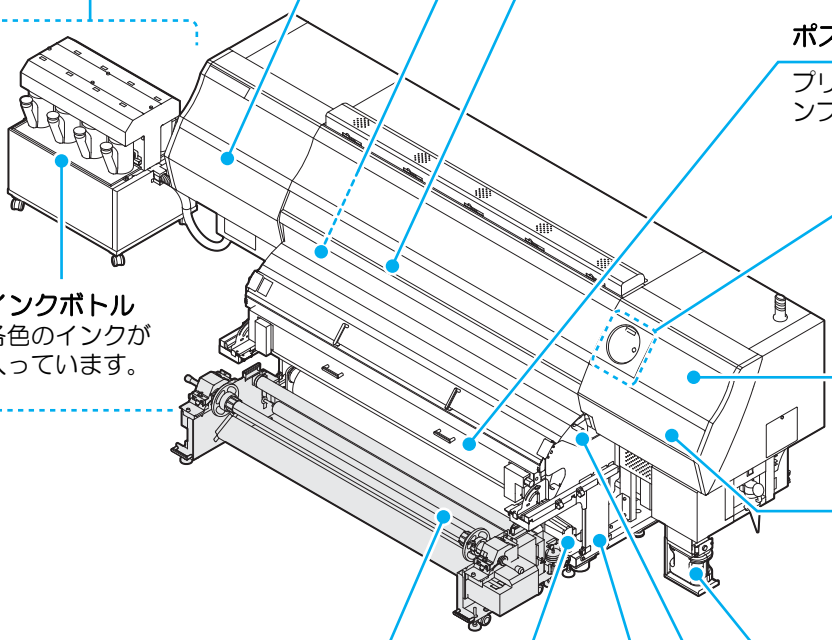
本機の移動

重 要 !

- 本機の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
  お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
  本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

各部の名称とはたらきについて

装置前面



プラテン
プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の3 カ所にヒーターが内蔵されています。

プリヒーター / プリントヒーター / ポストヒーター
印字中のインクの定着と乾燥を行います。（プラテンの内側にあります。）

左メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

フロントカバー
メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

外部インク供給ユニット
インクボトルをセットします。

ポストキュアユニット
プリントしたインクを硬化させるためのランプユニットです。

操作パネル
本機に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

インクボトル
各色のインクが入っています。

右上メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。

右下メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。

廃インクタンク
廃インクを溜めるタンクです。

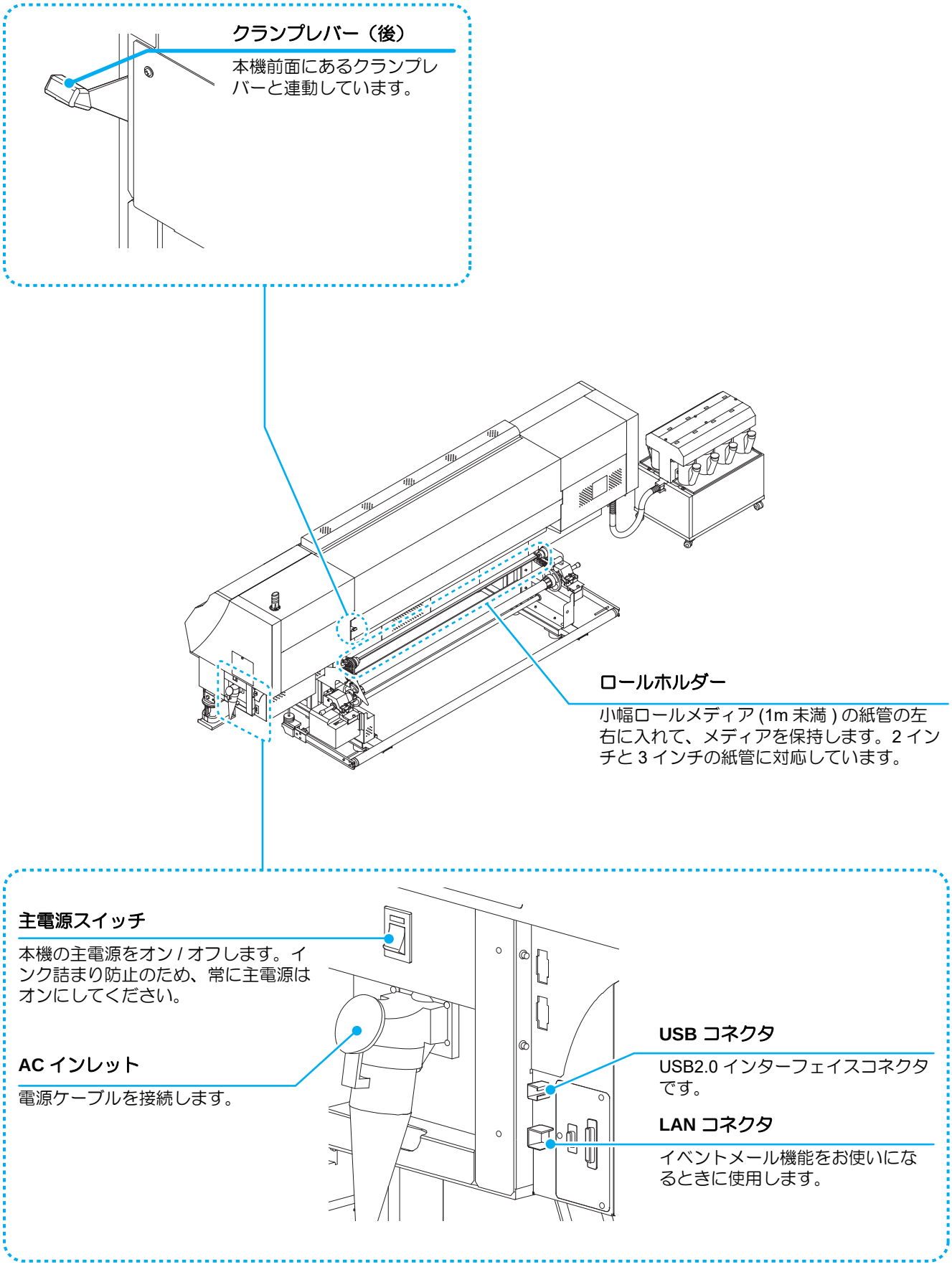
クランプレバー (前)
ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。

巻取 VTTS
ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

小型巻取装置
ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

脚
本体を支える部分です。

装置背面 / 側面


クランプレバー（後）
本機前面にあるクランプレバーと連動しています。
ロールホルダー
小幅ロールメディア (1m 未満) の紙管の左右に入れて、メディアを保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。
主電源スイッチ
本機の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。
AC インレット
電源ケーブルを接続します。
USB コネクタ
USB2.0 インターフェイスコネクタです。
LAN コネクタ
イベントメール機能をお使いになるときに使用します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

CONSTANT ランプ
ヒーターの温度が設定温度に達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ
ヒーター加熱中にオレンジ色に点灯します。

ACTIVE ランプ
電源をオンにすると点灯します。

ディスプレイ
本機の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

MEDIA キー
メディアカットやヘッドギャップの設定をするときに使用します。

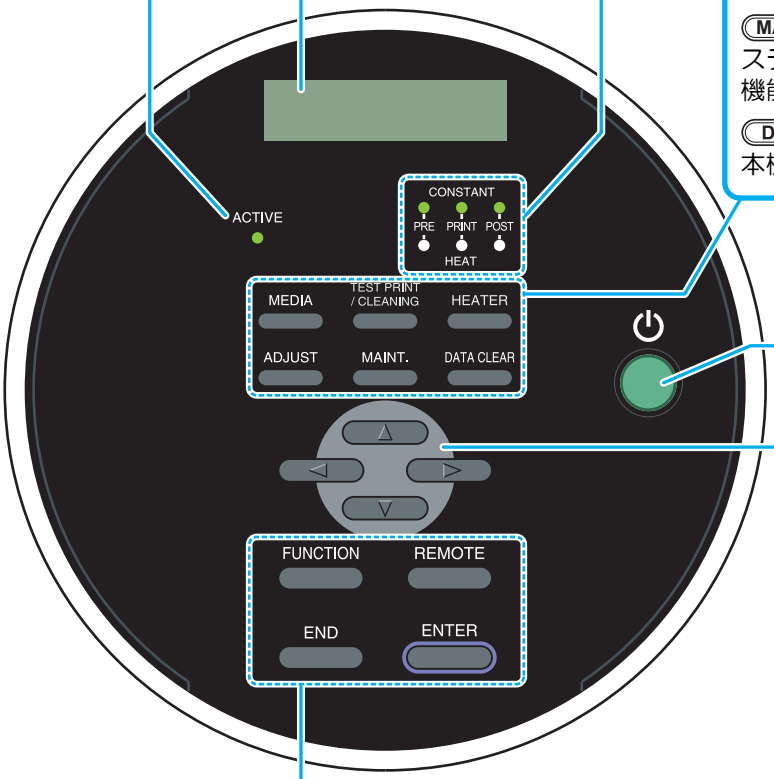
TEST PRINT/CLEANING キー
インク詰まりなどのプリント不良がないか確認するためにテストパターンをプリントします。また、インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

HEATER キー
プリヒーター・プリントヒーター・ポストヒーターの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

ADJUST キー
ドットイチ補正、フィード補正などの調整機能を実行します。

MAINT. キー
ステーションメンテナンスなどのメンテナンス機能を実行します。

DATA CLEAR キー
本機が受信したデータを消去します。



電源ボタン *1
本機の電源をオン / オフします。

ジョグキー
ローカルモードでのヘッドやメディアの移動、プリント条件の項目選択に使用します。

FUNCTION キー
各種機能設定メニューに入ります。

END キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。

REMOTE キー
ローカルとリモートを切り替えます。

ENTER キー
1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

*1：電源ボタンをオンにすると緑色に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ（☞ P.1-5）をオンにしておくと、電源ボタンをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

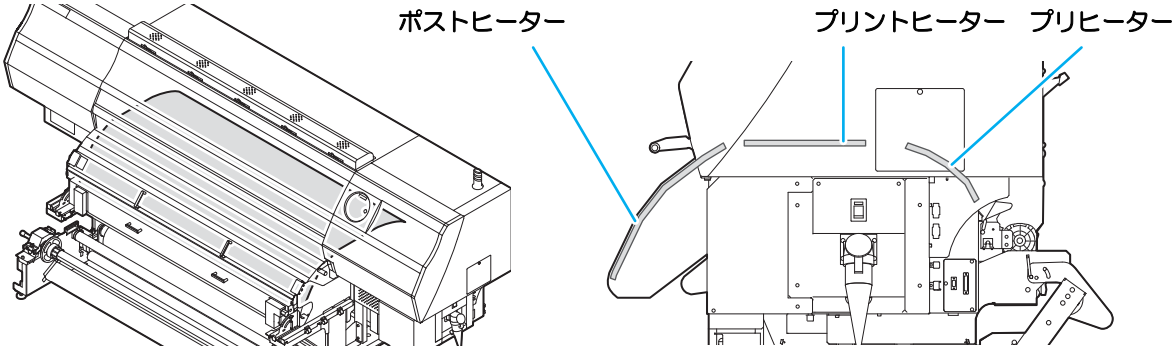
ヒーター

プラテンには、プリヒーター・プリントヒーター・ポストヒーターが内蔵されています。

プリヒーター	プリント前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーター	プリントする際の画像品質を安定させます。
ポストヒーター	プリント後のインク硬化を促進します。

注意

- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分に下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。
- プリントしない状態で、長時間メディアをヒーターで加熱し続けないでください。メディアの表面が波のように浮き上がり、ヘッドがメディアをこする原因になります。
  メディアが波のように浮き上がっている場合は、操作パネルの(▼)を押してメディアを送る、または、テストフィード (☞ P.2-29) を実施してください。

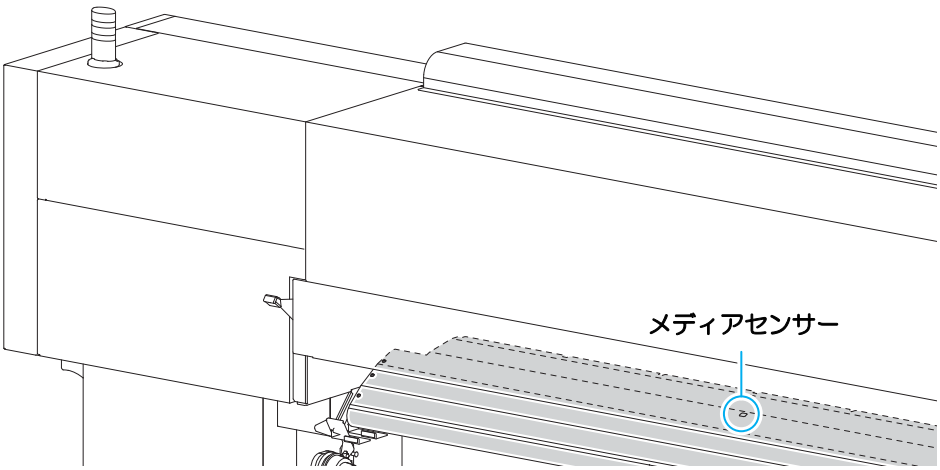


メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上 (背面側) にメディアセンサーが 1 個あります。

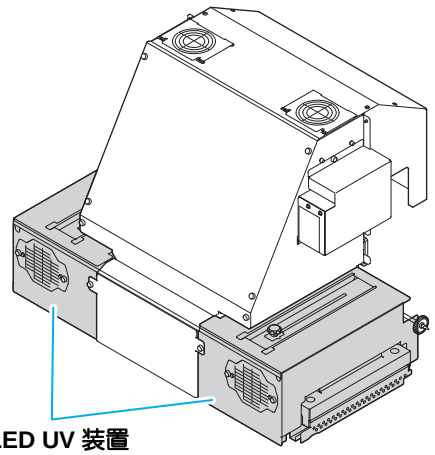
重要!

- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。



キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、LED UV 装置およびメディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

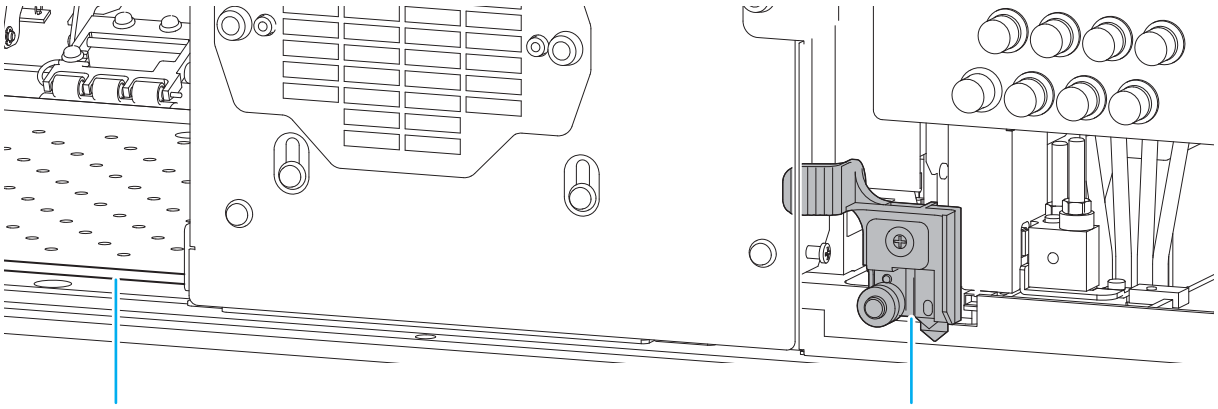


警告

- 点灯中の LED UV から出る光を直接肉眼で見ないでください。
- 点灯中や消灯直後は LED UV 装置に触らないでください。熱くなっているため大変危険です。

カッターユニットとカット溝

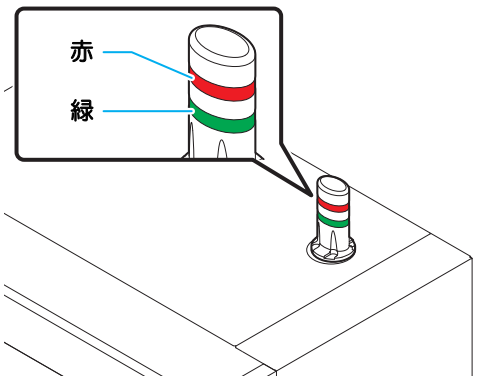
キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。
カッターは、消耗品です。切れ味が悪くなった場合は、新しいカッターユニットに交換してください。（☞ P.4-33）



表示灯

本体右上にある表示灯の動作について説明します。
表示灯には緑と赤の 2 色のランプがあります。

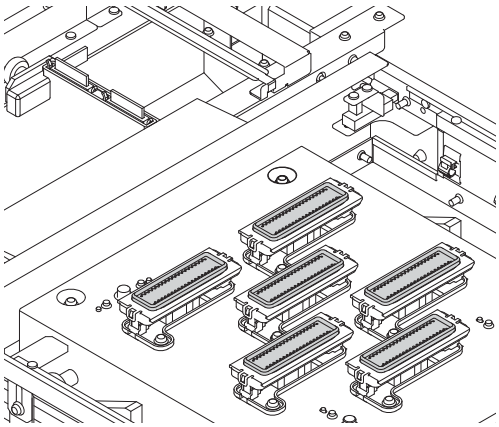
ランプ色	ランプの状態	本機の状態
緑	点灯	リモート
	点滅	リモート (プリント中)
	消灯	ローカル
赤	点灯	エラー発生中 (システムダウン)
	点滅	エラー / ワーニング発生中
	消灯	正常



キャッピングステーション

- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。(☞ P.4-32)

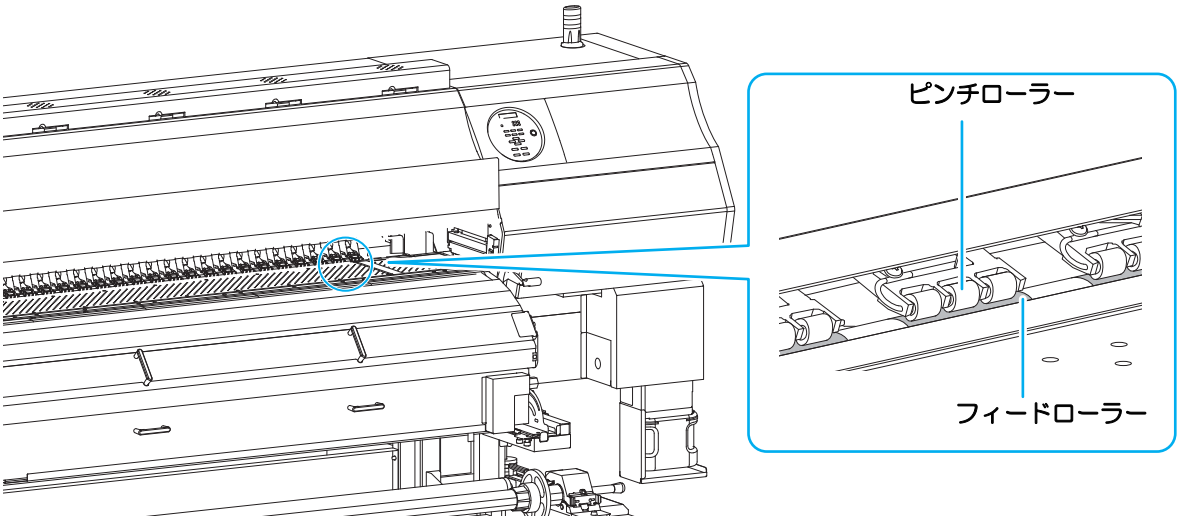


重要！
- キャピングステーションに日光や室内光が当たると、キャッピングステーション内部のインクが硬化し、画質の低下や動作不良の原因となることがあります。メンテナンス終了後は速やかにカバーを閉めてください。

ピンチローラーとフィードローラー

重要！
- 本機を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

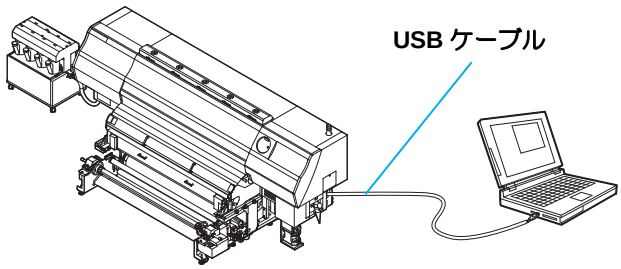
本機は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



注 意

- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

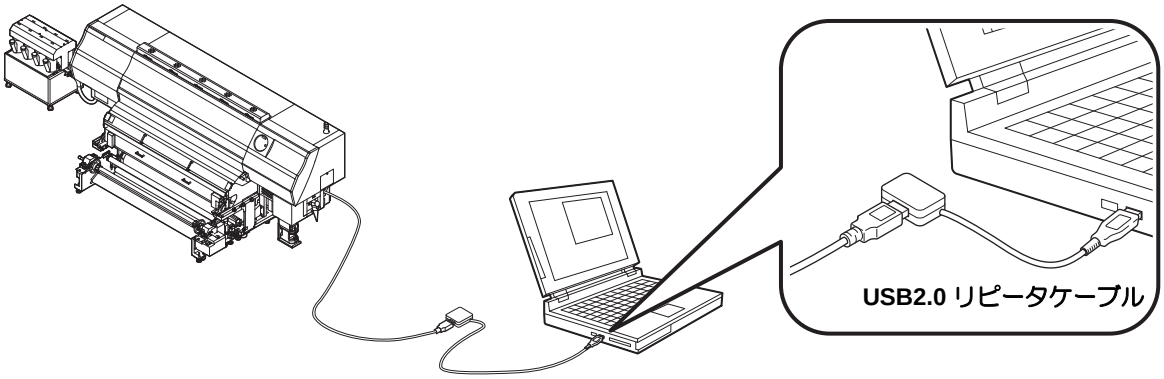
USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重 要 !

- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● 1 台のパソコンに複数の UJV500 を接続する場合

1 台のパソコンに UJV500 を複数台接続する場合、UJV500 を正常に認識できない場合があります。
複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して UJV500 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても UJV500 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。

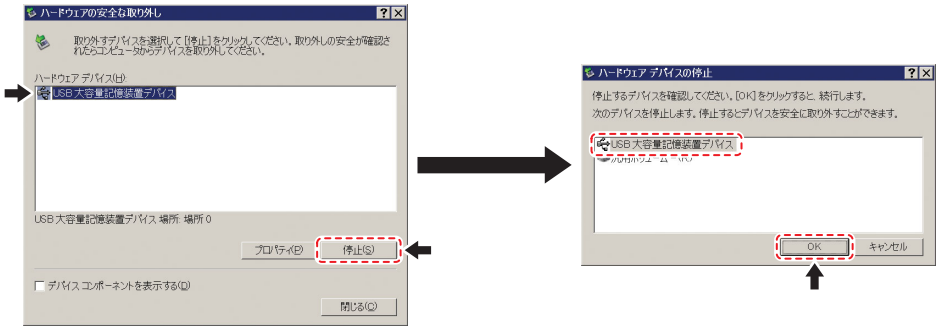


● USB ハイスピードモードの周辺機器について

UJV500 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに UJV500 を接続した場合、UJV500 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

UJV500 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 201 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルの接続について

本機の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事事業者にお任せください。

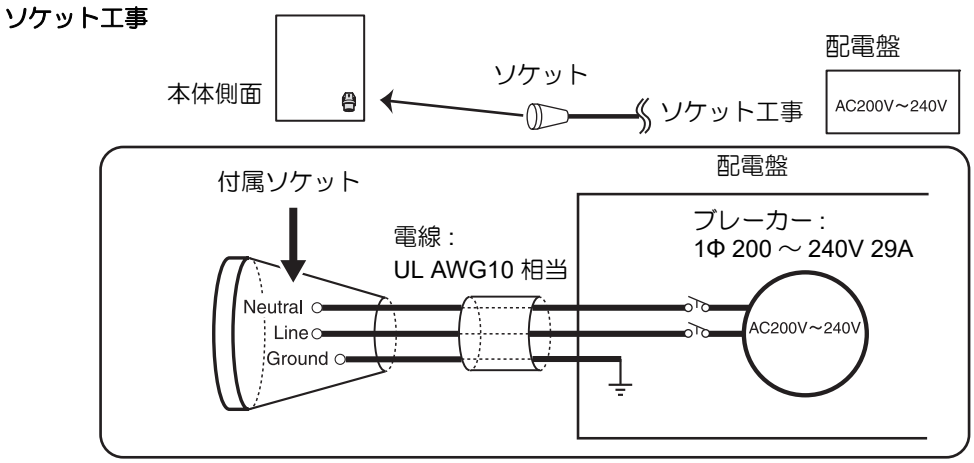
警 告

- 本機の電源仕様は、以下のようになります。
  単相 AC200~240V、29A(100V 系では使用できません。)
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。
  ブレーカへのソケット工事
  C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)
- コンセントは必ず本機の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本機の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。

注 意

- 付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。
  VCT-5.5m m^2 x3 芯 (600V)
  UL-AWG10x3C (600V)

本機の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。本機の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。



インクを補充する

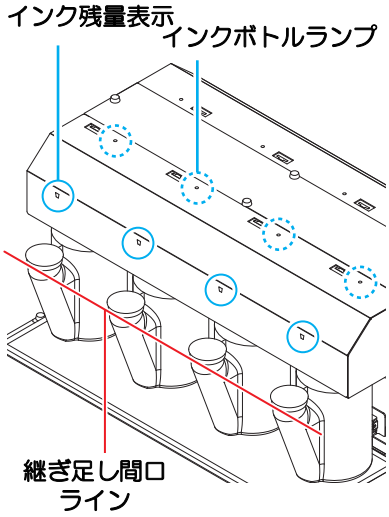
外部インク供給ユニットのインクボトルにインクを補充します。

注 意

- 必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。

インク継ぎ足しの目安

現在インクボトルに入っているインク量 (目安) をインクボトルの上にあるインク残量表示で確認できます。
インク残量表示の見方とインク残量については次のようになります。
また、本機が [インクニアエンド] や [インクエンド] の状態になると、ディスプレイとインクボトルランプでお知らせします。



注 意

インク継ぎ足し前の注意事項
インクを継ぎ足す前に次の事項を確認してください。誤ってインクを継ぎ足してしまうと、インク供給ユニット内のインクを全て廃棄することになります。

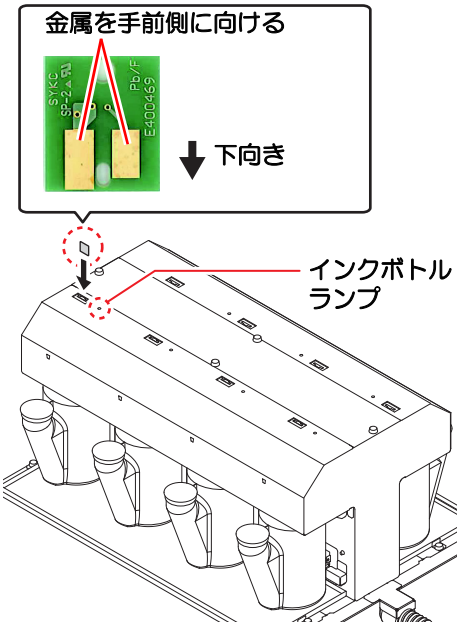
- インクの種類
- インクの色
- インクの有効期限
  インクボトルとインク供給ユニット内のインクの両方の有効期限を確認してください。
  インクボトルの有効期限は、ラベルを確認してください。
  インク供給ユニット内のインクの有効期限は、ENTER キーを押して確認できます。(☞ P.3-53)

インク残量表示の状態						
インク量の状態	インクニアエンド	インクエンド	――――	――――	インクフル間際	インクフル
インクボトルランプ	赤点滅	赤点灯	緑点灯	緑点灯	緑点灯	緑点灯
継ぎ足し判定	継ぎ足し可能		継ぎ足し可能	継ぎ足し可能	継ぎ足し完了	継ぎ足し完了
現在のインク量 *1	約 200 ～ 700cc		約 700~1500cc	約 1500~1700cc	約 1700~1900cc	約 1900~2000cc *2
液面から継ぎ足し口までの距離	約 120mm 以上		約 55mm 以上	約 50mm	約 40mm	約 30mm 以下

*1. インク残量表示はあくまでも目安です。インクの充填は、つぎ足し口から液面を確認することをお勧めします。
*2. 本機にセットされているインクボトルには、最大で 2.5L までインクを継ぎ足すことができますが、インク継ぎ足し間口からインクがこぼれてしまう可能性があります。残量表示が完全に赤になったら、インクの継ぎ足しは行わないでください。

1 1リットルインクボトルに付属している、ICチップを差し込む

- IC チップを差し込むと、インクボトルランプがオレンジ色に点灯し、ブザーが鳴ります。
- IC チップは金属が付いている方を手前側に向け、金属を下向きにして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
- IC チップ の金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。
- インクボトルのセット順は　P.6-5「インクボトルのセット順」を参照してください。



2 自動的に IC チップのチャージが始まる

- IC チップ内に記録されているインク量や有効期限などの情報を本機に取り込み、管理します。
- インクボトルランプがオレンジ色に点滅します。

重 要！
- インクを補充したときは、必ずチャージを行ってください。本機でインク情報の管理ができなくなります。
- チャージ中は IC チップを抜いたり、本機の電源をオフにしないでください。IC チップ内の情報を正常にチャージできなくなります。

3 チャージが完了したら、IC チップを抜く

- チャージが完了すると、インクボトルランプがオレンジと緑の交互点滅をし、ブザー音が鳴ります。
- チャージした内容は、ローカルから ENTER キーを押して確認できます。

重 要！
- チャージが完了したら、必ず IC チップを抜き、廃棄してください。一度チャージをした IC チップは再使用できません。

ディスプレイにエラーメッセージ “ チャージデキマセン ” を表示したとき
- 以下の理由でチャージを実行できませんでした。

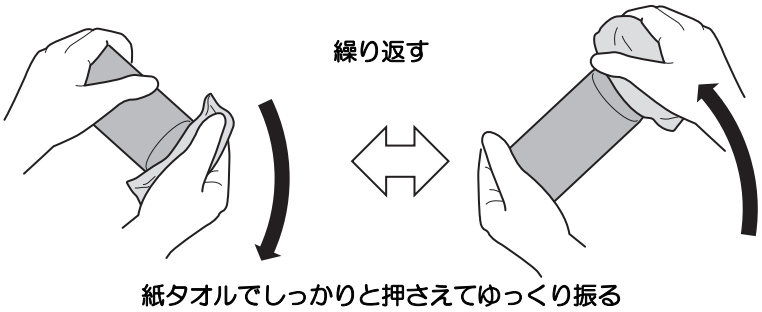
(1) IC チップ異常
(2) 本機で管理しているインク残量が 100%になっているとき
(3) インクの有効期限が切れているインクをチャージしようとしている

エラーの詳細は、ローカルから ENTER を押して確認できます。（☞ P.3-53）
チャージし直したい場合は、メンテナンス機能の「インクチャージ」をして、再度、チャージを行ってください。(☞ P.3-48)

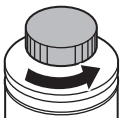
4 1 リットルインクボトルを取り出し、20 回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

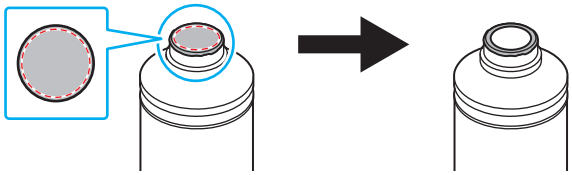
- フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。



5 インクボトルのフタを外す

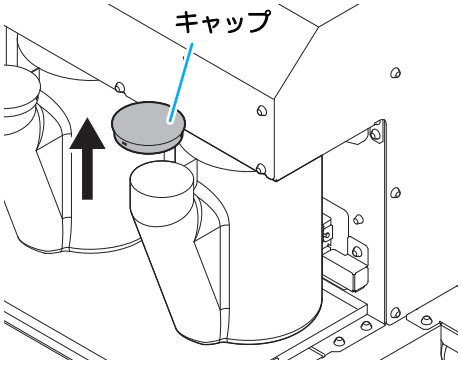


- インクボトルの口にシールが付いている場合は、カッターなどを使って丸く切り取ってください。切り取ったときにシールをボトル内に落とさないように注意してください。



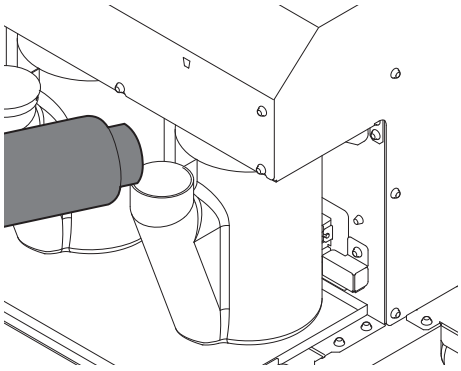
6 外部インク供給ユニットにセットされているインクボトルのキャップを外す

- 手が汚れないようにウェスなどでキャップを包んでから取り外してください。

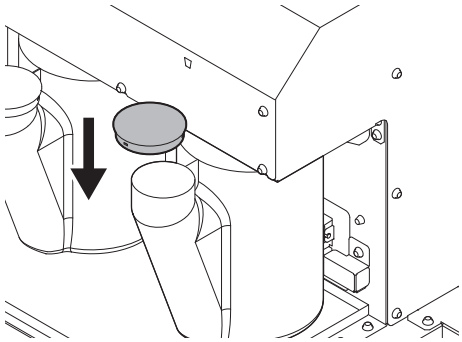


7 インク残量表示を確認しながら、インクを充填する

- インクボトルの上にあるインク残量表示を確認しながらインクを充填してください。詳しくは、P.1-12「インク継ぎ足しの目安」を参照してください。



8 インクボトルのキャップを確実に取り付ける



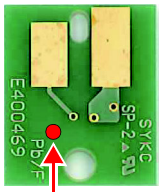
重要！ **キャップは確実に取り付けてください。**
- UV インクは紫外線により硬化します。インクを充填した後にキャップの取付が不十分だと、ボトル内のインクに悪影響を及ぼし、使用できなくなることがあります。

重要！ **IC チップについて**
- IC チップには、インクカラーやインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。
  インクボトルをセットするときは、インクボトルと一緒に梱包されている IC チップをインクカバーに付いている IC チップ挿入口に差し込んでください。
- インクボトルと対になっていない IC チップをセットすると、インクチャージができなくなります。
- IC チップにはカラー情報を表すマークが貼られています。

インクカラーと表示マーク

インクカラー	表示マーク
ブラック	● (黒丸がひとつ)
シアン	● (青丸がひとつ)
マゼンタ	● (赤丸がひとつ)
イエロー	● (黄丸がひとつ)
ライトシアン	●● (青丸がふたつ)
ライトマゼンタ	●● (赤丸がふたつ)
ホワイト	○ (白丸がひとつ)

IC チップ



マーク表示場所

重要！ **チャージ状態の確認方法**
インクボトルランプの点灯 / 点滅で、チャージ状態の確認をすることができます。

インクボトルランプの状態	説明
オレンジ色に点灯	IC チップが挿入されたことを認識しました。 この後、チャージを行いますので、IC チップを抜かないでください。
オレンジ色に点滅	チャージ実行中です。 IC チップを抜かないでください。
オレンジ / 緑交互点滅 (一定期間)	チャージが正常に終了しました。 IC チップを抜いて、廃棄してください。
オレンジ / 赤交互点滅 (一定期間)	チャージできませんでした。(“ チャージデキマセン ” エラーを発生) IC チップを抜いても、問題ありません。

1 リットルのインクボトルを 2 本補充する場合
インクボトルそれぞれに 1 枚付属している IC チップを両方 (2 枚) ともチャージすることによって、2 リットルのインク量を管理できます。

インク残量を正確に管理するために、次の 2 点に注意してください。
- インクを継ぎ足すときは、インクボトル内のインクを全部入れてください。
  (継ぎ足し用のインクボトルに付属している IC チップに保存されているインク量は “1 リットル ” です。インクを継ぎ足す際にボトル内のインクを残してしまうと、本機で管理するインク量と実際に外部供給ユニットに入っているインク量が異なってしまいます。)
- IC チップのチャージを行ったら、すぐにインクの継ぎ足しを行ってください。
  (チャージとインクの継ぎ足しの間に時間を置かないでください。インク情報を正確に管理できなくなります。)

[インクニアエンド] が表示されたとき

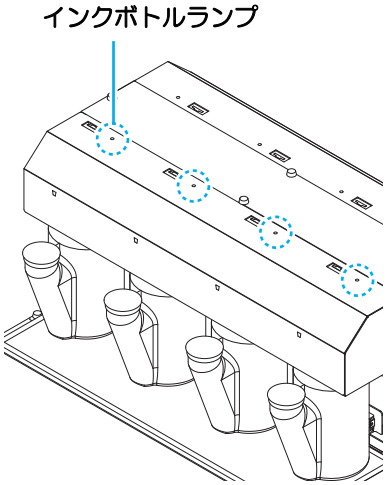
インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクの補充をすることをお勧めします。
ローカルで ENTER キーを押すと、補充対象ボトルをローカルガイダンスで確認できます。（☞ P.3-53）

インクエンド、インクニアエンドについて

インクニアエンド（残量わずか）の場合、インクボトルランプが赤色に点滅してお知らせします。早めの補充をおすすめします。
インクエンド（残量なし）の場合、インクボトルランプが赤色に点灯してお知らせします。インクを補充してください。

インクボトルランプとインク残量表示について

インクボトルの上にあるランプと残量表示で、セット中のインクボトルの状態を確認することができます。



インクボトルランプの状態	説　　明
消灯	異常なし
赤色に点滅	インクボトルの残量が少ない (ニアエンド)、またはインク期限が切れて 1ヶ月たっています。まもなく使用できなくなります。
赤色に点灯	インク残量がない、または、その他のインクエラー（☞ P.5-5）でインクボトルが使用できません。
赤色に早い点滅	インク期限が切れてから2ヶ月たっているため、インクボトルが使用できません。
緑色に点灯	インクを供給していることを示します。 4 色インクセットでお使いのとき、本機はインク期限の短いインクボトルからインク供給を行います。
赤色 / 緑色交互点滅	赤色点滅と緑色点灯の両方の状態が発生しています。

インク使用期限について

インクボトルにインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良や色みに変化を生じるおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例）消費有効期限の記載が、2020 年 4 月の場合

5 月　：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
(ディスプレイに “ インクキゲンギレ ” を表示)

```
<ローカル>
インク　キゲ゛ンキ゛レ　　[ENT]
```

6 月　：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
(ディスプレイに “ キゲンギレ (IM)” を表示し、インクボトルランプが赤色点滅)

```
<ローカル>
キゲ゛ンキ゛レ（1M）　　[ENT]
```

7 月　：プリントすることができません。
(ディスプレイに “ キゲンギレ (2M)” を表示し、インクボトルランプが赤色早点滅)

```
<ローカル>
キゲ゛ンキ゛レ（2M）　　[ENT]
```

- ローカルで ENTER キーを押すと、インクの使用期限をローカルガイダンスで確認できます。（☞ P.3-53）

重 要！

- ディスプレイに “ キゲン ギレ (2M)” と表示されインクの使用ができなくなると、プリントやクリーニング動作および IC チップへのチャージ (☞ P.1-13) ができなくなります。
その場合、インクボトル内のインクは廃棄 (☞ P.1-18) し、新しいインクを補充してください。(☞ P.1-12)

ローカル画面で “ インクチャージ ” と表示されたとき

以下の理由でオートチャージができなかった場合、ディスプレイには右のメッセージを表示してお知らせします。

- 挿入した IC チップの期限が切れている (“ キゲンギレ (2M)” を除く)
- チャージ対象のインクボトルの期限が切れている (“ キゲンギレ (2M)” を除く)

```
<ローカル>
インク　チャ-シ゛　　[MNT]
```

メッセージが表示されたらインク期限を確認してから、MAINT. キーを押し、メンテナンス機能の「インクチャージ」(☞ P.3-48) を参照してインクチャージをしてください。

インクの廃棄について

インクの廃棄をする場合は、必ず次の手順に従って行ってください。

注意
- 必ず付属の手袋と保護めがねを着用してから作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[メンテナンス] を選ぶ

```
FUNCTION
メンテナンス            [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
メンテナンス
ステーション メンテナンス [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[インクボトルハイキ] を選ぶ

```
メンテナンス
インクボトル ハイキ     [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
インクボトル ハイキ
センタク:          ボトル 1-M
```

6 ▲▼を押して、インクを廃棄する対象のインクボトルを選ぶ

```
インクボトル ハイキ
センタク:          ボトル 1-M
```

7 ENTER キーを押す

- ディスプレイにはインク廃棄の確認画面とともに、廃棄するインクの残量 (XX%) と期限 (年月) を表示します。

```
ボトル 1-M:ザンリョウ 100%
ショキカ シマスカ ?     [ENT]
```

↕ 交互表示

```
ボトル 1-M:キゲン   14/09
ショキカ シマスカ ?     [ENT]
```

8 確認画面で問題なければ、ENTER キーを押す

- 本機に取り込んだインクチャージ情報をリセットします。

9 手順 6 で選択したインクボトル内のインクを廃棄する

- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

注意
- 廃棄インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

10 **P.1-12「インクを補充する」を参照して新しいインクを補充する**

- メディアの仮ロックが解除されます。

インクボトル取り扱い上のご注意

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本機には専用のインクボトルをお使いください。本機は、専用のインクボトルを認識して動作します。インクボトル等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは冷暗所で保存してください。
- インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

<table>
<tr><th colspan="2">機種名</th><th colspan="2">UJV500-160</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">推奨メディアの種類 *1</td><td colspan="2">LUS-150 インク使用時 : 塩ビ、PET フィルム</td></tr>
<tr><td colspan="2">LUS-200 インク使用時 : 塩ビ、PET フィルム</td></tr>
<tr><td colspan="2">LUS-120 インク使用時 : 塩ビ、PET フィルム , ターポリン</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">取付メディア幅</td><td colspan="2">最大：1620mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">最小：297mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大プリント幅</td><td colspan="2">1610mm</td></tr>
<tr><td rowspan="7">ロールメディア</td><td></td><td>巻取 VTTS と繰出装置使用時</td><td>小型巻取装置使用時</td></tr>
<tr><td>厚さ</td><td colspan="2">1mm 以下 (メディア搬送に支障なきこと)</td></tr>
<tr><td>ロール外径</td><td>Φ300mm 以下</td><td>Φ180mm 以下</td></tr>
<tr><td>ロール重量 *2</td><td>60kg 以下</td><td>18kg 以下</td></tr>
<tr><td>紙管内径</td><td>3 インチ</td><td>2 または 3 インチ</td></tr>
<tr><td>プリント面</td><td colspan="2">内外不問</td></tr>
<tr><td>巻き終り処理</td><td colspan="2">紙管にテープ止めまたは弱粘着</td></tr>
</table>

*1. 使用するメディアにより、密着しない場合や正常にメディアを搬送できない場合があります。必ず使用するメディアで事前に試してください。
*2. ロールメディアの左右を保持したときに、ロールにタワミが無い場合。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重 要 !

- **メディアを扱うときは、手袋を着用してください。**
  素手でメディアに触れると、指紋や手の脂などでメディアが汚れるので注意してください。
- **メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。**
  メディアが波打ち、メディア詰まりの原因になります。
- **推奨メディアをご使用ください。**
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。**
  メディアの種類や特性に合わせて、プリントヒーターおよびプレヒーター、ポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する環境で 1 日以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
  紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- **メディアのフチのホコリにご注意ください。**
  ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

第２章
基本的な使い方

この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
　電源を入れる..... 2-3
　電源を切る 2-4
メディアをセットする 2-5
　ヘッドギャップを設定する..... 2-5
　メディアセットに関するご注意..... 2-6
　ロールメディアをセットする 2-7
　リーフメディアをセットする 2-25
　原点を変更する場合は 2-27
ヒーターの準備をする 2-28
　ヒーターの温度設定を変更する..... 2-28
　ヒーターの温度を確認する..... 2-28
テストフィードをする 2-29
テストプリントをする 2-30
　テストプリントを行う 2-31
ヘッドクリーニング 2-32
　ヘッドクリーニングについて..... 2-32
　テストプリントの結果に合わせて
　ヘッドクリーニングを行う..... 2-32
メディアの送りを設定する 2-34
　フィード補正の設定 2-34
双方向プリントのドット位置を調整する ...2-36
データをプリントする 2-38
　プリントを開始する 2-38
　プリントを中断する 2-39
　受信したデータを消去する
　(データクリア)..... 2-39
　プリント完了後の動作..... 2-39
　メディアをカットする..... 2-41

作業の流れ

1	電源を入れる / 切る	「電源を入れる / 切る」（☞ P.2-3）を参照してください。
2	メディアをセットする	「メディアをセットする」（☞ P.2-5）を参照してください。
3	ヒーターの準備をする	「ヒーターの準備をする」（☞ P.2-28）を参照してください。
4	テストフィードをする	「テストフィードをする」（☞ P.2-29）を参照してください。
5	テストプリントをする	「テストプリントをする」（☞ P.2-30）を参照してください。
6	ヘッドクリーニング	「ヘッドクリーニング」（☞ P.2-32）を参照してください。
7	メディアの送りを設定する	「メディアの送りを設定する」（☞ P.2-34）を参照してください。
8	双方向プリントのドット位置を調整する	「双方向プリントのドット位置を調整する」（☞ P.2-36）を参照してください。
9	データをプリントする	「データをプリントする」（☞ P.2-38）を参照してください。

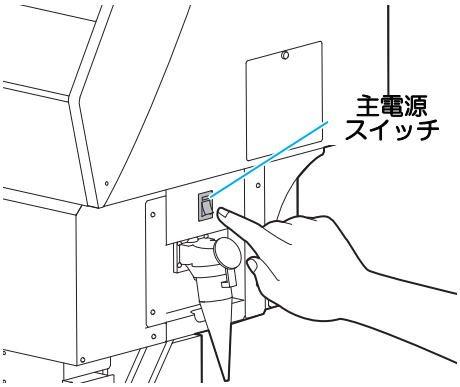
電源を入れる / 切る

電源を入れる

重要！ ・フロントカバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。

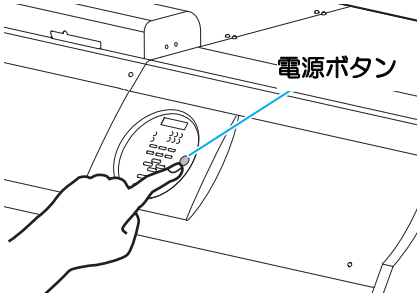
1 主電源スイッチを入れる

・装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



2 電源ボタンを押す

・操作パネルにある電源ボタンを押します。



・電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

・初期動作を実行します。

```
UJV500        Start-up
Ver 1.00
```

3 ローカルになる

```
< ローカル>
```

4 接続しているコンピュータの電源をオンにする

・主電源スイッチは通常オンにしておいてください。主電源スイッチをオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

電源を切る

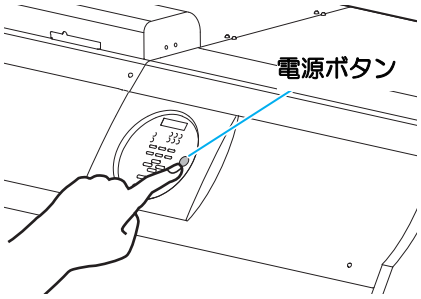
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源ボタンを押して電源をオフにします。
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（☞ P.5-14「エラーメッセージ」）

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源ボタンを押して、電源を切る

- 電源ボタンが消灯します。
- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、電源ボタンを押して緑色ランプを点灯させてからお使いください。



電源を切るときのご注意

● 主電源スイッチは切らないでください。

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）および圧力調整機能が働きます。
主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。

カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

● ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● プリント中は電源を切らないでください。

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● 電源ボタンを切ってから、主電源スイッチを切ってください。

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源ボタンを押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-20「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

ヘッドギャップを設定する

ヘッドギャップ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。
ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。

重要！
- ヘッドギャップは 7mm まで設定できますが、通常は 2mm 以下に設定してお使いください。2mm 以上で使用すると、ミスト飛散や UV 漏れ光により、ノズル詰まりを起こす可能性があります。

1 ローカルで、MEDIA キーを押す

```
ﾍｯﾄﾞ ｷﾞｬｯﾌﾟ
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ
=              2.0mm
```

3 ▲ ▼ を押して、ヘッドギャップ値を設定する
- 設定値：1.5 ～ 7.0mm

```
ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ
=              2.0mm
```

4 ENTER キーを押す

```
ｾｯﾃｲ
ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ      [ENT]
```

5 終了するとき、END キーを数回押す

ヘッドギャップ値を確認する

現在設定されているヘッドギャップ値を確認したいときは、次の操作をしてください。

ローカルで ENTER を押す → ENTER を数回押して、[ヘッドギャップ] を表示させる
- 現在設定されているヘッドギャップ値が表示されます。

MEDIA を使わないでヘッドギャップを設定するには

MEDIA キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってヘッドギャップを設定することができます。

ローカルで FUNCTION を押す → ▲ ▼ を押して [セッテイ] を選び、ENTER を押す → ▲ ▼ を押して [ヘッドギャップ] を選び、ENTER を押す
- 手順 2 の画面が表示されます。手順 3 からの操作をしてください。

メディアセットに関するご注意

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

注 意

- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2 人以上でセットしてください。ロールメディアの重みでコシを傷める可能性があります。
- クランプレバーを上げるときや、お手持ちの工具 (カッターやはさみなど) を使ってメディアをカットするときは、必ず次の各項目を確認してください。
  (1) マシン設定の「クリダシ & マキトリ」でマキトリの設定を “OFF” にする (☞ P.3-24)
  (2) テンションバーの位置が最下点にあることを確認する
- リーフメディアをセットするときにメディアのそりが強い場合は、ポストキュアユニットに引っかかるなど印刷面にキズが付く場合があります。その際は以下のようにしてください。
  (1) 巻取装置を使用する
  (2) ポストキュアユニットを開けた状態で使用する
  ただし、印刷モードによってはインクが硬化しない場合があります。事前にテストされることをお勧めします。

重 要 !

- 次のようなときは、正しいメディア検出ができない場合があります。
  透明なメディアをセットしたとき / メディアに直射日光が当たっているとき
- プリント済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディアを検出できなくなる場合があります。
- カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。
- メディアをセットしたまま放置すると、プリントヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態で作図すると、ヘッドがメディアをこする原因になります。メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分に作図しないよう(▼)キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。(☞ P.2-27)
- メディアは、本体の中央を基準にセットしてください。
- メディア巻き取り用の紙管は、定期的に交換してください。右図のように長期間の使用により内側が削れているような紙管を使用すると、メディアの巻き取りが正常に行えない場合があります。

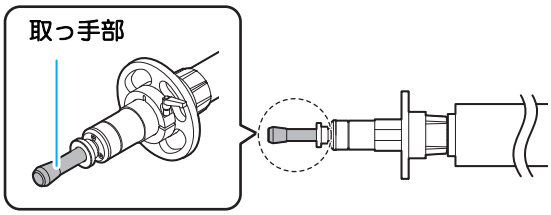
ロールメディアをセットする

最初に、メディア巻取装置の準備をする

ロールメディアをセットする前に、巻取装置の準備を行ってください。

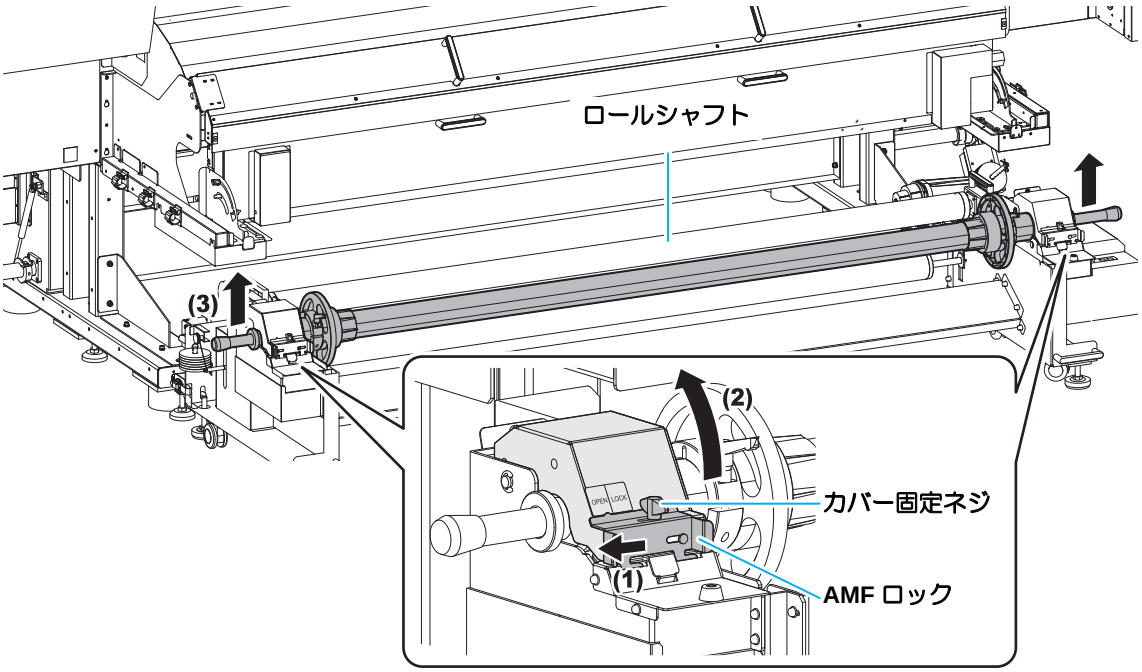
注意

- ロールシャフト (ロールシャフトは 8.5kg です。) はメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。



1 装置前面のメディア巻取装置にセットされているロールシャフトを取り外す

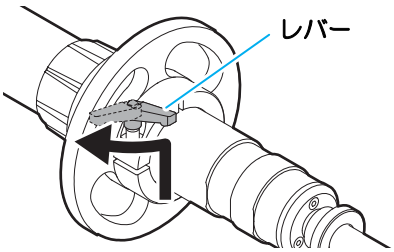
(1) 巻取装置左右のカバーに付いているカバー固定ネジを緩め、AMF ロックをスライドしてロックを解除する
(2) カバーを開ける
(3) ロールシャフトを取り外す



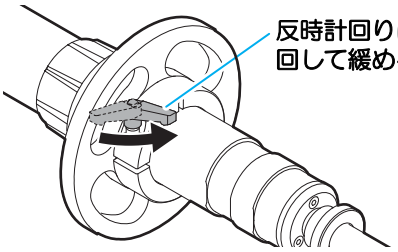
2 ロールホルダーを外す

・ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

(1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す

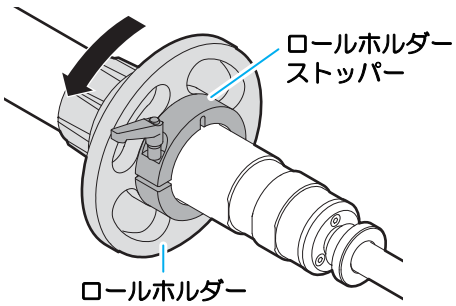


(2) レバーを一旦離し、図の方向に回して緩める



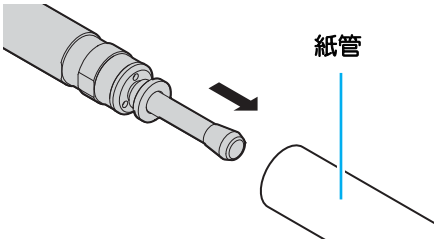
(3) (1)、(2) を繰り返し、ロールホルダーのロックを解除する

(4) ロールホルダーのハンドルを反時計方向に回してから、ロールホルダーを取り外す

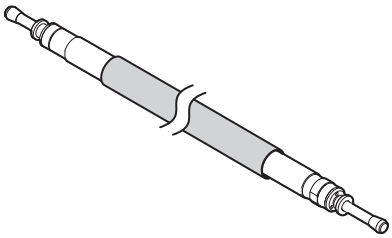


3 紙管を取り付ける

(1) ロールシャフトを紙管に通す



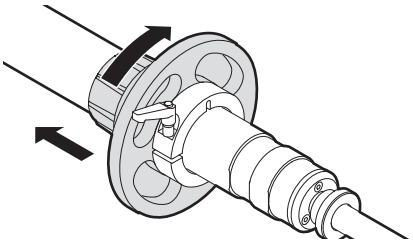
(2) 紙管がロールシャフトの中央に来るように調整する



注意

- 紙管をセットするときは、必ずロールシャフトの中央に来るように調整してください。メディアが偏っていると、メディア検出不良などの原因となります。

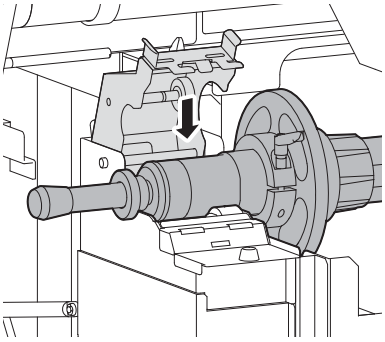
(3) 左右のロールホルダーを紙管に押し込み、ロールホルダーのハンドルを時計方向に回す
- 紙管が空回りしないように、しっかりと押し込んでください。



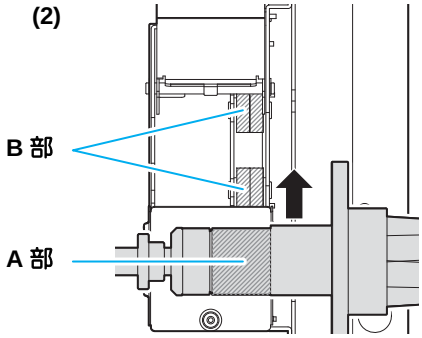
4 紙管をセットしたロールシャフトをメディア巻取装置にセットし、左右のカバーを閉める

- ロールシャフトの A 部を装置 B 部のベアリングに合わせるようにしてセットします。
- カバーを閉めたら、AMF ロックをロック位置までスライドし、カバー固定ネジを締めてください。

(1)



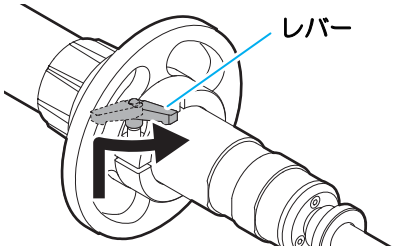
(2)



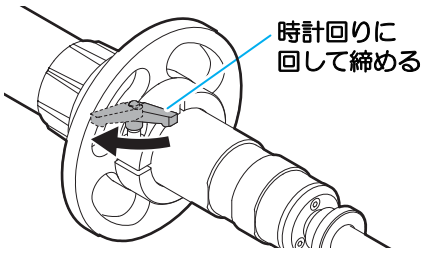
5 ロールホルダーを固定する

- ロールホルダーは、左右両側にあります。左右両方とも下の手順で固定してください。

(1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す



(2) レバーを一旦離し、図の方向に回して締める



(3) (1)、(2) を繰り返し、ロールホルダーをロックする

ロールメディアをセットする

装置背面にあるメディア繰出装置にロールメディアをセットします。
ロールメディアをセットするときは、マシン設定の「クリダシ＆マキトリ」を “ON” に設定してください。

注意
- ロールメディアセットするときは、メディアを足などに落とさないよう注意してください。
- クランプレバーの操作は、慎重に行ってください。
  テンションバーを上げたときにレバーを上げると大変危険です。必ずテンションバーをロック位置に固定してから、レバーを操作してください。

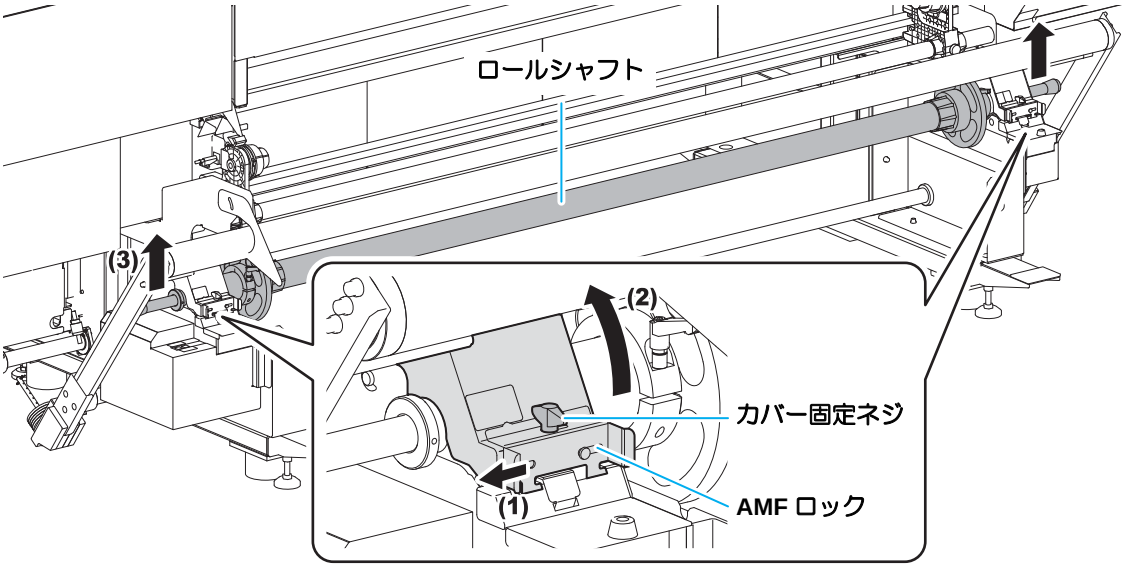
重要！ **メディア巻取装置をお使いになる場合は、次のことに注意してください。**
- 繰り出し側は、プリント面に合わせてセットする。

1 マシン設定の「クリダシ＆マキトリの設定をする」で“マキトリ”と“クリダシ”それぞれの設定を “ON” にする (☞ P.3-24)

重要！
- 小幅ロールホルダーにメディアがセットされている場合は、メディアを取り外してください。また、小幅ロールホルダーは、装置の両端に移動させておいてください。
  メディア搬送不良の原因になります。

2 装置背面のメディア繰出装置にセットされているロールシャフトを取り外す

(1) メディア繰出装置左右のカバーに付いているカバー固定ネジを緩め、AMF ロックをスライドしてロックを解除する
(2) カバーを開ける
(3) ロールシャフトを取り外す



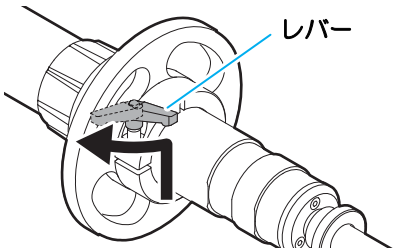
注意
- ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。

- ロールシャフトを本機から取り外して紙管やメディアをセットするときは、ホコリ等の付着を防ぐため、台やシートの上などで作業してください。
  紙管やメディアにホコリ等が付くと、プリントの不具合の原因になります。

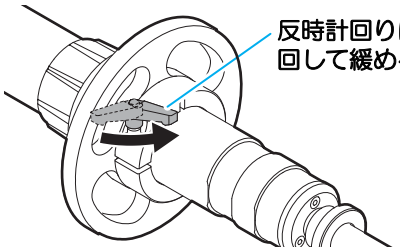
3 ロールホルダーを外す

• ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

(1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す

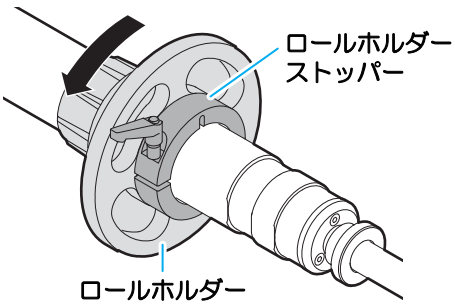


(2) レバーを一旦離し、図の方向に回して緩める



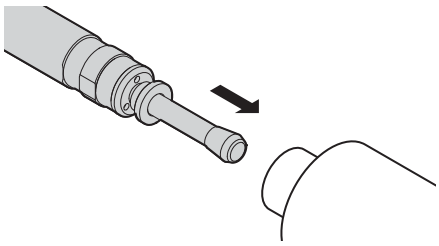
(3) (1)、(2) を繰り返し、ロールホルダーのロックを解除する

(4) ロールホルダーのハンドルを反時計方向に回してから、ロールホルダーを取り外す

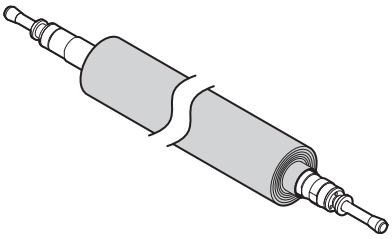


4 ロールシャフトにメディアをセットする

(1) ロールシャフトをメディアの紙管に通す



(2) メディアがロールシャフトの中央に来るように調整する

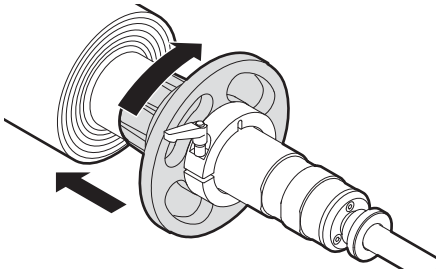


注意

• 紙管をセットするときは、本体に貼り付けられているメディアセット位置銘板を参考にして、ロールシャフトの中央に紙管がくるようにセットしてください。

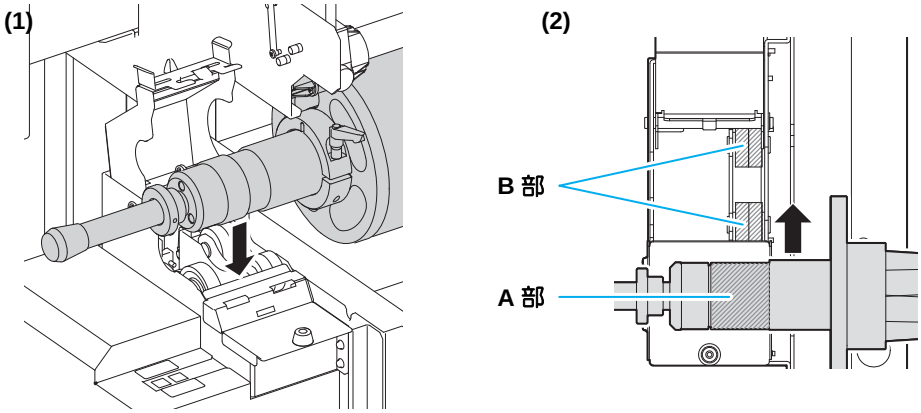
(3) 左右のロールホルダーを紙管に押し込み、ロールホルダーのハンドルを時計方向に回す

• 紙管が空回りしないように、しっかりと押し込んでください。



5 メディアをセットしたロールシャフトをメディア繰出装置にセットする

- ロールシャフトの A 部を装置 B 部のベアリングに合わせるようにしてセットします。
- カバーはまだ閉めないでください。



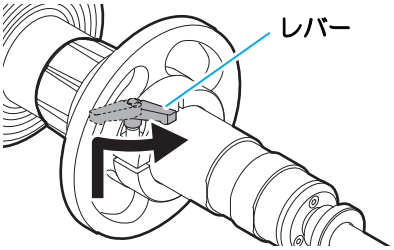
注 意

- シャフトをセットするときは、勢いよく落とさずに静かに置いてください。

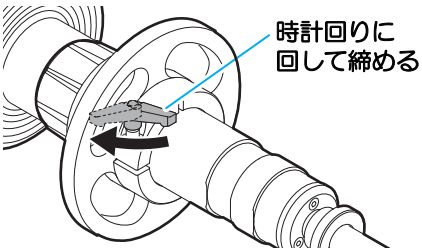
6 ロールホルダーを固定する

- ロールホルダーは、左右両側にあります。左右両方とも下の手順で固定してください。

(1) ロールホルダーストッパーのレバーを持ち上げながら、図の位置まで回す

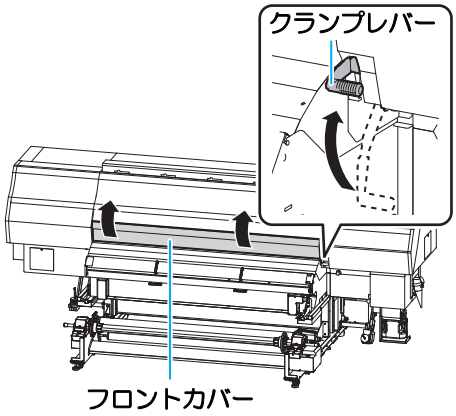


(2) レバーを一旦離し、図の方向に回して締める



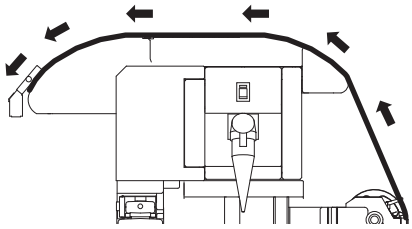
(3) (1)、(2) を繰り返し、ロールホルダーをロックする

7 装置前面からフロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



8 装置背面から、メディアを前面に送る

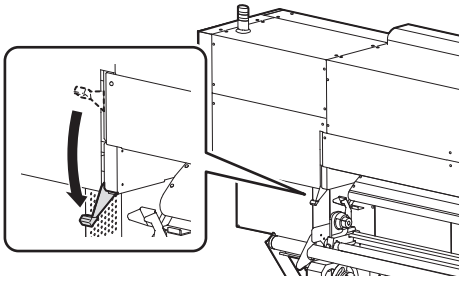
- ロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、装置の前面までメディアを送ります。
- このとき、十分な長さのメディアを装置の前面に送り出しておいてください。



重 要！
- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

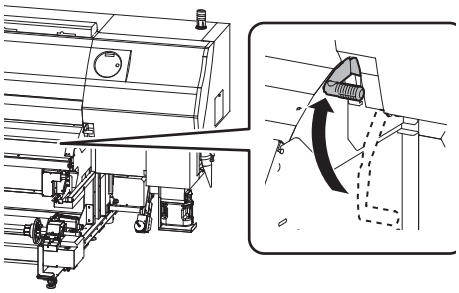
9 装置背面からクランプレバーを下げる

- メディアを仮ロックします。



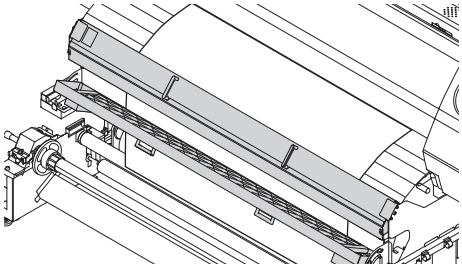
10 装置前面に回り、クランプレバーを上げる

- メディアの仮ロックが解除されます。



11 メディアを UV 遮光カバーとポストキュアユニットの下に通す

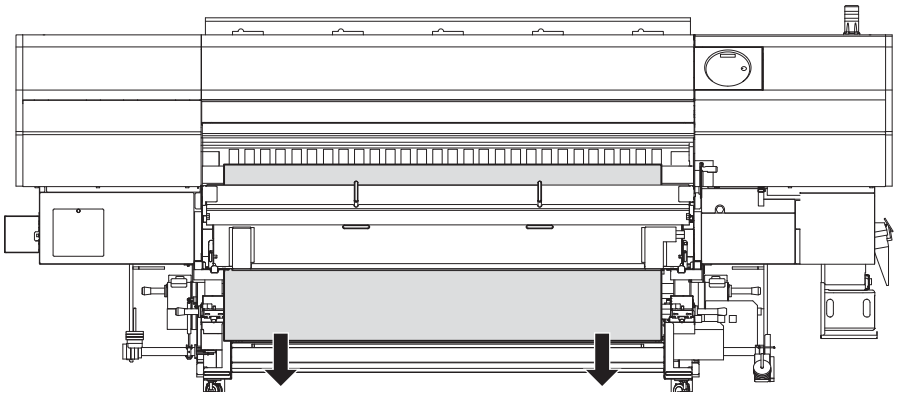
(1) UV 遮光カバーの下にメディアを通す
(2) ポストキュアユニットを手前に開き、メディアを通す
(3) ポストキュアユニットを閉じる



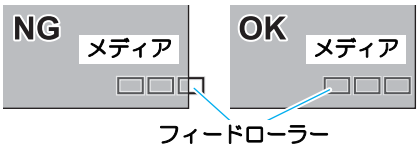
重 要！
- ポストキュアユニットの開閉は、手前の取っ手を持って行ってください。

12 メディアを引き出す

- メディアの両端を持ち、メディアの先端が床よりも 50cm くらい長く出るように引き出します。
- まっすぐセットするため、メディアを長めに引き出す必要があります。

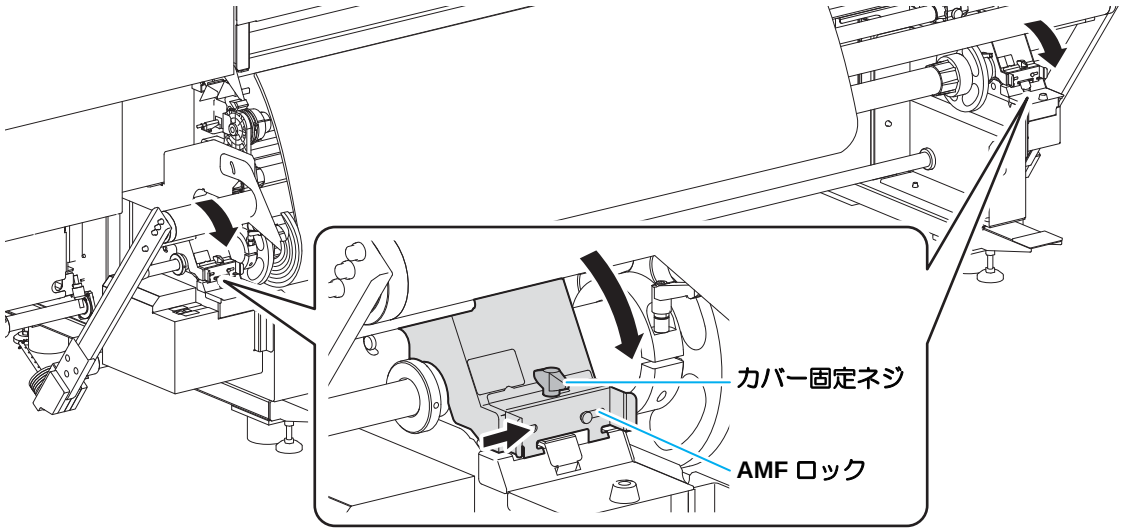


重 要！ メディア端面とフィードローラーの位置を確認してください。
- メディア端面をピンチローラー、フィードローラーでクランプすると、メディアの搬送性が悪化することがあります。メディアを固定しているロールホルダーの位置を調整してからメディアをセットしてください。



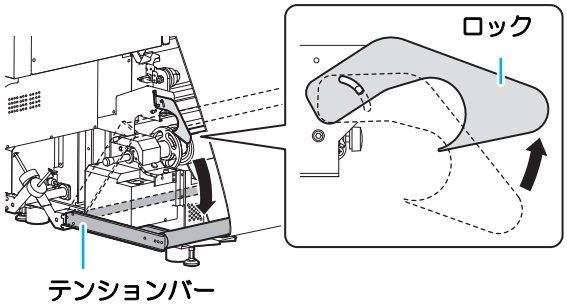
13 装置背面に回り、メディア繰出装置の左右のカバーを閉める

- カバーを閉めたら、AMF ロックをロック位置までスライドし、カバー固定ネジを締めてください。



14 背面のテンションバーをストッパーまでゆっくり下ろし、メディアを張る

- テンションバーは、ロックを外してから下ろしてください。

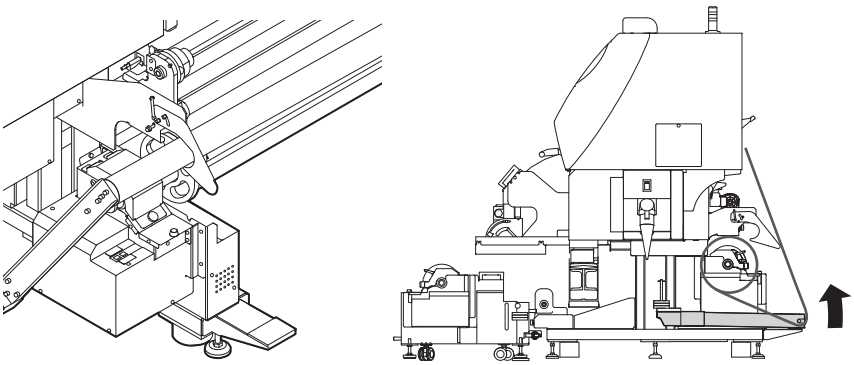


15 クランプレバーを下げる

16 メディア繰出装置の左側にあるスイッチでテンションバーの位置を調整する

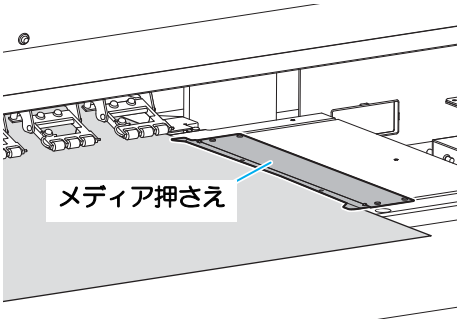
(1) ↑↓のスイッチをメディアの巻取方向にセットする
(2) 左側のスイッチを [手動 /MANUAL] にする
- メディアを巻き取りながら、テンションバーが上がります。このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。

(3) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、左のスイッチを [AUTO] にして、テンションバーを止める
(4) ↑↓のスイッチを、メディアを繰り出す方向に切り替える



17 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



注意

- メディアが右または左に寄りすぎていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。本体に貼り付けられているメディアセット位置銘板を参考して、メディアをセットし直してください。

```
ERROR  516
メテ゛ィア  イチ  ミキ゛スキ゛マス
```

```
ERROR  516
メテ゛ィア  イチ  ヒタ゛リスキ゛マス
```

18 フロントカバーを閉じる

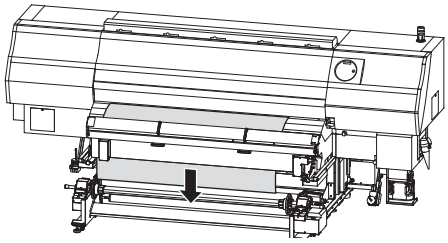
19 ◀ を押して、“ ロール ” を選択する

メデ゛ィア　センタク
ロール<　　> リーフ

- メディアの幅と厚みを検出します。
- メディア厚さを検出できなかったときは、エラーが表示されます。P.2-18「メディアの厚さを検出できなかった場合」を参照して、メディア厚さを入力してください。
- マシン設定の「メディア残量表示」と「メディア検出」の設定をそれぞれ “ON” • “MANUAL” にしている場合 (☞ P.3-25、P.3-31)、メディア幅の検出後メディア厚さと残量の入力画面を表示します。(☞ P.2-19)

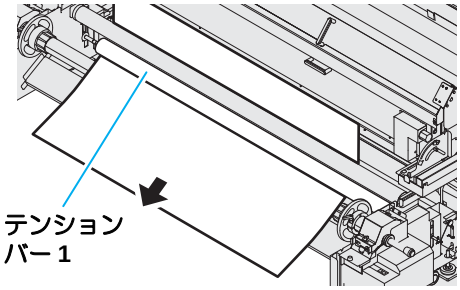
20 メディア巻取装置にメディアを固定する

(1) ▼ を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする

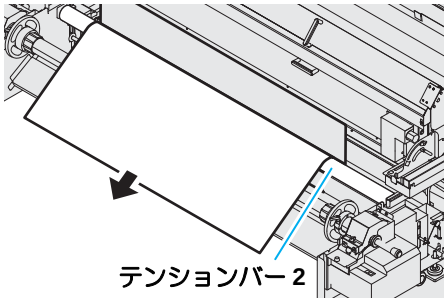


重 要 !
- ▼ を押している最中は、巻き取り装置が動作しますのでご注意ください。メディアフィード後、ENTER キーを押すと巻き取り装置は停止します。

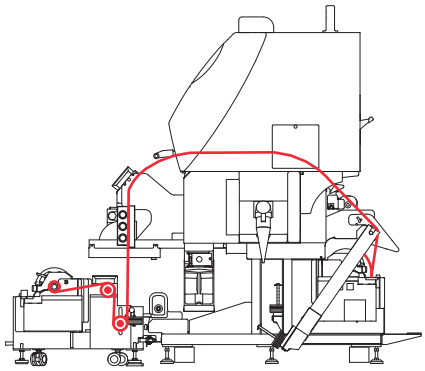
(2) メディアをテンションバー 1 の下側に通す



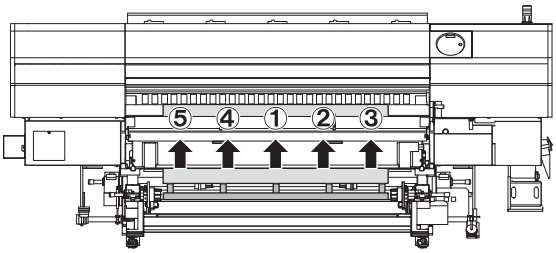
(3) メディアをテンションバー 2 の上側に通す



- メディアの経路を確認してください。
  メディアは右図のような経路でセットします。



(4) 図のようにして、プリント面が外巻きになるように巻き取るプリント面に応じて紙管にメディアをテープ固定する
- メディアがシワにならないよう、テンションバーを少し持ち上げながら、図の順番に複数箇所をテープで固定してください。



- 図は、メディアを内巻きにしている場合です。外巻きにしている場合は、逆になるようにテープ固定してください。
- メディアのたるみやシワはプリント中の画質に影響を与えます。
  メディアをテープ固定するときは、図の矢印の方向へメディアを沿わせながら行ってください。
- テープ固定するときにメディアを引っ張りすぎると、メディアの張りが均一にならないためメディアの搬送に悪影響を及ぼすことがあります。

21 ▲▼を押して、紙管にメディアを巻き付ける

- 左側のスイッチは [AUTO] にセットしておいてください。

22 ▲▼を押してテンションバーを上げ、たるんだメディアを張る

- スイッチは [AUTO] にしておいてください。メディアを巻き取りながらテンションバーが上がり、適切な位置で自動的に止まります。

- **▲▼を押してもテンションバーが上がらない場合は、スイッチを操作してたるんだメディアを張ります。**
  (1) ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、スイッチを [手動 /MANUAL] にする (テンションバーが上がります)
  - このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。

  (2) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、スイッチを [自動 /AUTO] にして、テンションバーを止める
  (3) ↑↓のスイッチをメディアを巻き取る方向にセットする
- 巻取装置とキャリッジの間のメディアにはプリントできません。

重要!
- メディアが VTTS にとりついていない状態で▲▼を押し続けると、ディスプレイにエラーメッセージ “ERROR425 マキトリイジョウ ” が表示されます。

メディアの厚さを検出できなかった場合

お使いのメディアによっては、厚さが正しく検出できない場合があります。
その際は、マニュアルでメディアの厚さを入力する必要があります。

1 エラーが表示され、キャリッジがステーションに戻る

```
ERROR510
メテ゛ィア アツサ ケンシュツ
```

2 ▲ ▼ を押して、メディアの厚さ (0.1 ～ 1.0mm) を入力する

```
メテ゛ィア アツサ
=                    0.1mm
```

3 ENTER キーを押す

- メディア選択画面が表示されます。

```
      メテ゛ィア センタク
ロール<              > リーフ
```

4 ◀ ▶ を押して、“ ロール ” または “ リーフ ” を選ぶ

- メディア幅を検出します。
- 手順 2 で END キーを押した場合は、メディア厚さの検出も行われます。

メディア厚さと残量の入力について

マシン設定の「メディア残量表示」と「メディア検出」の設定をそれぞれ “ON”・“MANUAL” にしている場合(☞ P.3-25、P.3-31)、メディア幅の検出が終了すると、メディアの厚さと残量の入力画面が表示されます。

1 メディア検出が終了すると、メディア厚さ入力画面を表示する

- マシン設定の「メディア検出」でメディアアツサを ”AUTO” にしている場合、この画面は表示されません。(☞ P.3-31)

```
メテ゛ィア  アツサ
=                    0.1mm
```

2 ▲ ▼ を押して、メディアの厚さ (0.1 ～ 1.0mm) を入力する

```
メテ゛ィア  アツサ
=                    0.1mm
```

3 ENTER キーを押す

4 メディア残量入力画面を表示する

- マシン設定の「メディア残量表示」を ”OFF” にしている場合、この画面は表示されません。(☞ P.3-25)

```
 メテ゛ィア  ナカ゛サ  ニュウリョク
=                    **.*m
```

5 ▲ ▼ を押して、メディア残量を入力する

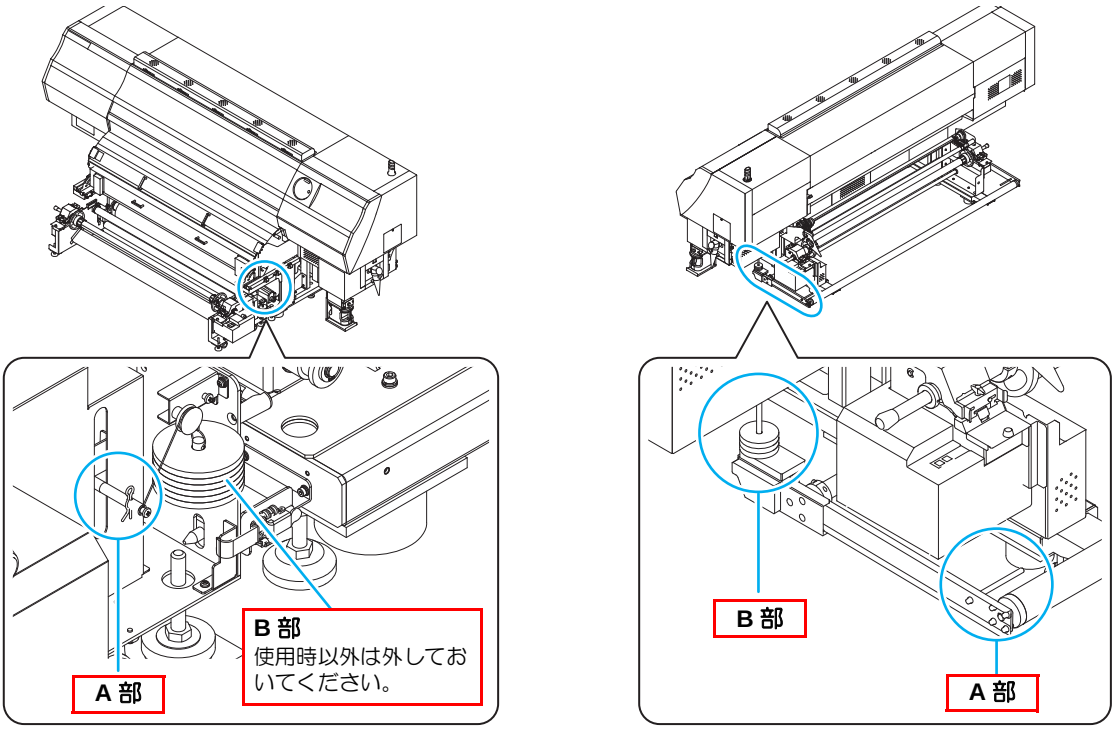
```
 メテ゛ィア  ナカ゛サ  ニュウリョク
=                    **.*m
```

6 ENTER キーを押す

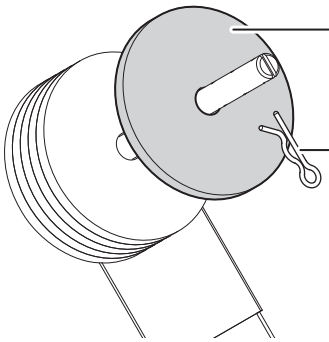
テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け

メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
カウンターウェイトの取り付け場所によって、テンションバーの重さを調節することができます。(イラストの A 部に付けると重くなり、B 部に付けると軽くなる)
カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 5 枚まで取り付けることができます。

メディアの状況	対　策
メディアの送り方向にシワが発生する	メディアにかかるテンションが強すぎます。 お使いのメディアに合わせて、カウンターウェイトを巻取装置・繰出装置の B 部に均等に取り付けてください。
プリント時にメディアが蛇行する	
メディアがたるんでキレイに巻き取れない	メディアにかかるテンションが弱すぎます。 お使いのメディアに合わせて、カウンターウェイトを巻取装置・繰出装置の A 部に均等に取り付けてください。
プラテン上でメディアが浮いている	

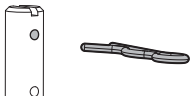


● ウェイトの取り付け方



巻取テンションバーの重量を軽くしたいときは、装置の後側にウェイトを取り付けます。また、繰出テンションバーの重量を軽くしたいときは、装置の後側にウェイトを取り付けます。

カウンターウェイトを取り付けたあと、ウェイトが落ちないようにクリップ止めしてください。
クリップは、カウンターウェイト取り付け棒に付いている穴に差し込んでください。



注 意

- カウンターウェイトは非常に重いため、取り扱いには十分にご注意ください。
  誤って指や足を挟むと、怪我の原因になります。

重 要 !

- 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

小幅ロールメディアをセットする

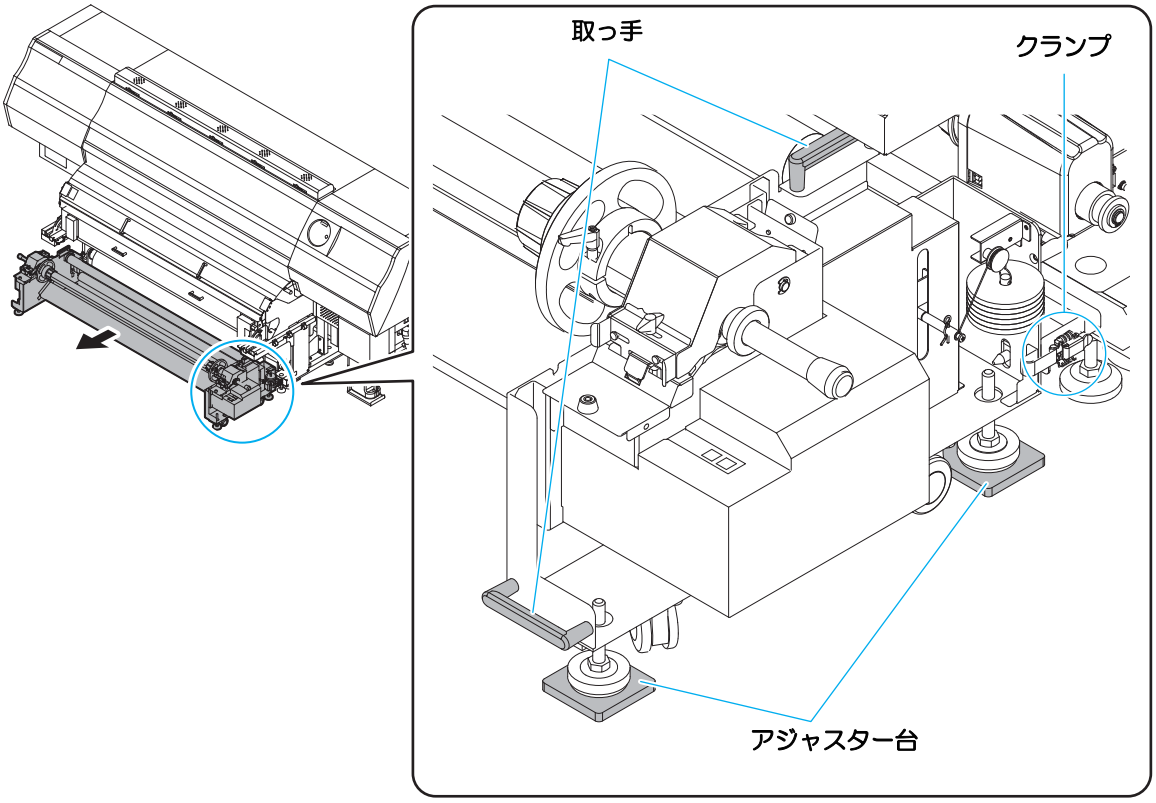
幅が小さいロールメディア (1m まで) をお使いになるときは、小幅ロールホルダーにメディアをセットしてください。

重 要!

メディア巻取装置をお使いになる場合は、次のことに注意してください。
- 繰り出し側は、プリント面が " 外巻き "(外表) となるようにセットする。
- 巻き取り側は、プリント面が " 内巻き " となるようにセットする。(外巻きになるようにセットすると、メディア搬送に悪影響を及ぼすことがあります。)

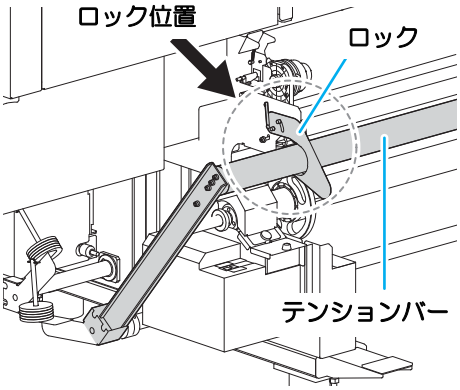
1 装置前面の巻取 VTTS を取り外す

(1) 巻取 VTTS の高さを調整しているアジャスター台を取り除く
(2) 巻取 VTTS 両側にあるクランプを外す
(3) 取っ手を持ち、手前に引き出す



2 装置背面のテンションバーをロック位置で固定する

- テンションバーのロックは、装置背面の左側にあります。テンションバーを持ち上げ、ロックを使って固定してください。



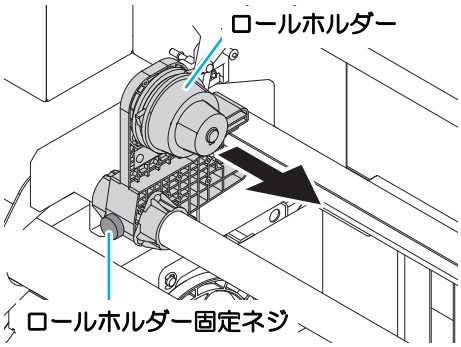
注 意

- テンションバーはロック位置よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり危険です。

3 マシン設定の「クリダシ＆マキトリの設定をする」で繰出装置の設定を “OFF” にする (☞ P.3-24)

4 装置背面にあるロールホルダーを移動する

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。
- メディアが装置前面から見て右側になるような位置にロールホルダーを移動させてください。

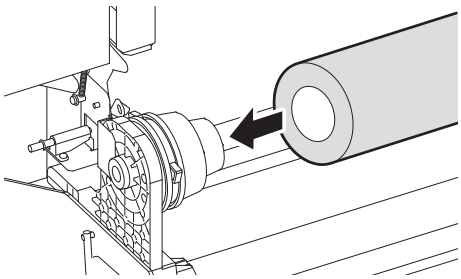


5 ロールホルダー固定ネジを締める

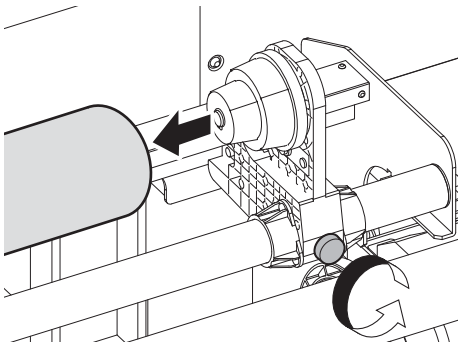
- 手順 2 ～ 3 を再度確認してください。

6 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

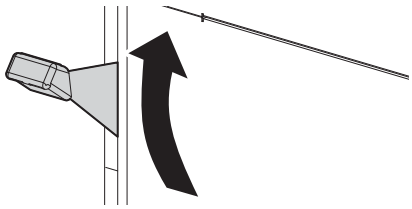
- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



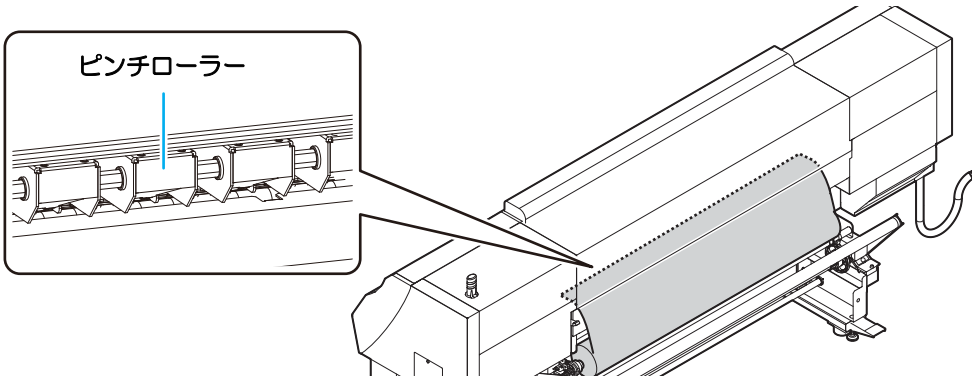
7 右側のロールホルダーのネジを緩め、紙管にホルダーを差し込む



8 装置背面のクランプレバーを上げる



9 装置にロールメディアを差し込む



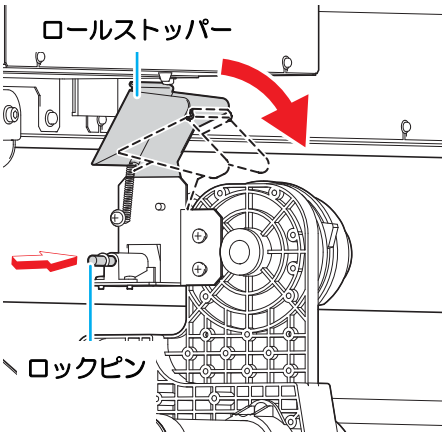
• メディアを斜めにすると、引っかかりが少なくスムーズに差し込めます。

(1) プラテンの先端に届くくらいまで、メディアを引き出す
(2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
- 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。

(3) 装置背面からクランプレバーを下げる
- メディアが保持されます。

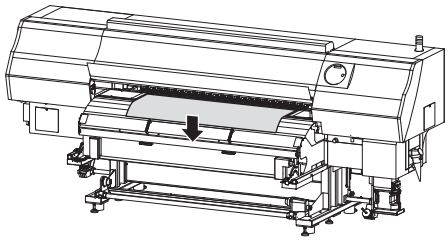
10 ロールストッパーをロックする

(1) ロールストッパーを矢印の方向に倒す
(2) ロックピンを押して固定する

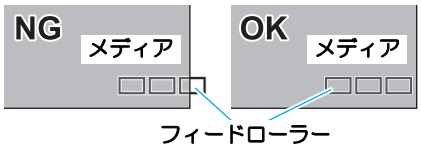


11 ロールメディアを引き出す

(1) フロントカバーを開ける
(2) 装置前面からクランプレバーを上げる
(3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める



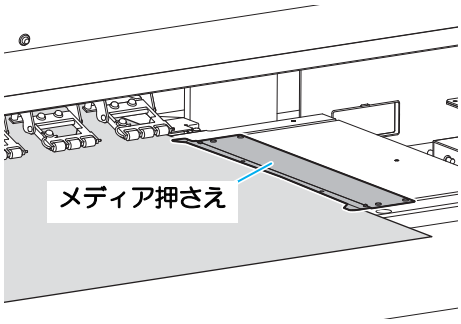
重 要！ **メディア端面とフィードローラーの位置を確認してください。**
- メディア端面をピンチローラー、フィードローラーでクランプすると、メディアの搬送性が悪化することがあります。メディアを固定しているロールホルダーの位置を調整してからメディアをセットしてください。



12 装置前面からクランプレバーを下げる

13 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



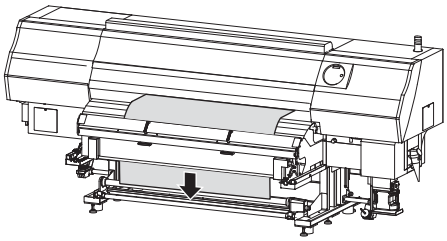
14 フロントカバーを閉じる

15 ◀ を押して、“ ロール ” を選択する

メデ゛ィア　センタク
ロール<　　> リーフ

- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が “ON” の場合 (☞ P.3-25)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(☞ P.2-19)

16 巻き取り装置にメディアを固定する

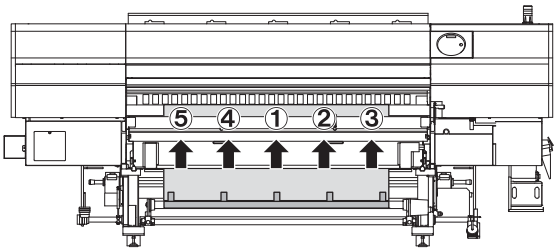


(1) ▼ を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする

(2) メディアを UV 遮光カバーとポストキュアユニットの下に通す

(3) 図のようにして、プリント面が内巻きになるように紙管にメディアをテープ固定する

- メディアがシワにならないよう、メディアを紙管に沿わせながら、図の順番に複数箇所をテープで固定してください。



- メディアのたるみやシワはプリント中の画質に影響を与えます。
  メディアをテープ固定するときは、図の矢印の方向へメディアを沿わせながら行ってください。
- テープ固定するときにメディアを引っ張りすぎると、メディアの張りが均一にならないためメディアの搬送に悪影響を及ぼすことがあります。

リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

重 要！ **リーフメディアでプリント時の注意事項**

- リーフメディアをお使いになるときは、ポストキュアユニットを開いてからメディアをセットしてください。ポストキュアユニットを閉じたままの状態でプリントすると、メディアの先端がポストキュアユニットに引っかかり、メディアが詰まる恐れがあります。
- 印刷モードや LED UV などの状態により、インクが硬化しない場合があります。そのときは、メディア端面がポストキュアユニットにさしかかったら、ポストキュアユニットを閉じてください。ポストキュアユニットによるインク硬化が実施されます。
- プリント時にポストキュアユニットを閉じていたために、メディア端面がポストキュアユニットに引っかかってしまった場合は、次のようにしてください。

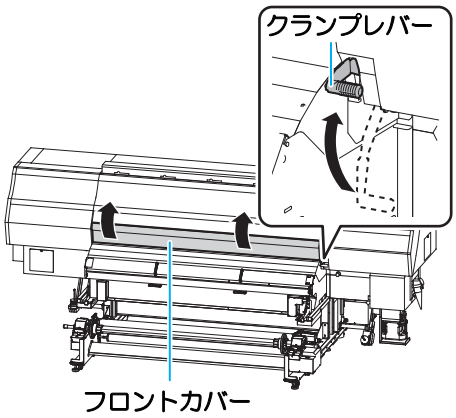
  (1) ポストキュアユニットを手前に開ける
  - ポストキュアユニットを開けると、プリントは中断します。

  (2) メディアを通し、ポストキュアユニットを閉じる

  (3) REMOTE キーを押して、プリントを再開させる

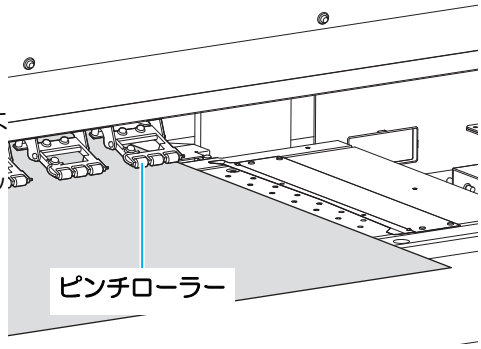
1 フロントカバーを開ける

2 クランプレバーを上げる



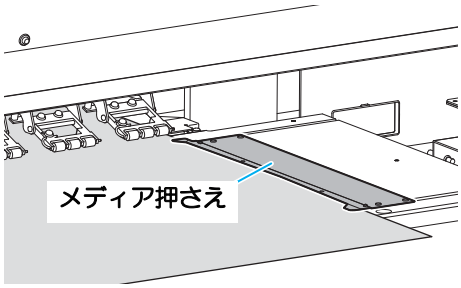
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。
- ポストヒータの溝にメディアの先端がかからない位置にセットしてください。



4 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



注意

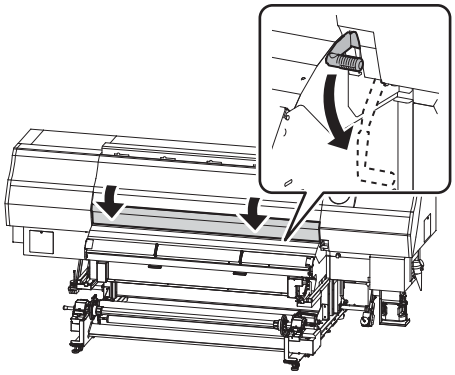
- メディアが右または左に寄りすぎていると、メディア検出後、次の警告を表示してお知らせします。ポストヒーターに貼り付けられているメディアセット位置銘板を参考にして、メディアをセットし直してください。

```
ERROR 516
メデ゛ィア イチ ミギ゛スギ゛マス
```

```
ERROR 516
メデ゛ィア イチ ヒタ゛リスギ゛マス
```

5 クランプレバーを下げる

- メディアはまっすぐにセットしてください。



6 フロントカバーを閉じる

7 ENTER キーを押す

8 ▶ を押して、“ リーフ ” を選択する

```
        メデ゛ィア センタク
ロール<                 > リーフ
```

9 メディアの検出を始める

(1) メディア幅を検出する
(2) 検出が終わると、ローカルに戻る

```
** メデ゛ィア ケンシュツ **
```

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。

1 ローカルで、▲▼◀▶を押す

- 原点設定モードになります。

```
ｹﾞﾝﾃﾝ　ｾｯﾃｲ
0.0　　　　――――
```

2 ▲▼◀▶を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

- ▲▼◀▶でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- ここでCUTキーを押すと、メディアカットを実行できます。

```
ｹﾞﾝﾃﾝ　ｾｯﾃｲ
0.0　　0.0
```

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

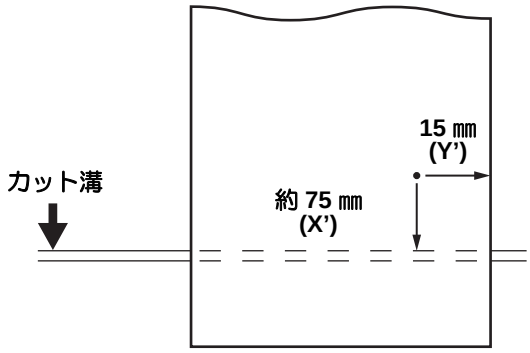
3 プリント原点を決定したら、ENTERキーを押す

- 原点が変更されます。

```
ｹﾞﾝﾃﾝ　ｾｯﾃｲ
＊＊ ｹﾞﾝﾃﾝ ＊＊
```

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。
横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。セッテイモードの「マージン」(☞ P.3-6) により変更できます。
また、ジョグキーを使って変更することもできます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度を設定します。
お使いになるメディアやプロファイルに合わせて、ヒーター温度を設定してください。
- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

- ここで設定する温度は、[セッテイ] メニュー内の [ヒーター] でも変更することができます。（☞ P.3-4）

1 HEATER キーを押す

```
PRE    PRT    POST
35°C   40°C   50°C
```

ヒーター温度確認画面

2 HEATER キーを押す

本機で設定している
ヒーター温度

```
OFF    OFF    OFF
(23°C  23°C  23°C)
```

現在のヒーター温度

3 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、各ヒーターの温度を設定する

ヒーターの選択　：◀ ▶ で選ぶ
温度の設定　　：▲ ▼ で設定

- ヒーターの加熱が始まります。（[HEAT] ランプがオレンジ点灯）
- ヒーターの温度が設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

PRE/PRT の設定可能温度
：20 ～ 60 ℃

POST の設定可能
温度 ：20 ～ 70 ℃

```
40°C   40°C   50°C
(23°C  23°C  23°C)
```

4 終了するとき、ENTER キーを押す

- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。（設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。）

重 要 !
- 本機は、20 ～ 30°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

ヒーターの温度を確認する

1 HEATER を押す
- 現在のヒーター温度が表示されます。

```
PRE    PRT    POST
40°C   50°C   35°C
```

2 確認を終わるとき、END を押す
- ローカルに戻ります。

テストフィードをする

高温でヒーターを使用するため、お使いのメディアによっては波打つ場合があります。（☞ P.5-9）
プリント前に本機能を実施し、正常にメディアが搬送できることを確認します。

1 ローカルで、TEST PRINT/CLEANING キーを 3 回押す

```
テスト　フィード゛
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
バ゛ック　フィード゛
:ON
```

3 ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

```
バ゛ック　フィード゛
:ON
```

- “ON” に設定した場合、印刷を開始する前にロールメディアを巻き戻し、たるみのない状態にしてください。

4 ENTER キーを押す

```
ホ゜ストキュア
:ON
```

5 ▲ ▼ を押して、OFF を選ぶ

```
ホ゜ストキュア
:OFF
```

- 「マニュアル乾燥フィード」を行う場合、“ON” に設定します。（☞ P.2-40）

6 ENTER キーを押す

```
テスト　フィード゛
カイシ          [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
＊＊　テスト　フィード゛　＊＊
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

- テストフィードを開始します。

重 要！
- 「マニュアル乾燥フィード」の際、ポストキュア点灯中に遮光カバーを開けるとポストキュアは消灯しますが動作は継続します。

8 END キーを押す

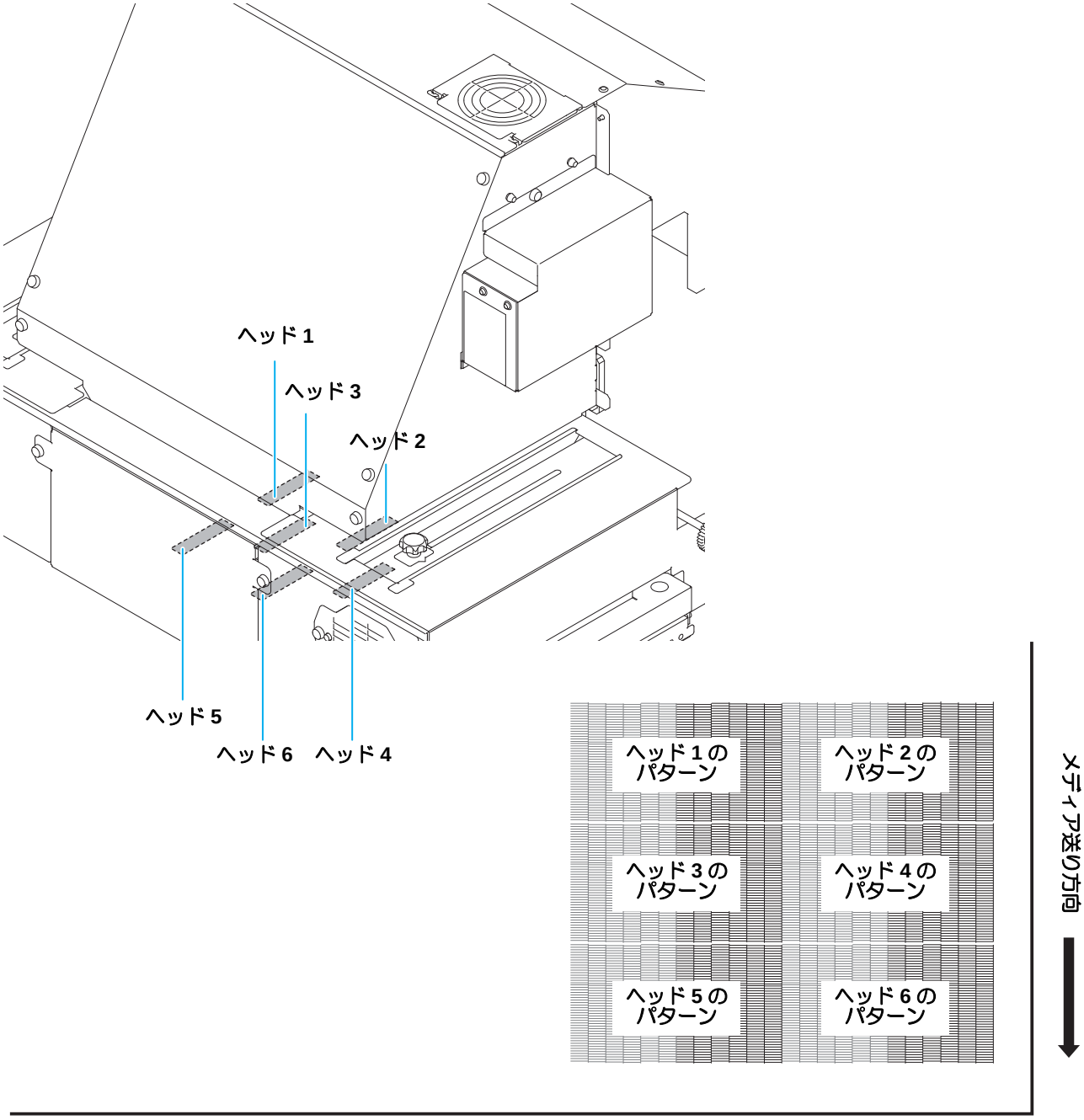
- END キーを押すまで、フィード動作を継続します。
- ある程度フィードさせて搬送状況を確認してから、END キーを押して終了します。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

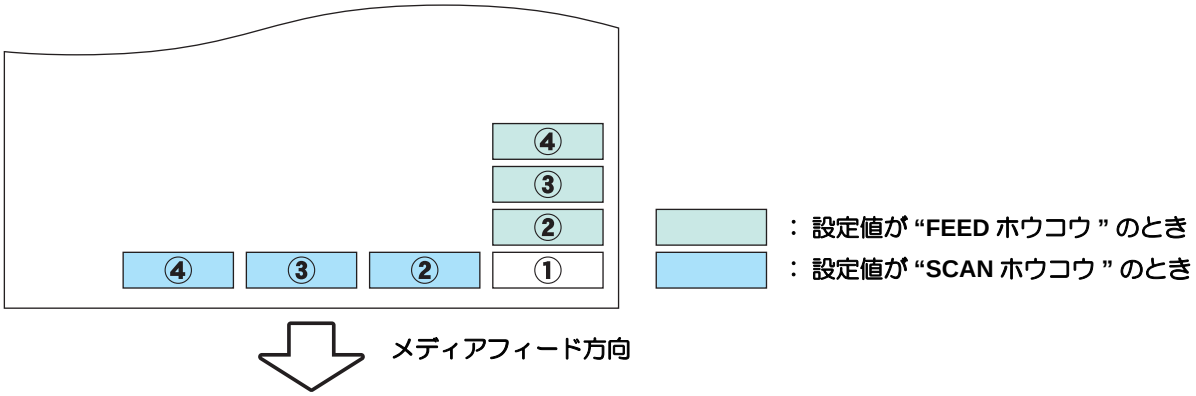
ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の 2 種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に確認してください	• メディアをセットしているか☞ P.2-5	• 原点位置をセットしているか
	• ヘッド高さを調整しているか☞ P.2-5	

1 ローカルで、TEST PRINT/CLEANING キーを押す

• ▲ ▼ を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。

```
テスト　サクス゛
(FEED　ホウコウ)　　[ENT]
```

2 ENTER キーを押す

• テストプリントを開始します。

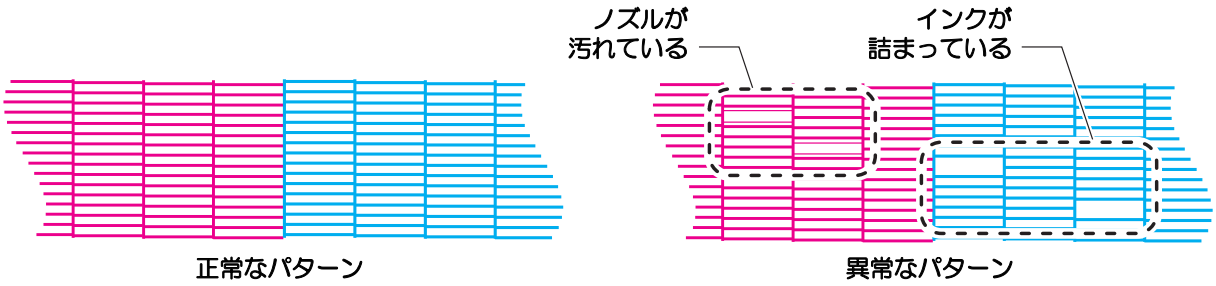
• プリントが終わると、手順 1 の表示に戻ります。

```
**　プ゜リント　**
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

```
テスト　サクス゛
(FEED　ホウコウ)　　[ENT]
```

3 プリント結果を確認する

• 正常な場合は、操作を終了します。
• 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（☞ P.2-32）



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の 3 種類から選んでください。

ソフト　：線の曲がり、抜けがある時
ノーマル　：線の抜けがある時、混色している時
ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3 種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルモードで、TEST PRINT/CLEANING キーを 2 回押す

```
クリーニング゛
ソフト                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを選択する

```
クリーニング゛
ノーマル              [ENT]
```

ソフト　：線の曲がり、抜けがある時
ノーマル：線の抜けがある時、混色している時
ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

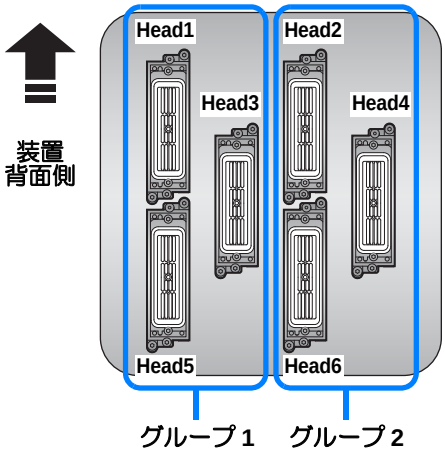
3 ENTER キーを押す

```
ヘット゛ センタク
:12
```

4 ▲ ▼ を押して、クリーニングするヘッドを選択する

```
ヘット゛ センタク
:1_
```

• 設定値：12 (全てのヘッド)
1_ (グループ 1 のヘッド)
_2 (グループ 2 のヘッド)



5 ENTER キーを押す

```
**   クリーニング゛   **
     00:00:00
```

6 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合

- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-6)
- 「ノズル詰まりが復旧しない場合」を参照して、ノズルリカバリの設定をする (☞ P.4-23)

メディアの送りを設定する

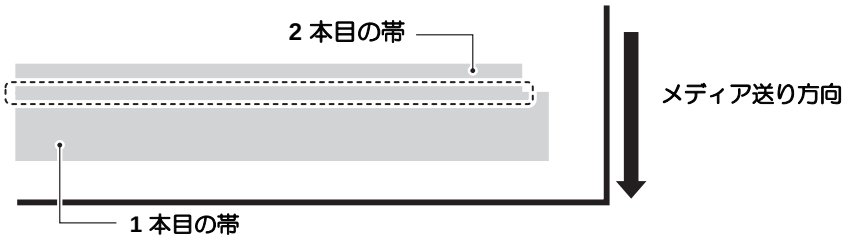
メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要！
- メディアの種類を変更した場合、パターンを確認し状況に応じて調整を行う必要があります。
- ヒーターの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- 巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする (☞ P.2-5)

2 ローカルで、ADJUST キーを押す

```
フィート゛　ホセイ
                [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
フィート゛　ホセイ
プ゜リント　カイシ　　[ENT]
```

4 ENTER キーを押して、補正パターンをプリントする

```
＊＊　プ゜リント　＊＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

5 補正パターンを確認し、補正値を入力する

```
フィート゛　ホセイ
=                 0
```

" ＋ " に入力すると: 2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
" － " に入力すると: 2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。

- 補正値を “20” 変更すると帯が約 0.01mm 移動します。この補正量を参考にして補正値を決定してください。

6 ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 5 の操作をして補正してください。

```
フィート゛　ホセイ
プ゜リント　カイシ　　[ENT]
```

7 終了するとき、END キーを数回押す

ADJUST を使わないでフィード補正をするには

ADJUST キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってフィード補正を選ぶことができます。

ローカルで FUNCTION を押す → ▲ ▼ を押して [セッテイ] を選ぶ → ENTER を 2 回押す
- 手順 3 の画面が表示されます。手順 4 からの操作をしてください。

プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、ADJUST キーを押す

```
*リモート*
　　**.**mm
```

```
フィート゛　ホセイ
　　0　▶　0
```

現在の [フィードホセイ] の値

2 ▲ ▼ を押して、補正量を入力する

- 補正量：-9999 ～ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

3 ENTER キーを押す

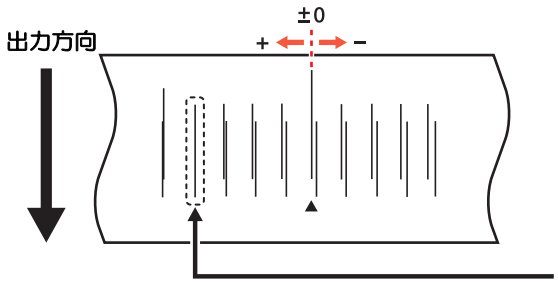
- 変更した値が登録されます。
- ENTER キーの代わりに END キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

```
*リモート*
　　**.**mm
```

双方向プリントのドット位置を調整する

プリント時の条件（メディアの厚み／ヘッドの高さなど）を変えたときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

ドット位置補正パターンプリント例



プラス方向に 0 位置から 4 本目が、直線で表示されています。
この場合のドット位置補正値は 4.0 です。

1 メディアをセットし、プリント原点を設定する (☞ P.2-5)

2 ローカルで、ADJUST キーを 2 回押す

```
ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ
                [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ
:Y600dpi
```

4 ▲ ▼ を押して、解像度を選択する

```
ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ
:Y600dpi
```

- 設定値：Y600dpi / Y300dpi / Y1200dpi/ ALL
- すべての解像度において補正を行ってください。
- “ALL” を選択すると、全ての解像度のパターンを一度にプリントします。

5 ENTER キーを押す

```
ﾄﾞｯﾄ ｲﾁ ﾎｾｲ
ﾌﾟﾘﾄ ｶｲｼ        [ENT]
```

6 ENTER キーを押して、パターンプリントを開始する

```
 **  ﾌﾟﾘﾝﾄ  **
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
```

- テストパターンをプリントします。
  (プリント順にパターン 1,2,3… と呼ぶ)

7 ▲ ▼ を押して、パターン 1 ～のドット位置を補正する

```
Y600dpi  Std
=                0.0
```

- 補正値：-40.0 ～ 40.0
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が-40.0～40.0の間にない場合は、ヘッドギャップを調整後、手順2から操作をし直してください。

8 ENTER キーを押して、補正値を確定する

- 次のパターンを補正する画面が表示されます。手順 7 からの操作を繰り返して全てのパターンの補正をしてください。
- すべてのパターンを補正したら、手順 9 の操作をしてください。

```
Y600dpi Hi
=                    0.0
```

9 終了するとき、END キーを数回押す

ADJUST を使わないでドット位置補正をするには

ADJUST キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってドット位置補正を選ぶことができます。

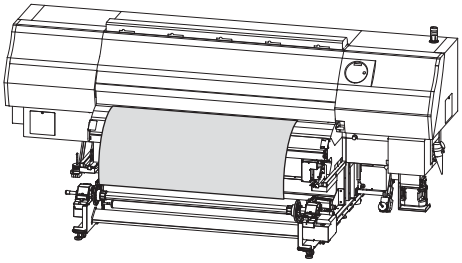
ローカルで FUNCTION を押す → ▲ ▼ を押して [セッテイ] を選び ENTER を押す → ▲ ▼ を押して [ドットイチホセイ] を選び ENTER を押す

- 手順 3 の画面が表示されます。手順 4 からの操作をしてください。

プリントを開始する

重要！ ・ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1 メディアをセットする（☞ P.2-5）



2 ヒーターの温度を確認する

・ディスプレイ下の [PRE]、[PRINT]、[POST] で CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。

3 ローカルで、REMOTE キーを押す

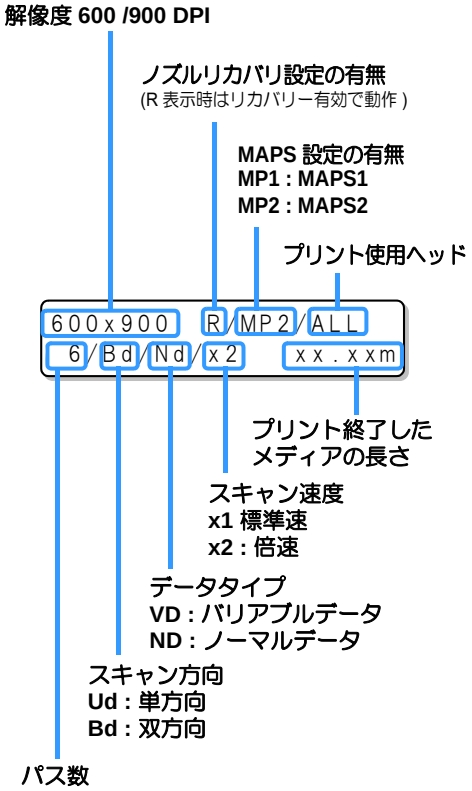
・ヒーター温度が設定値に到達していない場合、右の画面が表示されます。ENTER キーを押すと、未到達でもリモートに移行できます。
・リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

オント゛　セイキ゛ョ　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ

4 コンピュータからプリントするデータを送信する

・プリント条件を表示します。
・データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

5 プリント開始



プリントを中断する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、(REMOTE)キーを押す

```
<ローカル>
　　プ゜リントテ゛ータ　アリ
```

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度(REMOTE)キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する(データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで、(DATA CLEAR)キーを押す

```
テ゛ータ　クリア
　　　　　　　　[ENT]
```

2 (ENTER)キーを押します。

```
　＊＊　テ゛ータ　クリア　＊＊
```

- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。

プリント完了後の動作

乾燥フィード

プリントが完了すると、印刷面をポストキュアユニットによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端がポストキュアユニットを通過するまでフィード動作を行います。
- (END)キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後のデータ完了後のみ動作します。

乾燥フィード中の画面表示

```
　　カンソウ　チュウ
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

マニュアル乾燥フィード

乾燥フィード中にキャンセルした場合、手動でフィードして UV ランプを通過しなかった面を乾燥 (硬化) させます。

1 ローカルで、TEST PRINT/CLEANING キーを 3 回押す

```
テスト　フィード゛
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
バ゛ック　フィード゛
:ON
```

3 ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

```
バ゛ック　フィード゛
:ON
```

注意
- “ON” に設定した場合、印刷を開始する前にロールメディアを巻き戻し、たるみのない状態にしてください。

4 ENTER キーを押す

```
ポ゜ストキュア
:OFF
```

5 ▲ ▼ を押して、ON を選ぶ

```
ポ゜ストキュア
:ON
```

6 ENTER キーを押す

```
テスト　フィード゛
カイシ          [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

- ヒーターおよび UV ランプの準備完了後、テストフィードを開始します。

```
 **　テスト　フィード゛　**
シバ゛ラク　オマチクダ゛サイ
```

8 END キーを押す

- プラテン面にあるメディアがポストキュアユニットを通過する位置まで、フィード動作を継続します。
- フィード動作を終了するときは、END キーを押します。

メディアをカットする

ロールメディアでプリント終了後にメディアをカットしたいときは、操作パネル上のキーを使ってカットしてください。

重要！
- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
- 巻取装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻取装置のスイッチを使って巻き取ってください。

1 MEDIA キーを 2 回押す

```
メデ゛ィア カット
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
メデ゛ィア カット
カット イチ          [▲▼]
```

3 ▲ ▼ を押して、カット位置を指定する

```
      カット イチ
  0.0        ―――
```

4 ENTER キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

```
** メデ゛ィア カット **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

- ジョグキーによる原点設定中に MEDIA キーを押して、メディアカットを実行することもできます。(☞ P.2-27)

第３章
便利な使い方

この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、 各種設定方法について説明しています。

設定機能一覧表 3-2
ヒーターの設定をする 3-4
ロジカルシークの設定をする 3-5
マージンの設定をする 3-6
UV モードの設定をする 3-7
RIP で指定した光量を調整したい場合 3-7
本機で設定した光量でプリントしたい場合 3-8
パス間の縞を軽減する設定をする 3-13
MAPS 機能とは 3-13
MAPS1 機能を設定する 3-14
MAPS2 機能を設定する (4 色) 3-15
MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク) 3-16
オートクリーニングの設定をする 3-18
ノズル面の清掃頻度を設定する 3-19
その他の設定 3-20
マシン設定 3-21
オートパワーオフの設定をする 3-23
クリダシ＆マキトリの設定をする 3-24
メディア残量表示の設定をする 3-25
ジコクの設定をする 3-27
タンイの設定をする 3-28
キーブザーの設定をする 3-29
言語の設定をする 3-30
メディアケンシュツの設定をする 3-31
乾燥フィードの設定をする 3-32
プリント間の余白を設定する 3-33
ネットワークの設定をする 3-34
イベントメール機能の設定 3-36
設定ロックの設定をする 3-46
インクチャージをする 3-48
設定した内容を初期状態に戻す 3-50
装置情報を確認する 3-51
装置の使用状況を確認する 3-51
装置のバージョン情報を確認する 3-52
本機の情報を表示する 3-53

設定機能一覧表

各設定機能の概要と設定値について説明します。

重 要！

- **初期値「ホスト」の機能について**
  RIP ソフトウェアで指定した設定値によって、動作させることができます。
  「ホスト」以外に設定した場合、RIP ソフトウェアからの指示によらずその設定値で動作します。
  RIP ソフトウェアによっては指示できない機能があります。その場合、「RIP からの指示がない場合」の設定値で動作します。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称				設定値	初期値	RIP から指示がない場合 *1	概　要
フィードホセイ (☞ P.2-34)				-9999 ～ 9999	0	————	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドットイチホセイ (☞ P.2-36)				-40.0 ～ 40.0	0	————	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ヒーター (☞ P.3-4)	メディアヒーター		PRE	OFF/ 20 ～ 60 ℃ (OFF/ 68 ～ 140 °F)	OFF	————	ヒーターの状態を設定します。
			PRINT	OFF/ 20 ～ 60 ℃ (OFF/ 68 ～ 140 °F)	OFF	————	
			POST	OFF/ 20 ～ 70 ℃ (OFF/ 68 ～ 158 °F)	OFF	————	
	インクヒーター		スタンバイイコウジカン	ナシ /0 ～ 60min	2min	————	ヘッドヒーター、インクヒーターの、スタンバイ状態までの移行時間を設定します。
ロジカルシーク (☞ P.3-5)				ホスト / ON/OFF	ホスト	ON	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
カサネヌリ (☞ P.3-20)				ホスト /1 ～ 9	ホスト	1	インクの重ね塗りを行います。
マージン (☞ P.3-6)			ヒダリ	ホスト / -10 ～ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	メディア左右の余白を設定します。
			ミギ	ホスト / -10 ～ 85mm (1mm 単位)	ホスト	0 mm	
UV モード (☞ P.3-7)				ホスト / マニュアル	ホスト		
	パターン	ホスト		-50 ～ +50%	0%	マニュアル設定の LEDUV ランプ , パターン A, Lv10 またポストキュア UV ランプ , ON で動作する	UV ランプの光量を設定・調整します。
		マニュアル	LED UV ランプ	パターン A ～ F, Lv1 ～ 10	パターン A Lv5	————	
			ポストキュア UV ランプ	ON/OFF	ON	————	
	セイギョ	フル					UV ランプの点灯制御の方法を設定します。
		インサツ	ランプイチ	0 ～ 180mm	0mm		
リフレッシュ (☞ P.3-20)				ホスト / Lv.0 (リフレッシュ間隔長い) ～ 3 (間隔短い)	ホスト	Lv.3	プリント中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。
キュウチャク (☞ P.3-20)				ホスト / ヒョウジュン / ヨワイ / ツヨイ /OFF	ホスト	ヒョウジュン	メディアの吸着する力を設定します。

機能名称				設定値	初期値	RIP から指示がない場合 *1	概　要
フィードソクド (☞ P.3-20)				ホスト / 10 ～ 200% *2	ホスト	100%	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。
MAPS (☞ P.3-13)				OFF/MAPS1/MAPS2	MAPS2	―――	パス間の縞を軽減する設定をします。
	MAPS1		プリントソクド チョウセイ	-50 ～ +50%	0%	―――	
	MAPS2		AUTO			―――	
			MANUAL	パターン (1 ～ 5)/ スムージング レベル (AUTO/ 5 ～ 100%)		―――	
オート クリーニング (☞ P.3-18)	OFF, ページ , キョリ , ジカン				OFF	―――	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。
	ページ	カンカク		1 ～ 1000 ページ	1 ページ	―――	
		タイプ		ノーマル / ソフト / ハード	ソフト	―――	
	キョリ	カンカク		0.1 ～ 100.0m	0.5m	―――	
		タイプ		ノーマル / ソフト / ハード	ソフト	―――	
	ジカン	カンカク		10 ～ 120min	10min	―――	
		タイプ		ノーマル / ソフト / ハード	ソフト	―――	
テイキワイピング (☞ P.3-19)				3 ～ 255 分 , OFF	OFF	―――	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。
ヘッドギャップ (☞ P.2-5)				1.5 ～ 7.0mm	2.0 mm	―――	ヘッド高さを設定します。

*1. 本機のタイプ登録で " ホスト " を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。
*2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

ヒーターの設定をする

ヒーター (PRE・PRINT・POST) の温度を設定します。

・ヒーター温度の ON/OFF は、(HEATER)キーを押して設定することもできます。（☞ P.2-28）

1 ローカルで、(FUNCTION)キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER)キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 (▲)(▼)を押して、[ヒーター] を選ぶ

```
セッテイ
ヒーター                [ENT]
```

4 (ENTER)キーを押す

・設定ヒーターの選択画面が表示されます。

```
ヒーター
:メテ゛ィア ヒーター
```

5 (▲)(▼)を押して、[メディアヒーター] を選ぶ

```
ヒーター
:メテ゛ィア ヒーター
```

6 (ENTER)キーを押す

・PRE ヒーターの温度設定画面が表示されます。

```
PRE
=                     OFF
```

7 (▲)(▼)を押して、PRE ヒーターの設定温度 (20°C ～ 60°C) を選ぶ

```
PRE
=                   30°C
```

8 (ENTER)キーを押す

・PRINT ヒーターの温度設定画面が表示されます。

```
PRINT
=                     OFF
```

9 (▲)(▼)を押して、PRINT ヒーターの設定温度 (20°C ～ 60°C) を選ぶ

```
PRINT
=                   30°C
```

10 (ENTER)キーを押す

・POST ヒーターの温度設定画面が表示されます。

```
POST
=                     OFF
```

11 (▲)(▼)を押して、POST ヒーターの設定温度 (20°C ～ 70°C) を選ぶ

```
POST
=                   30°C
```

12 (ENTER)キーを押す

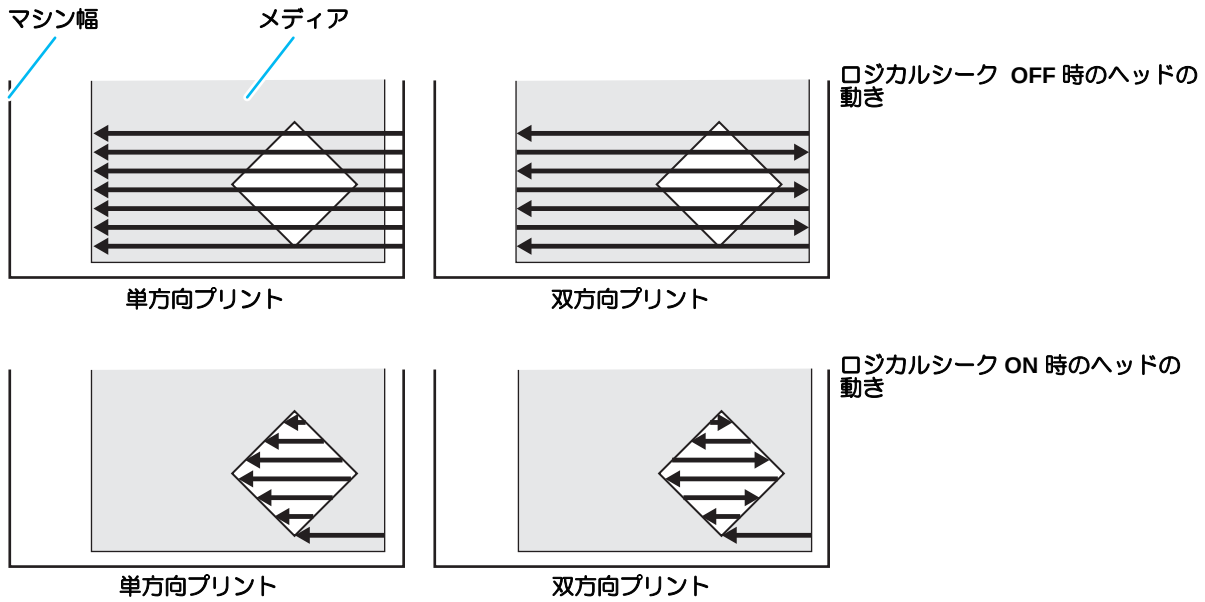
```
セッテイ
ヒーター                [ENT]
```

13 終了するとき、(END)キーを数回押す

ロジカルシークの設定をする

ロジカルシークの設定により、ヘッドの動作が変わります。

重 要！
- ロジカルシークの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で“ ホスト ”に設定した場合は、プリント時“ ロジカルシーク =ON” の状態でプリントされます。



1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 ▲ ▼ を押して、[ロジカルシーク] を選ぶ

```
セッテイ
ロシ゛カルシーク         [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
ロシ゛カルシーク
:ホスト
```

5 ▲ ▼ を押して、設定値を選ぶ

- 設定値：ホスト /ON/OFF

```
ロシ゛カルシーク
:ON
```

6 ENTER キーを押す

```
セッテイ
ロシ゛カルシーク         [ENT]
```

7 終了するとき、END キーを数回押す

マージンの設定をする

メディアの左右の余白を設定します。
ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

重要！
- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を " ホスト " にしてください。
- 付属の RIP ソフトウェア (RasterLink) では、マージンの指定ができません。RasterLink をお使いの場合に本機の設定で " ホスト " にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 ="0mm" の状態でプリントされます。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ     [ENT]
```

3 ▲▼を押して、[マージン] を選ぶ

```
セッテイ
マーシ゛ン              [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
ヒタ゛リ
=                       0mm
```

5 ▲▼を押して、左マージンを設定する

- お買い上げ時は " ホスト "(RIP ソフトウェア側の設定を優先) に設定されています。メディア左の余白を本機で設定した値にしたいとき変更してください。

設定値 : ホストまたは -10 ～ 85mm(1mm 単位で設定)

```
ヒタ゛リ
=                       ホスト
```

6 ENTER キーを押す

```
ミキ゛
=                       0mm
```

7 ▲▼を押して、右マージンを設定する

- お買い上げ時は " ホスト "(RIP ソフトウェア側の設定を優先) に設定されています。メディア右の余白を本機で設定した値にしたいとき変更してください。

設定値 : ホストまたは -10 ～ 85mm(1mm 単位で設定)

```
ミキ゛
=                       ホスト
```

8 ENTER キーを押す

```
セッテイ
マーシ゛ン              [ENT]
```

9 終了するとき、END キーを数回押す

注意
- メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

UV モードの設定をする

LED UV 装置の UV ランプの光量と制御方法を設定します。

RIP で指定した光量を調整したい場合

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、[UV モード] を選ぶ

```
セッテイ
UVモート゛               [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

5 (▲)(▼) を押して、[パターン] を選ぶ

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

6 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ホスト
```

7 (▲)(▼) を押して、[ホスト] を選ぶ

- 本機で設定した光量でプリントしたい場合は、[マニュアル] を選んでください。

```
UVモート゛
:ホスト
```

8 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
コウリョウ  チョウセイ   :     0%
```

9 (▲)(▼) を押して、LED UV 装置から照射される光量の調整値を設定する

```
UVモート゛
:コウリョウ  チョウセイ  :    10%
```

設定値 : -50%～ +50%
- 0%に設定すると、RIP での指定値のまま照射します。
- マイナスに設定すると光量が少なくなり、プラスに設定すると光量が増えます。

10 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
UVモート゛               [ENT]
```

11 終了するとき、(END) キーを数回押す

本機で設定した光量でプリントしたい場合

LED UV ランプの光量調整

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、**[UV モード]** を選ぶ

```
セッテイ
UVモート゛               [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

5 (▲)(▼) を押して、**[パターン]** を選ぶ

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

6 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ホスト
```

7 (▲)(▼) を押して、**[マニュアル]** を選ぶ

- 本機で設定した光量でプリントしたい場合は、[マニュアル] を選んでください。

```
UVモート゛
:マニュアル
```

8 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:LED-UVランプ゜
```

9 (▲)(▼) を押して、**[LED-UV ランプ]** を選ぶ

```
UVモート゛
:LED-UVランプ゜
```

10 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ハ゜ターンA
```

11 ▲▼を押して、LED UVの照射パターンを設定する

```
UVモード
:パターンD
```

- 設定値：パターン A ～ F
- 照射パターンに対する推奨の印刷モードは次の通りです。

インクセット	4 色	4 色 + 白 / 6 色 + 白
パターン A	300x450HQ	通常使用しない
パターン B	600x600、600x900	300x450HQ 単層、600x600 単層
パターン C	1200x1200	600x900 単層、1200x1200 単層 300x450HQ 2 層、600x600 2 層 600x900 2 層
パターン D	通常使用しない	3 層印刷用
パターン E	パターン A ～ D で密着性が悪い場合	パターン A ～ D で密着性が悪い場合 (カラーのみ印刷、カラー→白印刷)
パターン F	パターン A ～ D で密着性が悪い場合	パターン A ～ D で密着性が悪い場合 (白のみ印刷、白→カラー印刷)

12 ENTERキーを押す

```
UVモード
レベル        :10
```

13 ▲▼を押して、LED UV装置から照射される光量のレベルを設定する

```
UVモード
レベル        :  5
```

設定値 : 1 ～ 10 (初期値 =5)
- 設定値 10 で光量は最大になります。
- レベルを下げると光量は少なくなります。

14 ENTERキーを押す

```
セッテイ
UVモード              [ENT]
```

15 終了するとき、ENDキーを数回押す

重要!
- レベル設定値によっては、オーバーヒートなどの UV 関係のエラーが発生する場合があります。エラー発生が合った場合は、レベル設定値を小さな値へ変更してお使いください。

ポストキュア UV ランプの点灯パターンを変更する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、[UV モード] を選ぶ

```
セッテイ
UVモート゛               [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

5 (▲)(▼) を押して、[パターン] を選ぶ

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

6 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ホスト
```

7 (▲)(▼) を押して、[マニュアル] を選ぶ

- 本機で設定した光量でプリントしたい場合は、[マニュアル] を選んでください。

```
UVモート゛
:マニュアル
```

8 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:LED-UVランフ゜
```

9 (▲)(▼) を押して、[ポストキュア UV ランプ] を選ぶ

```
UVモート゛
:ホ゜ストキュア UVランフ゜
```

10 (ENTER) キーを押す

```
UVモート゛
:ON   ON   ON
```

11 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、 ポストキュアランプの点灯パターンを設定する

- 上段 / 中段 / 下段それぞれのポストキュア UV ランプの点灯パターンを設定します。

```
UVモート゛
ON  ON  ON
```

上段　中段　下段

12 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
UVモート゛               [ENT]
```

13 終了するとき、(END) キーを数回押す

本機で設定した UV ランプの点灯制御でプリントしたい場合

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                    [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ         [ENT]
```

3 ▲▼を押して、[UV モード] を選ぶ

```
セッテイ
UVモート゛                  [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
UVモート゛
:ハ゜ターン
```

5 ▲▼を押して、[セイギョ] を選ぶ

```
UVモート゛
:セイキ゛ョ
```

6 ENTER キーを押す

```
UVモート゛
UV  テントウ  エリア:フル
```

7 ▲▼を押して、制御方法を選ぶ

- “ フル ” を選択した場合
  LED UV ランプ　　：プリント開始 / 終了時、 プリント範囲外の LED は点灯した状態でプリントします。
  ポストキュアランプ：プリント開始時から点灯した状態でプリントします。
- “ インサツ ” を選択した場合
  LED UV ランプ　　：プリント開始 / 終了時、 プリント範囲外の LED は消灯した状態でプリントします。
  ポストキュアランプ：プリント開始時は消灯した状態で、 印刷物がポストキュアランプ部に入ると点灯します。

8 ENTER キーを押す

- 手順 7 で “ フル ” を選択した場合は、手順 12 へ進みます。

```
UVモート゛
UV1  ランプ゜  イチ  :   0mm
```

9 ▲▼を押して、LED UV ランプ 1(左側) のスケールでの位置を入力する

設定値 : 0 ～ 180mm (LED UV ランプの通常位置は “0mm” です。)

```
UVモート゛
UV1  ランプ゜  イチ  :   0mm
```

10 ENTER キーを押す

```
UVモート゛
UV2  ランプ゜  イチ  :   0mm
```

11 ▲ ▼ を押して、**LED UV ランプ 2(右側)**のスケールでの位置を入力する

```
UVモード゛
UV2 ランプ゜ イチ : 0mm
```

設定値 : 0 ～ 180mm (LED UV ランプの通常位置は “0mm” です。)

12 ENTER キーを押す

```
セッテイ
UVモード゛ [ENT]
```

13 終了するとき、END キーを数回押す

パス間の縞を軽減する設定をする

MAPS 機能とは

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、メディア補正をしても送り縞が解消できない場合に、MAPS 機能を使いパスの境界を分散させることにより、送り縞が目立ちにくくさせる機能です。
UJV500 では、MAPS1 機能および MAPS2 機能をお使いになることができます。

- MAPS1 ではプリントする速度を調整することができますが、プリントする画像によっては濃度ムラが出る場合があります。また、MAPS2 では送り縞と濃度ムラの両方を軽減する効果がありますが、速度調整ができなくなります。プリントする画像に合わせて、機能を選んでください。
- MAPS1 機能の効果は、プリント速度の設定値で変化します。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリント速度を上げた場合、プリント時間は短くなりますが、MAPS1 の効果は弱くなります。
- プリント速度を下げた場合、プリント時間は長くなりますが、MAPS1 の効果が上がり送り縞が目立ちにくくなります。
- MAPS 機能を有効にすると、無効にしているときと比べ色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS1 機能が有効になる条件

- 以下の条件でプリントを行う場合、プリント速度を 0% 以上に設定すると MAPS1 が無効になり、また 0% の速度でプリントを行います。MAPS1 を使用したい場合、プリント速度を “ マイナス (-)” に設定してください。
- プリントする画像によっては MAPS1 の効果が得られない場合があります。

4 色時

解像度	パス	スキャン速度	解像度	パス	スキャン速度
300 x 450 HQ	3 pass	標準速	600 x 900	3 pass	標準速
				6 pass	高速
600 x 600	2 pass	標準速	600 x 900HQ	6 pass	標準速
	4 pass	高速		12 pass	高速
			1200 x 1200	4 pass	標準速
				8 pass	高速

4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク

解像度	パス	スキャン速度
300 x 450 HQ	6 pass	標準速
600 x 600	4 pass	標準速
	8 pass	高速
600 x 900	6 pass	標準速
	12 pass	高速
1200 x 1200	8 pass	標準速
	16 pass	高速

● MAPS2 機能が有効になる条件

- MAPS2 が有効になる解像度とパス数は以下の通りです。
- 下記以外の条件では、MAPS-OFF と同じ方式でプリントをおこないます。
- プリントする画像によっては MAPS2 の効果が得られない場合があります。

4 色

解像度	パス	スキャン速度
300 x 450 HQ	6 pass	標準速
600 x 600	8 pass	高速
600 x 900	12 pass	高速
	24 pass	高速
1200 x 1200	16 pass	高速

4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク

解像度	パス	スキャン速度
300 x 300 HQ	8 pass	標準速
300 x 450 HQ	12 pass	標準速
600 x 600	16 pass	高速
600 x 900	24 pass	高速
1200 x 1200	32 pass	高速

MAPS1 機能を設定する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
フィート゛ ホセイ       [ENT]
```

3 (▲)(▼) を押して、**[MAPS]** を選ぶ

```
セッテイ
MAPS                    [ENT]
```

4 (ENTER) キーを押す

```
MAPS
:OFF
```

5 (▲)(▼) を押して、**MAPS1** を選ぶ

- **設定値**：MAPS1、MAPS2、OFF

```
MAPS
:MAPS 1
```

6 (ENTER) キーを押す

- 手順 5 で MAPS2 または OFF を選択した場合、手順 8 へ進みます。

```
プ゜リント ソクト゛ チョウセイ
=                       0%
```

7 (▲)(▼) を押して、プリント速度を変更する

- **設定値** :-50 ～ +50%

```
プ゜リント ソクト゛ チョウセイ
=                      10%
```

重 要！ ・速度を変更した場合、ノズルリカバリの効果が出ない場合があります。あらかじめ確認を行った上で、使用してください。

8 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ
MAPS                    [ENT]
```

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

MAPS2 機能を設定する (4 色)

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィード゛ ホセイ       [ENT]
```

3 ▲▼を押して、**[MAPS]** を選ぶ

```
セッテイ
MAPS                    [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
MAPS
:OFF
```

5 ▲▼を押して、**MAPS2** を選ぶ

- **設定値**：MAPS1、MAPS2、OFF

```
MAPS
:MAPS 2
```

6 ENTER キーを押す

- 手順 5 で OFF を選択した場合、手順 12 へ進みます。

```
MAPS2
:AUTO
```

7 ▲▼を押して、**“AUTO”** または **”MANUAL”** を選ぶ

- **AUTO** ： プリントモードに合わせて自動的に設定を行います。
- **MANUAL** ： 設定値を調整することができます。

```
MAPS2
:AUTO
```

重 要！
- AUTO 設定で送り縞、濃度ムラが改善されなかった場合、MANUAL 設定で調整してください。

8 ENTER キーを押す

- 手順 7 で AUTO を選択した場合、手順 12 へ進みます。
- 手順 7 で MANUAL を選択した場合、手順 9 へ進みます。

```
MAPS2
パ゜ターン: 1
```

9 ▲▼を押して、プリントするパターンを選ぶ

- **設定値**：パターン 1 ～パターン 5

```
MAPS2
パ゜ターン: 2
```

重 要！
- プリントする画像によって、MAPS2 の効果は異なります。プリントパターンを変更し、あらかじめ効果の確認を行った上で MAPS2 機能を使用してください。

10 ENTER キーを押す

```
MAPS2
スムージ゛ング゛レベ゛ル :AUTO
```

11 ▲▼を押して、スムージングレベルを変更する

```
MAPS2
スムーシ゛ング゛レベ゛ル :100%
```

- **設定値**：AUTO、5 ～ 100%(5%単位で設定)
- **AUTO** ： プリントモードに合わせて、自動的にスムージングレベルを設定します。
- **5 ～ 100%** ： 設定値を上げると、MAPS2 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS2 の効果が弱くなります。

12 ENTERキーを押す

```
セッテイ
MAPS                [ENT]
```

13 終了するとき、ENDキーを数回押す

MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク)

1 ローカルで、FUNCTIONキーを押す

```
FUNCTION
セッテイ            [ENT]
```

2 ENTERキーを押す

```
セッテイ
フィート゛ ホセイ   [ENT]
```

3 ▲▼を押して、**[MAPS]** を選ぶ

```
セッテイ
MAPS                [ENT]
```

4 ENTERキーを押す

```
MAPS
:OFF
```

5 ▲▼を押して、**MAPS2** を選び、ENTERキーを押す

```
MAPS2
:AUTO
```

- **設定値**：MAPS1、MAPS2、OFF
- OFF を選択した場合、手順 11 へ進みます。

6 ▲▼を押して、**“AUTO” または ”MANUAL” を選ぶ**

```
MAPS2
:AUTO
```

- **AUTO** ： プリントモードに合わせて自動的に設定を行います。
- **MANUAL** ： 設定値を調整することができます。

重 要！ • AUTO 設定で送り縞、濃度ムラが改善されなかった場合、MANUAL 設定で調整してください。

7 ENTERキーを押す

```
        COLOR        >
ハ゜ターン: 1
```

- 手順 6 で AUTO を選択した場合、手順 11 へ進みます。
- 手順 6 で MANUAL を選択した場合、手順 8 へ進みます。

8 ▲▼◀▶を押して、プリントするパターンと色をを選ぶ

```
<          SPOT
パターン: 2
```

- ▲▼：パターン 1 ～パターン 5 を選択
- ◀▶：色 (COLOR または SPOT(特色)) を選択

重要！ • プリントする画像によって、MAPS2 の効果は異なります。プリントパターンを変更し、あらかじめ効果の確認を行った上で MAPS2 機能を使用してください。

9 ENTERキーを押す

```
<          SPOT
スムージングレベル  :AUTO
```

10 ▲▼◀▶を押して、スムージングレベルと色を変更する

```
<          SPOT
スムージングレベル  :100%
```

- **設定値**：AUTO、5 ～ 100%(5%単位で設定)
- **AUTO**　：プリントモードに合わせて、自動的にスムージングレベルを設定します。
- **5 ～ 100%**：設定値を上げると、MAPS2 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS2 の効果が弱くなります。
- ▲▼：スムージングレベルを選択
- ◀▶：色 (COLOR または SPOT(特色)) を選択

11 ENTERキーを押す

```
セッテイ
MAPS                [ENT]
```

12 終了するとき、ENDキーを数回押す

オートクリーニングの設定をする

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。
オートクリーニングの設定は、次の 3 種類から選択できます。

- ページ ： プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
- キョリ ： プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
- ジカン ： プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                    [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィード゛   ホセイ         [ENT]
```

3 ▲ ▼ を押して [オートクリーニング] を選び、ENTER キーを押す

```
オート　クリーニング゛
:OFF
```

4 ▲ ▼ を押して、オートクリーニングの種類を選ぶ

```
オート　クリーニング゛
:キョリ
```

- オートクリーニングの種類には “ ページ ”、“ キョリ ” と “ ジカン ” があります。
  ページ： 設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
  キョリ： 設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
  ジカン： 設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- オートクリーニングの設定をしない場合は、“OFF” を選んでから手順 10 へ進んでください。

5 ENTER キーを押す

6 ▲ ▼ を押して、クリーニング間隔を設定する

```
カンカク
=                    10.0m
```

- 手順 5 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
  ページの場合 ： 1 ～ 1000 ページ
  キョリの場合 ： 0.1 ～ 100.0m (0.1m 単位で設定)
  ジカンの場合 ： 10 ～ 120min (10min 単位で設定)

7 ENTER キーを押す

```
タイプ゜
:ソフト
```

8 ▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを設定する

```
タイプ゜
:ノーマル
```

設定値 : ノーマル / ソフト / ハード

9 ENTER キーを押す

10 終了するとき、END キーを数回押す

重要！
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

ノズル面の清掃頻度を設定する

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。
飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を短くします。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 ▲ ▼ を押して、[テイキ　ワイピング] を選ぶ

```
セッテイ
テイキ ワイヒ゜ンク゛     [ENT]
```

4 ENTER キーを押す

```
テイキ ワイヒ゜ンク゛
:OFF
```

5 ▲ ▼ を押して、動作間隔を設定する

- 設定値：3 ～ 255 分 , OFF
- [OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。

```
テイキ ワイヒ゜ンク゛
:OFF
```

6 ENTER キーを押す

```
セッテイ
テイキ ワイヒ゜ンク゛     [ENT]
```

7 終了するとき、END キーを数回押す

その他の設定

使い方に合わせて設定を変えてください。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
セッテイ
フィート゛   ホセイ      [ENT]
```

3 ▲ ▼ を押して設定する項目を選ぶ

• P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

4 ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して設定値を選ぶ

• P.3-2「設定機能一覧表」を参照して選んでください。

6 ENTER キーを押す

7 終了するとき、END キーを数回押す

重要！ • 設定した値は、電源を “OFF” にしても保持しています。

マシン設定

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

項　目		設定値	初期値	内　容
オートパワーオフ (☞ P.3-23)		ナシ /10 ～ 600min	ナシ	設定した時間、操作がない場合、自動で電源を “OFF” にします。
クリダシ＆マキトリ (☞ P.3-24)	クリダシ	ON / OFF	OFF	巻取装置と繰出装置の使用 / 不使用を設定します。リーフメディアにプリントするときや、巻取装置のみ使いたいときなどに、クリダシとマキトリそれぞれの設定を行ってください。
	マキトリ	ON / OFF	OFF	
メディアザンリョウ (☞ P.3-25)		ON / OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
ジコクセッテイ (☞ P.3-27)		+4h ～ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。
タンイ (☞ P.3-28)	温度	°C（摂氏）/ °F (華氏）	°C	温度の表示単位を設定します。
	長さ	mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (☞ P.3-29)		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
メディアケンシュツ (☞ P.3-31)	ハバケンシュツ	AUTO/MANUAL	AUTO	メディアをセットしたときに任意のメディア幅を入力したいときや、メディア幅センサーに問題があるとき“MANUAL”に設定します。
	アツサケンシュツ	AUTO/MANUAL	AUTO	メディアをセットしたときに任意のメディア厚さを入力したいときや、メディア厚さセンサーに問題があるとき“MANUAL”に設定します。
カンソウフィード (☞ P.3-32)		ON/OFF	OFF	プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために、プリント完了後にフィードする長さを設定します。
	バックフィード	ON/OFF	ON	
ページカンヨハク (☞ P.3-33)		OFF/10 ～ 500mm	OFF	プリント間の余白量を設定します。
ネットワーク＆メール	ネットワーク (☞ P.3-34)	ネットワークの設定をします。		
		IPアドレス	現在、本機が使用中の IP アドレスを表示します。	
		MACアドレス	現在、本機が使用中の MAC アドレスを表示します。	
		DHCP	オン / オフ	オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
		AutoIP	オン / オフ	オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
		IPアドレス*1	本機が使用する IP アドレスを設定します。	
		デフォルトゲートウェイ *1	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。	
		DNSアドレス *1	本機が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。	
		サブネットマスク *1	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。	
		メールソウシン	オン / オフ	オフ	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。

項　目			設定値		初期値	内　容
ネットワーク & メール	イベントメール (☞ P.3-36)	ソウシンイベントセンタク	プリントスタートイベント	オン / オフ	オフ	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
			プリントエンドイベント	オン / オフ	オフ	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
			エラーイベント	オン / オフ	オフ	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。
			ワーニングイベント	オン / オフ	オフ	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
			ソノタイベント	オン / オフ	オフ	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		メールアドレス	イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。		英数字、記号（96 文字）	
		ケンメイ	イベントメールの件名に記載する文字を設定します。		英数字、記号（8 文字）	
		サーバーセッテイ	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。	
			SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。	
			ソウシンモトメールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。	
			ニンショウホウシキ	POP before SMTP	SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
				SMTP Auth		
				オフ		
			ユーザーメイ *2		認証に使用するユーザー名を設定します。	
			パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。	
			POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。	
			APOP *3		APOP の ON/OFF を設定します。	
		テストメールソウシン	テストメールの送信を実行します。			
	セッテイロック (☞ P.3-46)	ロック (パスワード未設定時)	0000 ～ 9999		0000	ネットワーク、メール設定を管理者以外ができないよう、任意に 4 桁のパスワードが設定できます。
		カイジョ (パスワード設定時)				
LANGUAGE (☞ P.3-30)			English ニホンゴ Deutsch Français Español Italiano Português		English	表示言語を変更します。
リセット (☞ P.3-50)						すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
*2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能
*3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定をする

設定した時間、操作がない場合、自動で電源を “OFF” にします。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを 2 回押す

```
オート　ハ゜ワーオフ
=                    30min
```

4 (▲)(▼) を押して、電源をオフにする時間を設定する

- 設定値：ナシ , 10 ～ 600 min

```
オート　ハ゜ワーオフ
=                    60min
```

5 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

6 終了するとき、(END) キーを数回押す

(重 要!)
- オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

クリダシ＆マキトリの設定をする

巻取装置と繰出装置の使用 / 不使用を設定します。リーフメディアにプリントするときや、巻取装置のみ使いたいときなどに、クリダシとマキトリそれぞれの設定を行ってください。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[クリダシ＆マキトリ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
クリタ゛シ&マキトリ     [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
クリタ゛シ
:OFF
```

6 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

```
クリタ゛シ
:ON
```

7 ENTER キーを押す

```
マキトリ
:OFF
```

8 ▲▼を押して、ON/OFF を選ぶ

```
マキトリ
:ON
```

9 ENTER キーを押す

10 終了するとき、END キーを数回押す

メディア残量表示の設定をする

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 （ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。）
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。

- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(☞ P.2-19)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ﾊﾟﾜｰｵﾌ         [ENT]
```

4 ▲ ▼ を押して、[メディアザンリョウ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ﾒﾃﾞｨｱ　ｻﾞﾝﾘｮｳ       [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ﾒﾃﾞｨｱ　ｻﾞﾝﾘｮｳ
:OFF
```

6 ▲ ▼ を押して、ON/OFF を選ぶ

```
ﾒﾃﾞｨｱ　ｻﾞﾝﾘｮｳ
:ON
```

7 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
ﾒﾃﾞｨｱ　ｻﾞﾝﾘｮｳ       [ENT]
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

メディア残量をプリントする

現在のメディア残量をプリントすることができます。

- メディア残量表示の設定を “ON” にしてください。
- メディア交換時には、今現在お使いのメディアに残量をプリントしておくことをお勧めします。あらかじめメディア残量をプリントしておくことで、交換したメディアを再度使うとき、メディア検出後のメディア残量入力画面 (☞ P.2-19) で正確な数値を入力できます。

1 ローカルで、▲▼◀▶を押す

- 原点設定モードになります。

```
ゲ゛ンテン　セッテイ
0.0　　　　――――
```

2 ▲▼◀▶を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

- ▲▼◀▶でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- 原点を変更しない場合は、▲▼◀▶を押さずに手順 3 へ進んでください。
- ここで ENTER キーを押すと、原点が変更されローカルに戻ります。

```
ゲ゛ンテン　セッテイ
0.0　　　0.0
```

原点位置（長さ）　原点位置（幅）

3 REMOTE キーを押す

- ▲▼◀▶を押すと、手順 2 の画面に戻ります。
- END キーを押すと、ローカルに戻ります。

```
メテ゛ィア　サ゛ンリョウ　フ゜リント
　　　　　　　　　　　　[ENT]
```

4 ENTER キーを押す

- メディア残量のプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

重要！

- 原点を変更してプリントすると、以降のデータのプリントをするときもここで設定した原点が有効になります。

ジコクの設定をする

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ﾊﾟﾜｰｵﾌ         [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[ジコクセッテイ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ               [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ
2012.10.05   21:30:00
```

6 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して、時刻を入力する

年月日時分の選択 ： (◀)(▶) で選ぶ
年月日時分の入力 ： (▲)(▼) で入力

7 (ENTER) キーを押す

- 入力した時刻が表示されます。

```
ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ
2012.10.05   15:30:00
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

- -20 ～ +4 時間の間で、設定できます。

タンイの設定をする

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ         [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ     [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[タンイ] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
タンイ                  [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
オント゛
:°C
```

6 (▲)(▼)を押して、温度の単位を選ぶ

- 設定値：°C/°F

7 (ENTER) キーを押す

```
ナカ゛サ
:mm
```

8 (▲)(▼)を押して、長さの単位を選ぶ

- 設定値：mm/inch

9 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
タンイ                  [ENT]
```

10 終了するとき、(END) キーを数回押す

キーブザーの設定をする

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ﾊﾟﾜｰｵﾌ         [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[キーブザー] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
キー　ﾌﾞｻﾞｰ            [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
キー　ﾌﾞｻﾞｰ
:ON
```

6 (▲)(▼) を押して、ON/OFF を選ぶ

```
キー　ﾌﾞｻﾞｰ
:OFF
```

7 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
キー　ﾌﾞｻﾞｰ            [ENT]
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

言語の設定をする

表示言語を変更します。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ              [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ       [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ   [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、**[LANGUAGE]** を選ぶ

```
マシン  セッテイ
LANGUAGE              [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
LANGUAGE
:English
```

6 (▲)(▼)を押して、言語を選ぶ

- 設定値：ニホンゴ / English / Deutsch / Français / Español / Italiano / Português

```
LANGUAGE
:ニホンゴ゛
```

7 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
LANGUAGE              [ENT]
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

メディアケンシュツの設定をする

メディア検出の設定には、“ 幅検出 ” と “ 厚さ検出 ” の 2 種類があります。メディアをセットしたときに任意のメディア幅や厚さを入力したいとき、または、透明メディアをお使いの場合など、メディア幅センサーやメディア厚さセンサーの使用に問題があるとき “MANUAL” に設定します。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[メディアケンシュツ] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
メテ゛ィア　ケンシュツ  [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

- メディア幅検出の設定画面が表示されます。

```
ハハ゛　ケンシュツ
:AUTO
```

6 ▲▼を押して、**“AUTO”** または **“MANUAL”** を選ぶ

```
ハハ゛　ケンシュツ
:MANUAL
```

7 ENTER キーを押す

- メディア厚さ検出の設定画面が表示されます。

```
マシン　セッテイ
メテ゛ィア　ケンシュツ  [ENT]
```

8 ENTER キーを押す

```
アツサ　ケンシュツ
:AUTO
```

9 ▲▼を押して、**“AUTO”** または **“MANUAL”** を選ぶ

```
アツサ　ケンシュツ
:MANUAL
```

10 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
メテ゛ィア　ケンシュツ  [ENT]
```

11 終了するとき、END キーを数回押す

乾燥フィードの設定をする

プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために行う、乾燥フィードの設定を変更します。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[カンソウフィード] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
カンソウ  フィート゛    [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
カンソウ  フィート゛
:ON
```

6 (▲)(▼)を押して、**ON/OFF** の設定をする

ON ：乾燥フィードを行います。
OFF：乾燥フィードを行いません。

```
カンソウ  フィート゛
:OFF
```

7 (ENTER) キーを押す

```
ハ゛ック  フィート゛
:OFF
```

8 (▲)(▼)を押して、**ON/OFF** の設定をする

ON ：バックフィードを行います。
OFF：バックフィードを行いません。

```
ハ゛ック  フィート゛
:ON
```

9 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
カンソウ  フィート゛    [ENT]
```

10 終了するとき、(END) キーを数回押す

プリント間の余白を設定する

プリント間の余白量を設定します。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[ページカン ヨハク] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ヘ゜ージ゛カン　ヨハク  [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ヘ゜ージ゛カン　ヨハク
=                     OFF
```

6 (▲)(▼) を押して、余白量を設定する

- 設定値：OFF/10 ～ 500mm

```
ヘ゜ージ゛カン　ヨハク
=                 100mm
```

7 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
ヘ゜ージ゛カン　ヨハク  [ENT]
```

8 終了するとき、(END) キーを数回押す

(重要!) **余白量を詰める方向へ設定した場合、プリント終了時にバックフィード動作を行います。その場合、以下の点に注意してください。**

- 複数ページをプリントするとき、次ページのプリント開始時に前データの後端部に LED が照射されるため、後端部だけ過硬化となる場合があります。
- 操作背面の繰出装置を使用しないでロールホルダーにメディアをセットする場合、バックフィードにより次のプリントを行う際のメディアテンションが変動し、プリントする画像の前端部だけメディアの送り量が変わる場合があります。このようなときは、手動でメディアを巻き戻してください。
- マシン設定の「乾燥フィード」(☞ P.3-32) で、乾燥フィード後のバックフィードが “OFF” に設定されている場合、本機能は無効となります。
- プリントするデータに既に余白がついている場合、本機能を使うと、「データについている余白 + 本機で設定した余白量」が余白として出力されます。

ネットワークの設定をする

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ         [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ     [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
ネットワーク  &  メール  [ENT]
```

5 (ENTER) キーを 2 回押す

```
ネットワーク
IP  アト゛レス  カクニン  [ENT]
```

6 (ENTER) キーを押す

```
IPアト゛レス  カクニン
  10.16.168.235
```

- 現在、本機が使用中の IP アドレスを表示します。

- ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。
  IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

7 (ENTER) キーを押す

```
ネットワーク
IP  アト゛レス  カクニン  [ENT]
```

8 (▲)(▼) を押して、[MAC アドレスカクニン] を選ぶ

```
ネットワーク
MAC  アト゛レス  カクニン [ENT]
```

9 (ENTER) キーを押す

```
MACアト゛レス  カクニン
  00:0d:1b:00:00:00
```

- 現在、本機が使用中の MAC アドレスを表示します。

10 (ENTER) キーを押す

```
ネットワーク
MAC  アト゛レス  カクニン [ENT]
```

11 (▲)(▼) を押して、[DHCP] を選ぶ

```
ネットワーク
DHCP                    [ENT]
```

12 ENTER キーを押す

- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

```
DHCP
:ON
```

13 ENTER キーを押す

```
ネットワーク
DHCP              [ENT]
```

14 ▲ ▼ を押して、**[AutoIP]** を選ぶ

```
ネットワーク
AutoIP            [ENT]
```

15 ENTER キーを押す

- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

```
AutoIP
:ON
```

16 ENTER キーを押す

```
ネットワーク
AutoIP            [ENT]
```

17 ▲ ▼ を押して次の各項目を選択する

- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレス / デフォルトゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 21 へ進みます。

18 ENTER キーを押す

19 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して設定する

20 ENTER キーを押して、設定値を確定する

21 終了するとき、END キーを数回押す

- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがありえます。不達や遅延があった場合などにおいて発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。

重 要 !
- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
ネットワーク  &  メール [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ネットワーク  &  メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 ▲ ▼ を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク  &  メール
イベ゛ント  メール      [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
イベ゛ント  メール
メール  ソウシン        [ENT]
```

8 ENTER キーを押す

```
メール  ソウシン
:オフ
```

9 ▲ ▼ を押して、“ オン ” を選ぶ

```
メール  ソウシン
:オン
```

10 ENTER キーを押す

```
イベント　メール
メール　ソウシン　　[ENT]
```

11 終了するとき、END キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ　　[ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ　　[ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　パワーオフ　　[ENT]
```

4 ▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ネットワーク　&　メール　　[ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ネットワーク　&　メール
ネットワーク　　[ENT]
```

6 ▲ ▼ を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク　&　メール
イベント　メール　　[ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
イベント　メール
メール　ソウシン　　[ENT]
```

8 ▲ ▼ を押して [ソウシンイベントセンタク] を選択する

```
イベント　メール
ソウシン　イベント　センタク[ENT]
```

9 ENTER キーを押す

- プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。

```
プリントスタート　イベント
:オフ
```

10 ENTER キーを押す

- プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。

```
プリントエンド　イベント
:オフ
```

11 ENTER キーを押す

- エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。

```
エラー　イベント
:オフ
```

12 ENTER キーを押す

- プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。

```
ワーニング゛　イベント
:オフ
```

13 ENTER キーを押す

- 上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
- ▲ ▼ を押して、オン / オフを設定します。

```
ソノタ　イベント
:オフ
```

14 ENTER キーを押す

```
イベント　メール
ソウシン　イベント　センタク[ENT]
```

15 終了するとき、END キーを数回押す

メールアドレスを設定する

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ネットワーク　&　メール [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ネットワーク　&　メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 ▲▼を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク　&　メール
イベ゛ント　メール      [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
イベ゛ント　メール
メール　ソウシン        [ENT]
```

8 ▲▼を押して [メールアドレス] を選ぶ

```
イベ゛ント　メール
メール　アト゛レス      [ENT]
```

9 ENTER キーを押す

```
メール　アト゛レス
```

10 ▲▼◀▶を押してアドレスを設定する

- イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
- 英数字、記号、96 文字以内で設定します。

11 ENTER キーを押す

```
イベ゛ント　メール
メール　アト゛レス      [ENT]
```

12 終了するとき、END キーを数回押す

件名を設定する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ         [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ     [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
ネットワーク  &  メール  [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ネットワーク  &  メール
ネットワーク             [ENT]
```

6 (▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク  &  メール
イベ゛ント  メール       [ENT]
```

7 (ENTER) キーを押す

```
イベ゛ント  メール
メール  ソウシン         [ENT]
```

8 (▲)(▼)を押して [ケンメイ] を選択する

```
イベ゛ント  メール
ケンメイ                 [ENT]
```

9 (ENTER) キーを押す

```
ケンメイ
TS500-#1                 [ENT]
```

10 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して件名を設定する

- イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
- 英数字、記号、8 文字以内で設定します。

11 (ENTER) キーを押す

```
イベ゛ント  メール
ケンメイ                 [ENT]
```

12 終了するとき、(END) キーを数回押す

サーバーを設定する

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ネットワーク　&　メール [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ネットワーク　&　メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 ▲▼を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク　&　メール
イベ゛ント　メール      [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
イベ゛ント　メール
メール　ソウシン        [ENT]
```

8 ▲▼を押して [サーバー セッテイ] を選択する

```
イベ゛ント　メール
サーバ゛ー　セッテイ    [ENT]
```

9 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー　セッテイ
SMTP　アト゛レス        [ENT]
```

10 ENTER キーを押す

- ▲▼◀▶を押して、SMTP サーバーを設定します。
- SMTP サーバー名を入力してください。

```
SMTP　アト゛レス
```

11 ENTER キーを押す

```
サーバ゛ー　セッテイ
SMTP　アト゛レス        [ENT]
```

12 ▲▼を押して [SMTP ポート] を選択する

```
サーバ゛ー　セッテイ
SMTP　ホ゜ート          [ENT]
```

13 ENTER キーを押す

```
SMTP　ホ゜ート No.
:          25           [ENT]
```

14 ▲▼を押して [SMTP ポート] を設定する

- SMTP のポート番号を設定します。

15 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
SMTP ホ゜ート [ENT]
```

16 ▲▼を押して [ニンショウ ホウシキ] を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]
```

17 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
:POP before SMTP
```

18 ▲▼を押して認証方式を設定する

- SMTP サーバーの認証方式を設定します。
- [オフ] を選択した場合、手順 32 に進みます。

```
サーハ゛ー セッテイ
:POP before SMTP
```

19 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]
```

20 ▲▼を押して[ソウシンモトメールアドレス]を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアト゛レス[ENT]
```

21 ENTER キーを押す

```
ソウシンモト メールアト゛レス
```

- ▲▼◀▶を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
- 英数字、記号、64 文字以内で設定します。

- 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。

22 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアト゛レス[ENT]
```

23 ▲▼を押して [ユーザーメイ] を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
ユーサ゛ー メイ [ENT]
```

24 ENTER キーを押す

```
ユーサ゛ー メイ
```

- ▲▼◀▶を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
- 英数字、記号、30 文字以内で設定します。

25 ENTER キーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
ユーサ゛ー メイ [ENT]
```

26 ▲▼を押して [パスワード] を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
ハ゜スワート゛        [ENT]
```

27 ENTERキーを押す

- ▲▼◀▶を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15 文字以内で設定します。

```
ハ゜スワート゛
 ***************
```

- パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

28 ENTERキーを押す

- 手順 16 で [POP before SMTP] を選択した場合、手順 27 ～ 31 を設定します。

```
サーハ゛ー セッテイ
ハ゜スワート゛        [ENT]
```

29 ▲▼を押して [POP3 アドレス] を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
POP3 アト゛レス       [ENT]
```

30 ENTERキーを押す

- ▲▼◀▶を押して、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

```
POP3 アト゛レス
```

31 ENTERキーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
POP3 アト゛レス       [ENT]
```

32 ▲▼を押して [APOP] を選択する

```
サーハ゛ー セッテイ
APOP                  [ENT]
```

33 ENTERキーを押す

- ▲▼を押して、APOP のオン / オフを設定します。

```
APOP
:オン
```

34 ENTERキーを押す

```
サーハ゛ー セッテイ
APOP                  [ENT]
```

35 終了するとき、ENDキーを数回押す

テストメールを送信する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ネットワーク　&　メール [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ネットワーク　&　メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 (▲)(▼)を押して、[イベントメール] を選ぶ

```
ネットワーク　&　メール
イベ゛ント　メール      [ENT]
```

7 (ENTER) キーを押す

```
イベ゛ント　メール
メール　ソウシン        [ENT]
```

8 (▲)(▼)を押して [テストメールソウシン] を選択する

```
イベ゛ント　メール
テストメール　ソウシン  [ENT]
```

9 (ENTER) キーを押す

```
テストメール　ソウシン
シ゛ッコウ              :ent
```

10 (ENTER) キーを押す

```
テストメール　ソウシン
カンリョウ
```

- 送信結果を表示します。
- テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードを表示します。次ページを参照し、対処してください。

```
テストメール　ソウシン
シッハ゜イ　:　12345   :ent
```

エラーコード

11 終了するとき、(END) キーを数回押す

重要！
- テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードを表示します。
- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	• 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 • 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	• 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	• POP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	• POP サーバーの設定を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。 • APOP の設定を確認してください。 • 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	• SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SMTP ポート番号を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 • プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	• ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません	• メールアドレスを確認してください。 • メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。
22000 22008	SMTP 認証エラー	• 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。

“***” はメールサーバーから返答されたエラーコード

設定ロックの設定をする

ネットワーク、メール設定を管理者以外ができないよう、任意に 4 桁のパスワードが設定できます。

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを設定する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼) を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン  セッテイ        [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
マシン  セッテイ
オート  ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 (▲)(▼) を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
ネットワーク & メール   [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

```
ネットワーク & メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 (▲)(▼) を押して、[セッテイロック] を選ぶ

```
マシン  セッテイ
セッテイ  ロック        [ENT]
```

7 (ENTER) キーを押す

```
セッテイ  ロック
ロック                  :0000
```

8 任意のパスワード (4 桁) を設定し、(ENTER) キーを押す

- 設定開始通知を一定時間表示します。

```
セッテイ  ロック
ロック  カイシ          :????
```

9 終了するとき、(END) キーを数回押す

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを解除する

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲ ▼ を押して、[ネットワーク & メール] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
ネットワーク　&　メール [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
ネットワーク　&　メール
ネットワーク            [ENT]
```

6 ▲ ▼ を押して、[セッテイロック] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
セッテイ　ロック        [ENT]
```

7 ENTER キーを押す

```
セッテイ　ロック
カイシ゛ョ              :****
```

8 4 桁のパスワードを入力し、ENTER キーを押す

- 解除が成功すると、右の画面を表示します。

```
セッテイ　ロック
カイシ゛ョ　セイコウ
```

- 解除が失敗すると、右の画面を表示してお知らせします。

```
セッテイ　ロック
カイシ゛ョ　シッハ゜イ
```

9 終了するとき、END キーを数回押す

重要！

- パスワードを忘れてしまった場合には、手順 7 の画面を表示中に FUNCTION キーを押すことで、パスワード強制解除画面となります。
  ENTER キーを押すとパスワードの強制解除はできますが、ネットワーク & イベントメールで設定した項目も初期化してしまいますので、再設定が必要となりますのでご注意ください。

```
セッテイ　ロック
カイシ゛ョ　&　ショキカ [ENT]
```

↓

```
セッテイ　ロック
ショキカ　シマスカ　？  [ENT]
```

インクチャージをする

オートチャージができなかった場合や、IC チップの内容を確認してからインクのチャージをしたい場合は、下記の操作をしてください。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲▼を押して、[メンテナンス] を選ぶ

```
FUNCTION
メンテナンス            [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
メンテナンス
ステーション メンテナンス [ENT]
```

4 ▲▼を押して、[インクチャージ] を選ぶ

```
メンテナンス
インク チャージ゛       [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
インク チャージ゛
センタク:          ボ゛トル 1-M
```

6 ▲▼を押して、チャージする対象のインクボトルを選ぶ

```
インク チャージ゛
センタク:          ボ゛トル 1-M
```

7 ENTER キーを押す

- 選択したインクボトルの有効期限が間近の場合、確認画面を表示します。問題がなければ ▶ を押してください。

```
インク キケ゛ンキ゛レ
チャージ゛ シマスカ ?
```

↕ 交互表示

```
インク キケ゛ンキ゛レ
NO <              > YES
```

```
インク キケ゛ンキ゛レ(1カケ゛ツ)
チャージ゛ シマスカ ?
```

↕ 交互表示

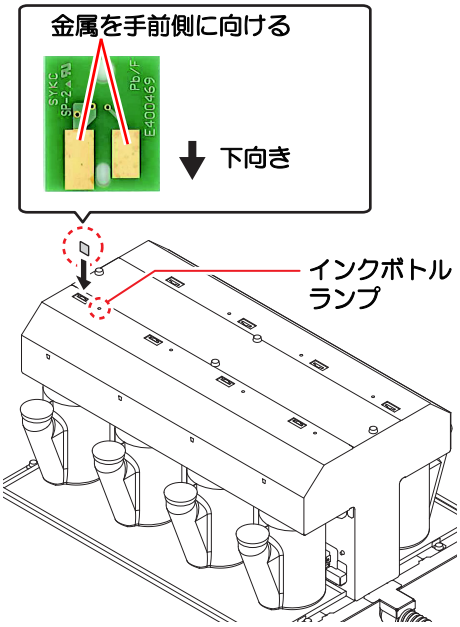
```
インク キケ゛ンキ゛レ(1カケ゛ツ)
NO <              > YES
```

重要!

- 選択したボトルが次の状態の場合、チャージできません。(☞ P.3-53)
  (1) 本機で管理しているインク残量が 100%になっている場合
  (2) インクの有効期限が 2ヶ月以上過ぎている場合

8 1 リットルインクボトルに付属している、IC チップを差し込む

- IC チップを差し込み本機に IC チップの情報を読み取ると、ディスプレイは右の表示に切り替わります。
- IC チップは金属が付いている方を手前側に向け、金属を下向きにして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
- IC チップ の金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。




```
インク　チャージ゛　　:ボ゛トル　1-M
インクIC　ヲ　セットシテクダ゛サイ
```

- 挿入した IC チップの有効期限が間近の場合、確認画面を表示します。問題がなければ（▶）を押してください。

```
インクIC　キケ゛ンキ゛レ
チャージ゛　シマスカ　?
```

交互表示

```
インクIC　キケ゛ンキ゛レ
NO　<　　　　　　　　>　YES
```

```
インクIC　キケ゛ンキ゛レ(1カケ゛ツ)
チャージ゛　シマスカ　?
```

交互表示

```
インクIC　キケ゛ンキ゛レ(1カケ゛ツ)
NO　<　　　　　　　　>　YES
```

重要!

- 挿入した IC チップに問題がありチャージできない場合、右の画面を表示します。
- 複数の問題が発生している場合は、（▲）（▼）で確認できます。

```
インク　チャージ゛　　:ボ゛トル　1-M
インクIC　キケ゛ンキ゛レ(2カケ゛ツ)
```

9 チャージ実行の確認画面が表示されたら、（ENTER）キーを押す

```
ボ゛トル　1-M/IC　　1000cc
チャージ゛　カイシ　　[ENT]
```

- チャージを実行します。
- ディスプレイに IC チップのインク情報を表示します。

- チャージ中は、右の画面を表示しています。IC チップを抜いたり電源をオフにしないでください。

```
**　インク　チャージ゛　チュウ　**
IC　ヲ　ヌカナイテ゛クタ゛サイ
```

10 チャージが完了すると、一定時間ブザー音が鳴り、ディスプレイに右の画面を表示する

```
インク　チャージ゛　カンリョウ
ボ゛トル　1-M/サ゛ンリョウ　100%
```

- チャージしたインクの残量や有効期限を確認したいときは、ローカルで（ENTER）キーを押してください。（☞ P.3-53）

設定した内容を初期状態に戻す

「セッテイ」「メンテナンス」「マシンセッテイ」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ローカルで、FUNCTION キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[マシンセッテイ] を選ぶ

```
FUNCTION
マシン　セッテイ        [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ    [ENT]
```

4 ▲ ▼ を押して、[リセット] を選ぶ

```
マシン　セッテイ
リセット                [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

```
セッテイチ　スヘ゛テリセットサレマス
ヨロシイテ゛スカ?       [ENT]
```

6 ENTER キーを押す

- 設定を初期化します。

```
リセット
シ゛ッコウ              [ENT]
```

7 終了するとき、END キーを数回押す

装置情報を確認する

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

項　目		内　容
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。(▲)(▼)を押して、発生順に発生日時 (年月日時分) とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
シヨウ ジョウキョウ	ワイピング	装置の使用状況を確認します。
	プリント チョウ	
	プリント メンセキ	
	シヨウ ジカン	
	UV ランプ	
	ポストキュア UV	
バージョン		装置のファームウェアバージョンを確認します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。
インクコウカンレポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。

装置の使用状況を確認する

ワイピング情報や本機でプリントした長さなど、装置の情報を確認できます。

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[ジョウホウ] を選び、(ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼)を押して、[シヨウジョウキョウ] を選び、(ENTER) キーを押す

- ワイピング情報を表示します。
- (ENTER) キーを押すごとに、次の装置情報が順次が表示されます。

ワイピング
ワイピング情報を表示

```
ワイピ゜ング゛
=                  0
```

プリント長
これまでにプリントした長さを表示

```
フ゜リント　チョウ
=                 0m
```

プリント面積
これまでにプリントした面積を表示

```
フ゜リント　メンセキ
=                 0m²
```

使用時間
装置の使用時間情報を表示

```
シヨウ　シ゛カン
=                 0h
```

UV ランプ
UV ランプの使用時間を、LED 単位で表示

```
UV　ランフ゜1　:　LED　*
=                 0h
```

＊：A～H

ポストキュア UV
ポストキュア UV の使用時間をランプ単位で表示

```
ホ゜ストキュア UV　ランフ゜　*
=                 0h
```

＊：1～3

- **ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合**
  ワイピング表示中に(MAINT.)キーを押します。
  (ENTER)キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。

```
ワイピ゜ング゛
クリア　シマスカ?       [ENT]
```

- **UV ランプの使用時間をリセットしたい場合**
  UV ランプ表示中に(MAINT.)キーを押します。
  (ENTER)キーを押すと、UV ランプの使用時間をリセットします。

```
UV　ランフ゜1　:　LED　*
クリア　シマスカ?       [ENT]
```

- **ポストキュア UV の使用時間をリセットしたい場合**
  ポストキュア UV 表示中に(MAINT.)キーを押します。
  (ENTER)キーを押すと、ポストキュア UV の使用時間をリセットします。

```
ホ゜ストキュア UV　ランフ゜　*
クリア　シマスカ?       [ENT]
```

装置のバージョン情報を確認する

1 ローカルで、(FUNCTION) キーを押す

```
FUNCTION
セッテイ                [ENT]
```

2 (▲)(▼)を押して、[ジョウホウ] を選ぶ

```
FUNCTION
ジ゛ョウホウ            [ENT]
```

3 (ENTER) キーを押す

```
ジ゛ョウホウ
ショウ ジ゛ョウキョウ    [ENT]
```

4 (▲)(▼)を押して、[バージョン] を選ぶ

```
ジ゛ョウホウ
バ゛ージ゛ョン          [ENT]
```

5 (ENTER) キーを押す

- 装置のバージョン情報を表示します。

```
UJV500-160    V1.50
MRL-III       V2.00
```

エラー履歴を確認する

エラー履歴の見方を説明します。

エラー履歴		バージョン	
発生年月日を表示	[00000] 2014/09/26 22:13:00	F/W などのバージョン情報を表示	UJV500-160 V1.50 MRL-III V2.00
	(◀)(▶)		
エラー内容を表示	ERROR 12a ***** HDC SPEED		

本機の情報を表示する

1 ローカルで、ENTER キーを押す

```
LUS-150        MMCCYYKK
ｻﾞﾝﾘｮｳ         99999999
```

2 ENTER キーを押すごとに、順次情報が表示される

- 以下のような情報が表示されます。

インク残量

```
LUS-150        MMCCYYKK
ｻﾞﾝﾘｮｳ         99999999
```

チャージインク情報 (*1)

```
ﾎﾞﾄﾙ 1-M  :ｷｹﾞﾝ 13/02
ｻﾞﾝﾘｮｳ 100%
```

▲ ▼ を押してボトル切替

チャージ実行結果 (*2)

```
ｲﾝｸﾁｬｰｼﾞ  ｶﾝﾘｮｳ
ﾎﾞﾄﾙ 1-M:ｻﾞﾝﾘｮｳ 100%
```

エラー表示 (インクエラー発生時)

```
ｲﾝｸ IC ｲｼﾞｮｳ
MMCCYYKK
```

ワーニング表示 (ワーニング発生時)

```
ﾜｰﾆﾝｸﾞ
ﾜｲﾊﾟｰ ｺｳｶﾝ        [MNT]
```

メディア幅

```
ﾒﾃﾞｨｱ ﾊﾊﾞ
=              1000mm
```

ヘッドギャップ

```
ﾍｯﾄﾞｷﾞｬｯﾌﾟ
=              2.0mm
```

メディアアツサ

```
ﾒﾃﾞｨｱ ｱﾂｻ
=              0.1mm
```

シリアル番号

```
ｼﾘｱﾙ No.
:********
```

バージョン

```
UJV500-160     V1.50
MRL-III        V2.00
```

ノズルリカバリ

```
ﾉｽﾞﾙ ﾘｶﾊﾞﾘ
ｶｸﾆﾝ           [MNT]
```

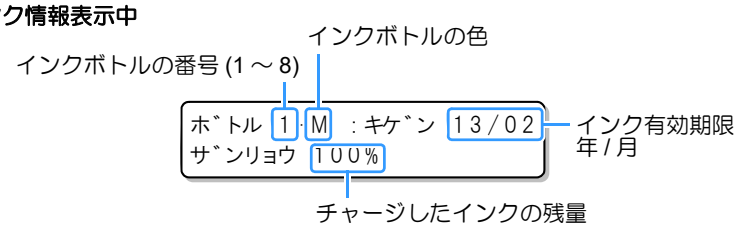
MAINT. キーを押して詳細を確認

3 ENTER キーを押して、ローカルに戻る

チャージインク情報の確認方法 (*1)

- チャージインク情報を表示しているとき、▲ ▼ を押すとインクボトル 1 ～ 8 の状態が順次表示されます。

チャージインク情報表示中



重 要 !

- チャージしたインクの残量が 100%の場合、これ以上インクをチャージすることはできません。“ ザンリョウ ” が 100%以下になってからインクをチャージしてください。
- チャージしたインクの残量が 10%以下の場合、ワーニングメッセージ [チャージニアエンド] が表示されます。このときは、インクのチャージを行ってください。(☞ P.3-48)
- チャージしたインクの残量が 0%以下の場合、ワーニングメッセージ [チャージインクエンド] が表示され、インクが使用できなくなります。インクのチャージを行ってください。(☞ P.3-48)

チャージ実行結果の確認方法 (*2)

- チャージ実行結果を表示しているとき、▲▼を押すとチャージ後の「インク残量」と「インク有効期限」を交互に表示します。
- チャージを失敗した場合は、ディスプレイ 2 行目にチャージできなかった原因を表示します。

```
チャージ゛ テ゛キマセン:ホ゛トル1
********************
```

チャージ実行結果表示中

インク残量表示

```
インクチャーシ゛ カンリョウ
ホ゛トル 1-M:ザ゛ンリョウ 100%
```

◀▲▼▶

インク有効期限 (年 / 月)

```
インクチャーシ゛ カンリョウ
ホ゛トル 1-M:キケ゛ン 14/12
```

重 要！

- プリンタの電源を切ると、チャージ実行結果は消去されます。

第４章
お手入れ

この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ 4-2
お手入れ上のご注意 4-2
メンテナンス洗浄液について 4-2
インクのメンテナンス 4-3
外装のお手入れ 4-3
プラテンの清掃 4-3
ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 4-3
メディアセンサーの清掃 4-4
メディア押さえの清掃 4-4
キャッピングステーションのメンテナンス ..4-5
ワイパーとキャップの清掃 4-5
インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ) .. 4-9
長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ) 4-10
ヘッド周辺の清掃 4-13
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-16
ヘッドノズルの洗浄 4-16
サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う 4-18
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-19
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする 4-22
オートメンテナンス機能 4-26
リフレッシュ間隔を設定する 4-26
クリーニング間隔を設定する 4-27
白インクの循環機能について 4-27
Y モーターの清掃 4-28
廃インクの廃棄 4-29
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-29
消耗品の交換 4-31
ワイパーを交換する 4-31
カッター刃の交換 4-32
ポストキュアランプの交換時期 4-34
インク吸収材の交換 4-36
キャリッジフィルターの交換 4-38
ミストフィルターの交換 4-40
吸気フィルターの交換 4-42
冷却水を補充する 4-44
冷却水を補充する 4-45

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	• メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
	• 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源ボタン・主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	• 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
 	• 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (出力) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。 • 長時間使用されないときには、前面の電源ボタンのみを OFF とし、側面の主電源スイッチは ON(｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。 • ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 • 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 • メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

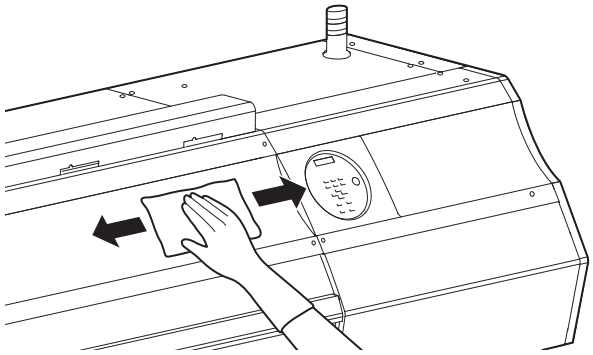
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
UV インク	メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

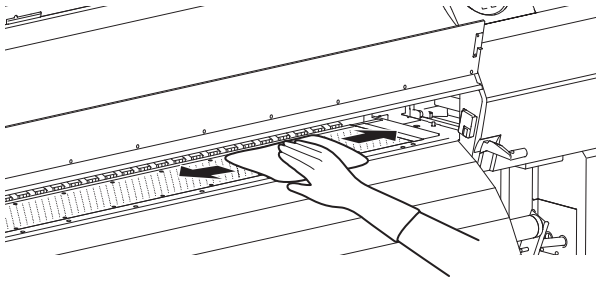


注意

- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。

プラテンの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



注意

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。

- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

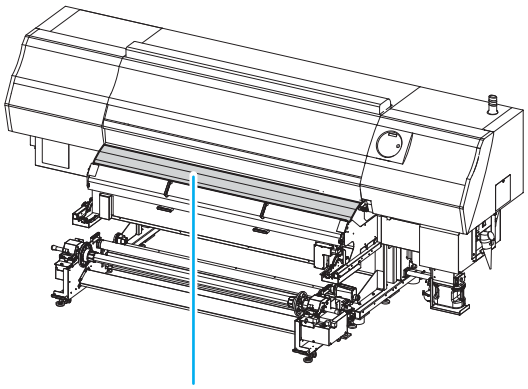
重要！

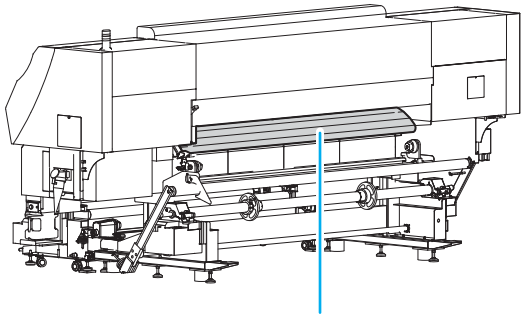
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝 (カット溝) などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃

ポストヒーターカバーとプリヒーターカバーは、メディアの粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つ場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

重要！ ・カバーの清掃は、ヒーターの温度を十分に下げてから行ってください。

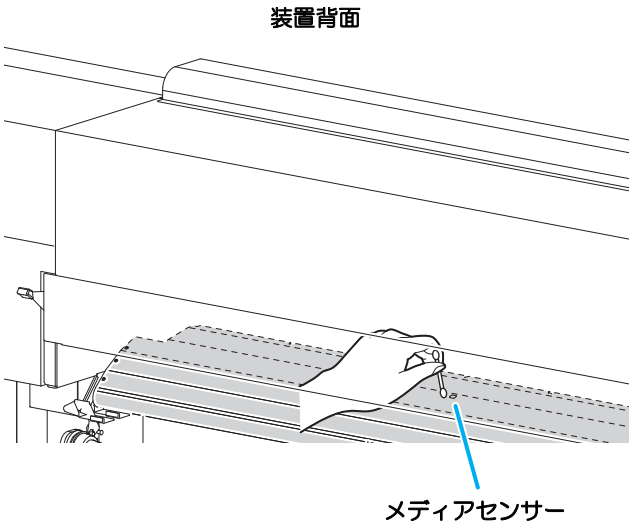


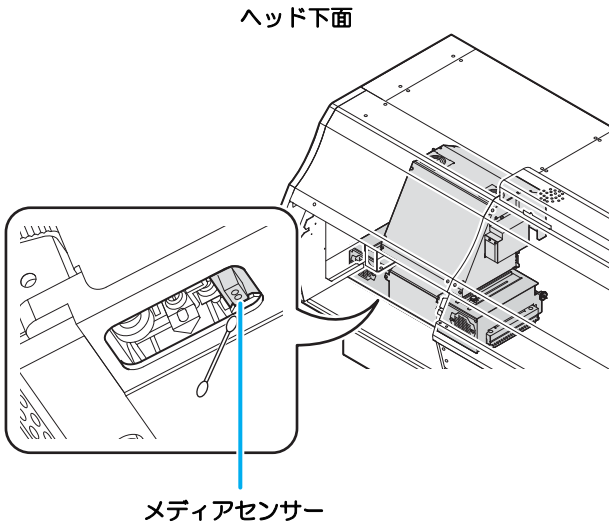


メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-14「ヘッド周辺の清掃」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。





メディア押さえの清掃

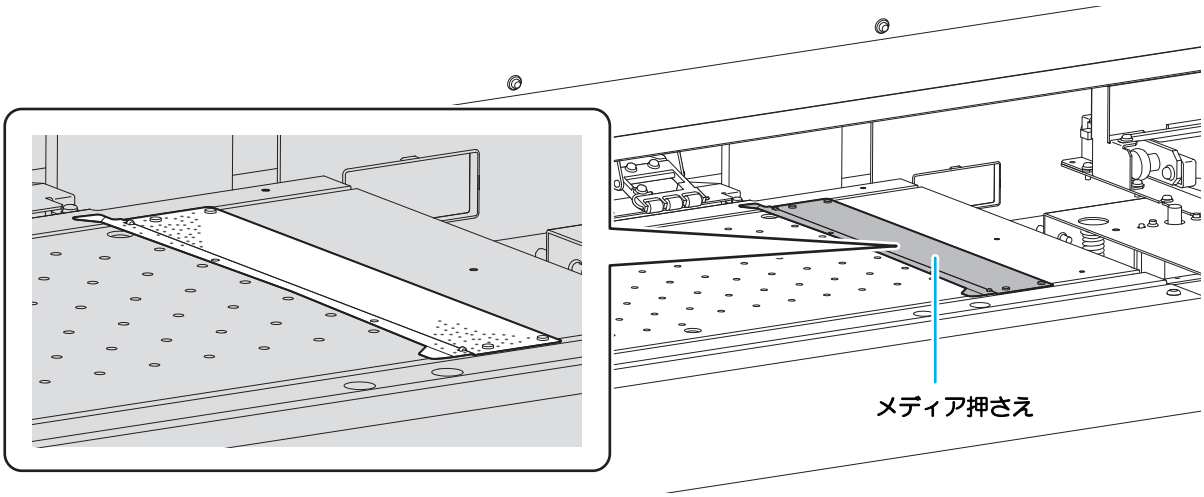
メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。
メディア押さえは、乾いた布やペーパータオルなどで定期的に清掃してください。
また、メディア押さえにインクが付着している場合は、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ってください。

注意

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。

重要!

- メンテナンス洗浄液を使用する場合は、メディア押さえにメンテナンス洗浄液が残らないように拭き取ってください。



キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。
- **ワイパー**　：ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ**　：ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-32) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス用洗浄液 とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	• メンテナンス用洗浄液 (品番 :SPC-0568)		
	• クリーンスティック (品番：SPC-0527)	• 手袋	• 保護メガネ

注 意

- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、MAINT. キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-6 手順 1 ～ 2)
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。
- 作業時はキャッピングステーションに直射日光が当たらないように注意してください。UV インクは紫外線により硬化します。窓のカーテンを閉めるなどの遮光をしてから作業してください。

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重 要 !

- 1 日の作業終了後に、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-32)
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッジ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

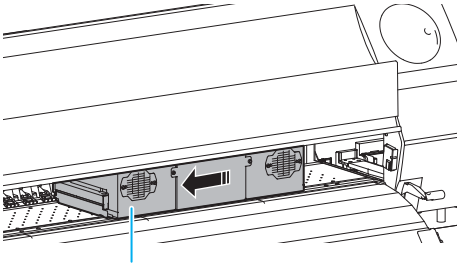
```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

3 ▲ ▼ を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

4 ENTER キーを押す

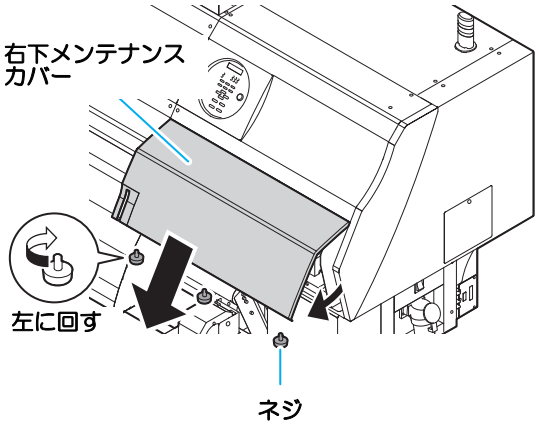
- キャリッジがプラテン上に移動します。



5 右下メンテナンスカバーを開ける

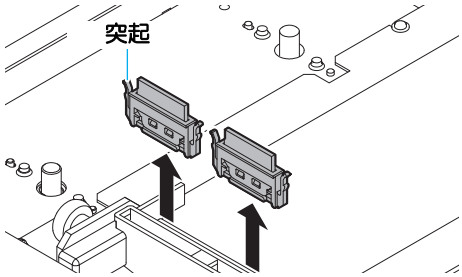
(1) 右下メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
(2) 右下メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
(3) 下に引くようにして、右下メンテナンスカバーを取り外す

- 右下メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



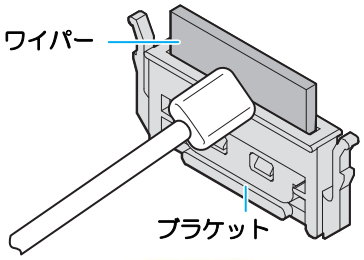
6 ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



7 ワイパーとブラケットを清掃する

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

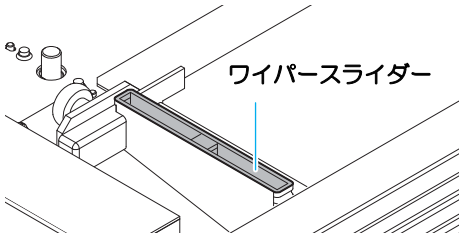


重 要 !

- 右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- 清掃後はブラケットとワイパーが水平になっていることを確認してください。

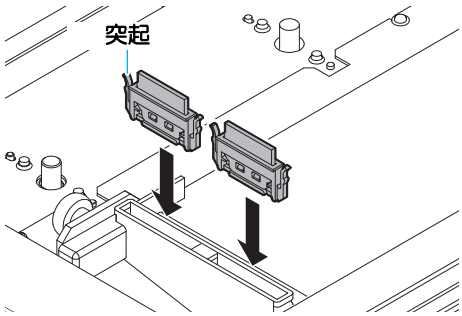
8 ワイパースライダーを清掃する

- ワイパースライダーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



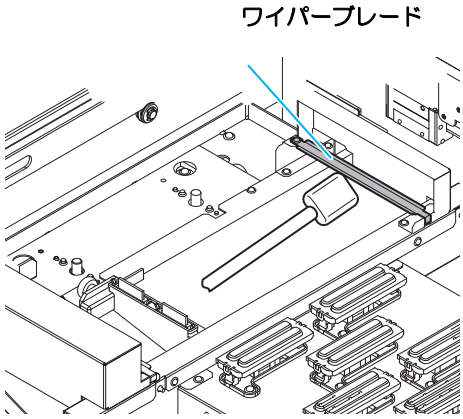
9 ワイパーを元の位置に戻す

- ワイパーの両端を持って差し込みます。

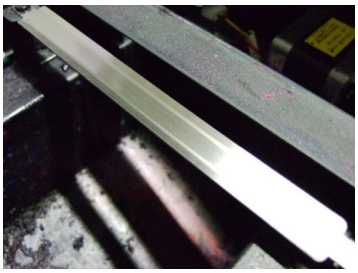


10 ワイパーブレードを清掃する

- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーブレードに付着したインクを拭き取ります。

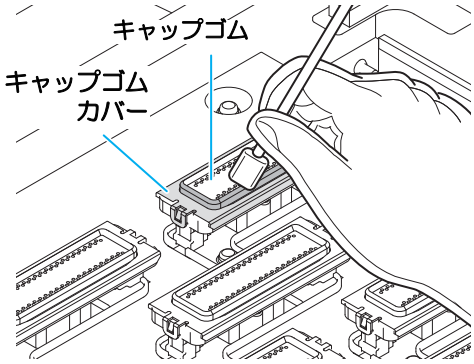


重要！
- ワイパーブレードのエッジ部分に注意し、ワイパーが接触する側 (裏側) を念入りに清掃してください。
- 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。



11 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

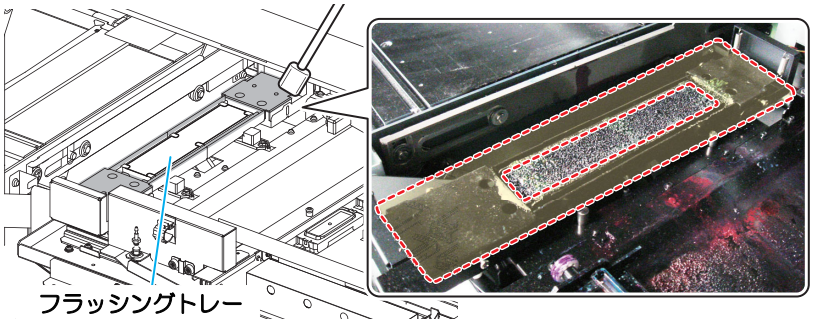
- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
  メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要！
- 右の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- 清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。

12 フラッシングトレーを清掃する

- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、図の板金のか所に付着したインクを拭き取ります。



注意

- 塗装が剥がれる場合がありますが、機能上問題ありません。キャリッジに付着する恐れがあるので、剥がれかかった塗装は拭き取り剥がしてください。

13 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

```
カバ゛ーヲ  シメテクタ゛サイ
シュウリョウ              [ENT]
```

14 右下メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

MAINT. を使わないでステーションメンテナンスをするには

MAINT. キーを押さなくても、ローカルから FUNCTION キーを使ってステーションメンテを選ぶことができます。

ローカルで FUNCTION を押す → ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選ぶ → ENTER を 2 回押す
- ローカルから MAINT. を押したときと同じ状態になります。

インク排出路の洗浄 (ハイロセンジョウ)

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的 (2 ～ 3ヶ月に一度位) にインク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[ハイロ センジョウ] を選ぶ

```
ハイロ センシ゛ョウ
                [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

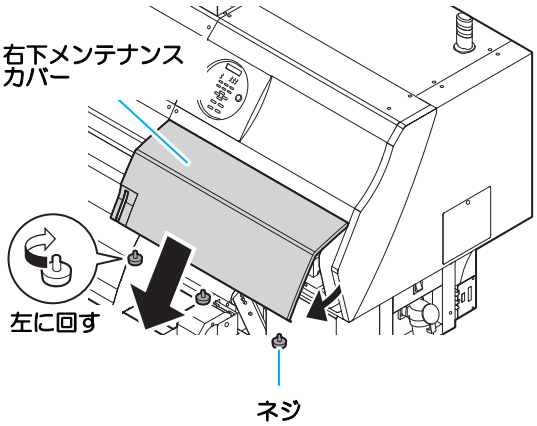
- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

```
ハイロ センシ゛ョウ
シュウリョウ( ツキ゛ヘ)    [ENT]
```

4 右下メンテナンスカバーを開ける

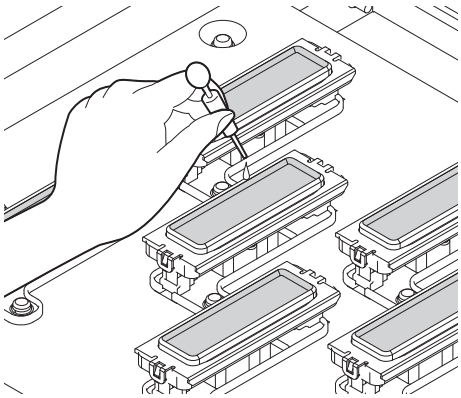
(1) 右下メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
(2) 右下メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
(3) 下に引くようにして、右下メンテナンスカバーを取り外す

- 右下メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



5 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



6 右下メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、手順 2 の表示に戻ります。

```
ハイロ センシ゛ョウ
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

長期間使用しない場合 (ホカンセンジョウ)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排出路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

事前に確認してください	[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。 このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • 外部インク供給ユニットのインクボトルにインクを補充してください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[ホカンセンジョウ] を選ぶ

```
ホカン センシ゛ョウ
                [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

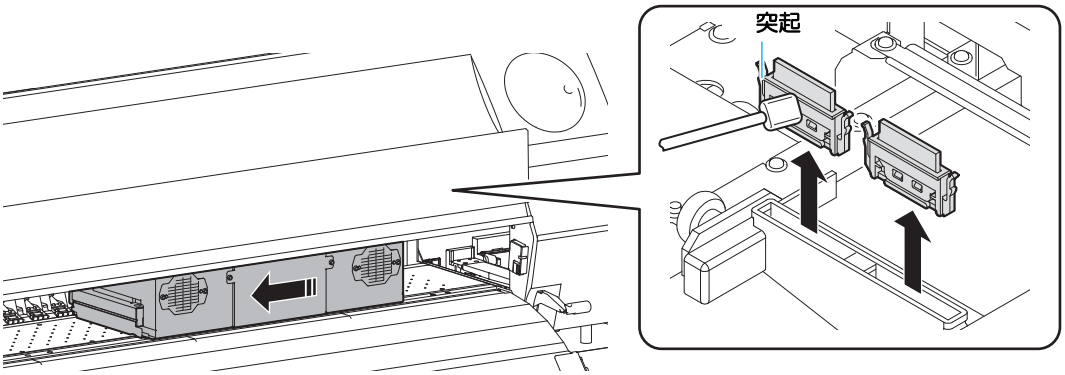
```
ワイハ゜ー クリーニング゛
シュウリョウ        [ENT]
```

• キャリッジがプラテン上に移動します。

重要！ • ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ） :ENT] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) 右下メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0568)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5 ENTER キーを押す

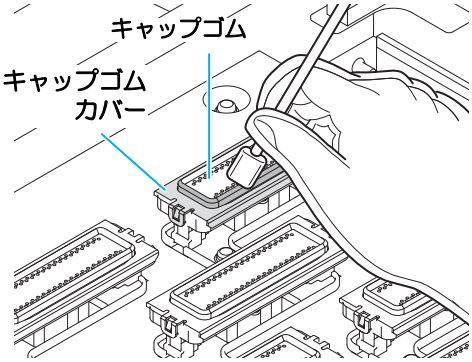
```
キャップ゜　クリーニング゛
シュウリョウ(ツキ゛ヘ)　　[ENT]
```

- キャリッジがプラテン上に移動します。

重要！
- キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 6 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



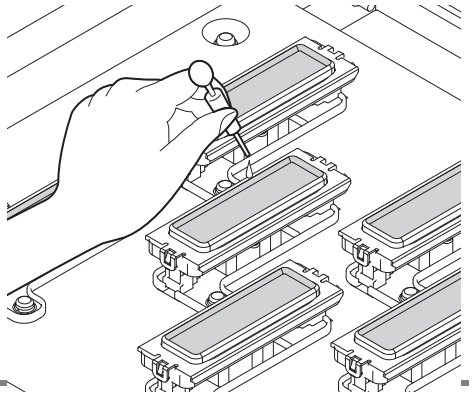
7 ENTER キーを押す

```
センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ(ツキ゛ヘ)　　[ENT]
```

重要！
- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ (ツギへ)　:ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了しフロントカバーを閉じてから ENTER キーを押してください。洗浄液を満たす前に ENTER キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 右下メンテナンスカバーを閉め、ENTER キーを押す

```
ホカン　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　:1min
```

10 ▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

```
ホカン　センシ゛ョウ
ホウチ　シ゛カン　　:2min
```

- 設定値 :1 ～ 99 分（1 分単位）

11 ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

```
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
00:00
```

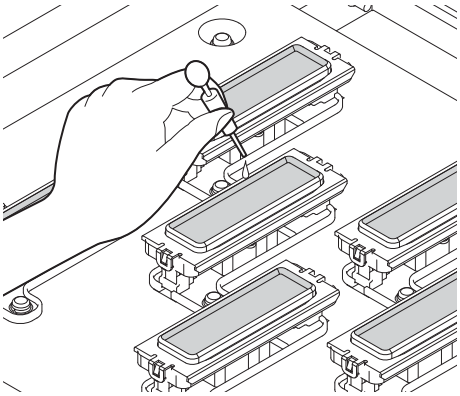
↓

```
＊＊  クリーニング゛  ＊＊
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

12 右下メンテナンスカバーを開ける

13 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



14 右下メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

```
ハイロ  センシ゛ョウ
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。
スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	• クリーンスティック (SPC-0527)	• 手袋	• 保護メガネ

注意

- 1 日の作業終了後に、ヘッド周辺の清掃をしてください。
- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。
- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイプ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。
- 作業時はキャッピングステーションに直射日光が当たらないように注意してください。UV インクは紫外線により硬化します。窓のカーテンを閉めるなどの遮光をしてから作業してください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッジ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

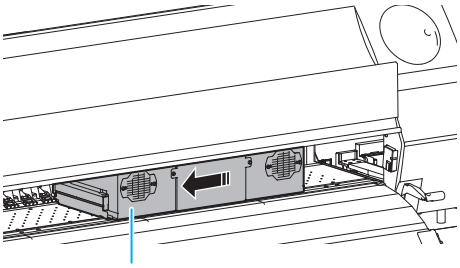
```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

3 ▲ ▼ を押して、[ヘッド メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
:ヘット゛ メンテナンス
```

4 ENTER キーを押す

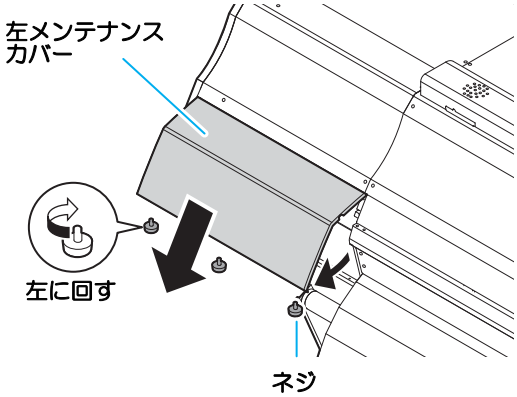
- キャリッジが、本機の左端まで移動します。



5 左メンテナンスカバーを外す

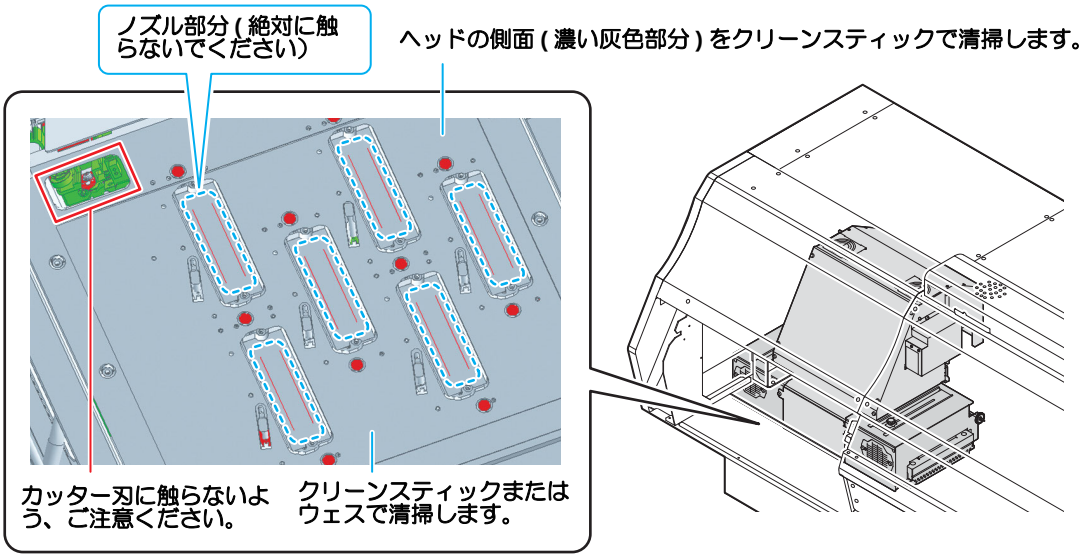
(1) 左メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
(2) 左メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
(3) 下に引くようにして、左メンテナンスカバーを取り外す

- 左メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



6 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。

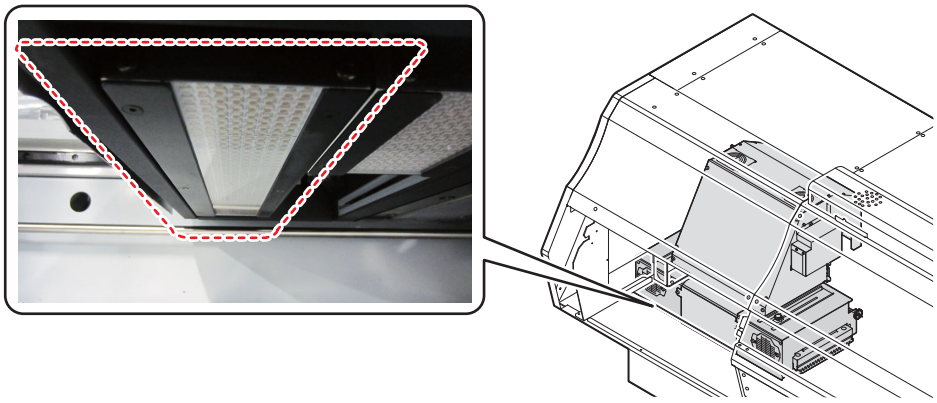


重 要 !

- 右の写真のような状態になるまで、清掃してください。

7 UV ランプ下面を清掃する

- UV ランプ下面奥側にインクが付着している場合、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで、拭き取ります。
  メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



8 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

```
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
シュウリョウ          [ENT]
```

9 左メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-32) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 3 機能を実行してください。

ノズルセンジョウ	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-17)
ヘッドジュウテン	• ヘッドにインクを充填します。(☞ P.4-19)
ノズルリカバリ	• ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルで作図します。(☞ P.4-23)

ヘッドノズルの洗浄

インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

事前に確認してください	[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、インクの吸引を行います。 このとき、インクエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • 外部インク供給ユニットのインクボトルにインクを補充してください。

注意

• 作業時はキャッピングステーションに直射日光が当たらないように注意してください。UV インクは紫外線により硬化します。窓のカーテンを閉めるなどの遮光をしてから作業してください。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ▲ ▼ を押して、[ノズルセンジョウ] を選ぶ

```
ノス゛ル センシ゛ョウ
                [ENT]
```

3 ENTER キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

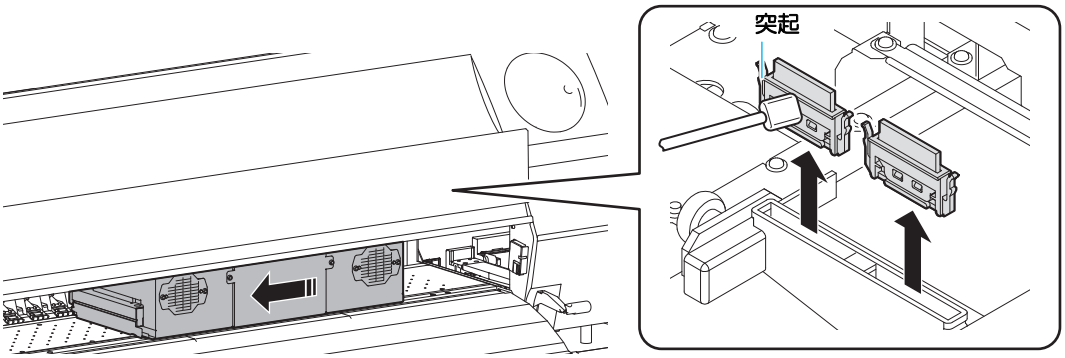
```
ワイハ゜ー クリーニング゛
シュウリョウ( ツキ゛へ)  [ENT]
```

重要！

• ワイパーのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 4 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) 右下メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0568)
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



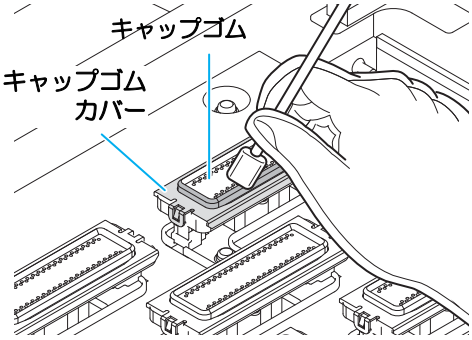
5 ENTER キーを押す

```
キャップ゜　クリーニング゛
シュウリョウ(ツギ゛へ)　　[ENT]
```

重要！
- キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ（ツギへ）:ENT] が表示されます。手順 6 の作業が完了してから ENTER キーを押してください。クリーニングが終了する前に ENTER キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

6 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



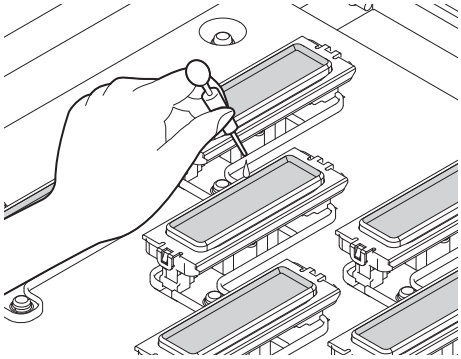
7 ENTER キーを押す

```
センシ゛ョウエキ　ヲ　ミタス
シュウリョウ(ツギ゛へ)　　[ENT]
```

重要！
- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ (ツギへ)　:ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了しフロントカバーを閉じてから ENTER キーを押してください。洗浄液を満たす前に ENTER キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



9 右下メンテナンスカバーを閉め、ENTER キーを押す

```
ホウチ　シ゛カン
=　　1min
```

10 ▲ ▼ を押して、 洗浄液の放置時間を設定する

```
ホウチ　シ゛カン
=　　2min
```

設定値:1 ～ 15 分（1 分単位）

重要！
- LUS-120 インクを使用している場合、放置時間は 1 分間で固定のため、放置時間の設定はできません。

11 ENTER キーを押す

- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 手順 10 で設定した時間だけ、右の画面を表示します。
- 放置時間が過ぎると、手順 2 の表示に戻ります。

```
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
00:00
```

↓

```
＊＊  クリーニング゛  ＊＊
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

重要！
- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

サブタンクからヘッドまでのインク充填を行う

サブタンクからヘッドへインクを充填します。
ヘッド内にエアーが混入すると、不特定の箇所でノズル抜けかが発生することがあります。
そのような場合に以下の操作を実行してください。

1 メンテナンスメニューの [ヘッドジュウテン] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ヘッドジュウテン] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して充填するサブタンク選ぶ

```
サフ゛タンク  センタク
:MM_ _ _ _ _ _
```

3 ENTER キーを押す

- ヘッドへの充填を開始します。

```
＊＊ シ゛ュウテン  ＊＊
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

- 充填が完了すると、右の画面が表示されます。◀ ▶ を押して、“ シュウリョウ ” または “ リトライ ” を選んでください。“ リトライ ” を選んだ場合は、手順 2 に戻ります。

```
ヘット゛  シ゛ュウテン
シュウリョウ<          > リトライ
```

4 終了するとき、END キーを数回押す

インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら

ヘッド内でインクが混色してしまった場合や空気の混入によるノズル抜けが発生した場合は、ヘッド内のインクや混入してしまった空気をポートから押し出してください。

重要！ • 空気抜きの作業中はノズル面からインクが垂れる可能性があります。空気抜きの作業中には本機から離れないでください。

1 メンテナンスメニューの [クウキヌキ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [クウキヌキ] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
シバ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

• ステーションが空吸引位置まで下がります。
• 空吸引位置まで下がると、ディスプレイに " カバーヲアケテクダサイ " が表示されます。

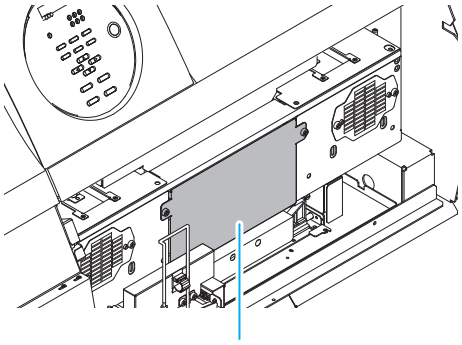
3 本機の右下メンテナンスカバーを開ける

• 右下メンテナンスカバーを開けると、ディスプレイに右のようなメッセージが表示されます。

```
カバ゛ー ヲ アケテクタ゛サイ
カンリョウ              [ENT]
```

4 キャリッジ前のメンテナンスカバーを開ける

重要！ • 取り外したカバーは作業終了後、速やかに取り付けてください。長時間放置すると、紫外線によるインクへの影響が出る可能性があります。

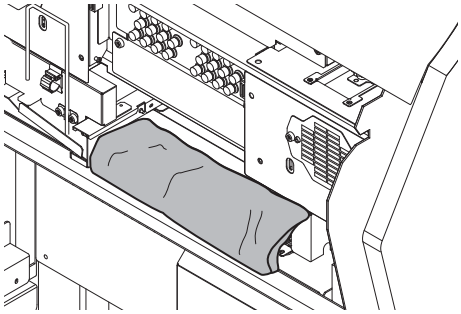


5 ENTER キーを押す

6 ステーション手前のレール部分をウェスなどで養生する

```
ウェス ヲ セット
カンリョウ              [ENT]
```

重要！ • レール部分は必ず養生してから作業を行ってください。レール部分にインクが垂れると、インクが固まり、動作不良の原因となります。



7 ENTER キーを押す

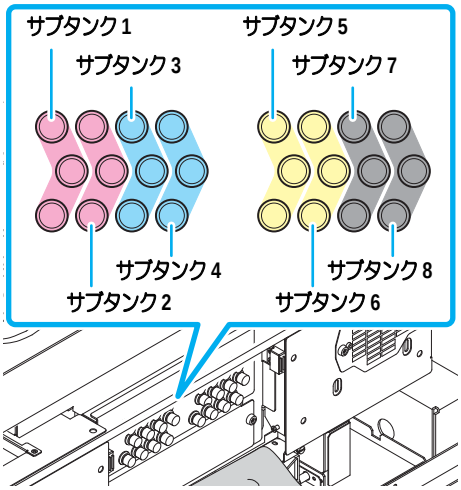
8 空気抜きを行うノズル列を選択する

(1) ◀ ▶ ▲ ▼ を押して、サブタンクを選択する

(2) ENTER キーを押して決定する

- 準備動作を行います。表示が変わるまでお待ちください。

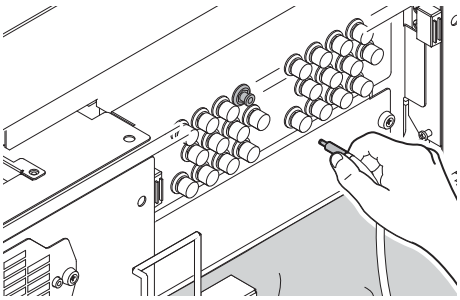
```
サブ゛タンク　センタク
: MM _ _ _ _ _ _
```



9 インクポートのバルブを開け、エア抜き治具をセットする

重要！

- バルブが開けづらい場合は、添付のラジオペンチを使って、開けてください。



10 インクポートから混色したインクや混入した空気を排出させる

- ENTER キーを押すと、一定時間ポートからインクを排出します。
- 排出を完了すると、ディスプレイには“ジグヲハズス”が表示されます。メッセージが表示されるまでは、治具を取り外さないでください。

```
ハイシュツ
カイシ                [ENT]
```

11 インクポートから治具を外し、インクポートのバルブを閉める

```
シ゛グ゛ ヲ ハズ゛ス
カンリョウ            [ENT]
```

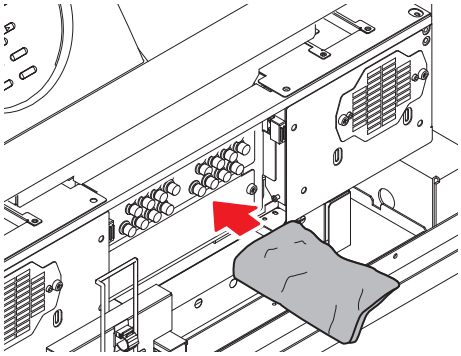
12 ENTER キーを押す

- インクの減ったサブタンクにインク供給を行います。表示が切り替わるまで、しばらくお待ちください。
- 続けて作業を行う場合は、手順 8 ～ 11 の作業を行ってください。

```
** シ゛ュウテン/サブ゛タンク **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

13 終了するとき、(END)キーを押す

14 インクポート周辺に付着したインクをウェスで拭き取り、レールを養生したウェスを取り除く



(重要!) ・インクポート周辺に付着したインクはきれいに拭き取ってください。動作不良の原因となります。

15 (ENTER)キーを押す

16 キャリッジ前のメンテナンスカバーと本機の右下メンテナンスカバーを閉め、(ENTER)キーを押す

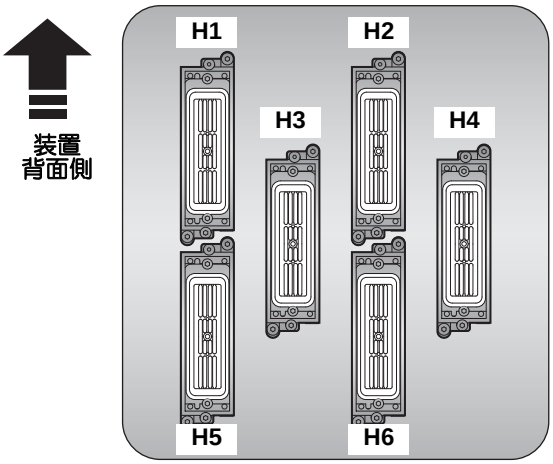
・自動的にクリーニングが始まります。クリーニングが終わるまで、しばらくお待ちください。

17 終了するとき、(END)キーを数回押す

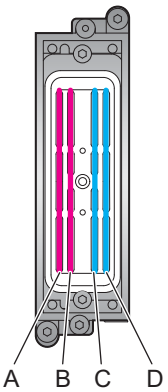
ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントする

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用 (ノズルリカバリ) してプリントすることができます。

本機のヘッドは右のように構成されています。
ノズルリカバリ機能では、H1-2(ヘッド 1-2)、H3-4(ヘッド 3-4)、H5-6(ヘッド 5-6) それぞれのノズル列を指定して、リカバリの設定をすることができます。



ノズル列について
- 本機は、1 つのヘッドに対して 4 つのノズル列 (A 列・B 列・C 列・D 列) で構成されています。



1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ノズル リカバリ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して［プリント］を選び、ENTER キーを押す

```
ノス゛ルリカハ゛リ
: フ゜リント
```

↓

```
ヘット゛　センタク
: H1－2
```

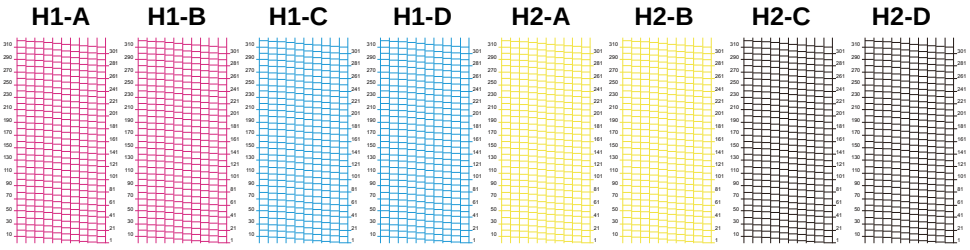
3 ▲ ▼ を押してノズルリカバリをするヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶ

```
ヘット゛　センタク
: H3－4
```

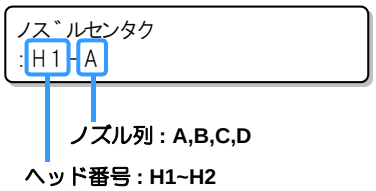
4 ENTER キーを 2 回押す
- 選んだユニットのノズルパターンがプリントされます。
- 手順 2 で [トウロク] を選択したときは、ノズルパターンのプリントをしないでノズル列選択手順 (手順 5) に移ります。

```
＊＊　フ゜リント　＊＊
シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

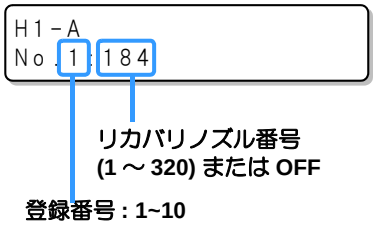
H1-2 を選択した場合のノズルパターン



5 ▲ ▼ を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、ENTER キーを押す



6 リカバリが必要なノズル番号を登録し、ENTER キーを押す

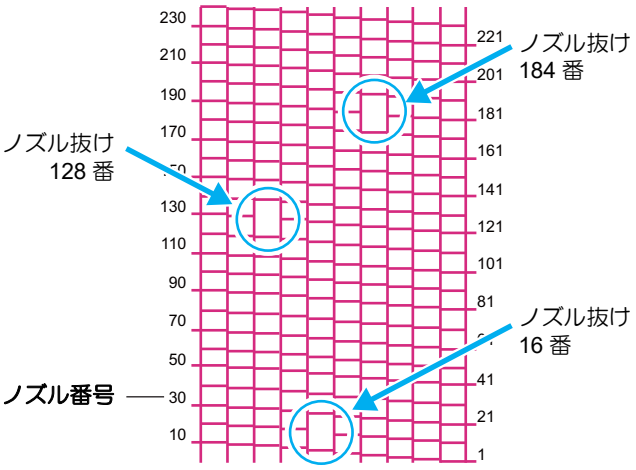


(1) ▲ ▼ を押して登録番号 (1~10) を選択し、ENTER キーを押す

(2) ▲ ▼ を押してリカバリするノズル番号を登録し ENTER キーを押す

- 登録したノズルがリカバリできない場合、P.4-25「ノズルリカバリできないプリント条件を確認する」の手順 3 の画面が表示されます。

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

7 終了するとき、END キーを数回押す

重要!

- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、作図時間は変わりません。
- 作図モードの最低パス数では、ノズルリカバリ機能は無効です。
- ノズルリカバリを登録しても、テストプリントなどのパターンはリカバリされません。

ノズルリカバリできないプリント条件を確認する

登録したノズルによっては、リカバリが反映されないモードがあります。リカバリできないプリント条件を確認してください。

- 登録されているノズルが多い場合、チェック結果を表示するまでに時間がかかります。

1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

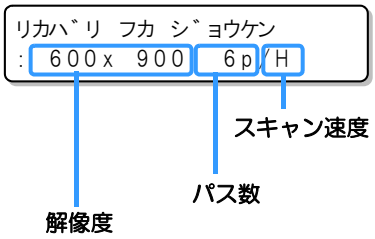
(1) ローカルで、FUNCTIONキーを押す
(2) ▲▼を押して [メンテナンス] を選び、ENTERキーを押す
(3) ▲▼を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
(4) ENTERキーを押す

2 ▲▼を押して［チェック］を選ぶ

```
ノス゛ルリカハ゛リ
: チェック
```

3 ENTERキーを押す

- ノズルリカバリが無効なモードを表示します。
- ノズルリカバリが無効なモードがない場合、「ナシ」と表示します。



4 終了するとき、ENDキーを数回押す

設定値をクリアする

1 メンテナンスメニューの [ノズル リカバリ] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [ノズルリカバリ] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して［クリア］を選び、ENTER キーを押す

```
ノズ゛ルリカバ゛リ
: クリア
```

↓

```
ヘット゛　センタク
: H1-2
```

3 ▲ ▼ を押してノズルリカバリの設定をクリアするヘッド (H1-2/H3-4/H5-6) を選ぶ

```
ヘット゛　センタク
: H3-4
```

4 ENTER キーを押す

```
クリアノズ゛ル　センタク
: H1-A
```

5 ▲ ▼ を押して、設定値をクリアするノズル列を選び、ENTER キーを押す

```
クリアノズ゛ル　センタク
: H1-A
```

↓

```
H1-A　クリア?
シ゛ッコウ                [ENT]
```

6 ENTER キーを押す

7 終了するとき、END キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
（オートメンテナンス機能）
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

重要！
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説　明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング	クリーニングタイプと、実行するまでの間隔を設定します。

重要！
- 右のメッセージが表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-30 の操作をしてください。
- 装置前面の電源ボタンをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

```
<ローカル>
ハイ　インクタンク　フル
```

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [オート メンテナンス] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
オート　メンテナンス
リフレッシュ　　[ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
リフレッシュ
:Lv.1
```

4 ▲ ▼ を押して、リフレッシュ間隔を設定する

- 設定値： OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

```
リフレッシュ
:Lv.1
```

5 ENTER キーを押す

```
オートメンテナンス
リフレッシュ　　[ENT]
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

クリーニング間隔を設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 メンテナンスメニューの [オート メンテナンス] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [オート メンテナンス] を選ぶ
(4) ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して、[クリーニング] を選ぶ

```
オート　メンテナンス
クリーニング゛　　　　　　[ENT]
```

3 ENTER キーを押す

```
クリーニング゛
:レベ゛ル1
```

4 ▲ ▼ を押して、クリーニングを行う間隔を設定する

- 設定値： OFF、Lv.1、Lv.2、Lv.3
- レベルを上げるごとに動作間隔は短くなります。

```
クリーニング゛
:Lv.1
```

5 ENTER キーを押す

- 手順 4 で “OFF” 以外に設定したとき、クリーニングタイプの選択画面が表示されます。

```
タイプ゜
:ノーマル
```

6 ▲ ▼ を押して、クリーニングタイプを選ぶ

- 設定値：ノーマル、ソフト、ハード

```
タイプ゜
:ソフト
```

7 ENTER キーを押す

```
オート　メンテナンス
クリーニング゛　　　　　　[ENT]
```

8 終了するとき、END キーを数回押す

白インクの循環機能について

本機は、白インクの顔料が沈降することを防止するため、自動的にインクの循環を行います。

● 白循環動作中のディスプレイ表示

```
シ゛ュンカン　チュウ
　　シハ゛ラク　オマチクタ゛サイ
```

重要！

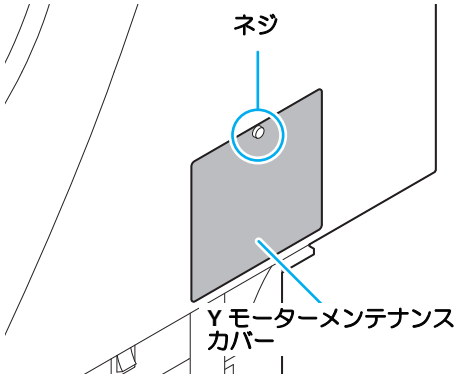
- 白インクの循環機能は、4 色 + 白のインクセットをご使用の場合のみ自動的に行います。
- 白循環を行っても、インクの消費はありません。
- 本機がプリントなどの動作を行っていないとき、1 時間に 1 回の間隔で白循環を行います。
- 白循環を途中で止めたいときは、END キーを押してください。
- 白循環の動作が終了すると、ディスプレイは白循環を開始する前の状態に戻ります。
- 白循環中に印刷データを受信すると、白循環を中断し、ディスプレイは白循環を開始する前の状態に戻ります。

Y モーターの清掃

ワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されたら、次の手順で Y モーターの清掃をしてください。

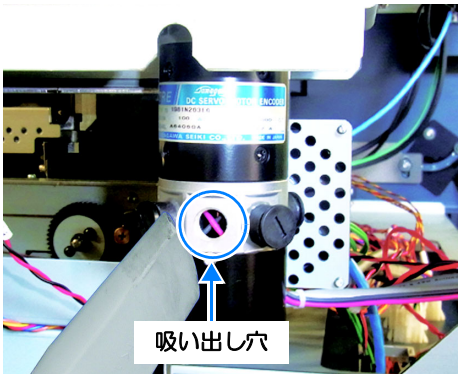
1 電源を切ってから、Y モーターメンテナンスカバーを開ける

- Y モーターメンテナンスカバーのネジを外して、カバーを開けてください。



2 摩耗粉吸い出し用のフタを開け、摩耗粉吸い出し穴に溜まった摩耗粉を掃除機で吸い出す

- マイナスドライバーを使って、フタを開けてください。



3 摩耗粉吸い出し用のフタを元の状態に戻し、電源を入れる

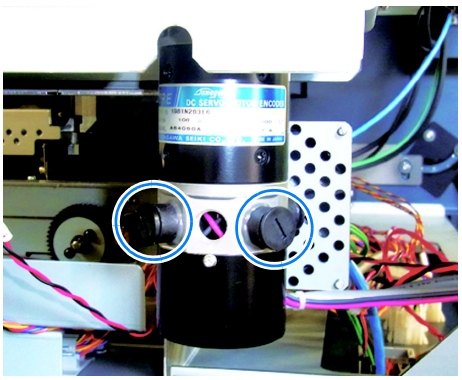
- ディスプレイにはワーニングメッセージ [Y モーターセイソウ] が表示されます。

4 MAINT. キーを押して、ワーニングメッセージをクリアする

- ローカルに戻ります。

注意

- 右図の丸部分のフタは外さないでください。モーターの動作不良の原因になります。



廃インクの廃棄

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量をセンサーで監視し、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。（**廃インクタンク交換の目安としてお使いください。**）

重要！
- 廃インクタンクの液量はこまめにご確認ください。廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。

ローカルでの確認メッセージ

1 右のメッセージが表示される

< ローカル>
ハイインクタンク　フル　マチ゛カ

または

< ローカル>
ハイインクタンク　フル

または

< ローカル>
ハイインクタンク　ナシ

2 廃インクタンクを確認する

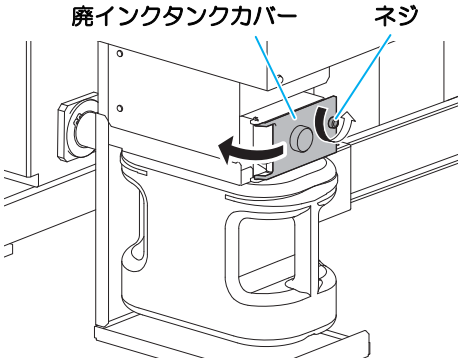
- 「ハイインクタンクナシ」が表示されたときは、タンクが奥まで入っているか確認してください。

廃インクを廃棄する

注意
- 廃インクタンクを交換するときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

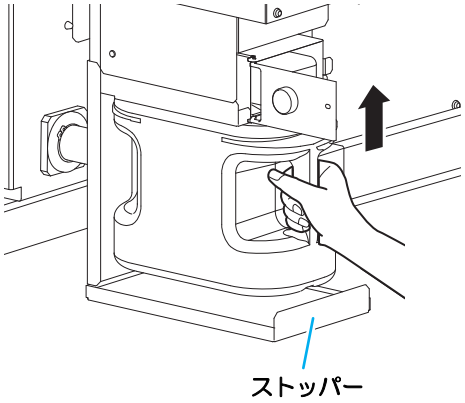
1 廃インクタンクカバーを開く

- 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



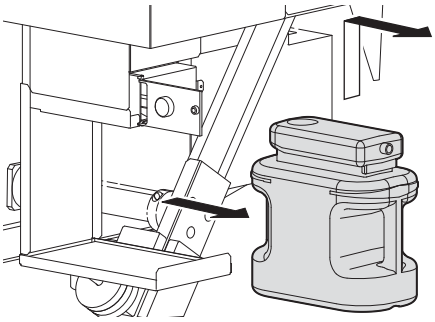
2 廃インクタンクを少し持ち上げる

- ストッパーに当たらない程度まで、廃インクタンクを持ち上げてください。



3 廃インクタンクを取り出す

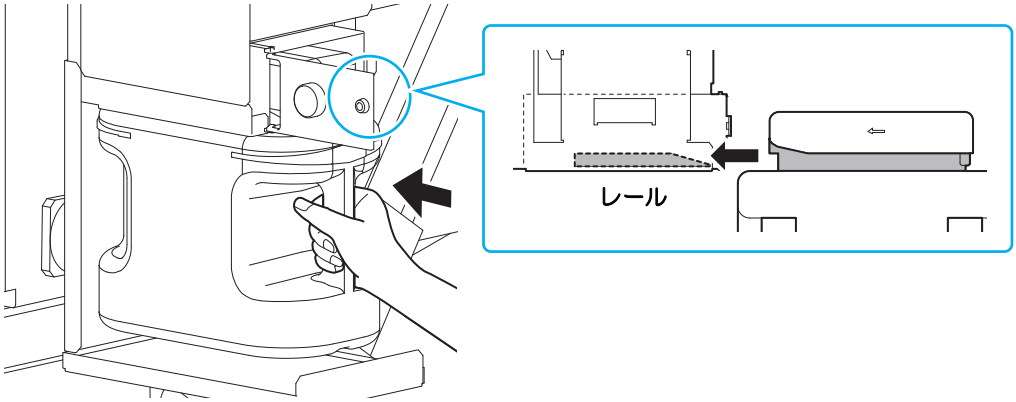
(1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す
(2) 廃インクタンクを持ち上げて、取り出す



4 廃インクタンクを交換する

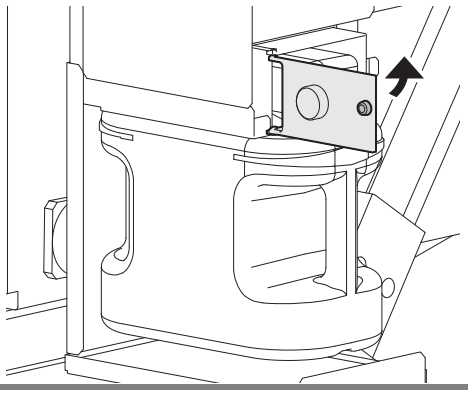
(1) 新しい廃インクタンクを用意する。
(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、レールに沿って差し込む
(3) 廃インクタンクを持ち上げる

- 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 一部成分において（光重合開始剤）、水性生物に対する毒性があります。自然水系 (川等)、生活排水 (トイレ、道路等) への漏洩流出を防いでください。



5 廃インクタンクカバーを閉じる

- 新しい廃インクタンクを認識したら、ワーニングメッセージが解除されます。



ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。右のメッセージが表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

```
<ローカル>
ワイパ゜ー コウカン        [MNT]
```

重要！ • クリーニングワイパー (SPA-0193) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 メッセージが表示されたら、MAINT. キーを押す

```
ワイパ゜ー コウカン
シ゛ッコウ                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

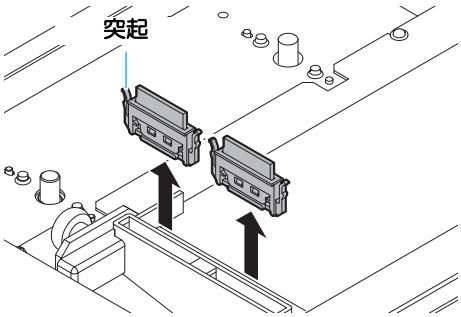
```
ワイパ゜ー コウカン
シュウリョウ              [ENT]
```

• キャリッジがプラテン上に移動します。

重要！ • 交換作業が終了するまで、ディスプレイには [シュウリョウ :ENT] が表示されます。手順 3 までの作業が完了し右下メンテナンスカバーを閉じてから ENTER キーを押してください。

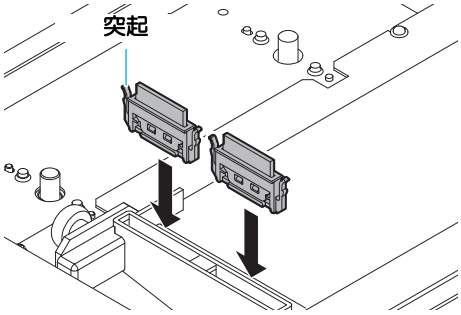
3 右下メンテナンスカバーを開けて、ワイパーを取り出す

• ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



4 新しいワイパーを差し込む

• ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。
• ワイパーに向きはありません。どちら側を手前にしても差し込むことができます。



5 右下メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

```
＊ ショキカ チュウ ＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
```

• 初期動作後、ローカルに戻ります。

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0192) に交換してください。

注意

- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

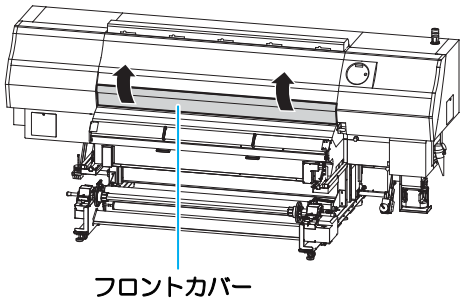
3 ▲ ▼ を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
:ステーション メンテナンス
```

4 ENTER キーを押す

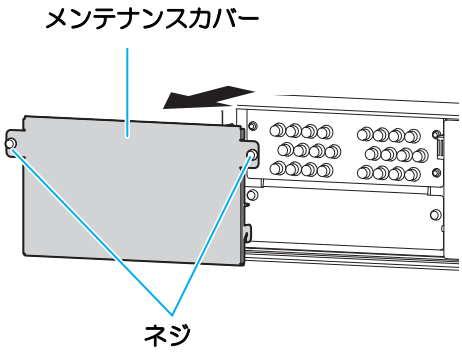
- キャリッジがプラテン上に移動します。

5 フロントカバーを開ける



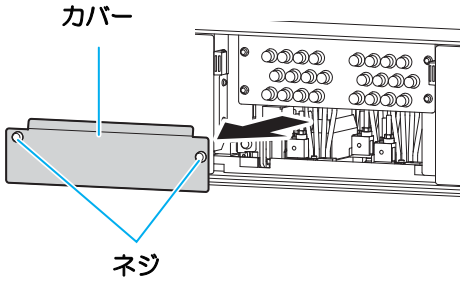
6 キャリッジ前面のメンテナンスカバーを取り外す

- メンテナンスカバー両脇のネジを外し、メンテナンスカバーを取り外します。



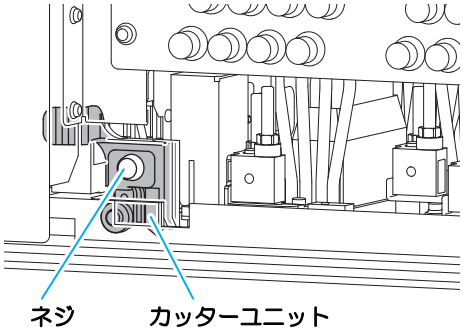
7 カッター交換用のカバーを取り外す

- カバー両脇のネジを外し、メンテナンスカバーを取り外します。

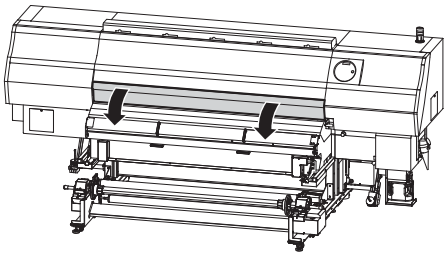


8 キャリッジ前面のカッターユニットを交換する

(1) カッターユニットのネジを緩める
(2) カッターユニットを取り外す
(3) 新しいカッターユニットを取り付ける
(4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する



9 フロントカバーを閉じる



10 ENTER キーを押す

- 手順 1 の表示に戻ります。

ポストキュアランプの交換時期

ランプの交換時期になると、電源を入れたときにディスプレイに右のメッセージを表示してお知らせします。

- ディスプレイには、ポストキュアランプ交換をお知らせするメッセージを表示します。
- 交換が必要なランプを番号でお知らせします。
  (1: ランプ上段 /2: ランプ中段 /3: ランプ下段)
- ランプの交換は、 主電源を切ってから行ってください。

メッセージが表示されたら、次の操作をしてランプを交換してください。
(SPC-0690 : 3 本入り /SPA-0222 : 1 本入り)

```
ERROR  45F
ﾎﾟｽﾄｷｭｱ  ﾗﾝﾌﾟｺｳｶﾝ  123
```

↓

```
<ﾛｰｶﾙ>
ﾎﾟｽﾄｷｭｱﾗﾝﾌﾟ123  [MNT]
```

注意

- ランプが消灯した直後はランプは高温になっています。ランプ交換は、ランプが十分冷えてから行ってください。
- ランプ交換をするときは、ランプを慎重に取り扱ってください。ランプが本体にぶつかり、破損や怪我の原因となります。
- 保護カバーのエッジ部やランプの破損等でケガをする可能性があります。交換作業をする際には、必ず手袋をしてください。

重要!

- メッセージが表示されたあとでも、暫くの間、ポストキュアユニットのランプは点灯します。
  ただし、光量が少なくなっているため、メッセージ表示前と比べて、UV インクの硬化は劣ります。

ポストキュアランプの交換時期になると、
右のメッセージが表示される

```
<ﾛｰｶﾙ>
ﾎﾟｽﾄｷｭｱﾗﾝﾌﾟ123  [MNT]
```

1 MAINT. キーを押す

```
ﾎﾟｽﾄｷｭｱ  UV  ﾗﾝﾌﾟ
ｺｳｶﾝ  ｼﾏｽｶ ?        [ENT]
```

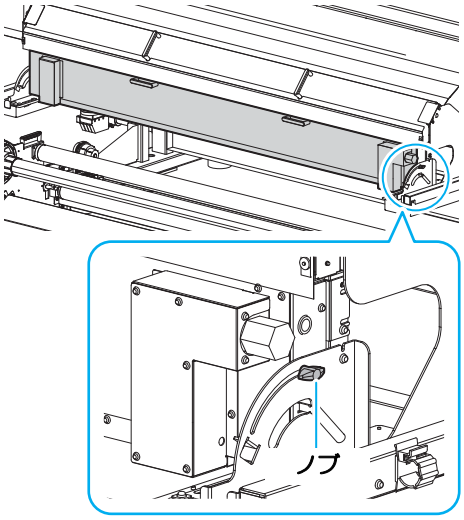
2 ENTER キーを押す

- 主電源を切ることを促すメッセージを表示します。
  必ず、右のメッセージを確認してから、手順 3 へ進んでください。

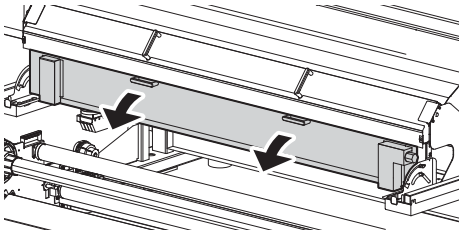
```
ｼｭﾃﾞﾝｹﾞﾝ  ｽｲｯﾁ
OFF  ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 主電源をオフにする

4 ポストキュアユニットの左右にあるノブを緩む方向に回す (3 回程度)

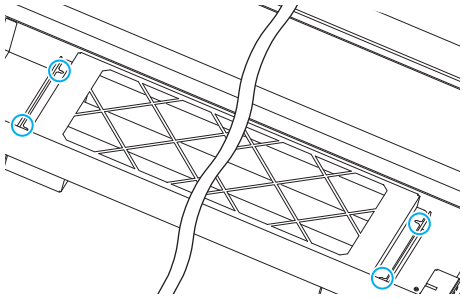


5 ポストキュアユニット前面の取っ手を持って、ポストキュアユニットを開く



- ポストキュアユニットの開閉時は、火傷や手の挟み込みの予防のため、必ず取っ手を持って行ってください。
- ポストキュアユニットを開閉するときは、水銀灯が割れないようにゆっくり行ってください。
- ポストキュアユニットを開閉している途中に、取っ手から手を離さないでください。

6 保護カバーを外す

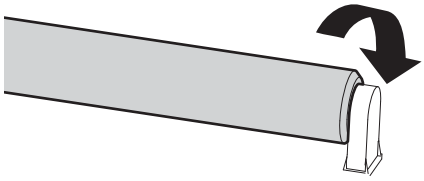


- 保護カバーに付いているネジ (4 箇所) を外し、保護カバーを外します。

7 交換する水銀灯を 90 度回転させ、取り外す

注 意

- 水銀灯を強く握るなどすると破損する恐れがあります。水銀灯の取り扱いにはご注意ください。



8 新しい水銀灯をセットし、90 度回転して固定する

注 意

- 水銀灯には向きがあります。文字が刻印されている側がメディア側に向くようにセットしてください。

9 保護カバーを取り付ける

10 ポストキュアユニットを元の位置に戻し、左右のノブを締める

11 電源をオンにする

- 電源を入れると、右のメッセージが表示されます。

```
ﾎﾟｽﾄｷｭｱ UV ﾗﾝﾌﾟ
ｸﾘｱ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ        [ENT]
```

12 P.3-51「装置情報を確認する」を参照して、交換したポストキュアランプの使用履歴をクリアする

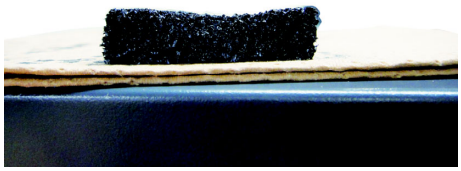
インク吸収材の交換

ノズル詰まりを防止するため、本機では定期的にフラッシング動作を行い微量のインクをワイパ横のインク吸収材の上で吐出しています。
インク吸収材が、下図のように変形しているときは、インク吸収材の交換を行ってください。

重要！ • 変形したまま使用すると、UV ランプにインクが付着する可能性があります。

交換不要なインク吸収材

交換が必要なインク吸収材
(変形している)



1 ローカルで、MAINT. キーを押す

```
キャリッシ゛ アウト
                [ENT]
```

2 ENTER キーを押す

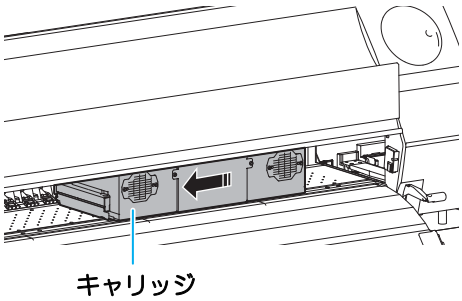
```
イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス
```

3 ▲ ▼ を押して、[ステーション メンテナンス] を選ぶ

```
イト゛ウ イチ
: ステーション メンテナンス
```

4 ENTER キーを押す

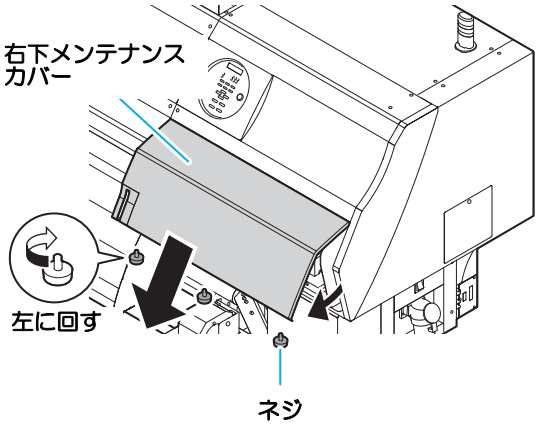
• キャリッジがプラテン上に移動します。



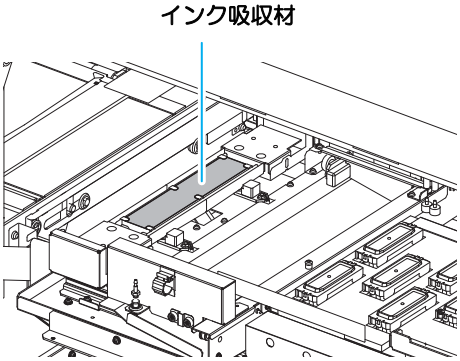
5 右下メンテナンスカバーを開ける

(1) 右下メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
(2) 右下メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
(3) 下に引くようにして、右下メンテナンスカバーを取り外す

• 右下メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



6 インク吸収材を交換する



7 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

```
カバ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
シュウリョウ              [ENT]
```

8 右下メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

キャリッジフィルターの交換

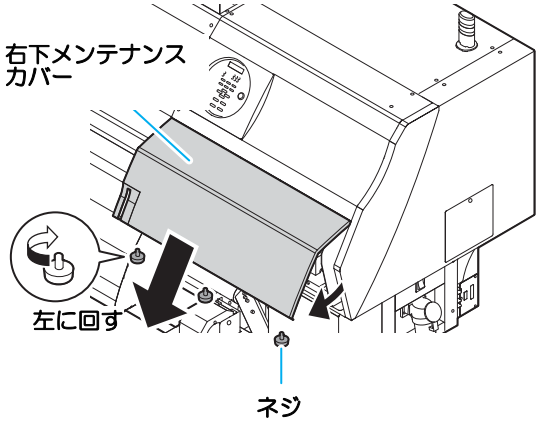
1 が月に一度交換してください。

1 主電源スイッチをオフにする

2 右下メンテナンスカバーを開ける

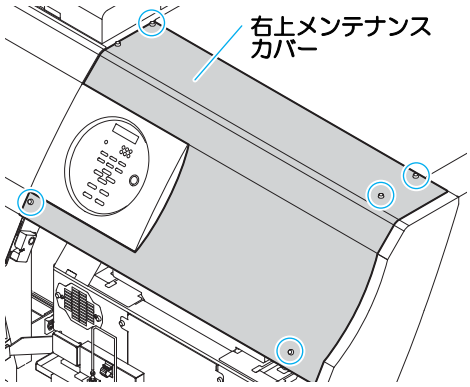
(1) 右下メンテナンスカバー下のネジ (3 箇所) を左に回して取り除く
(2) 右下メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
(3) 下に引くようにして、右下メンテナンスカバーを取り外す

- 右下メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



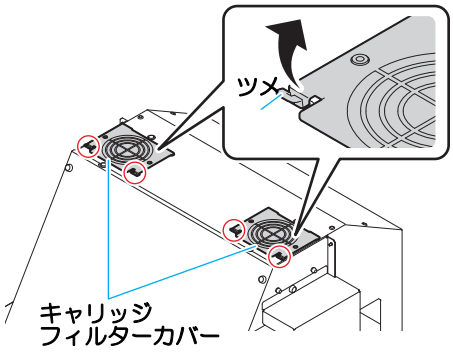
3 右上メンテナンスカバーを開ける

- 図の丸部分のネジを外して、カバーを取り外します。

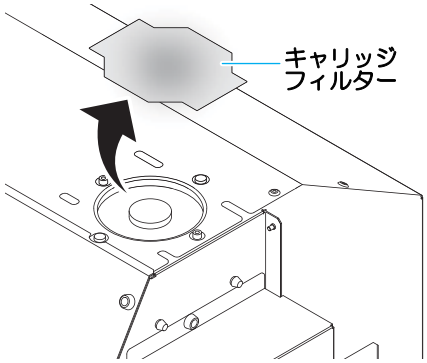


4 キャリッジ上部にあるキャリッジフィルターカバー (2 箇所) を取り外す

- キャリッジフィルターカバーのツメをつまんで、上に引き上げてください。

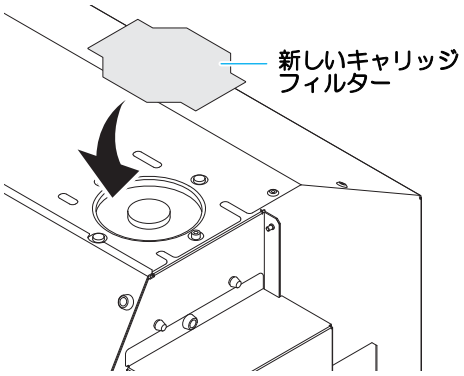


5 使用済みのキャリッジフィルターを取り外す



6 新しいキャリッジフィルター (SPA-0189) を取り付ける

- キャリッジフィルター左右の穴をキャリッジの凸部に入れ込んでください。



重 要!

- キャリッジフィルターはキャリッジ上部に 2 箇所にあります。
  交換するときは、両方のフィルターを同時に交換してください。

7 キャリッジフィルターカバーを元の状態に戻す

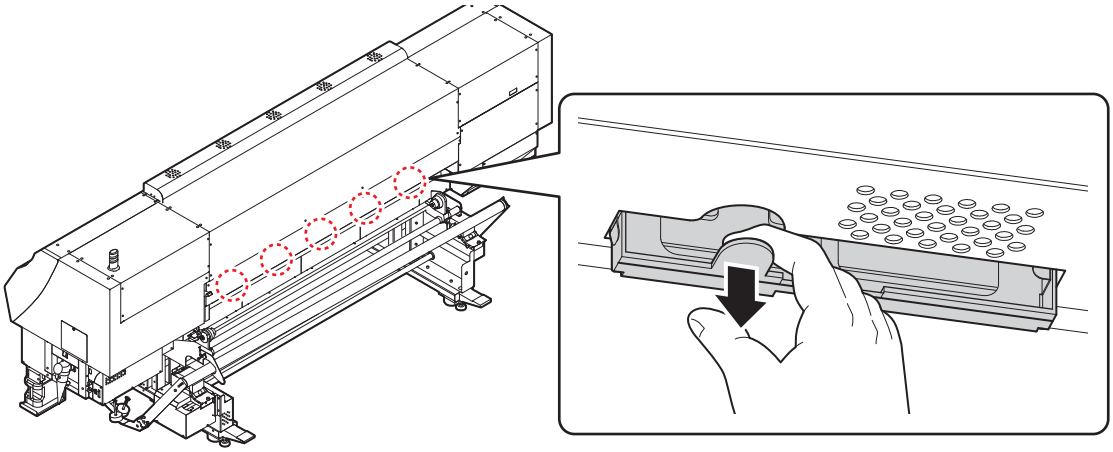
8 右上メンテナンスカバーと右下メンテナンスカバーを閉じる

ミストフィルターの交換

1ヶ月に一度交換してください。

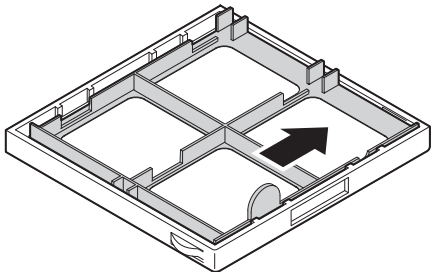
1 本体背面にある、ミストフィルター ASSY を引き出す

- ミストフィルター ASSY は本体背面 (図の〇印の箇所) に 5 個あります。
- 底面にある穴に指をかけ、ミストフィルター ASSY を下に引き出します。



2 使用済みのフィルターを取り出す

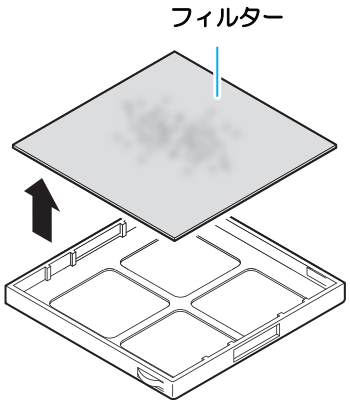
(1) フィルター押さえを少しスライドさせ、取り外す



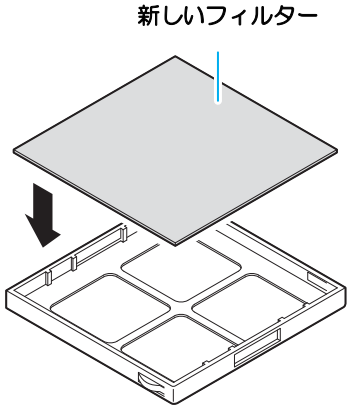
(2) 使用済みのフィルターを取り出す

重 要 !

- ミストフィルター ASSY には、プリント時のインクが付着しています。フィルターを交換する際は、紙などを敷いてから行うことをお勧めします。



3 新しいミストフィルター **(SPA-0190)** を取り付け、フィルター押さえを取り付ける



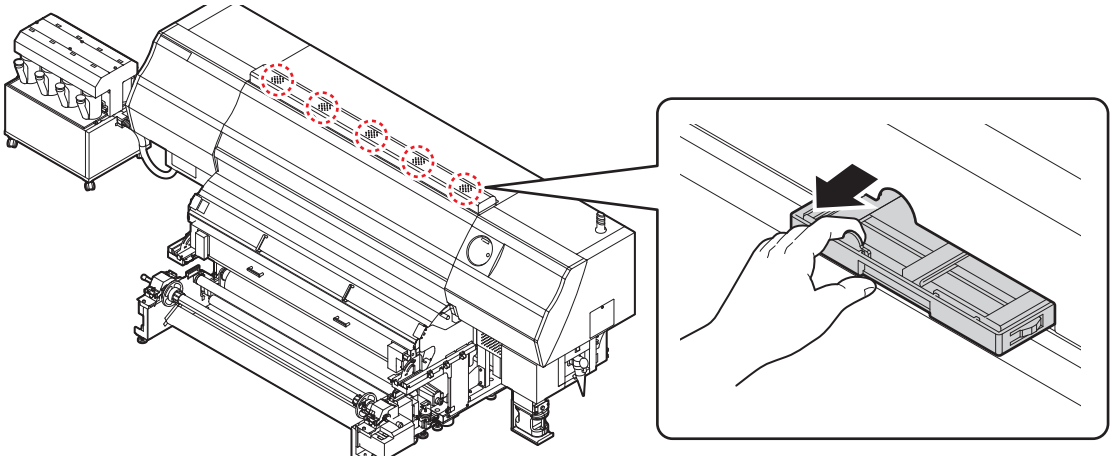
4 ミストフィルター **ASSY** を元の位置に取り付ける

吸気フィルターの交換

1ヶ月に一度交換してください。

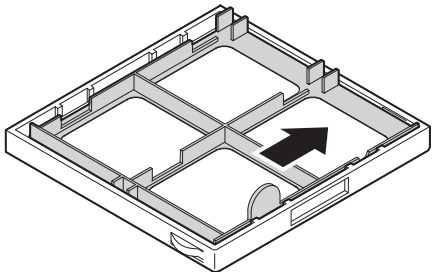
1 本体上部にある、吸気フィルター ASSY を引き出す

- 吸気フィルター ASSY は本体背面 (図の〇印の箇所) に 5 個あります。
- 手前にある穴に指をかけ、吸気フィルター ASSY を下に引き出します。

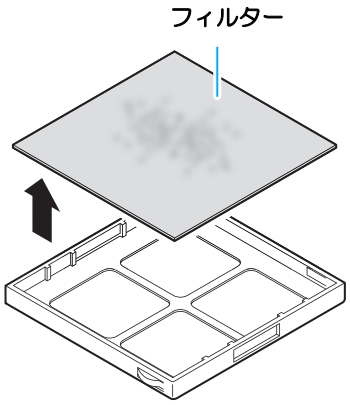


2 使用済みのフィルターを取り出す

(1) フィルター押さえを少しスライドさせ、取り外す



(2) 使用済みのフィルターを取り出す



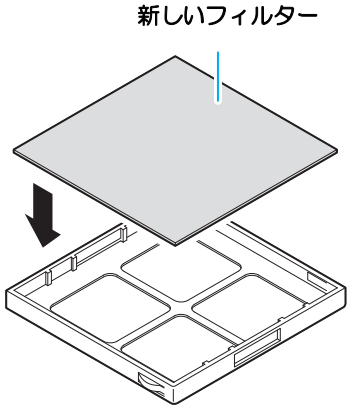
重要!

- 吸気フィルター ASSY には、プリント時のインクが付着しています。フィルターを交換する際は、紙などを敷いてから行うことをお勧めします。

3 新しいミストフィルター **(SPA-0190)** を取り付け、フィルター押さえを取り付ける

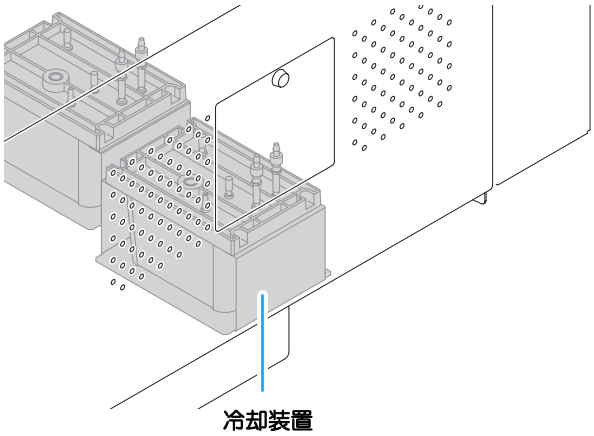
- 吸気フィルターの交換に使用するフィルターは、P.4-41「ミストフィルターの交換」と同じフィルター (SPA-0190) を使用しています。

4 吸気フィルター **ASSY** を元の位置に取り付ける



冷却水を補充する

LED UV ユニット冷却のため、冷却装置内の冷却水タンクに、不凍液混合水を入れます。



補充に関する注意

- 水と不凍液の混合液は、水 2 に対して不凍液 1 の割合にしてください。
- 混合水を作るときは、必ず飲料可能な水道水を使用してください。(入手が困難な場合は、市販のミネラルウォーターを使用してください。)
- 作成した混合水は、1 週間以内に使用してください。作成してから 1 週間以上経った混合水は、使用 / 未使用に拘わらず、本機に入れないでください。
  また、新しく作成した混合水への継ぎ足しもしないでください。
- 不凍液を入れず、水だけを冷却水タンクに入れた場合は、凍結などにより LED UV ユニットが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを冷却水タンクに入れた場合、正常に動作せず、エラーになることがあります。
- 冷却水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

不凍液の取り扱い上のご注意

- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

- 不凍液は、弊社専用のものをご使用ください。他のものを使用すると、冷却装置が故障する恐れがあります。（交換用不凍液：1000cc X 1 本）
- 不凍液には直接触れないようにしてください。誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず安全データシート（SDS）をお読みください。

- 予備の冷却水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃冷却水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- 冷却水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。この場合は、次ページの手順と同様に、水を交換してください。

```
<ローカル>
ミズ゛フ゛ソク　12
```

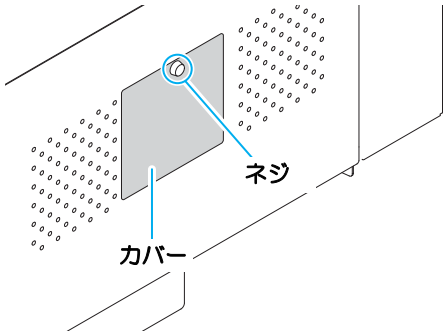
冷却水を補充する

水不足のエラーが発生したら、冷却水を補充してください。満水にするには、約 200cc の補充が必要です。

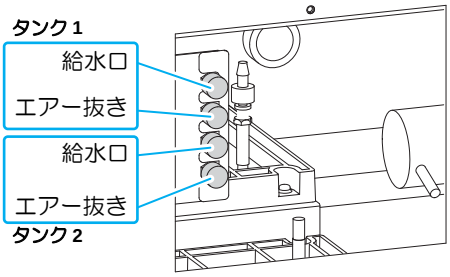
1 付属の容器で混合水 (不凍液 1、水 2 の割合) を作り、付属のシリンジに移す

2 本体左側背面のカバーを外す

- 図の丸部分のネジを外して、カバーを取り外します。

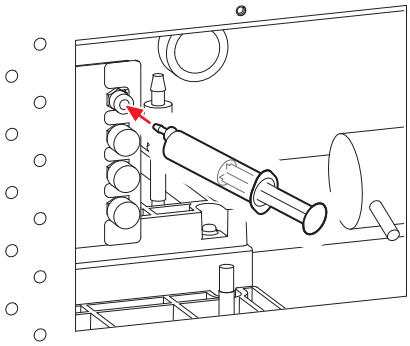


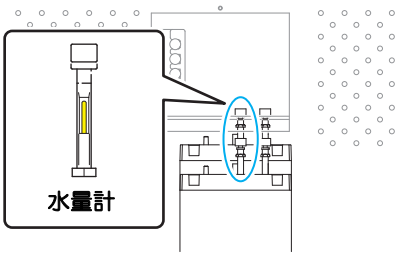
3 給水口とエアー抜きのフタを外す



4 冷却水を補充する

- 冷却水を給水口から注入します。
- 水量は水量計を見ながら、満水まで入れてください。
  水量計に赤色が表示されたら満水です。





重 要 !

- 冷却水を入れすぎると、冷却水タンクから漏れてしまうのでご注意ください。

5 給水口とエアー抜きのフタを閉め、本体左側背面のカバーを取り付ける

第５章
困ったときは

この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明しています。

故障？と思う前に 5-2
電源が入らない 5-2
プリントできない 5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 5-3
[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない 5-3
画質不良が発生したときは 5-4
ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
インクボトルに異常が発生したら 5-5
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら 5-6
圧力異常が発生したら 5-7
メディアが搬送時に波打つ場合 5-9
メッセージを表示するトラブル 5-10
ワーニングメッセージ 5-10
エラーメッセージ 5-14

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

電源ケーブルを本機と電源コンセントに接続しましたか？	イイエ →	電源ケーブルを確実に接続してください。
主電源が入っていますか？	イイエ →	主電源を入れてください。(☞ P.2-3)
装置前面にある電源ボタンがオンになっていますか？	イイエ →	前面にある電源ボタンを入れてください。(☞ P.2-3)

プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。
また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

ご使用のインターフェイスケーブルが合っていますか？	イイエ →	本機専用のケーブルをご使用ください。
インターフェイスケーブルを確実にセットしていますか？	イイエ →	インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。
↓ ハイ		
ディスプレイにインク切れのメッセージを表示していますか？	ハイ →	インクボトルにインクを追加してください。(☞ P.1-12)

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

推奨のメディアをお使いですか？ → イイエ → 推奨のメディアをお使いください

カールしていないメディアや、先端が折れ曲がっていないメディアをお使いですか？ → イイエ → カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。

↓ ハイ

メディアがプラテンに沿って垂れていますか？ → イイエ → 巻き取り装置を使う (☞ P.2-16 手順 19) か、メディアを再セットしてください。☞ P.2-5

メディアが詰まってしまったときは、以下のようにしてください。

フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる ▶ 詰まったメディアを取り除く ▶ フロントカバーを閉じ、ENTER を押す

[HEAT] ランプ ,[CONSTANT] ランプが点灯しない

基本操作を確認してください。

本機の電源は ON になっていますか？ → イイエ → 本機の電源を ON にしてください。☞ P.2-3

↓ ハイ

ヒーターの温度設定は有効ですか？ → イイエ → ヒーターの温度を設定してください。☞ P.2-28

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-32 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-6 **(3)**「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-34 **(4)** メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に 2 重、3 重にブレる	**(1)**「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-34
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。☞ P.2-36
プリント中にインク滴が落ちる	**(1)** ワイパーを清掃してください。☞ P.4-6 **(2)** インクキャップのクリーニングをしてください。☞ P.4-6 **(3)** ヘッドの周辺を清掃してください。☞ P.4-14 **(4)** ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。☞ P.2-32 **(5)** テイキワイピングの動作間隔を、短く設定してください。☞ P.3-19

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-32 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 3 つの項目を確認してください。

- **P.4-20** の操作をして、クウキヌキをしてください。
- **P.4-17** の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- **P.4-23** の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インクボトルに異常が発生したら

インクボトルに異常が発生したら、インクボトルランプが「赤」点灯し、ワーニングメッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
異常が発生したときは、次のようにしてください。

- インクボトル内のインク量を確認し、 インク量が少なかったら補充してください。

重 要！

- インクボトル異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
  ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インクボトル異常の詳細を表示する

次の操作をして、インクボトル異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、ENTER キーを押す

```
LUS-150        MMCCYYKK
ｻﾞﾝﾘｮｳ         34567899
```

2 ENTER キーを押す

```
ｲﾝｸ ｷｹﾞﾝｷﾞﾚ(2ｶｹﾞﾂ)
MMCCYYKK
```

- 複数のインクボトル異常が発生している場合、ENTER キーまたは、◀ ▶ を押すと、順番に表示します。

サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら

エラー 618 ～ 61b は、サブタンクに関するエラーです。
サブタンク関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1 メンテナンスメニューの [サブタンク] を選ぶ

(1) ローカルで、FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [サブタンク] を選ぶ

2 ENTER キーを押す

```
サブ゛タンク  センタク
:MMCCYYKK
```

3 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、メンテナンスするサブタンクを選ぶ

```
サブ゛タンク  センタク
:MMCC_YKK
```

- ◀ ▶ ：サブタンクを選択
- ▲ ▼ ：メンテナンスする / しないを選択
- エラー 61b が発生した場合には、該当するサブタンクが選択されていますので、そのまま ENTER キーを押してください。

4 ENTER キーを押す

```
サブ゛タンク
シ゛ッコウ                [ENT]
```

5 ENTER キーを押す

- 自動で排出、充填動作を行います。

```
 **  シ゛ュウテン  **
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

- その後、クリーニングを行います。

```
 **  クリーニング゛  **
シハ゛ラク  オマチクタ゛サイ
```

6 終了するとき、END キーを数回押す

圧力異常が発生したら

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。
圧力異常に関するエラーが発生した場合、以下を実施してください。

重 要！
- 圧力異常が発生したら、速やかに次の手順で圧力を調整し、正常な値に戻してください。
- 1 週間に 1 回程度は、圧力の確認をしてください。

1 メンテナンスメニューの [アツリョク チョウセイ] を選ぶ

(1) FUNCTION キーを押す
(2) ▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選び、ENTER キーを押す
(3) ▲ ▼ を押して [アツリョク チョウセイ] を選ぶ

2 ▲ ▼ を押して、セイアツ / フアツを選ぶ

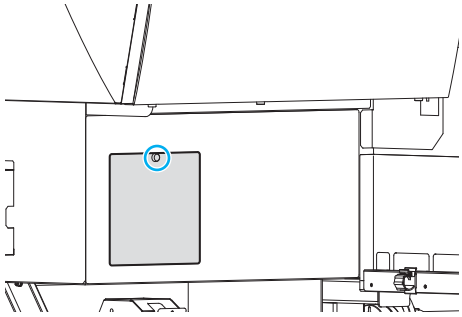
```
アツリョク　チョウセイ
：フアツ
```

3 ENTER キーを押す

```
スロットル　ハ゛ルフ゛　ヲ　カイホウ
シュウリョウ　　　　　　　　［ENT］
```

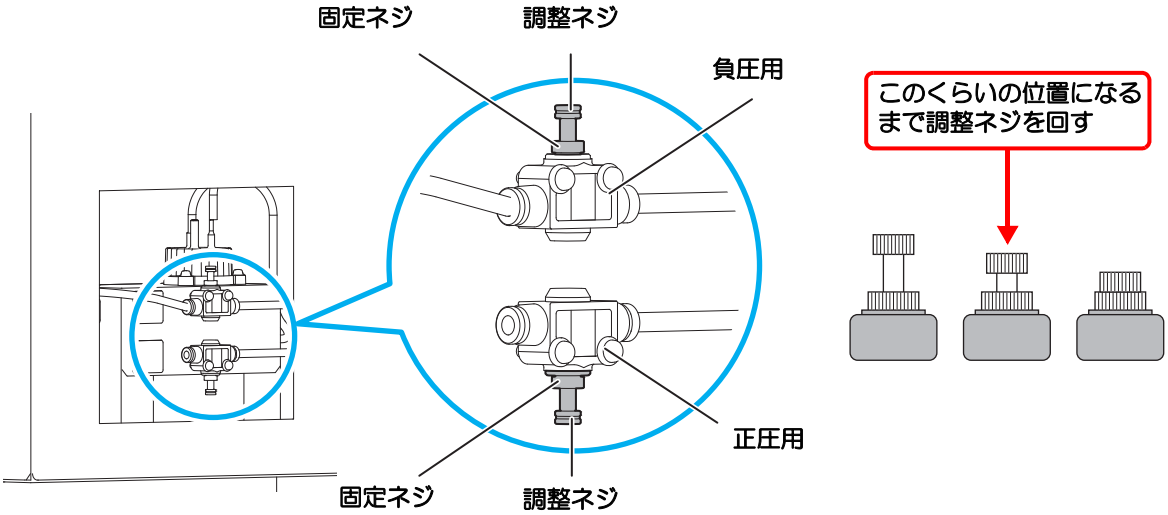
4 左メンテナンスカバー下のカバーを取り外す

- 図の丸部分のネジを外して、カバーを取り外します。



5 スロットルバルブの調整ネジを回し、空気が流れるように開放する

- スロットルバルブの固定ネジを緩め、調整ネジが中間地点に来るまで回してください。



負圧 / 正圧の調整について

負圧： 調整ネジを時計回りに回すと、圧力が「－側」に大きくなります。
正圧： 調整ネジを時計回りに回すと、圧力が「＋側」に大きくなります。
- 調整後は、固定ネジをゆっくりと締めてください。

6 ENTER キーを押す

• センサの調整が始まります。

＊＊　チョウセイ　＊＊
シハ゛ラクオマチクタ゛サイ

7 スロットルバルブ調整ネジを回して、圧力が適正値になるように調整する

アツリョク
-5.40kPa　(-5.40)
現在の圧力値　目標圧力値

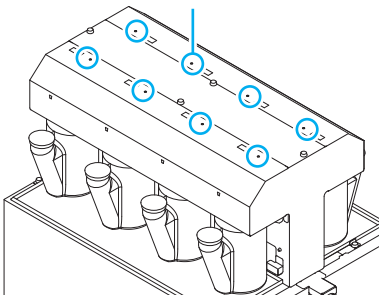
• 負圧の適正値 : -5.40kPa
  正圧の適正値 : 15.00kPa
• 負圧では ±0.1 kPa の範囲で変動するため、中間値が目標の圧力になるように調整してください。

• 圧力はディスプレイ表示以外にも、ブザーとインクボトルランプでお知らせします。
• 負圧では ±0.1kPa の範囲でブザーが停止します。正圧では ±1.0kPa の範囲でブザーが停止します。

• 各圧力値でのランプとブザーの状態

圧力			インクボトルランプ	ブザー
	正圧	負圧		
高い	～ 8.49	～ -4.75	○○○○ ○○○●	鳴動
	8.50 ～ 9.49	-4.76 ～ -4.85	○○○○ ○○●●	
	9.50 ～ 10.49	-4.86 ～ -4.95	○○○○ ○●●●	
	10.50 ～ 11.49	-4.96 ～ -5.05	○○○○ ●●●●	
	11.50 ～ 12.49	-5.06 ～ -5.15	○○○● ●●●●	
	12.50 ～ 13.49	-5.16 ～ -5.25	○○●● ●●●●	
	13.50 ～ 14.49	-5.26 ～ -5.35	○●●● ●●●●	停止
適正値	14.50 ～ 15.49	-5.36 ～ -5.45	Y Y K K ●●●● ●●●● C C M M	停止
低い	15.50 ～ 16.49	-5.46 ～ -5.55	●●●● ●●●●	停止
	16.50 ～ 17.49	-5.56 ～ -5.65	●●●● ●●●●	鳴動
	17.50 ～ 18.49	-5.66 ～ -5.75	●●●● ●●●●	
	18.50 ～ 19.49	-5.76 ～ -5.85	●●●● ●●●●	
	19.50 ～ 20.49	-5.86 ～ -5.95	●●●● ●●●●	
	20.50 ～ 21.49	-5.96 ～ -6.05	●●●● ●●●●	
	21.50 ～ 22.49	-6.06 ～ -6.15	●●●● ●●●●	
	22.50 ～ 23.49	-6.16 ～ -5.86.2	●●●● ●●●●	
	23.50 ～	-6.26 ～	●●●● ●●●●	

インクボトルランプ



8 ENTER キーを押す

• エラーが解除され、負圧制御が始まります。

シハ゛ラクオマチクタ゛サイ

重要！ • 圧力調整を実施してもエラーが発生する場合、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

メディアが搬送時に波打つ場合

メディアが搬送時に波打つことを、「コックリング」といいます。
メディアコックリングが発生する場合、以下のことを確認してください。

注意 ・ 確認事項	対処方法
メディアセット状態の確認	**(1)** メディアがまっすぐセットされているか確認し、セットし直してください。
ヒーター温度の調整	**(1)** POST ヒーターのみご使用ください。 **(2)** すべてのヒーター温度を下げてください。
メディアの搬送	**(1)** ロールメディアの場合、数十センチ～ 1 メートル程度メディア送りをしてください。 **(2)** リーフメディアの場合、▲▼を押してフィード・バックフィードを行ってください。
ヒーター加温状態でメディアを放置しない	**(1)** メディアジャムの原因になるので、メディアが波打った状態でプリントを開始しないでください。
ヘッドの高さを高くする	**(1)** 厚手メディアの場合、ヘッドギャップを上げてプリントしてください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
シ゛ッコウ　テ゛キマセン :カハ゛ーオープ゜ン	フロントカバーまたはメンテナンスカバーが開いている。	• フロントカバー、メンテナンスカバーを確認してください。 カバーを閉めても、再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
シ゛ッコウ　テ゛キマセン :メテ゛ィア　ミケンシュツ	メディア未検出。	• メディア検出を行ってください。
シ゛ッコウ　テ゛キマセン :MOTOR　POWER　OFF	カバーオープン後など、モーターが OFF している。	• フロントカバーやメンテナンスカバー(左右) を閉めてください。
シ゛ッコウ　テ゛キマセン :インク　　エラーアリ	インクエラーが発生している。	• 表示しているカラーに対応する供給経路のインクボトルを確認してください。
シ゛ッコウ　テ゛キマセン :フ゜リントテ゛ータ　アリ	データを受信している。	• データクリアを実行してください。 (☞ P.2-39)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
<ローカル> フ゜リントフカ/インクホ゛トル[ENT]	複数のインクエラー（使用不可インク）が発生している。 インクの供給（プリントやクリーニングなど）が行えない。	• (ENTER)キーを押して、該当インクボトルとエラー内容を確認し、使用可能インクボトルと交換してください。
<ローカル> ハイインクタンク　フル	廃インクタンクがフル状態。	• 廃インクタンクを確認してください。
<ローカル> ハイインクタンク　フル　マチ゛カ	廃インクタンクがフル間近。	
<ローカル> ハイインクタンク　ナシ	廃インクタンクがセットされていない。	• 廃インクタンクをセットしてください。
<ローカル> ワイハ゜ー　コウカン　　[MNT]	キャッピングステーションのワイパー交換時期 (ワイピング回数が規定値に達した。)	• (MAINT.)キーを押して、ワイパーを交換してください。(☞ P.4-32)
<ローカル> ＊メテ゛ィアカ゛　アリマセン＊	メディアがセットされていない。 センサーの故障。	• メディアをセットしてください。(☞ P.2-5) 再度表示される場合は、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
<ローカル> フ゜リントテ゛ータ　アリ	データ受信済み。	• (REMOTE)キーを押しプリントを実施してください。 またはデータクリアを実行してください。

表示	原因	対処方法
<ローカル> フアツ　イシ゛ョウ	負圧センサーの値が異常になっている。	• メンテナンスの「アツリョクチョウセイ(☞ P.5-7)」を実施してください。正常な値に調整できない、または実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> セイアツ　イシ゛ョウ	正圧センサーの値が異常になっている。	
<ローカル> フアツ　チョウセイ	圧力調整が必要になっている。	
<ローカル> インク　ニアエント゛　[ENT]	インクボトルのインクが少なくなった。	• ENTERキーを押し、該当するインクボトルを確認してください。間もなくインクエンドとなるので、注意してください。
<ローカル> インク　キケ゛ンキ゛レ　[ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。
<ローカル> キケ゛ンキ゛レ(1M)　[ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから1ヶ月経過)。	• 消費期限より1か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(インクボトルランプが赤点滅します)
<ローカル> キケ゛ンキ゛レ(2M)　[ENT]	インクボトルの使用有効期限が切れている(期限切れから2ヶ月経過)。	• 消費期限より2か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
<ローカル> インク　キョウキュウ　:MMCCYYKK	サブタンクへのインク補充に失敗した。	• メンテナンスの「サブタンク　(☞ P.5-6)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> サブ゛タンク　センサー:MMCCYYKK	サブタンクの液面センサの異常を検出した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> インクオーハ゛ーフロー:MMCCYYKK	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	• メンテナンスの「サブタンク　(☞ P.5-6)」を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> タンクサ゛ンリョウH　:MMCCYYKK	一定量の消費があったにも関わらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	
<ローカル> タンクサ゛ンリョウL　:MMCCYYKK	一定量の消費があったにも関わらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
<ローカル> タ゛ッキモシ゛ュール　コウカン	インク経路内の脱気モジュールが交換間近になった。(使用開始より1年が経過)	• 脱気モジュールを交換する必要があります。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> ソウチオント゛/タカイ***°C	装置の温度が高い。	• 使用環境の温度を調整してください。
<ローカル> ソウチオント゛/ヒクイ***°C	装置の温度が低い。	
<ローカル> Yモーター　セイソウ　[MNT]	Yモーターの清掃時期になった。	• 電源をOFFにし、Yモーターの吸い出し窓から摩耗粉を吸い取ってください。(☞ P.4-29) • 清掃後、MAINT.キーを押しください。
<ローカル> Yモーター　フ゛ラシ　コウカン	Yモーターのブラシ交換時期になった。	• Yモーターのブラシ交換時期になりました。販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。

表示	原因	対処方法
<ローカル> マキトリ　カハ゛ー　OPEN	メディア巻取装置のカバーオープンを検出した。	• メディア巻取装置のカバーを確認してください。カバーを閉めても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> マキトリ　LIMIT　ケンシュツ	メディア巻取装置の制御リミットセンサーを検出した。	• 巻取側のテンションバーの位置を下げてください。下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> マキトリ　イシ゛ョウ	メディア巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	• メディアがメディア巻取装置に正しくセットされているか確認してください。 • メディア巻取用の紙管が空回りしていないか確認してください。
<ローカル> クリタ゛シ　カハ゛ー　OPEN	メディア繰出装置のカバーオープンを検出した。	• メディア繰出装置のカバーを確認してください。カバーを閉めても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> クリタ゛シ　LIMIT　ケンシュツ	メディア繰出装置の制御リミットセンサーを検出した。	• 繰出側のテンションバーの位置を下げてください。下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> クリタ゛シ　イシ゛ョウ	メディア繰出装置の巻取状態に異常が発生した。	• メディアがメディア繰出装置に正しくセットされているか確認してください。 • ロールメディアの紙管が空回りしていないか確認してください。
ミスト　フィルター　ヲ コウカン　シテクタ゛サイ　　[ENT]	ミストフィルターの交換時期になった。	• 別冊の「日常のお手入れのお願い」を参照して、ミストフィルターの交換をしてください。
!フ゜リヒータ　タ゛ンセン	プラテンヒータが断線している。	• 1 度主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
!フ゜リントヒータ　タ゛ンセン		
!ホ゜ストヒータ　タ゛ンセン		
<ローカル> ホ゜ストキュアランフ゜123　[MNT]	ポストキュアランプの交換時期になった。	• P.4-35「ポストキュアランプの交換時期」を参照して、交換してください。
<ローカル> ホ゜ストキュアカハ゛ーOPEN	ポストキュアランプユニットのカバーオープンを検出した。	• ポストキュアユニットのカバーを確認してください。カバーを閉めても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
<ローカル> UVランフ゜　オント゛　タカイ	LED ランプの温度が高い。	• 温度が下がりメッセージが消えるまでしばらくお待ちください。
<ローカル> ミス゛　フソク　12	冷却水タンクの水が少なくなった。	• 表示している番号の冷却水タンクに、冷却水を補充してください。
<ローカル> ミス゛　ヲ　ホシ゛ュウ　シテクタ゛サイ	冷却水タンクの水が少なくなってから、7 日以上経過しました。	• 表示している番号の冷却水タンクに、冷却水を補充してください。 • このワーニングを表示している間は、オンラインプリントができません。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。(☞ P.3-53)

表示	原因	対処方法
インク　ＩＣ　イシ゛ョウ ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入したICチップが正常に読み取れない。	• ワーニングが発生しているICチップを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク　シュルイ ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入した IC チップのインク種類が、充填してあるインクと異なる。	• IC チップとインクボトルのインク種類を確認してください。
インク　カラー ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入した IC チップのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	• IC チップとインクボトルのインクカラーを確認してください。 • IC チップを挿入したスロットのインクカラーを確認してください。
インク　ＩＣ　シヨウス゛ミ ：－－－－　ＹＹＫＫ	既にチャージ済みのICチップを挿入した。	• まだチャージしていないICチップを挿入してください。
インク　ＩＣ　キケ゛ンキ゛レ ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。	• IC チップとインクボトルの消費期限が切れました。 • 使用したい場合は、メンテナンス機能のインクチャージをして使用することができます。
インクＩＣ　キケ゛ンキ゛レ（１カケ゛ツ） ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。(期限切れから 1ヶ月経過)	• IC チップとインクボトルの消費期限が 1ヶ月以上過ぎています。 • 使用したい場合は、メンテナンス機能のインクチャージをして使用することができます。
インクＩＣ　キケ゛ンキ゛レ（２カケ゛ツ） ：－－－－　ＹＹＫＫ	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。(期限切れから 2ヶ月経過)	• IC チップとインクボトルの消費期限が 2ヶ月以上過ぎています。 • 新しいインク IC とインクボトルを用意してください。
インクホ゛トル　ナシ ：－－－－　ＹＹＫＫ	インクボトルが外部インク供給ユニットにセットされていない。	• ワーニングが発生しているボトルホルダーにインクボトルをセットしてください。
インクホ゛トル　エント゛ ：－－－－　ＹＹＫＫ	インクボトルのインクがなくなった。	• ワーニングが発生しているインクボトルにインクを継ぎ足してください。
インクホ゛トル　ニア　エント゛ ：－－－－　ＹＹＫＫ	インクボトルのインクが少なくなった。	
インク　キケ゛ンキ゛レ ：－－－－　ＹＹＫＫ	ワーニングが発生しているインクボトルの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。
インク　キケ゛ンキ゛レ（１カケ゛ツ） ：－－－－　ＹＹＫＫ	ワーニングが発生しているインクボトルの使用有効期限が切れている (期限切れから 1ヶ月経過)。	• 消費期限より 1 か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(インクボトルランプが赤点滅します)
インク　キケ゛ンキ゛レ（２カケ゛ツ） ：－－－－　ＹＹＫＫ	ワーニングが発生しているインクボトルの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	• 消費期限より 2 か月以上過ぎています。 インクを廃棄して、新しいインクを継ぎ足してください。
チャーシ゛　ニア　エント゛ ：－－－－　ＹＹＫＫ	本機にチャージしたインク残量が 10%以下となった。	• ワーニングが発生しているボトルに、本機へのインクチャージを行ってください。
チャーシ゛　インク　エント゛ ：－－－－　ＹＹＫＫ	本機にチャージしたインク残量がゼロになった。	

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD CONNECT[12345678]	ヘッドの接続が確認できなかった。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 108 HD THERMIS[12345678]	ヘッドの温度が読み取れなかった。	
ERROR 12a HDC SPEED	インク吐出波形に異常が発生した。	
ERROR 12e HeadFaild /HDC[xxxx]	ヘッド、波形ドライバの異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	PRAM がない。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	• データ転送が速すぎる • 制御基板に異常が発生した	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER	• データ転送が遅すぎる • 制御基板に異常が発生した	
ERROR 129 ﾊﾞｯﾃﾘ ｺｳｶﾝ	内部時計の電池切れを検出した。	• 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板 1.2V 電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5	メイン基板 2.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 153 Main PCB V3R3	メイン基板 3.3V 電源に異常が発生した。	
ERROR 154 Main PCB V05	メイン基板 5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 155 Main PCB V36-1	メイン基板 36-1V 電源に異常が発生した。	
ERROR 156 Main PCB V5B	メイン基板 5VB 電源に異常が発生した。	
ERROR 157 Main PCB VTT	メイン基板 VTT 電源に異常が発生した。	
ERROR 158 Main PCB V36-2	メイン基板 36-2V 電源に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 16e Main PCB V3R3B	メイン基板 3.3VB 電源に異常が発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板 VCORE 電源に異常が発生した。	
ERROR 18b Main PCB V1R5B	メイン基板 1.5V 電源に異常が発生した。	
ERROR 18c Hain PCB V12	メイン基板 12V 電源に異常が発生した。	
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	COM ドライバが高温になっている。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	
ERROR 172 Main PCB Q6 Check	メイン基板 Q6 が故障（ショートモード）している。	
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR 186 HDC UNDERFLOW		
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		
ERROR 18e FLS NOT COMP [12__]	フラッシング制御異常	
ERROR 18f OFFSET START [12__]	ヘッド電圧制御異常	
ERROR 18f OFFSET END [12__]		
ERROR 19d HDC V36 [xxxx]	HDC 基板電圧に異常が発生した。	
ERROR 19F LEDｾﾂｿﾞｸ ｲｼﾞｮｳ	LEDUV が未接続。	
ERROR 201 COMMAND	コマンドデータ以外のデータを受信した。	• インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
ERROR 202 PARAMETER	数値範囲外のパラメーターを受信した。	
ERROR 203 Ment Command	メンテナンスコマンドの動作に失敗した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 304 USB INIT ERR	USB デバイスの初期化に失敗した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 305 USB TIME OUT	USB デバイスにタイムアウトエラーが発生した。	
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーハ゛ーカレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーハ゛ーカレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 423 マキトリ テンションハ゛ー	プリント開始時のメディアセットチェックで、巻取テンションバーに異常を検出した。	• メディアセット状態を確認し、問題を取り除いてください。
ERROR 424 クリタ゛シ テンションハ゛ー	プリント開始時のメディアセットチェックで、繰出テンションバーに異常を検出した。	• メディアセット状態を確認し、問題を取り除いてください。
ERROR 425 マキトリ イシ゛ョウ	巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	• メディアが巻取装置に正しく巻き取られているか確認してください。 • メディアを巻き取っている紙管が空回りしていないか確認してください。
ERROR 426 クリタ゛シ イシ゛ョウ	繰出装置の繰出状態に異常が発生した。	• メディアが繰出装置に正しく巻き取られているか確認してください。 • メディアが空回りしていないか確認してください。
ERROR 427 マキトリ カハ゛ー OPEN	プリント中に巻取カバーが開いた。	• 巻取カバーを閉めてください。
ERROR 428 クリタ゛シ カハ゛ー OPEN	プリント中に繰出カバーが開いた。	• 繰出カバーを閉めてください。
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	プリント中に巻取リミットセンサーを検出した。	• テンションバーを下げるか、退避してください。
ERROR 42a クリタ゛シ LIMIT ケンシュツ	プリント中に繰出リミットセンサーを検出した。	• テンションバーを下げるか、退避してください。
ERROR 42b クリタ゛シ テンションハ゛ー タイヒ	プリント時、テンションバーが退避されている。	• テンションバーを下ろしてください。
ERROR 447 カッターエンコータ゛ イシ゛ョウ	カッターエンコーダに異常が発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 44d ステーション イチ イシ゛ョウ	ステーション位置に異常が発生した。	
ERROR 45F ホ゜ストキュアランプ゜ コウカン 123	ポストキュアランプの交換時期になった。	• P.4-35「ポストキュアランプの交換時期」を参照して、交換してください。
ERROR 505 メテ゛ィアシ゛ャム	メディア詰まりが発生した。	• メディアを取り除き、 再セットしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 50c ﾒﾃﾞｨｱﾊﾊﾞｾﾝｻｰ ｶｸﾆﾝ	メディア幅を正しく検出できなかった。	• メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-7、P.2-25) • メディアセンサーの清掃を行ってください。 (☞ P.4-5)
ERROR 510 ﾒﾃﾞｨｱ ｱﾂｻ ｹﾝｼｭﾂ	メディアの厚みを正しく検出できなかった。	• メディアの厚みをマニュアルで入力してください。(☞ P.2-19) • 再度、 メディア検出を行ってください。
ERROR 509 HDC POSCNT	HDC ポジションカウンターエラーが発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y ｹﾞﾝﾃﾝ ｹﾝｼｭﾂ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 516 ﾒﾃﾞｨｱｲﾁ ﾋﾀﾞﾘ ｽｷﾞﾏｽ	メディアが範囲外にセットされている。	• メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-7、P.2-25)
ERROR 516 ﾒﾃﾞｨｱｲﾁ ﾐｷﾞ ｽｷﾞﾏｽ		
ERROR 519 ﾌｱﾂ ｾﾝｻｰ ｲｼﾞｮｳ	負圧センサーの値が異常になっている	• メンテナンスの「アツリョクチョウセイ(☞ P.5-7)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 51a ｾｲｱﾂ ｾﾝｻｰ ｲｼﾞｮｳ	正圧センサーの値が異常になっている	
ERROR 617 ｻﾌﾞﾀﾝｸ ｾﾝｻｰ:12345678	サブタンクの液面センサ異常を検出した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 618 ﾀﾝｸｻﾞﾝﾘｮｳH :12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	• メンテナンスの「サブタンク (☞ P.5-6)」を実施してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 619 ﾀﾝｸｻﾞﾝﾘｮｳL :12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
ERROR 61a ｲﾝｸｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ:12345678	サブタンクからのオーバーフローを検出した。	
ERROR 61b ｲﾝｸ ｷｮｳｷｭｳ :12345678	サブタンクへのインク供給ができなかった。	• メンテナンスの「サブタンク (☞ P.5-6)」を実施してください。またインクボトル内のインク残量も確認してください。 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 61c ﾌｱﾂ ｾｲｷﾞｮ	負圧制御開始異常	• メンテナンスの「アツリョクチョウセイ(☞ P.5-7)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 61d ﾌｱﾂ ｲｼﾞﾌｿｸ	負圧を維持できなかった	
ERROR 61e ﾌｱﾂ ｲｼﾞｵｰﾊﾞｰ		
ERROR 61f ｾｲｱﾂ ｾｲｷﾞｮ	正圧制御開始異常	

表示	原因	対処方法
ERROR 620 セイアツ イシ゛フソク	正圧を維持できなかった	• メンテナンスの「アツリョクチョウセイ(☞ P.5-7)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 621 セイアツ イシ゛オーハ゛ー		
ERROR 627 インクホ゛トル セット	一定時間以上インクボトルが挿入されていないスロットがある。	• インクボトルをセットしてください。
ERROR 637 インクモレ 1--	インク供給経路内のインク漏れを検出した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 649 フアツ チョウセイ	圧力調整が必要になっている。	• メンテナンスの「アツリョクチョウセイ(☞ P.5-7)」を実施してください。実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 702 サーミスタ イシ゛ョウ	サーミスタ異常が発生している。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 707 !HD ヒータ タ゛ンセン	ヘッドのヒーターが断線している。	
ERROR 714 インク ヒータ ツウシン イシ゛ョウ	インクヒーターリレー基板の通信異常が発生した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 起動時に、下記メッセージが表示されます。 インク ヒーター セイキ゛ョ CANCEL < > START (▶)キーを押し、インクヒーター制御を開始してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 715 インクヒータH サーミスタ:123456	インクヒーターサーミスターが故障した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 715 インクヒータL サーミスタ:123456		
ERROR 716 インクヒータH オント゛:123456	インクヒーターが温まりすぎている。 • 温度上昇が継続した時、プリントを中断し、操作不能となります。	• 主電源を OFF にして、1 時間以上放置してから電源を ON にしてください。 エラー表示後、操作不能となった場合、下記メッセージが表示されます。 インク ヒーター セイキ゛ョ CANCEL < > START (▶)キーを押し、インクヒーター制御を開始してください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 716 インクヒータL オント゛:123456		

表示	原因	対処方法
ERROR 717 インクヒータH ﾀﾞﾝｾﾝ:123456	インクヒーターが断線した。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 717 インクヒータL ﾀﾞﾝｾﾝ:123456		
ERROR 718 インクヒータPCB ｻｰﾐｽﾀ :12	インクヒーターリレー基板のサーミスターが故障した。	
ERROR 719 インクヒータPCB ﾋｭｰｽﾞ :12	インクヒーターリレー基板のヒューズが切れた。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 71a UV-DRV ﾋｭｰｽﾞ :******	UV LED Driver 基板のヒューズが切れた。	
ERROR 901 ｼﾞｯｺｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ	実行できない操作を実行しようとした。	
ERROR 902 ﾐｻｸｽﾞ ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ	プリントデータが残っている。	• データクリアを実行してください。 (☞ P.2-39)
ERROR 90d ﾍｯﾄﾞ ｾﾝﾀｸ ﾅｼ	搭載ヘッド数が 0 となっている。	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 910 ｼﾂｵﾝ ﾋｸｲ	環境温度が使用可能温度範囲外 (低い) になっている。	• 設置環境の温度を調整してください。
ERROR 911 ｼﾂｵﾝ ﾀｶｲ	環境温度が使用可能温度範囲外 (高い) になっている。	
ERROR 912 ﾁｬｰｼﾞ ﾃﾞｷﾏｾﾝ	IC チップの情報、インク消費期限、残量が原因でチャージできなかった。	• メンテナンス機能のインクチャージを実行してください。 チャージできなかった原因を確認したい場合は、P.3-53「本機の情報を表示する」で確認してください。

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*). 000: ﾒｯｾｰｼﾞ	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 (“000” はエラー No.)

第６章
付録

この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様 6-2
本体仕様 6-2
インク仕様 6-3
サプライ品リスト 6-4
インク種によるセットの違いについて 6-5
インクボトルのセット順 6-5
警告ラベルについて 6-6
お問い合わせシート 6-8

本体仕様

項　目		仕様
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	6 ヘッド ： 3 スタガ 2 インライン配列
プリントモード (スキャン x フィード)	4 色	300x450HQ ：双方向 / 単方向　3/6/12　pass (ノーマルモードのみ) 600x600　：双方向 / 単方向　4/8/16　pass 600x900　：双方向 / 単方向　6/12/24 pass 1200x1200　：双方向 / 単方向　8/16/32 pass
	4 色 + ホワイト 6 色 + ホワイト	300x450HQ ：双方向 / 単方向　6/12/24　pass 600x600　：双方向 / 単方向　8/16/32　pass 600x900　：双方向 / 単方向　12/24/48 pass 1200x1200　：双方向 / 単方向　16/32/64 pass
使用可能インク		LUS-150 インク (M,C,Y,K,Lm,Lc,W)、 LUS-200 インク (M,C,Y,K,W)、 LUS-120 インク (M,C,Y,K,W)
インク供給		2L x 8 ボトル供給 (4 色時は UISS 切替可能、4 色 + 白インク時は M,C のみ UISS 切替可能、6 色 + 白インク時は UISS 切替なし)
インク容量	4 色	2L ボトル各色 2 本
	4 色 + ホワイト	M,C,W : 2L ボトル各色 2 本　Y,K : 2L ボトル各色 1 本
	6 色 + ホワイト	W : 2L ボトル 2 本　W 以外 : 2L ボトル各色 1 本
使用可能メディア		塩ビ /PET フィルム / ターポリン (LUS-120 のみ)
最大プリント範囲		1610mm
ロール メディアサイズ	最大幅	1620mm
	最小幅	297mm
	厚さ	1mm 以下
	ロール外径	巻取 VTTS と繰出装置使用時 ：Φ300mm 以下 小型巻取装置使用時　：Φ180mm 以下
	ロール重量 *1	巻取 VTTS と繰出装置使用時 ：60kg 以下 小型巻取装置使用時　：18kg 以下
	紙管内径	巻取 VTTS と繰出装置使用時 ：3 インチ 小型巻取装置使用時　：2 または 3 インチ
	プリント面	内外不問
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、 または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	1620mm
	最小幅	297mm
プリントマージン	リーフメディア	左右 ： 15.0 ㎜ (デフォルト値)　前 :150.0 ㎜　後 : 800 ㎜
	ロールメディア	左右 ： 15.0 ㎜ (デフォルト値)　前 :150.0 ㎜　後 : 0 ㎜
距離精度	絶対精度	± 0.3 ㎜ または指定距離の ± 0.3 % の大きい方
	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m
ヘッド高さ調整		1.5mm ～ 7mm 無段階ユーザー設定 (メディア厚み自動認識)
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 1.0 mm 以下
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切替可能 *2)
廃インクタンク		ボトル式 (3200 cc) / センサーによる検出を行う
インターフェイス		USB 2.0
コマンド		MRL- Ⅲ
騒音 *3	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, ETL, CE マーキング (EMC 指令、 低電圧指令、 機械指令） , CB レポート , RoHS 対応
電源仕様		AC200 - 240±10% , 50/60Hz±1Hz , 29A 以下
消費電力 *4		7200 W 以下

項　目		仕様
設置環境	使用可能温度	20 °C ～ 30 °C (68°F ～ 86°F)
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ～ 25 °C (68°F ～ 77°F)
	温度勾配	±10 ℃ / h 以下
	粉塵	0.15mg/m^3 (オフィス相当)
	最高動作高度	2000 m
重量	プリンタ本体	800 kg
	外部インク供給ユニット	30 kg
外形寸法 *5	プリンタ本体	3830 mm(W) x 1930 mm(D) x 1700mm(H)
	外部インク供給ユニット	777 mm(W) x 570 mm(D) x830mm(H)

*1. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。
*2. メディア巻き取り方向は、“ 内巻き ” を推奨する。
*3. 65.1dB(A), 動作条件：全負荷 測定方法：機械指令 2006/42/EC の 1.7.4.2 項に準じる。
*4. 本体とヒーターを含む。
*5. 巻取装置 / 繰出装置が水平になっている場合

インク仕様

項　目		仕様
形態		1L インクボトル
色		ブラックインク シアンインク マゼンタインク イエローインク ライトシアンインク ライトマゼンタインク ホワイトインク
インク容量		1 リットル
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は期限内であっても 3ヶ月以内。
保存温度	保存時	5 ～ 30 ℃
	輸送時	1 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヶ月以内)

重 要 !

●インクボトルを分解しないでください。
●インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。

- 万一インクが凍結したときは、室温 (25 ℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

サプライ品リスト

品番	名称	品番	名称
I-LUS20-C-BA	LUS-200 シアンインク (内容量 1L)	SPA-0188	メンテナンスキット
I-LUS20-M-BA	LUS-200 マゼンタインク (内容量 1L)	SPA-0189	ヘッドフィルタ交換キット
I-LUS20-Y-BA	LUS-200 イエロー (内容量 1L)	SPA-0190	ミスト吸排気ファンフィルタ交換キット
I-LUS20-K-BA	LUS-200 ブラック (内容量 1L)	SPA-0192	カッター刃交換キット
I-LUS20-W-BA	LUS-200 ホワイト (内容量 1L)	SPA-0193	ワイパゴム交換キット
I-LUS15-C-BA	LUS-150 シアンインク (内容量 1L)	SPA-0195	供給エアフィルタ交換 Assy
I-LUS15-M-BA	LUS-150 マゼンタインク (内容量 1L)	SPA-0196	供給インクフィルタ交換キット (外部インク供給ユニット用)
I-LUS15-Y-BA	LUS-150 イエロー (内容量 1L)		
I-LUS15-K-BA	LUS-150 ブラック (内容量 1L)	SPA-0197	廃インクタンク SL(箱入)
I-LUS15-LC-BA	LUS-150 ライトシアンインク(内容量1L)	SPA-0211	供給エアフィルタ交換キット
I-LUS15-LM-BA	LUS-150 ライトマゼンタインク(内容量1L)	SPA-0214	洗浄バイパスチューブ治具キット AssyUV
I-LUS15-W-BA	LUS-150 ホワイト (内容量 1L)	SPA-0219	F 吸収材 KIT
I-LUS12-C-BA	LUS-120 シアンインク (内容量 1L)	SPA-0220	エアー抜き治具 UJVKIT
I-LUS12-M-BA	LUS-120 マゼンタインク (内容量 1L)	SPA-0222	ポストキュア蛍光管 (1 本)
I-LUS12-Y-BA	LUS-120 イエロー (内容量 1L)	SPC-0690	ポストキュア蛍光管 (3 本)
I-LUS12-K-BA	LUS-120 ブラック (内容量 1L)	SPA-0223	CAP 吸収材 UJVKIT
I-LUS12-W-BA	LUS-120 ホワイト (内容量 1L)	SPC-0527	クリーンスティック (ヘッド周辺用 50 本入り)
		SPC-0568	メンテナンス用洗浄液

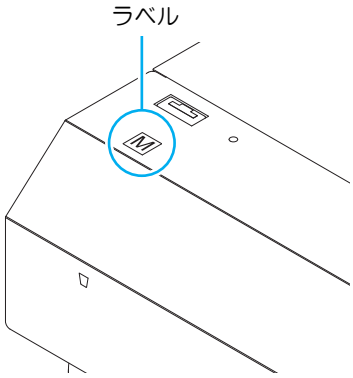
インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、設定値やインクボトルのセット順が異なります。

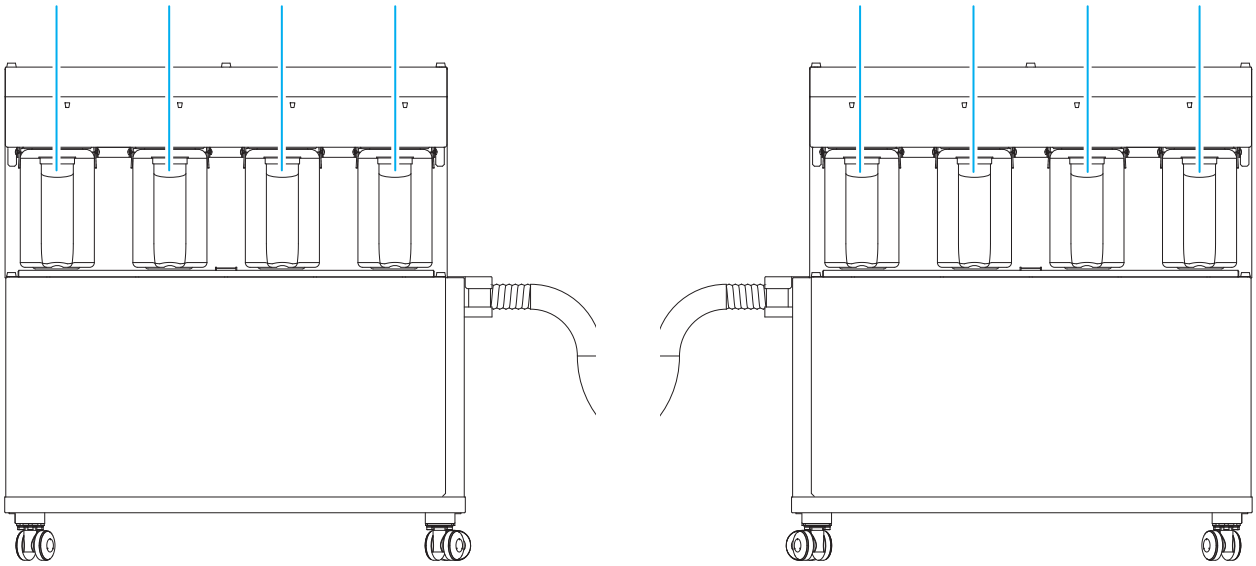
インクボトルのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクボトルの順番が異なります。

- インクカバーの天面に貼り付けてあるラベルに合わせ、インクボトルをセットしてください。



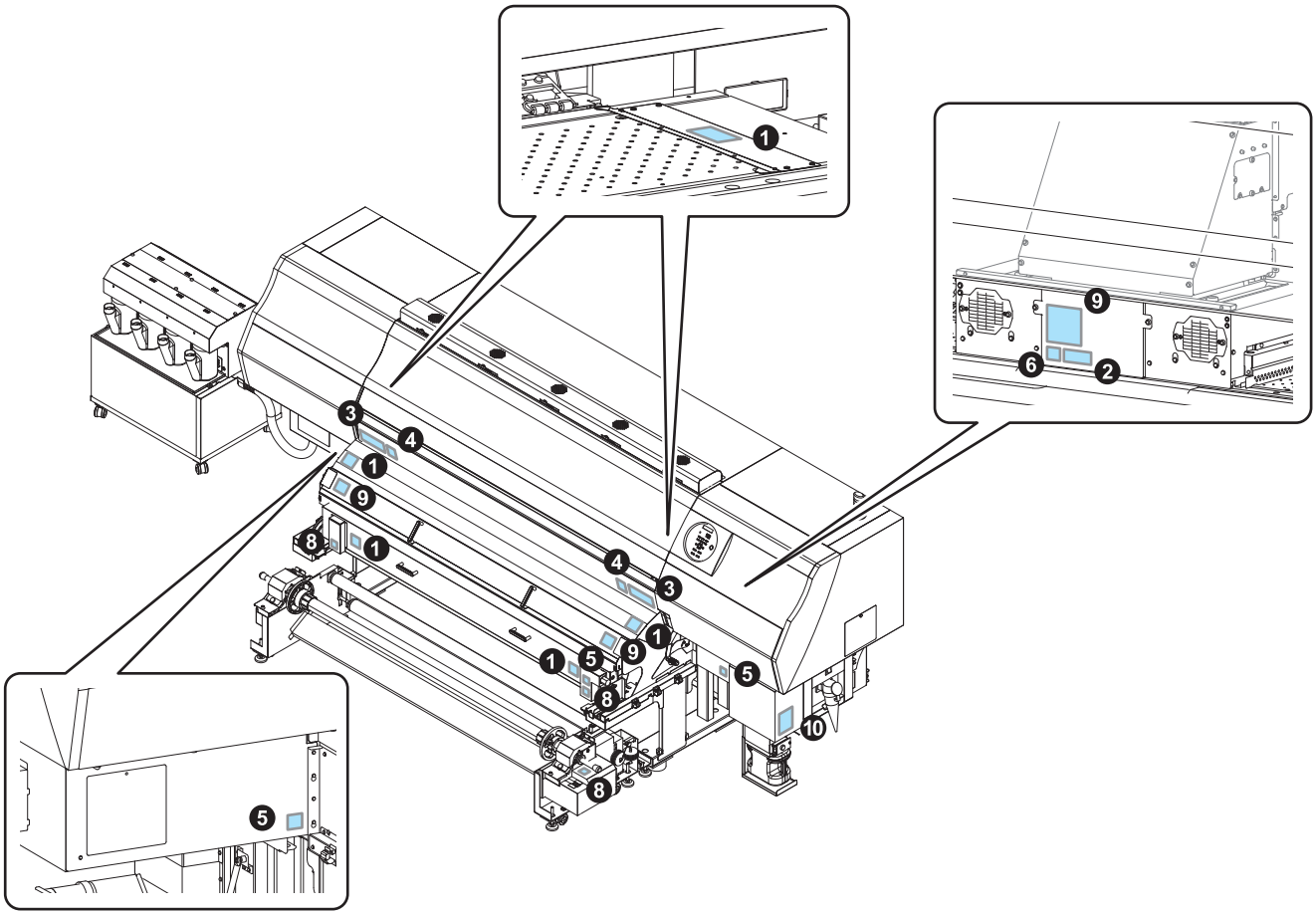
C	C	M	M	**4 色モデル**	K	K	Y	Y
C	C	M	M	**4 色 + 白モデル**	W	W	K	Y
Lc	C	Lm	M	**6 色 + 白モデル**	W	W	K	Y

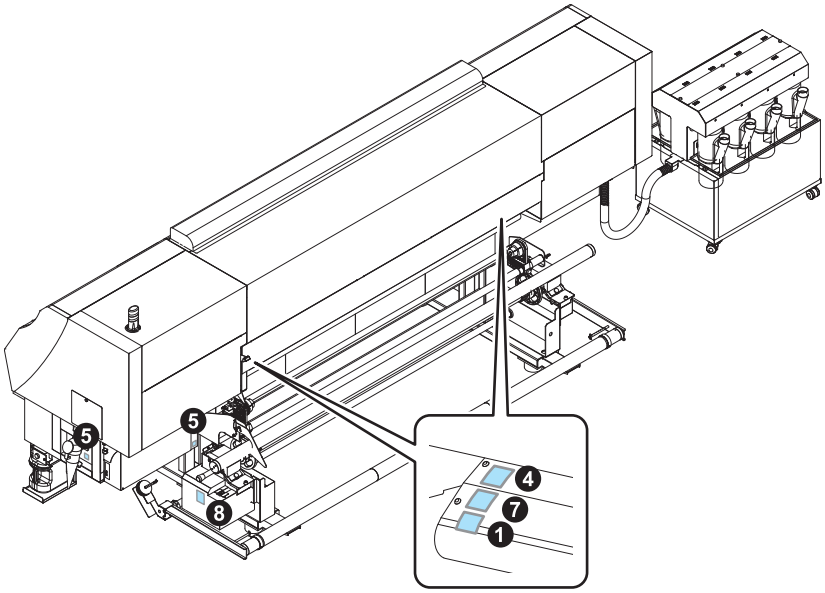


正面側　　**背面側**

警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。





1: 注文番号 .M903239

2: 注文番号 .M903330

3: 注文番号 .M901549

⚠注　意	⚠注　意	⚠CAUTION	⚠ACHTUNG	⚠ATTENTION
滚轮转动时，请勿将手插入前面外盖的内部。	キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone.

4: 注文番号 .M907833

7: 注文番号 .M903834

5: 注文番号 .M907935

6: 注文番号 .M903405

8: 注文番号 .M903404

9: 注文番号 .M905980

10: 注文番号 .M909860

付録

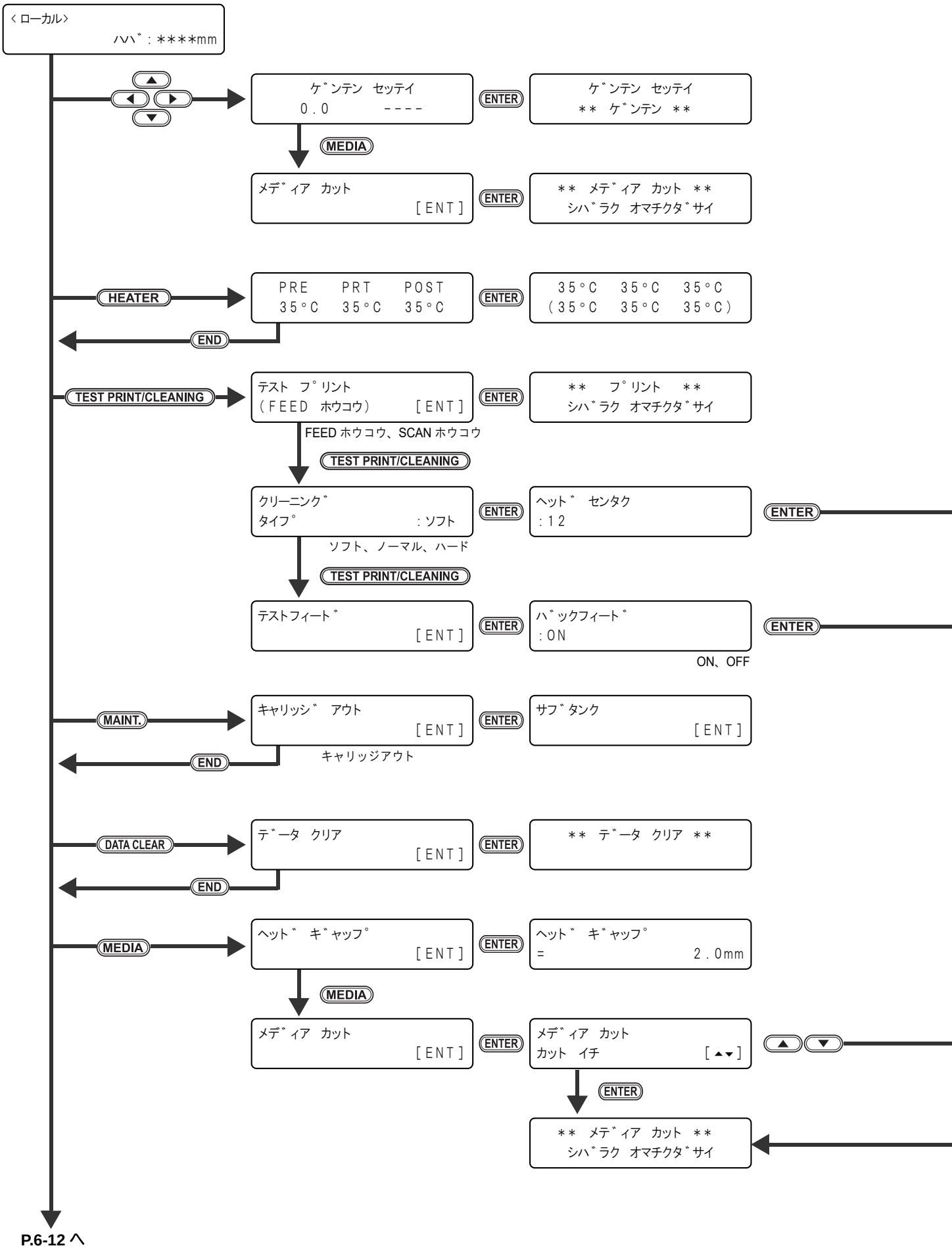
6

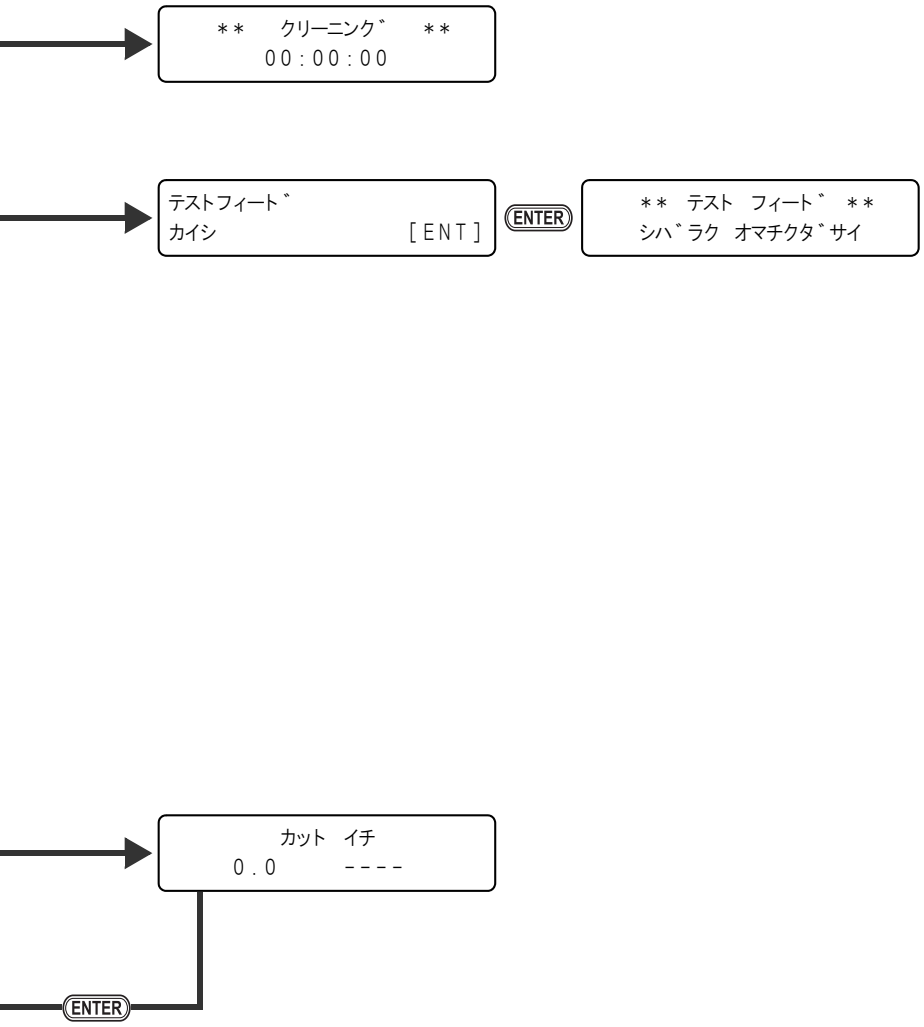
お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

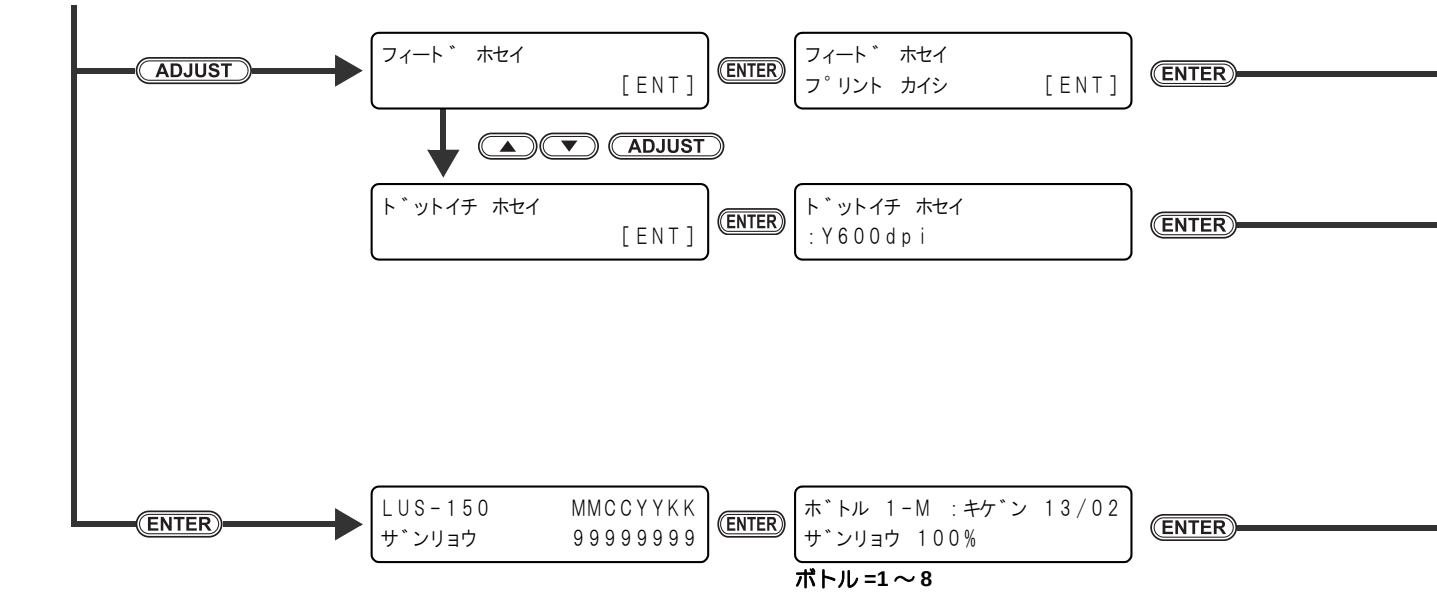
御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報*1	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

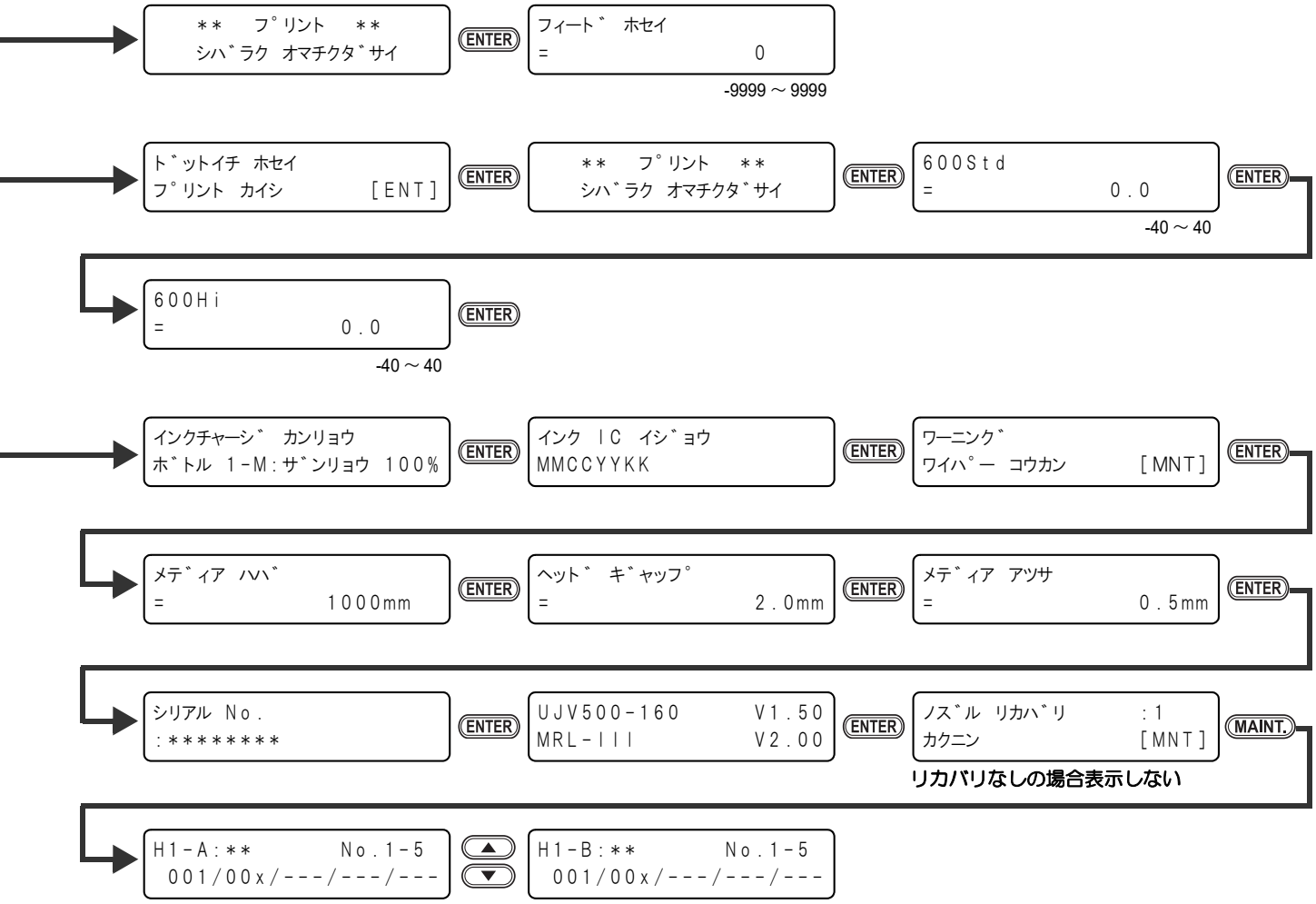
*1.「第 3 章 便利な使い方」の、「装置情報を確認する」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(☞ P.3-51)

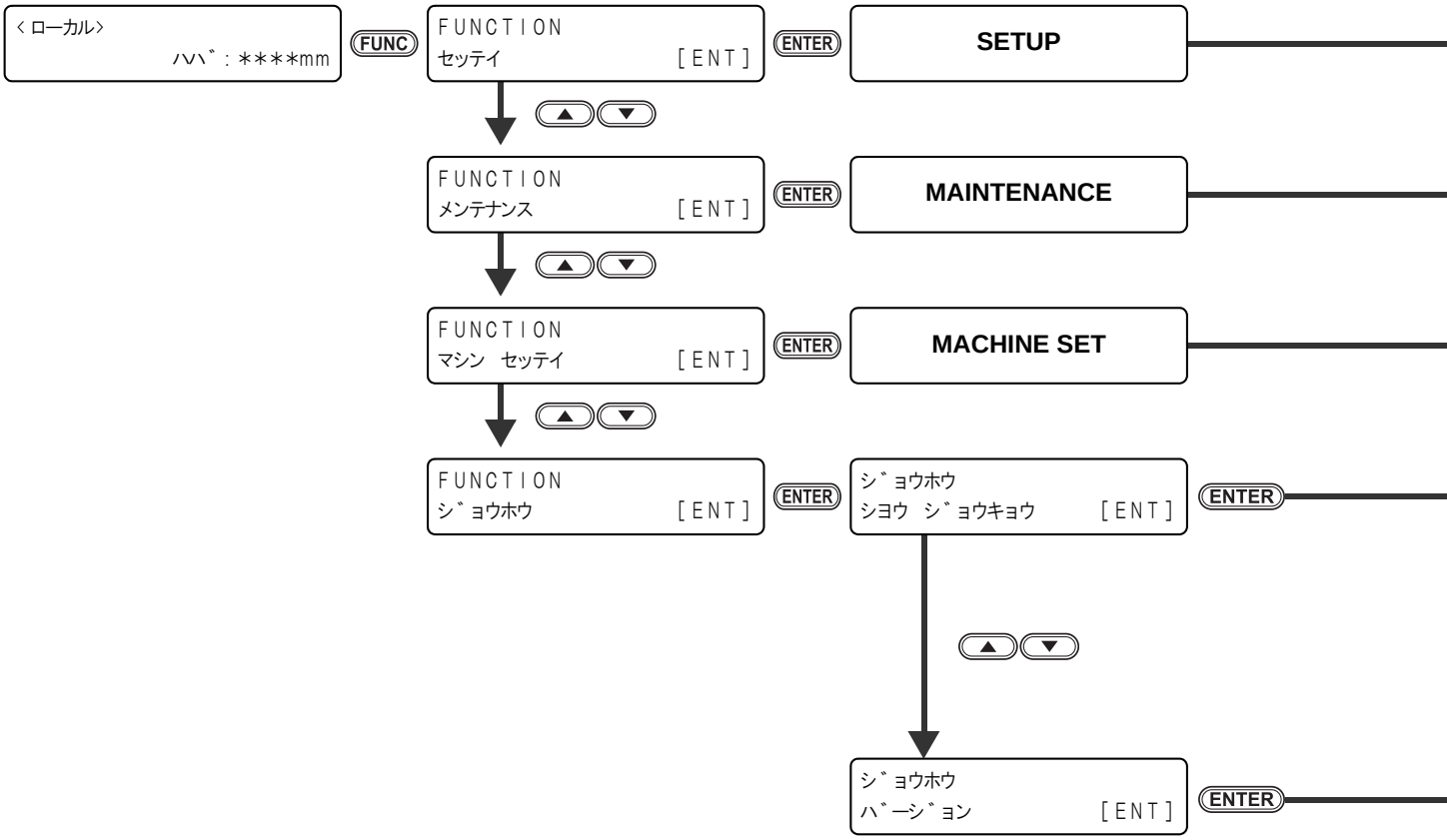

<ローカル>
ハバ：****mm
ゲンテン セッテイ
0.0 ----
ENTER
ゲンテン セッテイ
** ゲンテン **
MEDIA
メディア カット
[ENT]
ENTER
** メディア カット **
シバラク オマチクダサイ
HEATER
PRE PRT POST
35°C 35°C 35°C
ENTER
35°C 35°C 35°C
(35°C 35°C 35°C)
END
TEST PRINT/CLEANING
テスト プリント
(FEED ホウコウ) [ENT]
ENTER
** プリント **
シバラク オマチクダサイ
FEED ホウコウ、SCAN ホウコウ
TEST PRINT/CLEANING
クリーニング
タイプ : ソフト
ENTER
ヘッド センタク
:12
ENTER
ソフト、ノーマル、ハード
TEST PRINT/CLEANING
テストフィード
[ENT]
ENTER
バックフィード
:ON
ENTER
ON、OFF
MAINT.
キャリッジ アウト
[ENT]
ENTER
サブタンク
[ENT]
END
キャリッジアウト
DATA CLEAR
データ クリア
[ENT]
ENTER
** データ クリア **
END
MEDIA
ヘッド ギャップ
[ENT]
ENTER
ヘッド ギャップ
= 2.0mm
MEDIA
メディア カット
[ENT]
ENTER
メディア カット
カット イチ [▲▼]
ENTER
** メディア カット **
シバラク オマチクダサイ
P.6-12 へ


** クリーニング ゛ **
00:00:00
テストフィート゛
カイシ [ENT]
ENTER
** テスト フィート゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
カット イチ
0.0 ----
ENTER

P.6-10 から


ADJUST
フィート゛ ホセイ
[ENT]
ENTER
フィート゛ ホセイ
フ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
▲ ▼ ADJUST
ト゛ットイチ ホセイ
[ENT]
ENTER
ト゛ットイチ ホセイ
:Y600dpi
ENTER
ENTER
LUS-150 MMCCYYKK
ザ゛ンリョウ 99999999
ENTER
ボ゛トル 1-M :キケ゛ン 13/02
ザ゛ンリョウ 100%
ENTER
ボトル =1 ～ 8


** プリント **
シバラク オマチクダサイ
ENTER
フィードホセイ
= 0
-9999 ～ 9999
ドットイチ ホセイ
プリント カイシ [ENT]
ENTER
** プリント **
シバラク オマチクダサイ
ENTER
600Std
= 0.0
-40 ～ 40
ENTER
600Hi
= 0.0
-40 ～ 40
ENTER
インクチャージ カンリョウ
ボトル 1-M:ザンリョウ 100%
ENTER
インク IC イジョウ
MMCCYYKK
ENTER
ワーニング
ワイパー コウカン [MNT]
ENTER
メディア ハバ
= 1000mm
ENTER
ヘッド ギャップ
= 2.0mm
ENTER
メディア アツサ
= 0.5mm
ENTER
シリアル No.
:********
ENTER
UJV500-160 V1.50
MRL-III V2.00
ENTER
ノズル リカバリ :1
カクニン [MNT]
MAINT.
リカバリなしの場合表示しない
H1-A:** No.1-5
001/00x/---/---/---
H1-B:** No.1-5
001/00x/---/---/---


<ローカル>
ハハ゛:****mm
FUNC
FUNCTION
セッテイ [ENT]
ENTER
SETUP
FUNCTION
メンテナンス [ENT]
ENTER
MAINTENANCE
FUNCTION
マシン セッテイ [ENT]
ENTER
MACHINE SET
FUNCTION
シ゛ョウホウ [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
シヨウ シ゛ョウキョウ [ENT]
ENTER
シ゛ョウホウ
ハ゛ーシ゛ョン [ENT]
ENTER

P.6-16 へ進む

P.6-22 へ進む

P.6-26 へ進む

ワイピ゜ング゛
=　　0

ENTER

フ゜リント　チョウ
=　　0m

ENTER

フ゜リント　メンセキ
=　　0m²

ENTER

シヨウシ゛カン
=　　0h

ENTER

UVランフ゜1：LED＊
=　　0h

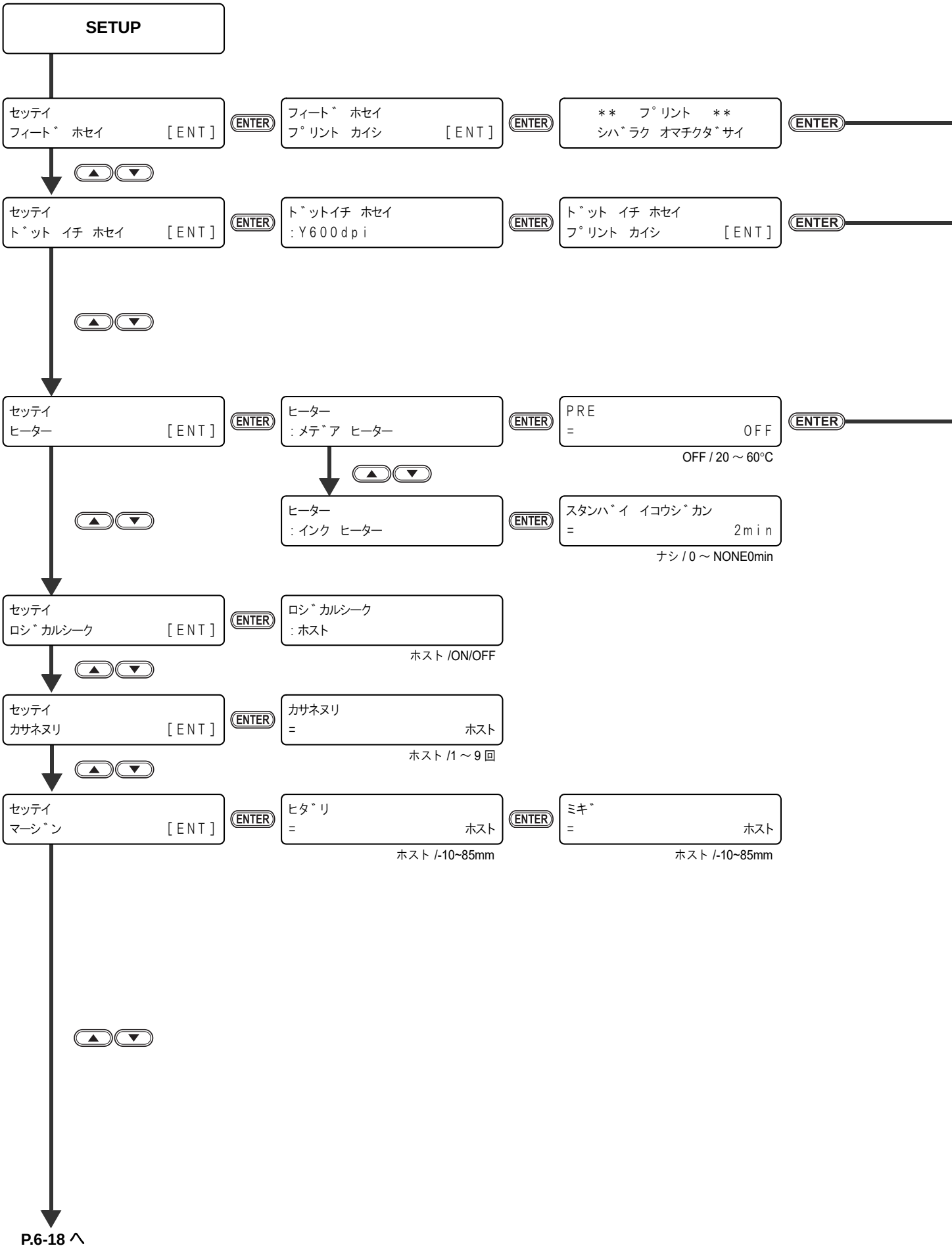
＊A～H

ENTER

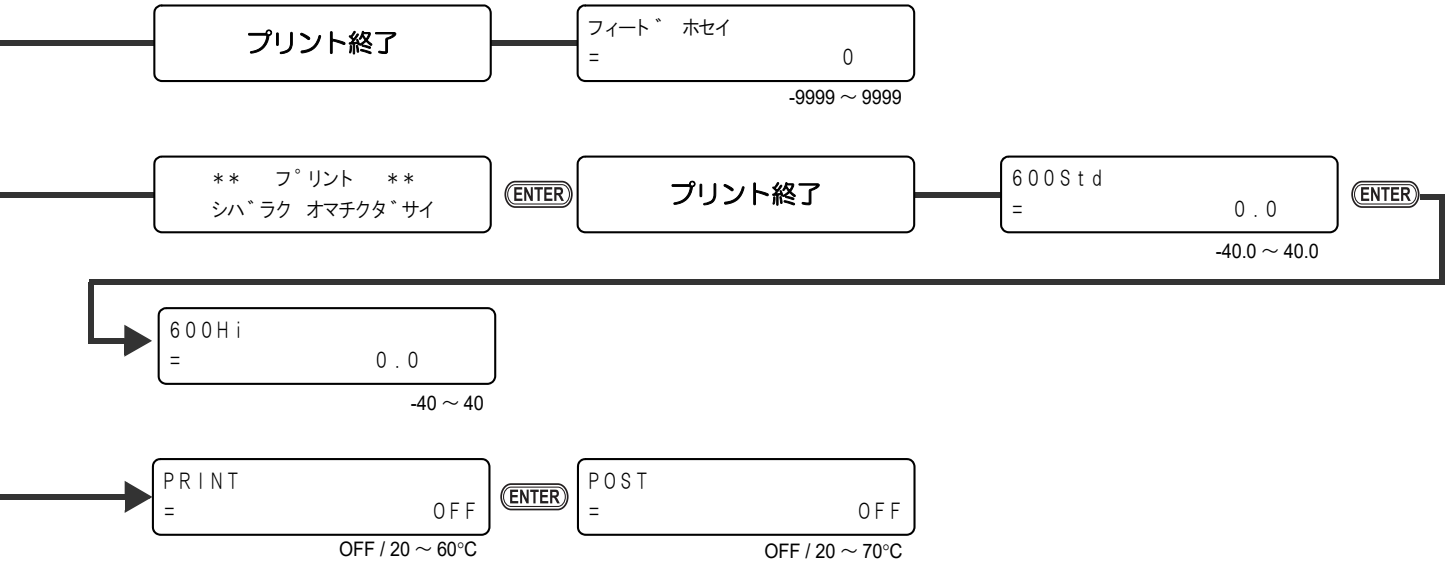
ホ゜ストキュアUV＊
=　　0h

＊1～3

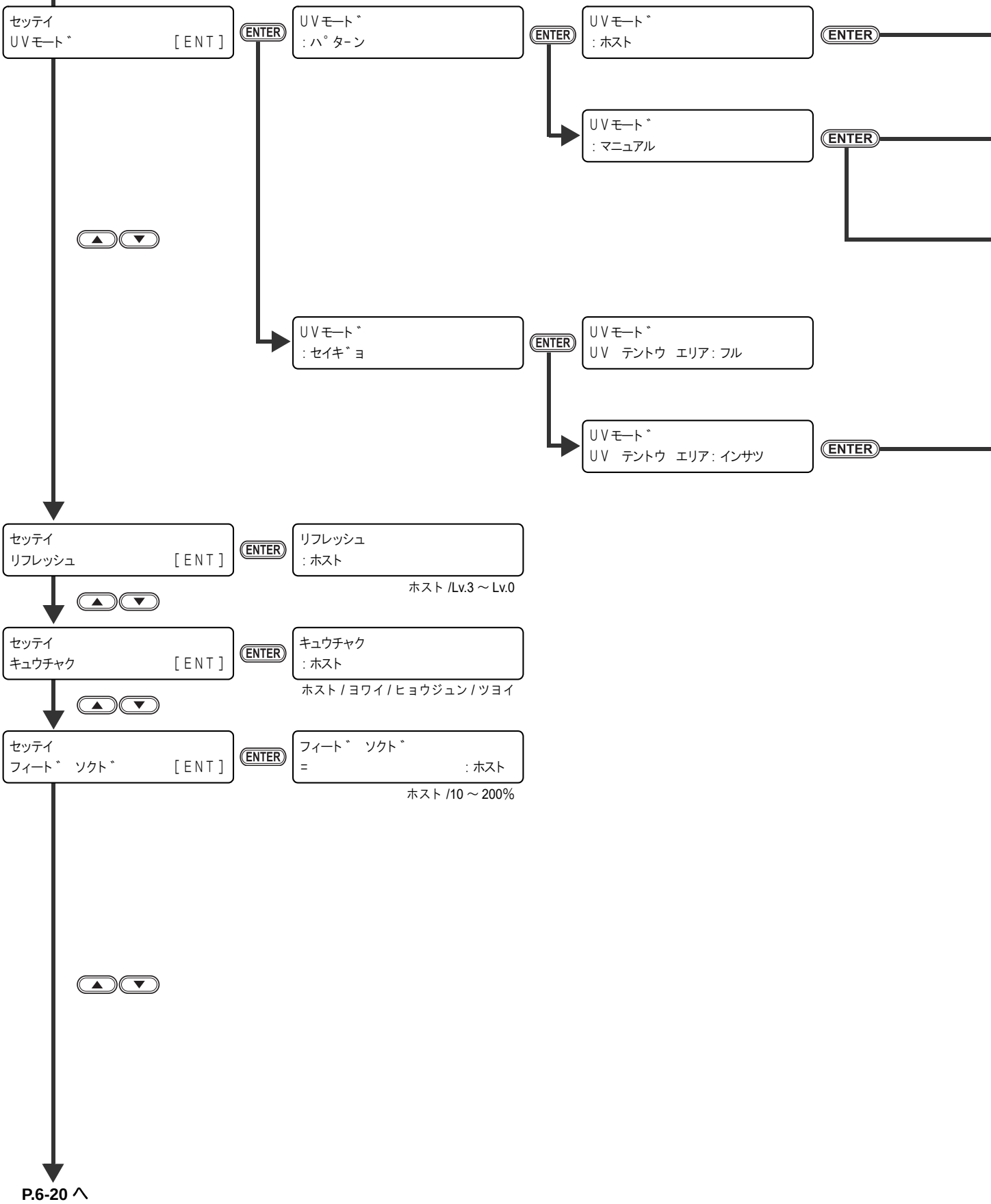
UJV500-160　　V1.50
MRL-III　　V2.00


SETUP
セッテイ
フィート゛ ホセイ [ENT]
ENTER
フィート゛ ホセイ
プ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
＊＊ プ゜リント ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
セッテイ
ト゛ット イチ ホセイ [ENT]
ENTER
ト゛ットイチ ホセイ
:Y600dpi
ENTER
ト゛ット イチ ホセイ
プ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
セッテイ
ヒーター [ENT]
ENTER
ヒーター
:メテ゛ア ヒーター
ENTER
PRE
= OFF
ENTER
OFF / 20 ～ 60°C
ヒーター
:インク ヒーター
ENTER
スタンハ゛イ イコウシ゛カン
= 2min
ナシ / 0 ～ NONE0min
セッテイ
ロシ゛カルシーク [ENT]
ENTER
ロシ゛カルシーク
:ホスト
ホスト /ON/OFF
セッテイ
カサネヌリ [ENT]
ENTER
カサネヌリ
= ホスト
ホスト /1 ～ 9 回
セッテイ
マーシ゛ン [ENT]
ENTER
ヒタ゛リ
= ホスト
ホスト /-10~85mm
ENTER
ミキ゛
= ホスト
ホスト /-10~85mm

P.6-18 へ


プリント終了
フィート゛ ホセイ
= 0
-9999 ～ 9999
＊＊ フ゜リント ＊＊
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
プリント終了
600Std
= 0.0
-40.0 ～ 40.0
ENTER
600Hi
= 0.0
-40 ～ 40
PRINT
= OFF
OFF / 20 ～ 60℃
ENTER
POST
= OFF
OFF / 20 ～ 70℃

P.6-16 から



P.6-20 へ

LED UV 装置から照射される光量の調整値を設定

UVモード
:LED-UVランプ

ENTER

UVモード
:パターンA

パターン A ～ F

ENTER

UVモード
レベル　:　10

1 ～ 10

UVモード
:ポストキュア UVランプ

ENTER

UVモード
:ON　ON　ON

◀ ▶ ：上段 / 中段 / 下段を選択
▲ ▼ ：ON/OFF を選択

UVモード
UV1　ランプ　イチ　:　0mm

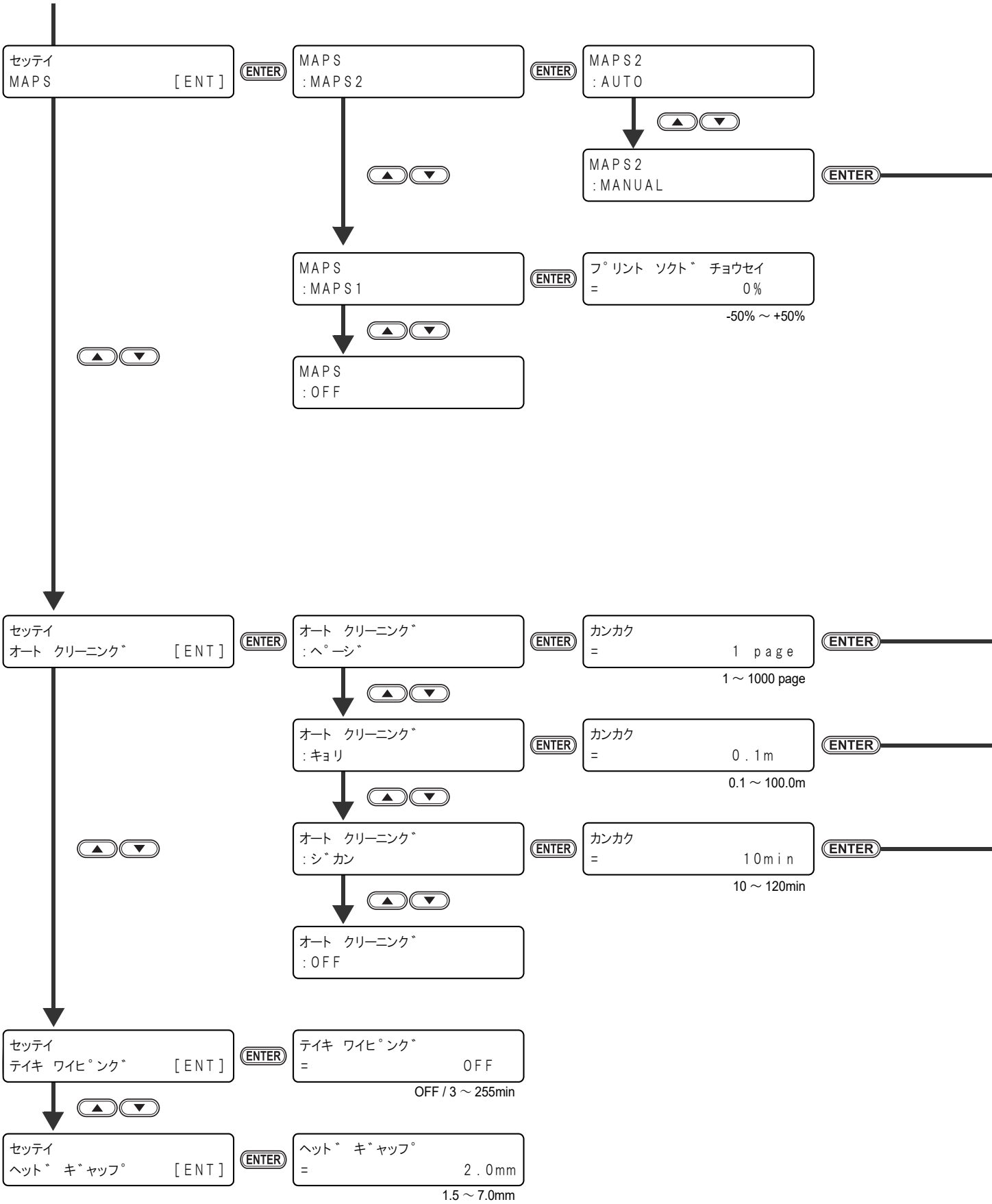
0 ～ 180mm

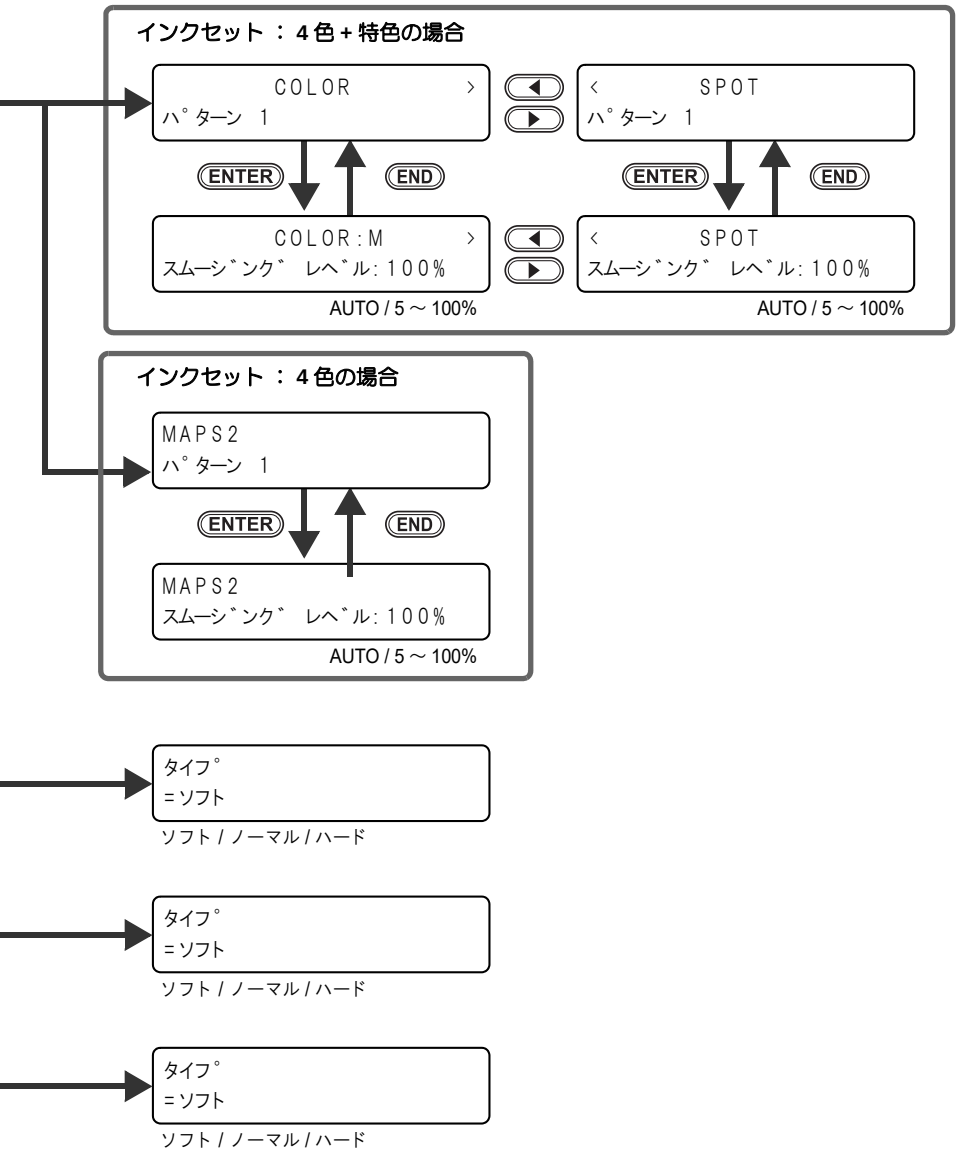
ENTER

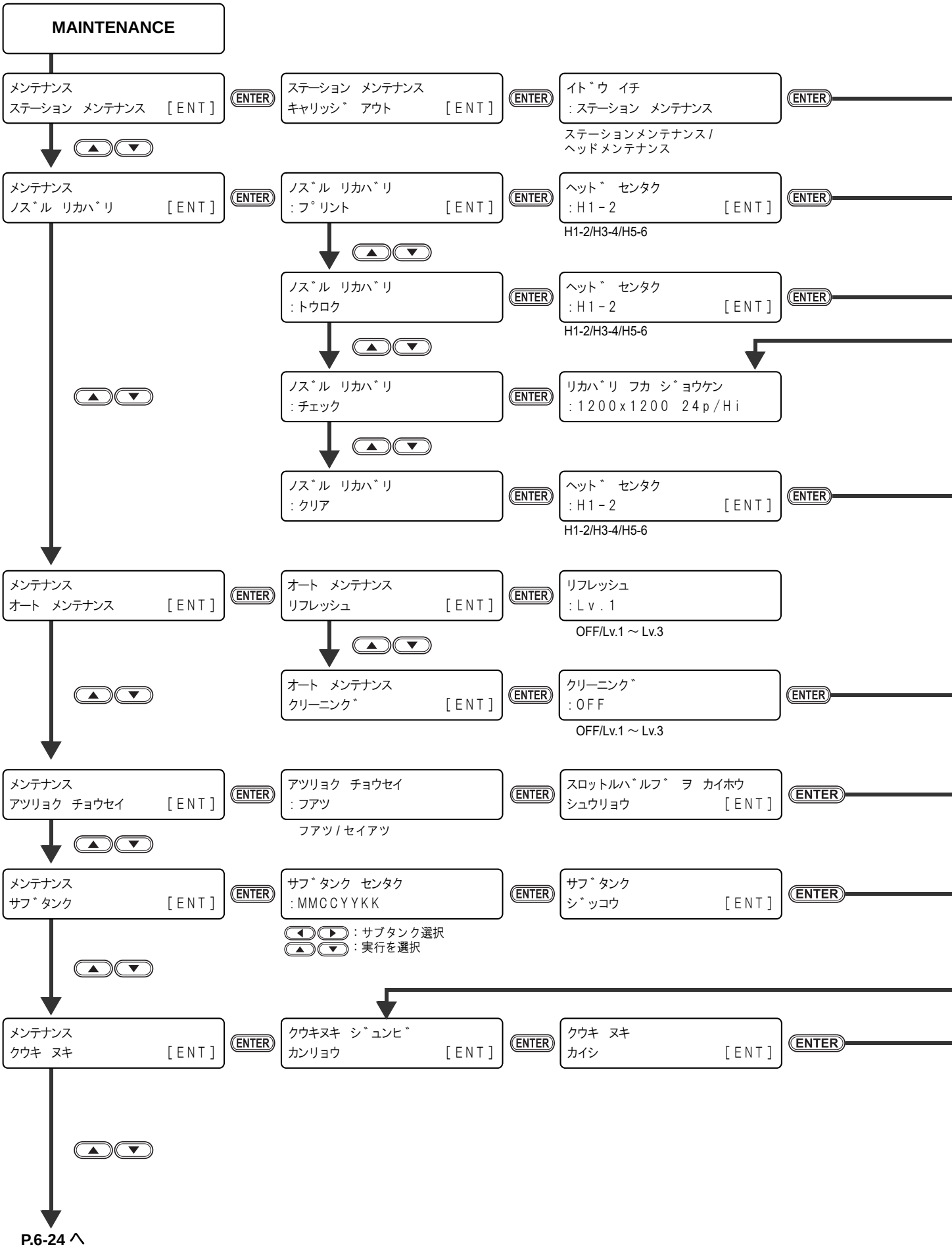
UVモード
UV2　ランプ　イチ　:　0mm

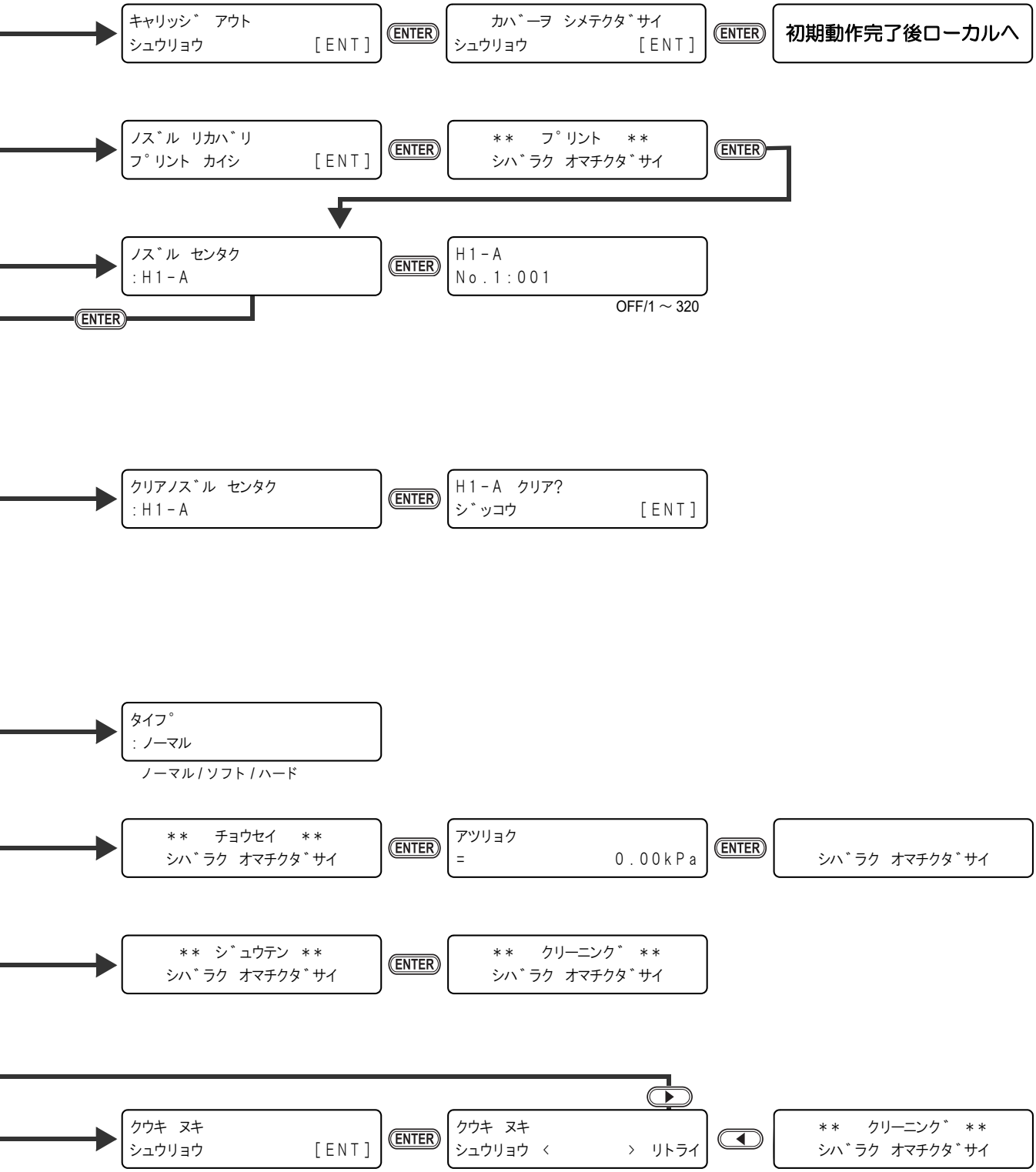
0 ～ 180mm

P.6-18 から

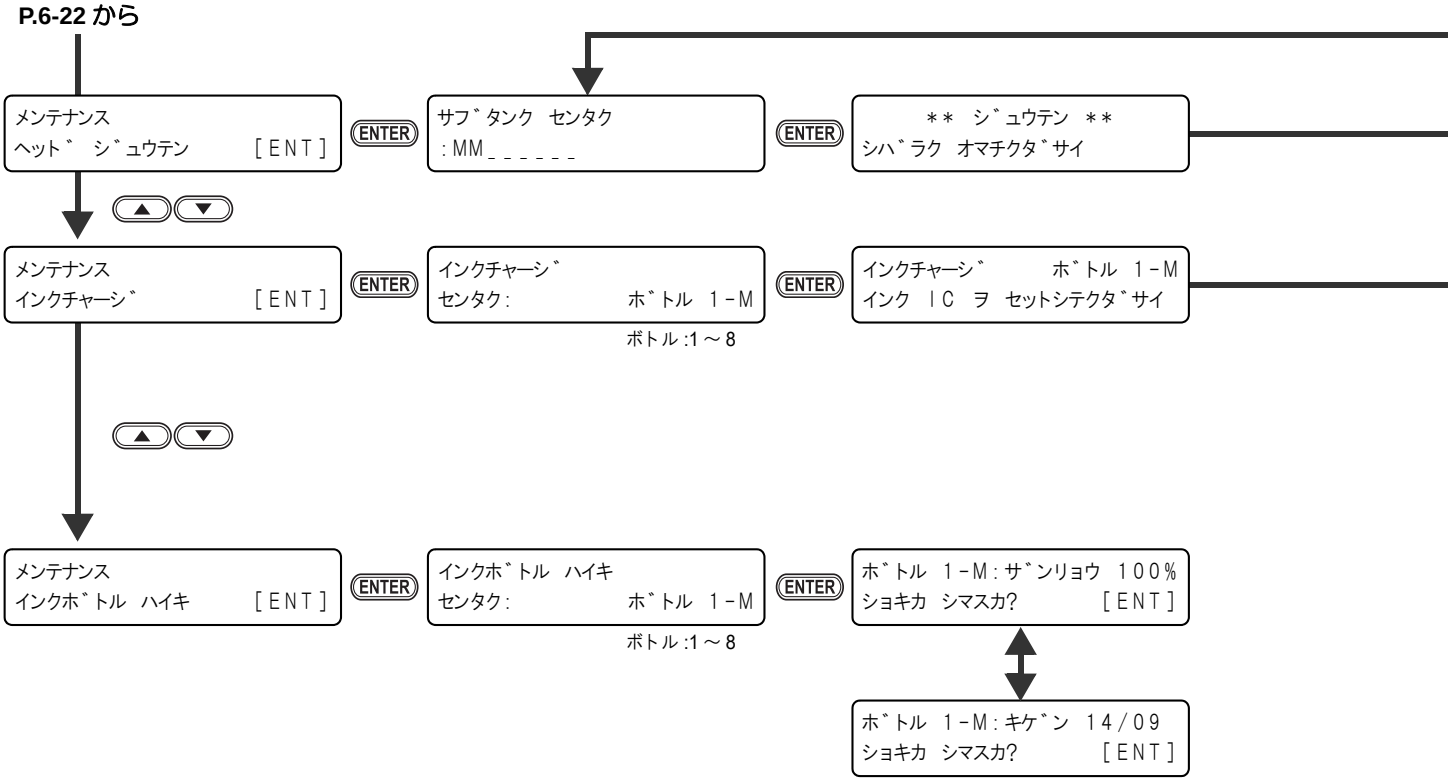

セッテイ
MAPS [ENT]
ENTER
MAPS
:MAPS2
ENTER
MAPS2
:AUTO
MAPS2
:MANUAL
ENTER
MAPS
:MAPS1
ENTER
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｿｸﾄﾞ ﾁｮｳｾｲ
= 0%
-50% ～ +50%
MAPS
:OFF
セッテイ
ｵｰﾄ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ [ENT]
ENTER
ｵｰﾄ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
:ﾍﾟｰｼﾞ
ENTER
ｶﾝｶｸ
= 1 page
ENTER
1 ～ 1000 page
ｵｰﾄ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
:ｷｮﾘ
ENTER
ｶﾝｶｸ
= 0.1m
ENTER
0.1 ～ 100.0m
ｵｰﾄ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
:ｼﾞｶﾝ
ENTER
ｶﾝｶｸ
= 10min
ENTER
10 ～ 120min
ｵｰﾄ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
:OFF
セッテイ
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ [ENT]
ENTER
ﾃｲｷ ﾜｲﾋﾟﾝｸﾞ
= OFF
OFF / 3 ～ 255min
セッテイ
ﾍｯﾄﾞ ｷﾞｬｯﾌﾟ [ENT]
ENTER
ﾍｯﾄﾞ ｷﾞｬｯﾌﾟ
= 2.0mm
1.5 ～ 7.0mm

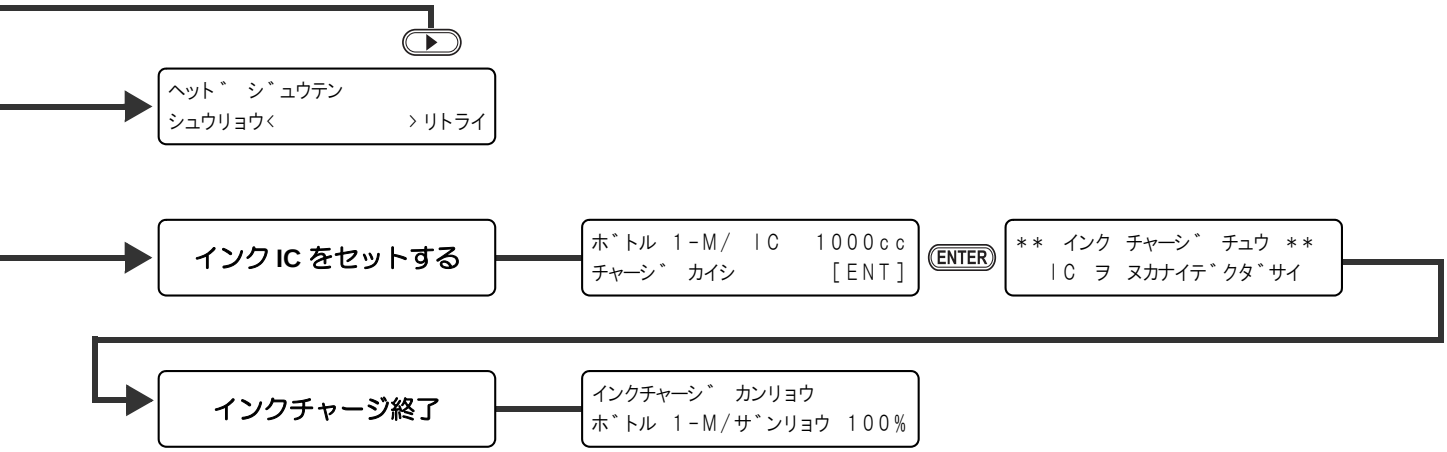

インクセット ： 4 色 + 特色の場合
COLOR >
ﾊﾟﾀｰﾝ 1
< SPOT
ﾊﾟﾀｰﾝ 1
ENTER
END
ENTER
END
COLOR:M >
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ﾚﾍﾞﾙ:100%
< SPOT
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ﾚﾍﾞﾙ:100%
AUTO / 5 ～ 100%
AUTO / 5 ～ 100%
インクセット ： 4 色の場合
MAPS2
ﾊﾟﾀｰﾝ 1
ENTER
END
MAPS2
ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ ﾚﾍﾞﾙ:100%
AUTO / 5 ～ 100%
ﾀｲﾌﾟ
=ｿﾌﾄ
ｿﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾊｰﾄﾞ
ﾀｲﾌﾟ
=ｿﾌﾄ
ｿﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾊｰﾄﾞ
ﾀｲﾌﾟ
=ｿﾌﾄ
ｿﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾊｰﾄﾞ

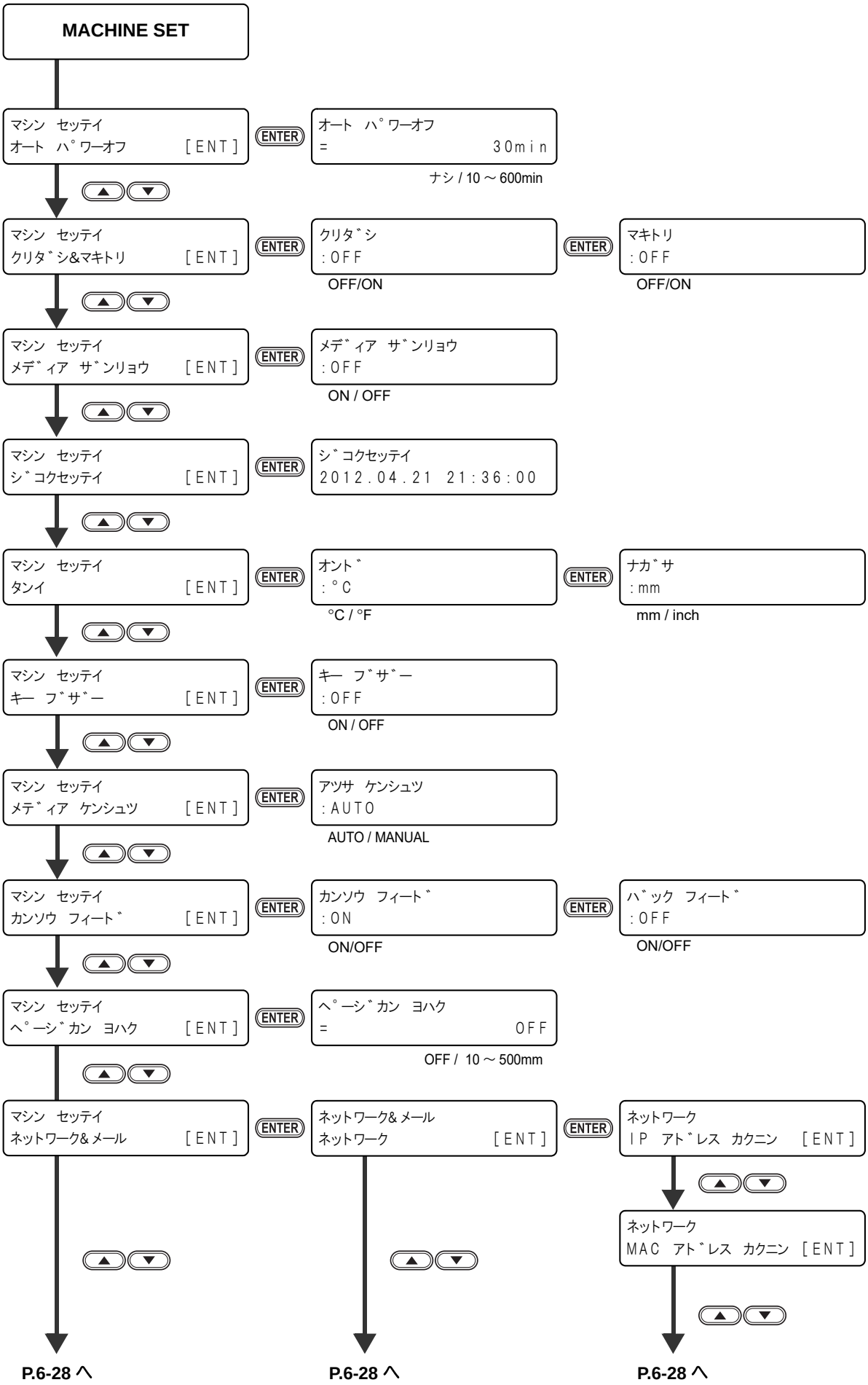

MAINTENANCE
メンテナンス
ステーション　メンテナンス　[ENT]
ENTER
ステーション　メンテナンス
キャリッシ゛　アウト　[ENT]
イト゛ウ　イチ
:ステーション　メンテナンス
ステーションメンテナンス/
ヘッドメンテナンス
メンテナンス
ノス゛ル　リカハ゛リ　[ENT]
ノス゛ル　リカハ゛リ
:プ゜リント　[ENT]
ヘット゛　センタク
:H1-2　[ENT]
H1-2/H3-4/H5-6
ノス゛ル　リカハ゛リ
:トウロク
ヘット゛　センタク
:H1-2　[ENT]
H1-2/H3-4/H5-6
ノス゛ル　リカハ゛リ
:チェック
リカハ゛リ　フカ　シ゛ョウケン
:1200x1200　24p/Hi
ノス゛ル　リカハ゛リ
:クリア
ヘット゛　センタク
:H1-2　[ENT]
H1-2/H3-4/H5-6
メンテナンス
オート　メンテナンス　[ENT]
オート　メンテナンス
リフレッシュ　[ENT]
リフレッシュ
:Lv.1
OFF/Lv.1 ～ Lv.3
オート　メンテナンス
クリーニング゛　[ENT]
クリーニング゛
:OFF
OFF/Lv.1 ～ Lv.3
メンテナンス
アツリョク　チョウセイ　[ENT]
アツリョク　チョウセイ
:フアツ
フアツ / セイアツ
スロットルハ゛ルフ゛　ヲ　カイホウ
シュウリョウ　[ENT]
メンテナンス
サフ゛タンク　[ENT]
サフ゛タンク　センタク
:MMCCYYKK
:サブタンク選択
:実行を選択
サフ゛タンク
シ゛ッコウ　[ENT]
メンテナンス
クウキ　ヌキ　[ENT]
クウキヌキ　シ゛ュンヒ゛
カンリョウ　[ENT]
クウキ　ヌキ
カイシ　[ENT]
P.6-24 へ


キャリッシ゛ アウト
シュウリョウ [ENT]
ENTER
カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ
シュウリョウ [ENT]
ENTER
初期動作完了後ローカルへ
ノス゛ル リカハ゛リ
フ゜リント カイシ [ENT]
ENTER
** フ゜リント **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
ノス゛ル センタク
:H1-A
ENTER
H1-A
No.1:001
OFF/1 ～ 320
ENTER
クリアノス゛ル センタク
:H1-A
ENTER
H1-A クリア?
シ゛ッコウ [ENT]
タイフ゜
: ノーマル
ノーマル / ソフト / ハード
** チョウセイ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
アツリョク
= 0.00kPa
ENTER
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
** シ゛ュウテン **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
ENTER
** クリーニング゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
クウキ ヌキ
シュウリョウ [ENT]
ENTER
クウキ ヌキ
シュウリョウ < > リトライ
** クリーニング゛ **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ

P.6-22 から

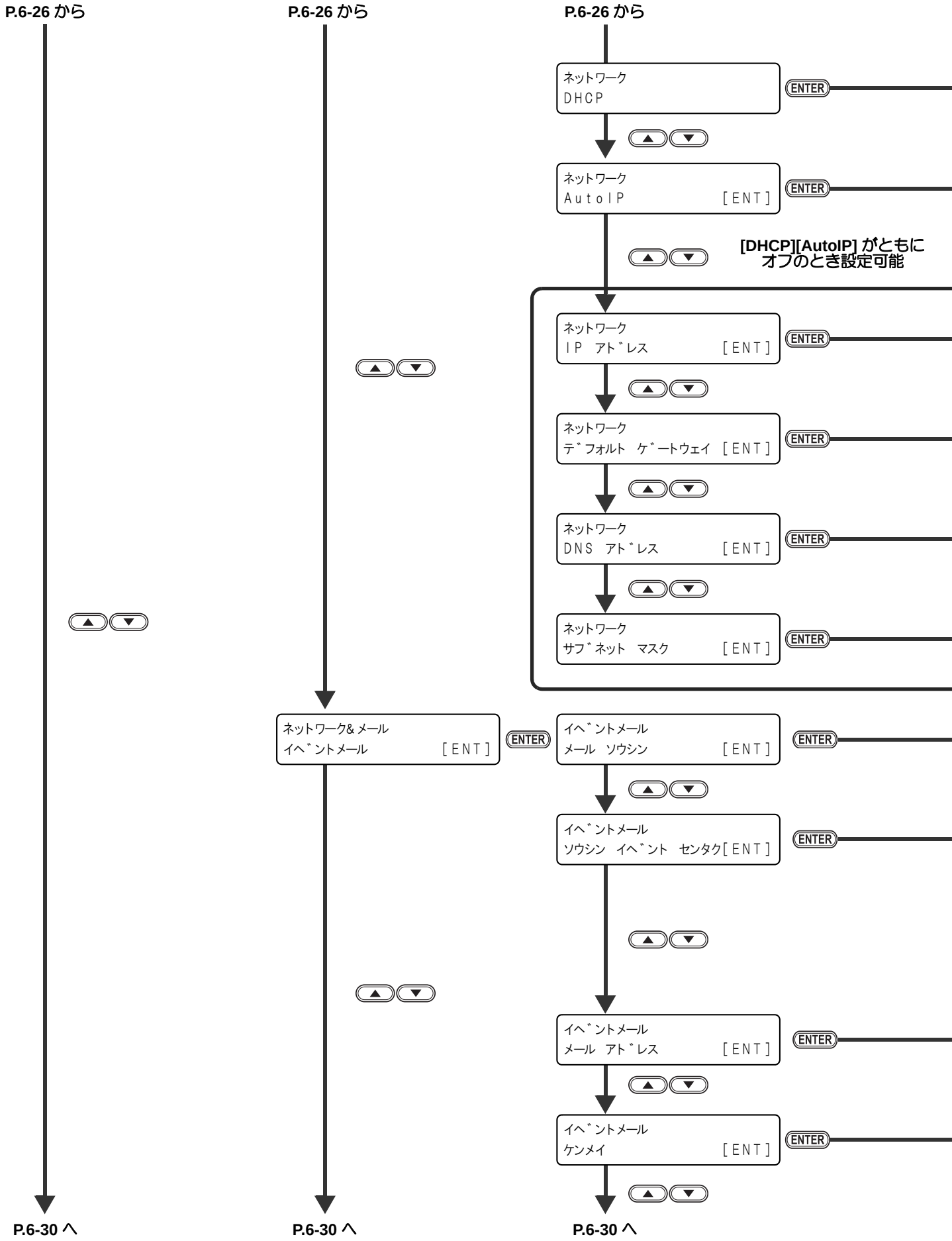

メンテナンス
ヘッド゛ シ゛ュウテン [ENT]
ENTER
サブ゛タンク センタク
:MM_ _ _ _ _ _
ENTER
** シ゛ュウテン **
シハ゛ラク オマチクタ゛サイ
メンテナンス
インクチャーシ゛ [ENT]
ENTER
インクチャーシ゛
センタク: ホ゛トル 1-M
ボトル :1 ～ 8
ENTER
インクチャーシ゛ ホ゛トル 1-M
インク IC ヲ セットシテクタ゛サイ
メンテナンス
インクホ゛トル ハイキ [ENT]
ENTER
インクホ゛トル ハイキ
センタク: ホ゛トル 1-M
ボトル :1 ～ 8
ENTER
ホ゛トル 1-M:サ゛ンリョウ 100%
ショキカ シマスカ? [ENT]
ホ゛トル 1-M:キケ゛ン 14/09
ショキカ シマスカ? [ENT]

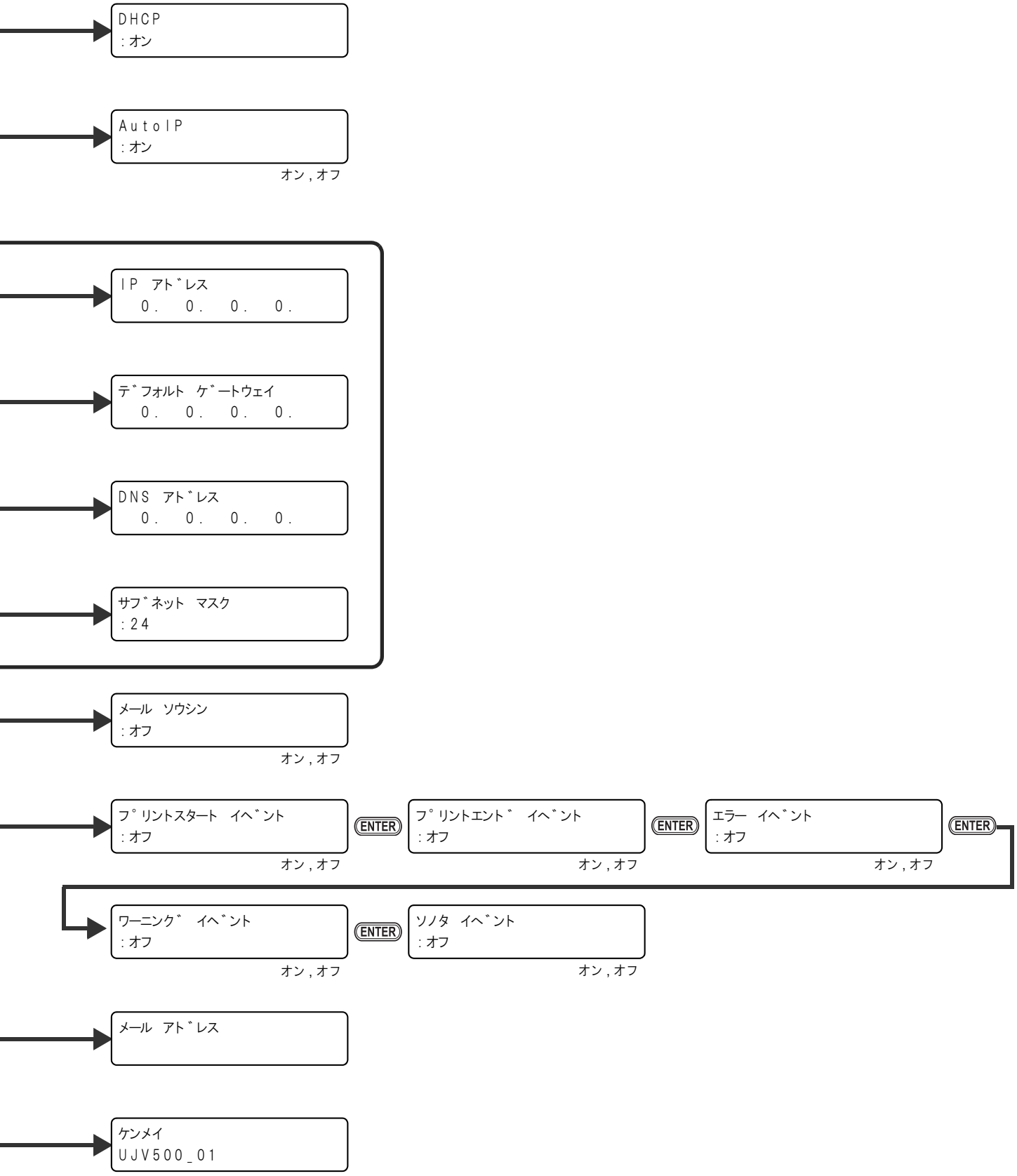

ヘット゛ シ゛ュウテン
シュウリョウ<　　>リトライ
インク IC をセットする
ホ゛トル 1-M/ IC 1000cc
チャーシ゛ カイシ [ENT]
ENTER
** インク チャーシ゛ チュウ **
IC ヲ ヌカナイテ゛クタ゛サイ
インクチャージ終了
インクチャーシ゛ カンリョウ
ホ゛トル 1-M/サ゛ンリョウ 100%


MACHINE SET
マシン　セッテイ
オート　ハ゜ワーオフ　[ENT]
ENTER
オート　ハ゜ワーオフ
=　30min
ナシ / 10 ～ 600min
マシン　セッテイ
クリタ゛シ&マキトリ　[ENT]
クリタ゛シ
:OFF
OFF/ON
マキトリ
:OFF
OFF/ON
マシン　セッテイ
メデ゛ィア　サ゛ンリョウ　[ENT]
メデ゛ィア　サ゛ンリョウ
:OFF
ON / OFF
マシン　セッテイ
シ゛コクセッテイ　[ENT]
シ゛コクセッテイ
2012.04.21　21:36:00
マシン　セッテイ
タンイ　[ENT]
オント゛
:°C
°C / °F
ナカ゛サ
:mm
mm / inch
マシン　セッテイ
キー　フ゛サ゛ー　[ENT]
キー　フ゛サ゛ー
:OFF
ON / OFF
マシン　セッテイ
メテ゛ィア　ケンシュツ　[ENT]
アツサ　ケンシュツ
:AUTO
AUTO / MANUAL
マシン　セッテイ
カンソウ　フィート゛　[ENT]
カンソウ　フィート゛
:ON
ON/OFF
ハ゛ック　フィート゛
:OFF
ON/OFF
マシン　セッテイ
ヘ゜ーシ゛カン　ヨハク　[ENT]
ヘ゜ーシ゛カン　ヨハク
=　OFF
OFF /　10 ～ 500mm
マシン　セッテイ
ネットワーク&メール　[ENT]
ネットワーク&メール
ネットワーク　[ENT]
ネットワーク
IP　アト゛レス　カクニン　[ENT]
ネットワーク
MAC　アト゛レス　カクニン　[ENT]
P.6-28 へ
P.6-28 へ
P.6-28 へ

```
IP アドレス カクニン
 10. 16.168.235
```

```
MAC アドレス カクニン
00:0d:1b:00:00:00
```

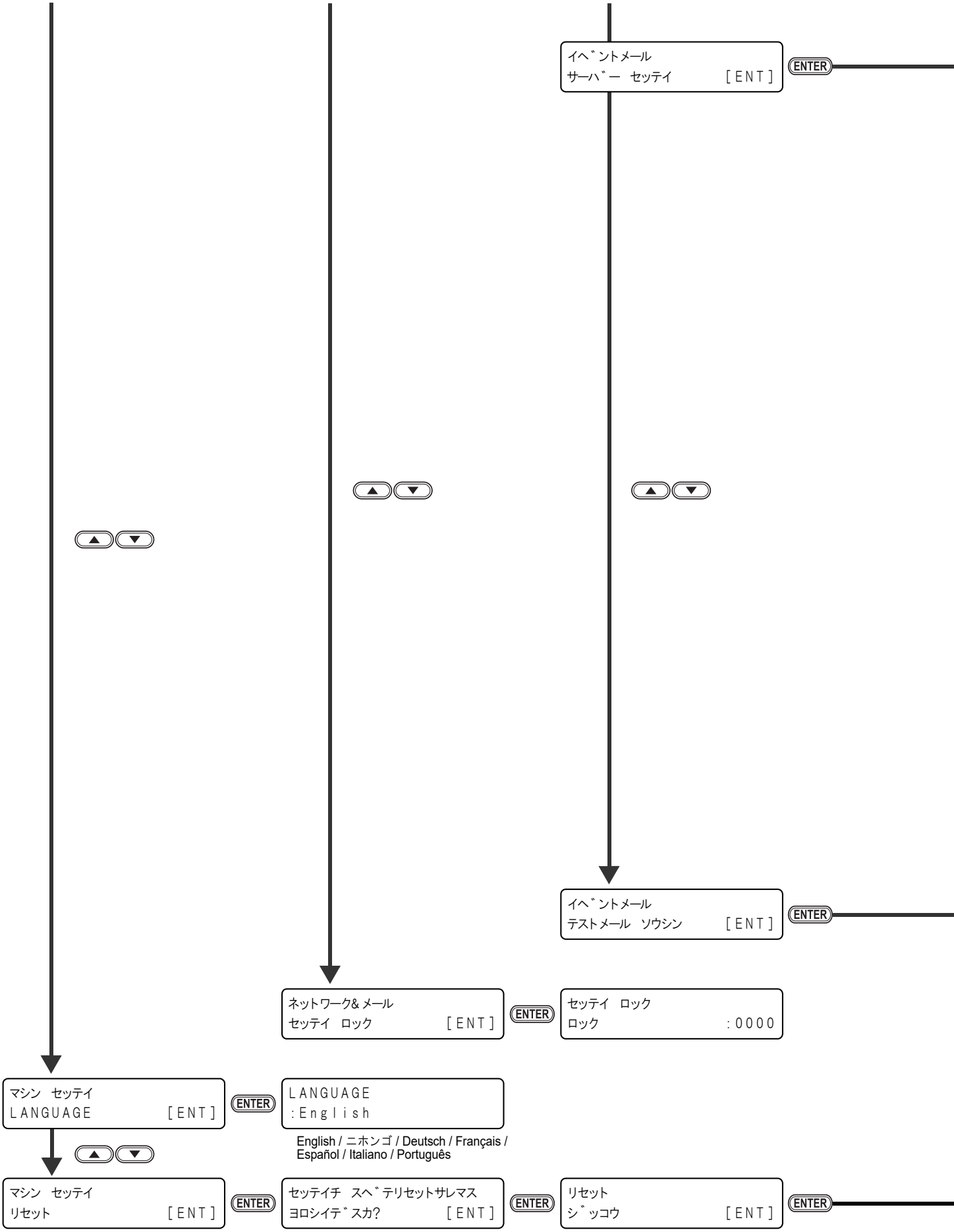

P.6-26 から
P.6-26 から
P.6-26 から
ネットワーク
DHCP
ENTER
ネットワーク
AutoIP [ENT]
ENTER
[DHCP][AutoIP] がともに
オフのとき設定可能
ネットワーク
IP アドレス [ENT]
ENTER
ネットワーク
デフォルト ゲートウェイ [ENT]
ENTER
ネットワーク
DNS アドレス [ENT]
ENTER
ネットワーク
サブネット マスク [ENT]
ENTER
ネットワーク&メール
イベントメール [ENT]
ENTER
イベントメール
メール ソウシン [ENT]
ENTER
イベントメール
ソウシン イベント センタク[ENT]
ENTER
イベントメール
メール アドレス [ENT]
ENTER
イベントメール
ケンメイ [ENT]
ENTER
P.6-30 へ
P.6-30 へ
P.6-30 へ

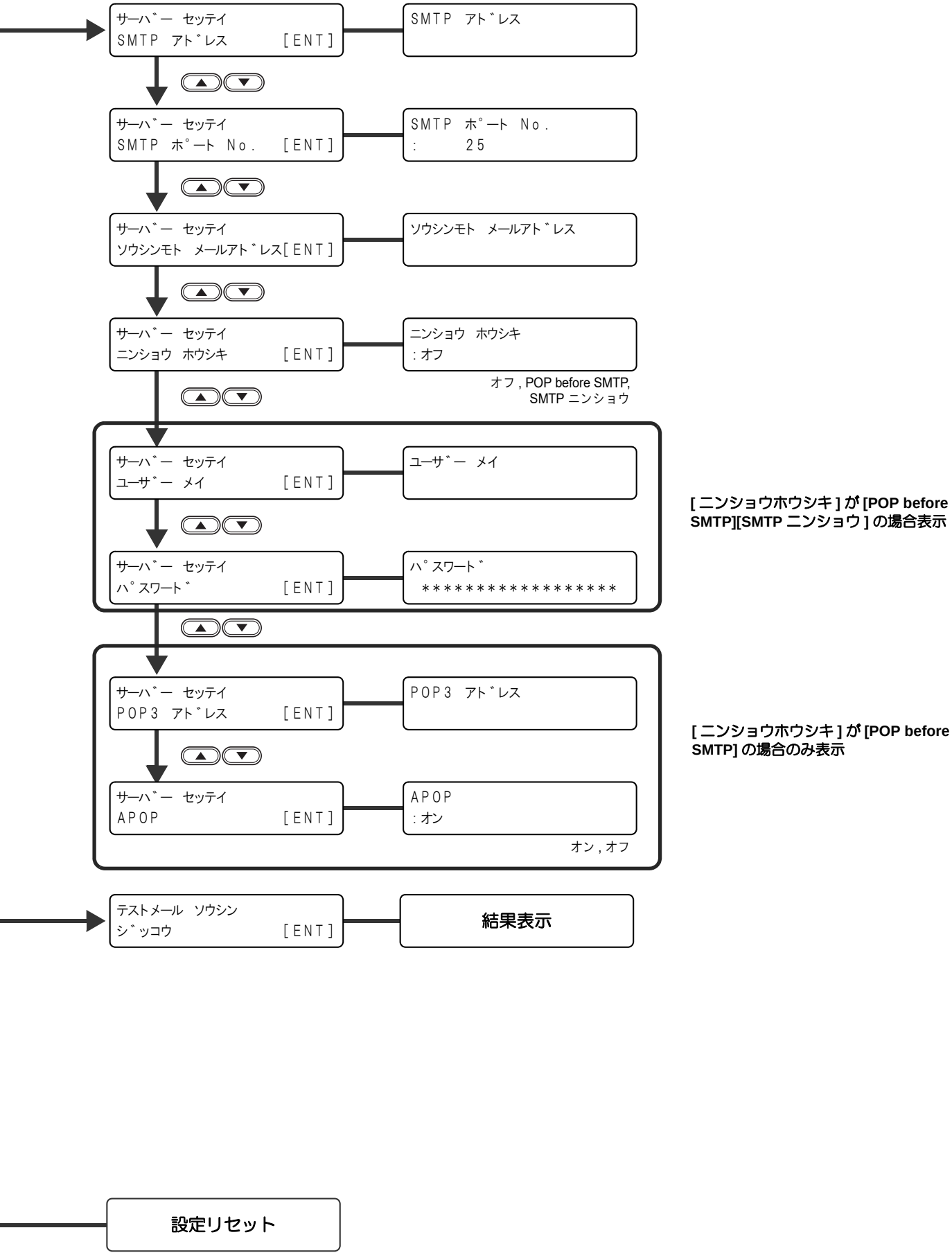

DHCP
:オン
AutoIP
:オン
オン , オフ
IP アドレス
0. 0. 0. 0.
デフォルト ゲートウェイ
0. 0. 0. 0.
DNS アドレス
0. 0. 0. 0.
サブネット マスク
:24
メール ソウシン
:オフ
オン , オフ
プリントスタート イベント
:オフ
オン , オフ
ENTER
プリントエンド イベント
:オフ
オン , オフ
ENTER
エラー イベント
:オフ
オン , オフ
ENTER
ワーニング イベント
:オフ
オン , オフ
ENTER
ソノタ イベント
:オフ
オン , オフ
メール アドレス
ケンメイ
UJV500_01

P.6-28 から

P.6-28 から

P.6-28 から




サーバ゛ー セッテイ
SMTP アド゛レス [ENT]
SMTP アド゛レス
サーバ゛ー セッテイ
SMTP ポ゜ート No. [ENT]
SMTP ポ゜ート No.
: 25
サーバ゛ー セッテイ
ソウシンモト メールアド゛レス[ENT]
ソウシンモト メールアド゛レス
サーバ゛ー セッテイ
ニンショウ ホウシキ [ENT]
ニンショウ ホウシキ
: オフ
オフ , POP before SMTP,
SMTP ニンショウ
サーバ゛ー セッテイ
ユーザ゛ー メイ [ENT]
ユーザ゛ー メイ
サーバ゛ー セッテイ
パ゜スワード゛ [ENT]
パ゜スワード゛
****
[ニンショウホウシキ] が [POP before SMTP][SMTP ニンショウ] の場合表示
サーバ゛ー セッテイ
POP3 アド゛レス [ENT]
POP3 アド゛レス
サーバ゛ー セッテイ
APOP [ENT]
APOP
: オン
オン , オフ
[ニンショウホウシキ] が [POP before SMTP] の場合のみ表示
テストメール ソウシン
シ゛ッコウ [ENT]
結果表示
設定リセット

索 引

I

IC チップ 1-15
　カラー情報 1-15

L

LANGUAGE 3-22

M

MAPS 機能 3-13
　MAPS1 機能が有効になる条件 3-13
　MAPS1 機能を設定する 3-14
　MAPS2 機能が有効になる条件 3-13
　MAPS2 機能を設定する (4 色) 3-15
　MAPS2 機能を設定する (4 色 + 特色インク / 6 色 + 特色インク) 3-16

U

USB2.0 インターフェイスケーブル 1-10
UV モードの設定 3-7
　LED UV ランプの光量調整 3-8
　RIP で指定した光量を調整したい 3-7
　ポストキュア UV ランプの点灯パターンを変更する 3-10
　本機で設定した光量でプリントしたい 3-8
　本機で設定した UV ランプの点灯制御でプリントしたい場合 3-11
UV ランプ 3-51

Y

Y モーターの清掃 4-29

あ

圧力異常が発生したら 5-7
安全インターロックについて xii
安全にお使いいただくために vii
　ご注意とお願い xi
　使用上の警告 viii
　使用上のご注意 ix
　設置上のご注意 xii

い

イベントメール機能 3-36
イベントメール機能を有効にする 3-36
イベントを設定する 3-37
インクコウカンレポート 3-51
インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 4-20
インクの廃棄 1-18
インクのメンテナンス 4-3
インクボトル取り扱い上のご注意 1-19
インクボトルのセット順 6-5
インクボトルランプとインク残量表示について 1-16

え

エラー 618 ～ 61b 5-6
エラーメッセージ 5-14
エラー履歴 3-51
エラー履歴を確認する 3-52

お

オートパワーオフ 3-21, 3-23
オートメンテナンス 4-27
オートメンテナンス機能
　クリーニング間隔 4-28
　リフレッシュ間隔 4-27
お問い合わせシート 6-6

か

外装のお手入れ 4-3
各部の名称とはたらきについて
　キャリッジ 1-8
　操作パネル 1-6
　装置前面 1-4
　装置背面 / 側面 1-5
　ヒーター 1-7
　メディアセンサー 1-7
画質不良が発生したときは 5-4
カッター刃とカット溝 1-8
カッター刃の交換 4-33
乾燥フィード 3-32, 3-33

き

キーブザー 3-21, 3-29
キャッピングステーション 1-9
キャッピングステーションのメンテナンス
　インク排出路の洗浄 4-10
　長期間使用しない場合 4-11
　ヘッドノズルの洗浄 4-17
　ワイパーとキャップの清掃 4-6
　ワイパーを交換する 4-32

け

ケーブルを接続する 1-10
警告ラベル 6-6
言語の設定 3-30
原点
　原点設定位置の目安 2-27
件名を設定する 3-40

こ

故障？と思う前に 5-2
HEAT ランプ ,CONSTANT ランプが点灯しない 5-3
インクボトルに異常が発生したら 5-5
画質不良が発生したときは 5-4
サブタンク関連のエラー 5-6
電源が入らない 5-2
ノズル詰まりを解消したいとき 5-4
プリントできない 5-2
メディアが汚れる 5-3
メディア詰まり 5-3
ご注意 v
小幅ロールメディア 2-21

さ

サーバーを設定する 3-41
作業の流れ 2-2
サプライ品リスト 6-4

し

ジコクセッテイ 3-21
ジコクの設定 3-27
受信障害 v
仕様
インク仕様 6-3
本体仕様 6-2
シヨウ ジョウキョウ 3-51
使用可能メディアサイズ 1-20
使用環境温度 1-2
使用時間 3-51
使用状況 3-51
情報を表示させる 3-53
情報を表示する 3-53
初期状態に戻す 3-50

す

ステーション メンテナンス 4-6, 4-33, 4-37

せ

設置場所について 1-2
設定機能一覧 3-2
設定ロック 3-46
パスワードを解除する 3-47
パスワードを設定する 3-46

そ

装置の固定 1-3
装置の使用状況を確認する 3-51
装置のバージョン情報を確認する 3-52
双方向プリントのドット位置を調整する 2-36

た

タンイ 3-21, 3-28

ち

チャージ状態の確認方法 1-15

て

データクリア 2-39
データをプリントする 2-38
テストフィード 2-29
テストプリント 2-30
テストメールを送信する 3-44
電源ケーブル 1-11
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-4
電源を切るときのご注意 2-4
電波障害自主規制 v

と

ドット位置補正 2-36
取扱説明書について vi

に

日常のお手入れ
お手入れ上のご注意 4-2

ね

ネットワークの設定 3-34

の

ノズル面の清掃頻度を設定する 3-19
ノズルリカバリ 4-23

は

バージョン 3-51
バージョン情報 3-52
廃インクタンク確認メッセージ 4-30
廃インクを廃棄する 4-30
ハイロセンジョウ 4-10
パス間の縞を軽減する 3-13
パターンプリント 2-36

ひ

ヒーターの準備をする
ヒーターの温度設定を変更する 2-28
ヒーターの温度を確認する 2-28
表示灯 1-8

標準マージン 3-6
ピンチローラーとフィードローラー 1-9

ふ

フィード補正の設定 2-34
プラテンの清掃 4-4
プリント結果 2-31
プリント長 3-51
プリント面積 3-51
プリントを開始する 2-38
プリントを中断する 2-39

へ

ヘッド メンテナンス 4-14
ヘッドギャップ 2-5
ヘッドクリーニング 2-32

ほ

ホカンセンジョウ 4-11
ポストキュア UV 3-51
ポストヒーターカバー・プリヒーターカバーの清掃 4-4
本装置の移動 1-3

ま

マーク表示 vii
マージンの設定 3-6
マシン設定 3-21
マニュアル乾燥フィード 2-40

め

メールアドレスを設定する 3-39
メディア
　メディアをカットする .....2-27，2-41
メディア残量 3-25
メディア押さえの清掃 4-5
メディアが搬送時に波打つ場合 5-9
メディアケンシュツ 3-31
メディアザンリョウ 3-21
メディア残量表示 3-25
メディア残量表示の設定 3-25
メディアセンサーの清掃 4-5
メディア取り扱い上の注意 1-20
メディア厚さと残量の入力 2-19
メディアの厚さを検出できなかった場合 2-18
メディア巻取装置の準備 2-7
メンテナンス洗浄液 .....4-2，4-3

り

リーフメディアをセットする 2-25
リスト 3-51
リセット 3-50

れ

冷却水を補充する 4-46

ろ

ロールメディアをセットする 2-7
ロジカルシークの設定をする 3-5

わ

ワーニングメッセージ 5-10
ワイパーを交換する 4-32
ワイピング 3-51

UJV500-160 取扱説明書

2020 年 12 月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202485-18-03122020

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2015

KM
FW : 2.00